

2018年度

事業実績報告書

〈法人本部〉

〈障がい者施設〉

【北広島リハビリセンター】

北広島リハビリセンター更生部
北広島リハビリセンター療護部
北広島リハビリセンター診療部

【地域サポートセンターみなみ】

障がい福祉サービス事業所みなみ
障がい児通所支援事業所みなみ
障がい相談支援事業所みなみ
障がい者生活支援センターみらい

〈高齢者施設〉

【北広島地域サポートセンター四恩園】

北広島リハビリセンター特養部四恩園
北広島ショートステイ四恩園
北広島デイサービスセンター四恩園
デイホームさとみ
デイホームかたる
北広島団地地域交流ホームふれて
北広島市みなみ高齢者支援センター

【北広島団地地域サポートセンターともに】

北広島ホームヘルプサービスステーション四恩園
北広島居宅介護支援事業所
北広島訪問看護ステーション四恩園
北広島グループホーム四恩園
北広島複合型サービス四恩園
サービス付き高齢者向け住宅しおん

目 次

<ul style="list-style-type: none"> 基本理念 … 1 2018年度北広島リハビリセンター事業実績 … 2 2018年度決算状況概要 … 3 法人役員等名簿（2019年3月31日現在） … 4 理事会・評議員会・法人内部監査開催状況 … 5 経営委員会（経営会議）開催状況 … 11 運営委員会（幹部会議）開催状況 … 14 拠点合同施設長会開催状況 … 16 2018年度資金収支決算報告書（法人本部・障がい者施設） … 17 【障がい者施設関係】 障がい者（児）施設サービス事業方針 … 19 1. 運営管理 <ul style="list-style-type: none"> (1) 2018年度行事等のあらまし … 24 (2) 職員の状況 … 33 (3) 職員研修実施状況 … 36 (4) ボランティア受入状況 … 39 (5) 面会者状況 … 39 (6) 施設見学等受入状況 … 39 (7) 実習生（研修生）受入状況 … 40 2-1. 利用者支援状況（更生部） … 41 2-2. 利用者支援状況（療護部） … 44 2-3. 利用者支援状況（短期入所） … 47 2-4. ADL状況 … 48 2-5. 食事量形態別食数 … 49 2-6. 院外受診状況表 … 50 2-7. 理学療法実施状況 … 51 2-8. 作業療法実施状況 … 52 2-9. 言語療法実施状況 … 52 2-10. 自助具制作状況 … 52 2-11. 外来患者月別実績表 … 53 3. 在宅福祉サービス事業実績状況 … 53 4-1. 利用者支援状況（障がい福祉サービス） … 54 4-2. 利用者支援状況（障がい児通所支援） … 56 4-3. 利用者支援状況（障がい相談支援） … 58 5. 障がい者生活支援センターみらい実績状況 … 59 6-1. リスクマネジメント報告（更生部・療護部） … 62 6-2. リスクマネジメント報告（福祉サービス・障がい児通所） … 63 2018年度事業計画／実績評価（各課係・各委員会） … 64 【高齢者施設関係】 1. 運営管理 <ul style="list-style-type: none"> 1) 北広島地域福祉センター四恩園基本方針 … 90 北広島団地地域福祉センターともに基本方針 … 96 2) 社会福祉事業 収支決算報告書 … 104 3) 公益事業 収支決算報告書 … 105 4) 2018年度行事のあらまし … 106 5) 職員の状況 … 111 6) 職員研修状況 … 113 7) 実習等（研修生）受入状況 … 118 8) 四恩園施設見学受入状況 … 118 2. 事業実施状況 <ul style="list-style-type: none"> (1) 特養部 … 119 1) 施設サービス利用者状況 … 119 2) 施設サービス行事等実施状況 … 122 3) ボランティア状況 … 123 4) 四恩園面会者数 … 123 5) 家族ボランティア報告 … 124 	<ul style="list-style-type: none"> 3. 在宅福祉サービス事業実績状況 … 125 1) 特養部 … 125 2) 短期入所生活介護利用状況 … 126 3) デイサービスセンター利用状況 … 127 4) デイホームかたる利用状況 … 128 5) デイホームさとみ利用状況 … 129 6) ホームヘルプサービスステーション利用状況（介護保険制度利用） … 130 7) ホームヘルプサービスステーション利用状況（自立支援法） … 131 8) 居宅介護支援事業所利用状況 … 132 9) 訪問看護ステーション利用状況 … 133 10) 複合型サービス利用状況 … 134 11) グループホーム利用状況 … 135 12) サービス付き高齢者向け住宅利用状況 … 136 13) ①北広島市みなみ高齢者支援センター 相談状況・内訳 … 137 ②北広島市みなみ高齢者支援センター 相談実績報告 … 138 14) ① 2018年度 ふれてイベント等報告 … 139 ② 2018年度 ふれて来場者数 … 141 地域交流スペース利用状況 … 142 2018年度事業計画／実績評価（各課・各事業・各委員会） … 143 2018年度高齢者施設リスクマネジメント結果 … 195 リスクマネジメントシート … 197 新リスクマネジメントシート導入に当たって ～目的・定義の確認 … 199
--	--

基本理念

施設の信条 < 信 頼 > < 恕 (思いやり) > < 和 >

北広島リハビリセンターは、「ノーマライゼーションの理念」と「自立支援」を基調とし、施設サービス及び在宅サービスの機能を有効に活用し、お客様本位のサービスの提供により要介護者の「基本的人権」「人間としての尊厳」「自己実現」が保たれ、サービス機能の向上を図り、地域の福祉サービスの拠点として一人一人が生きがいを持ち、心豊かな安心した生活が送れるよう、「生活の質」の充実に努めることを基本理念とします。

基本理念を形骸化させないため、職員は施設の信条と共に次の6項目を実践します。

1. [お客様に喜んでもらえるように]

私たちは、お客様本位のサービス提供を実践し「かかりつけ施設」としての信頼を高め、お客様に喜んでもらえるよう誠心誠意努めます。

1. [お客様の役に立てるように]

私たちは、福祉倫理・知識・技術の修得を怠ること無く、自己啓発に励み、お客様の役に立てるようその向上に努めます。

1. [地域に求められる資源として]

私たちは、サービスが地域の方々の生活を支え、無くてはならない資源として求められるサービスを提供できるようその実践に努めます。

1. [力が出る「ほうれんそう」]

私たちは、お客様の役に立つために、一人一人の力を全体の力とするため報告・連絡・相談を徹底しチームワークの結束に努めます。

1. [地域の資源の活用とつながり]

私たちは、お客様のニーズ充足のために関係機関・職種との連携に努め、地域の資源を活用し必要なサービスの提供に努めます。

1. [信頼は接し方から]

私たちは、「同じ目線の高さ」「さわやかなあいさつと笑顔」「声がけ」「聞き手に回る」お客様との日々の接し方が信頼を生むことを知り、その実践に努めます。

＜2018年度北広島リハビリセンター事業実績＞

2018年度主要課題について

1. 法人を取り巻く情勢と課題

(1) 報酬の同時改定による視点～お客様の全人的理解に基づく支援

改定により、自立支援や重度化防止、地域包括ケアシステムの強化とともに、地域共生社会に向けた社会福祉法人が果たすべき役割や存在意義が問われ、当法人が有する人的資源、多様な福祉サービス機能や各拠点をもつ場を活用し、お客様一人ひとりが「生きる喜びを」感じられる専門的な視点をもって支援してきた。今後も法人の掲げる基本理念、倫理綱領に基づき、お客様の「生きる喜び」につながるサービスの提供に努める。

(2) 人材確保と離職防止に向けて

人材確保に向けては、チラシやホームページを通してこの仕事の魅力ややりがいを発信してきた。募集状況は相変わらず厳しいが、募集案内による応募や職員からの紹介による採用があった。また、北広島市が行う人材確保対策事業への参加や就職準備金などの活用、障がい者施設においては介護職員処遇改善加算の見直しを行い条件面で高齢者施設との共通化を図った。離職防止に向けては、職員面談によるコミュニケーション、働きやすさなどの職場環境作りを進めている。

(3) 社会福祉法人の役割としての地域における公益的な取り組み

法人としての公益的な取り組みは、北広島団地の超高齢化に伴う生活課題の解決とともに歩んできた。「ふれて」「ともに」の市民スタッフの存在や市民スタッフと共に企画する多彩なイベントも突然実現できたものでない。サービスを受ける人とサービスを提供する人という関係ではなく、共に地域が抱える課題を共有し、互いの関係性を日頃から育んでいかなければならない。「我が事」「丸ごと」、地域における生活課題は、私たち法人にとっても重要課題であることを認識し、これからも公益的な取組の在り方を探っていかなければならない。

2. ゆらぐ信頼の再構築に向けて

(1) 責任ある業務の遂行で信頼回復を

虐待事案によって失った信頼の回復に向けて、職員一人ひとりが制度に基づく事業の役割を理解し、お客様に喜んでもらえるサービスを提供できるよう法人内研修（全体研修、階層別研修、専門研修）に取り組んできた。基本理念や虐待防止などの研修に延べ1,537名の職員が参加した。次年度も引き続き基本理念と倫理綱領の実践を研修テーマに据え、サービスの質向上を目指し自らの学びにより知識・技術等を高めていかななくてはならない。

(2) サービスの質のチェックによるサービスの「見える化」

事業者が提供するサービスは、お客様にとって喜んでもらえるものでなくてはならない。お客様アンケートや自己評価は、職員が日々の業務の現状を把握し改善のための課題を明らかにすることができ、その公表はまたお客様へサービスの質の向上に積極的に取り組んでいることをアピールする機会なる。今年度において全ての事業所がお客様アンケートに取り組むことができなかつた。次年度における課題となっている。お客様の意向を汲み取り、お客様に信頼されるサービスの提供に努めるなければならない。

(3)それぞれがリスクを回避しサービス質向上を総力戦で

法人が行う制度内事業は18事業に及ぶ。各事業において起きた苦情・事故の状況は減少していない（高齢者施設では定義の見直しあり）。苦情・事故等が発生した原因を分析し、その要因を減らしていく丁寧な関わりが必要である。お客様の生きづらさや生活を支えるのは、私たち職員一人ひとりの関わりや他職種連携で支えるチームケアである。職員一人ひとりがコミュニケーションをとり、サービス提供中の事故やリスクを回避していかなければならない。

(4)信頼関係強化のためのコミュニケーション

お客様との信頼関係は、私たちの事業において欠くことができない。お客様の役に立つために、職員一人ひとりが報告・連絡・相談も含め、互いにコミュニケーションを図りお客様のニーズに答えていかなければならない。あらゆる機会を通して職員同士の意思疎通等、コミュニケーションを図る場を作りサービスの質向上につなげていく。これからも基本理念、倫理綱領を自覚したサービスの実践に努めていく。

3. 2018年度決算状況概要

2018年度決算における収益状況は法人全体で前期より2.2%の減少となり、人件費率は3.3%上昇した。当年度は介護報酬の改定年度であり、障がい福祉サービス事業0.47%、介護保険事業0.54%として国がプラスの報酬改定を行ってはいるが当法人に関しては改定の影響は少なく、主として利用者稼働率が減少したことがその要因として挙げられる。具体的には障がい者支援施設である更生部の入所支援廃止に向けた取り組みを行っており、利用者現員数を減少させていることによるものである。さらに高齢者施設では特養部入院者数の増加や短期入所受入による補填が厳しいなどの状態が比較的長く続いたこと、ホームヘルプサービス事業における利用稼働率の低下等が起因しているものと考えられる。また経常経費では人件費が増加した実績となっているがその要因としては障がい福祉サービス事業における処遇改善加算をこれまでの特別加算から加算(I)に変更したことで加算額が約6倍弱増加し、人件費に組み込まれたことによるものである。この増加分は収益に含まれていることから実質的なサービス活動による収益は前期と比較してもさらに厳しい結果であると言わざるを得ない状況である。

その他の収益に関する特徴的な所見では9月に発生した震災の影響で一時的に通所系事業等における稼働率が大きく低下したことが挙げられる。

一方で前期と比較し、収益が増加したことや見直しを行ったことで収支差額が増加した事業拠点もみられる状況にある。2015年度開設の地域サポートセンターみなみは年間を通して安定した稼働率で推移している。また2018年度から開始した介護予防日常生活支援総合事業も月を追うごとに利用が増加する傾向となり、収益面でも安定した実績を残している。高齢者施設では複合型サービス、グループホーム、居宅介護支援事業など安定した利用件数、稼働率を維持しながら、運営している状況にある。

法人全体の経常経費は前期と比較し、概ね変動なく推移しており、最終的な決算として資金収支計算上で△23,782千円、事業活動計算上で△17,840千円を計上し、前期より純資産を約1.9%、33,375千円を減少させる実績となっている。次年度では障がい者支援施設の療護部を段階的に定員数の水準に引き上げながら稼働することで安定を図るとともに更生部の減収を補う新規事業への取組も併行して準備することになる。また高齢者施設においても今期の状況を分析しながら、全体的な稼働率の底上げを目標に掲げて、収益の安定と生産性の向上を目指すこととする。

○ 法人役員等名簿

【理事・監事】 < 理事:6名、監事:2名 >

2019年3月31日現在

	役職名	氏名	役員初就任年月日	今期(第22期)任期	備考
1	理事長	三瓶 徹	2000.10.18	2017.6.16～※	代表権有、 2018.8.30理事長就任
2	常務理事	中川 浩一	2016.10.18	2017.6.16～※	
3	理事	中村 琢哉	2010.10.18	2017.6.16～※	
4	理事	石黒 絵里	2010.10.18	2017.6.16～※	
5	理事	對馬 伸泰	2016.10.18	2017.6.16～※	
6	理事	神部 健史	2016.10.18	2017.6.16～※	
1	監事	高 島 徹	2017.4.1	2017.6.16～※	
2	監事	前田 泰則	2016.10.18	2017.6.16～※	

※選任後2年以内に終了する会計年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

【評議員】 < 評議員:8名 >

2019年3月31日現在

	氏名	初就任年月日	今期(第9期)任期	備考
1	安宅 鋭治	2010.4.1	2017.4.1～※	
2	姉崎 重延	2010.10.18	2017.4.1～※	
3	小江 久恵	2008.4.1	2017.4.1～※	
4	河井 芳樹	2017.4.1	2017.4.1～※	
5	酒井 喜代司	2008.4.1	2017.4.1～※	
6	富田 政義	2002.4.1	2017.4.1～※	
7	野村 幸宏	2017.4.1	2017.4.1～※	
8	吉田 俊文	2010.4.1	2017.4.1～※	

※選任後4年以内に終了する会計年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

【評議員選任解任委員】 < 委員5名 >

2019年3月31日現在

	氏名	初就任年月日	今期(第1期)任期	備考
1	高 島 徹	2017.1.12	2017.1.12～ ※	法人 監事
2	前田 泰則	2017.1.12	2017.1.12～ ※	法人 監事
3	市川 茂春	2017.1.12	2017.1.12～ ※	外部 委員
4	三木 千晶	2017.1.12	2017.1.12～ ※	外部 委員
5	齊藤 久男	2017.1.12	2017.1.12～ ※	法人事務局

※選任後4年以内に終了する会計年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

【苦情解決第三者委員】 < 障がい者施設:2名、高齢者施設:2名 >

2019年3月31日現在

	氏名	初就任年月日	今期(第10期)任期	備考
1	桂 靖 恵	2010.4.1	2018.4.1～2020.3.31	障がい者施設担当
2	浅沼 節子	2014.4.1	2018.4.1～2020.3.31	障がい者施設担当
1	島谷 清張	2018.4.1	2018.4.1～2020.3.31	高齢者施設担当
2	藤野 紀代子	2018.4.1	2018.4.1～2020.3.31	高齢者施設担当

2018年度 理事会・評議員会・法人内部監査開催状況

<理事会開催状況>

【第182回理事会】

- 日時 2018年6月6日(水) 15:00～17:10
場所 北広島リハビリセンター 会議室
出席者 三瓶常務理事 中川理事 中村理事 石黒理事 神部理事
高島監事 前田監事 他法人事務局員5名同席
欠席者 長澤理事長 對馬理事
内容 <決議事項>
1. 2017年度事業実績報告の審議について
2. 2017年度法人会計各拠点区分収支予算の補正について
3. 2017年度決算に係る計算書類及び財産目録の審議について
4. 2017年度決算に係る社会福祉充実残額の審議について
5. 2017年度第52回評議員会(定時評議員会)の招集について
6. 障がい福祉サービス事業所における共生事業の申請について
7. 平成30年度北広島市定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業の申請について
<報告事項>
1. 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律による監査(勧告)について
2. 法人監事による内部監査報告について
3. 理事の職務執行状況報告について
4. 平成29年度社会福祉施設に係る指導監査結果等について
5. 2018年度介護職員初任者研修事業の開催について
6. 障がい者施設に係る重油地下タンク設備の更新について
<その他>
1. 次回理事会の開催予定について

【第183回理事会】

- 日時 2018年8月30日(木) 15:00～15:25
場所 北広島リハビリセンター 会議室
出席者 三瓶理事長 中川常務理事 中村理事 石黒理事 對馬理事 神部理事
高島監事 前田監事 他法人事務局員5名同席
欠席者 なし
内容 <選任事項等>
1. 理事長の選任について
2. 診療部院長の就任について
<報告事項>
1. 合同葬の執行結果について
<その他>
1. 次回理事会の開催予定について

【第184回理事会】

- 日時 2018年9月12日(水) 15:00～16:20
場所 北広島リハビリセンター 会議室
出席者 三瓶理事長 中川常務理事 中村理事 石黒理事 對馬理事 神部理事
高島監事 前田監事 他法人事務局員5名同席
欠席者 なし
内容 <決議事項>
1. 定款細則の一部変更について
2. 法人本部規程の一部改正について
3. 就業規則の一部改正について
4. 給与規程の一部改正について
5. 役員等報酬規程の一部改正について
6. 2018年度法人会計各拠点区分収支予算の補正について
7. 2018年度第53回評議員会の招集について
<報告事項>
1. 北海道胆振東部地震に伴う状況とその対応について
2. 法人監事による内部監査報告について
3. 理事の職務執行状況報告について

4. 障がい者施設の今後の運営体制について
5. 平成30年度北広島市定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業について
6. 平成30年7月豪雨の義援金募集について
7. 平成30年度介護保険施設等の実地指導結果について

<その他>

1. 平成30年度社会福祉施設に係る指導監査並びに障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律による実地指導について
2. 次回理事会の開催予定について

【第185回理事会】

日時 2018年12月5日(水) 16:00～17:30

場所 京王プラザホテル札幌 3階 笛の間

出席者 三瓶理事長 中川常務理事 石黒理事 對馬理事 神部理事
高島監事 前田監事 他法人事務局員5名同席

欠席者 中村理事

内容 <決議事項>

1. 北広島リハビリセンター更生部の定員変更について
2. 管理規則の一部改正について
3. 2018年度第54回評議員会の招集について
4. 障がい者施設の非常用自家発電機の改修について

<報告事項>

1. 法人監事による内部監査報告について
2. 理事の職務執行状況報告について
3. 北海道胆振東部地震の被災地に対する支援活動状況について
4. 北海道胆振東部地震の義援金募集について
5. 平成30年度北広島市定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業の選考結果と設備導入に伴う契約方法等について
6. 平成30年度社会福祉施設に係る指導監査並びに障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律による実地指導結果について
7. 老人福祉法及び介護保険法による実地指導について(特養部・短期入所)

<その他>

1. 次回理事会の開催予定について

【第186回理事会】

日時 2019年3月13日(水) 15:00～17:30

場所 北広島リハビリセンター 会議室

出席者 三瓶理事長 中川常務理事 中村理事 石黒理事 對馬理事 神部理事
高島監事 前田監事 他法人事務局員5名同席

内容 <決議事項>

1. 介護福祉士資格取得支援制度運用規程の制定について
2. 法人本部規程の一部改正について
3. 給与規程の一部改正について
4. 地域サポートセンターみなみの相談支援体制の変更について
5. 地域サポートセンターみなみに係る共生事業の指定申請について
6. 地域支援の拠点に向けた土地・建物の取得について
7. 2018年度第55回評議員会の招集について
8. 2018年度法人会計各拠点区分収支補正予算案の審議について
9. 星槎道都大学との連携について
10. 2019年度介護職員初任者研修事業について
11. 第2期各事業3ヶ年アクションプランの策定について
12. 2019年度事業計画の審議について
13. 2019年度法人会計各拠点区分収支予算案の審議について

<報告事項>

1. 法人監事による内部監査報告について
2. 理事の職務執行状況報告について
3. 老人福祉法及び介護保険法による実地指導結果について(特養部・短期入所)
4. 居宅介護支援事業所の実地指導について
5. デイホームかたるの実地指導について
6. みなみ高齢者支援センターの実地指導について
7. 処遇改善加算の申請について
8. 2019年度長期勤続職員の表彰について

<その他>

1. 次回理事会の開催予定について

<評議員会開催状況>

【第52回評議員会】

日時 2018年6月21日(木) 15:00～17:00
場所 地域サポートセンターともに 活動室
出席者 安宅評議員 姉崎評議員 小江評議員 河井評議員 酒井評議員 富田評議員
野村評議員 吉田評議員
三瓶常務理事 中川理事 神部理事 他法人事務局員5名同席
欠席者 なし
内容 <決議事項>
1. 2017年度事業実績報告の審議について
2. 2017年度法人会計各拠点区分収支予算の補正について
3. 2017年度決算に係る計算書類及び財産目録の審議について
4. 2017年度決算に係る社会福祉充実残額の審議について
5. 障がい福祉サービス事業所における共生事業の申請について
6. 平成30年度北広島市定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業の申請について
<報告事項>
1. 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律による監査(勧告)について
2. 理事の職務執行状況報告について
3. 平成29年度社会福祉施設に係る指導監査結果等について
4. 2018年度介護職員初任者研修事業の開催について
5. 障がい者施設に係る重油地下タンク設備の更新について
<その他>
1. 次回評議員会の開催予定について

【第53回評議員会】

日時 2018年10月4日(木) 15:00～16:30
場所 地域サポートセンターともに 活動室
出席者 安宅評議員 姉崎評議員 小江評議員 酒井評議員 富田評議員 野村評議員
吉田評議員
三瓶理事長 中川常務理事 神部理事 他法人事務局員5名同席
欠席者 河井評議員
内容 <決議事項>
1. 定款細則の一部変更について
2. 法人本部規程の一部改正について
3. 就業規則の一部改正について
4. 給与規程の一部改正について
5. 役員等報酬規程の一部改正について
6. 2018年度法人会計各拠点区分収支予算の補正について
<報告事項>
1. 新理事長の就任について
2. 診療部院長の就任について
3. 合同葬の執行結果について
4. 北海道胆振東部地震に伴う状況とその対応について
5. 理事の職務執行状況報告について
6. 障がい者施設の今後の運営体制について
7. 平成30年度北広島市定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業について
8. 平成30年7月豪雨の義援金募集について
9. 平成30年度介護保険施設等の実地指導結果について
10. 平成30年度社会福祉施設に係る指導監査並びに障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律による実地指導について
<その他>
1. 次回評議員会の開催予定について

【第54回評議員会】

日時 2018年12月20日(木) 15:00～16:00
場所 地域サポートセンターともに 活動室
出席者 安宅評議員 姉崎評議員 小江評議員 河井評議員 酒井評議員 富田評議員
野村評議員 吉田評議員
三瓶理事長 中川常務理事 神部理事 他法人事務局員5名同席
欠席者 なし

内 容 <決議事項>

1. 北広島リハビリセンター更生部の定員変更について
2. 管理規則の一部改正について
3. 障がい者施設の非常用自家発電機の改修について

<報告事項>

1. 理事の職務執行状況報告について
2. 北海道胆振東部地震の被災地に対する支援活動状況について
3. 北海道胆振東部地震の義援金募集について
4. 平成30年度北広島市定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業の選考結果と設備導入に伴う契約方法等について
5. 平成30年度社会福祉施設に係る指導監査並びに障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律による実地指導結果について
6. 老人福祉法及び介護保険法による実地指導について(特養部・短期入所)

<その他>

1. 次回評議員会の開催予定について

【第55回評議員会】

日 時 2019年3月28日(木) 15:00~17:20

場 所 地域サポートセンターともに 活動室

出席者 安宅評議員 姉崎評議員 小江評議員 河井評議員 酒井評議員 富田評議員

野村評議員 吉田評議員

三瓶理事長 中川常務理事 神部理事 他法人事務局員5名同席

欠席者 なし

内 容 <決議事項>

1. 介護福祉士資格取得支援制度運用規程の制定について
2. 法人本部規程の一部改正について
3. 給与規程の一部改正について
4. 地域サポートセンターみなみの相談支援体制の変更について
5. 地域サポートセンターみなみに係る共生事業の指定申請について
6. 地域支援の拠点に向けた土地・建物の取得について
7. 2018年度法人会計各拠点区分収支補正予算案の審議について
8. 星槎道都大学との連携について
9. 2019年度介護職員初任者研修事業について
10. 第2期各事業3ヶ年アクションプランの策定について
11. 2019年度事業計画の審議について
12. 2019年度法人会計各拠点区分収支予算案の審議について

<報告事項>

1. 理事の職務執行状況報告について
2. 老人福祉法及び介護保険法による実地指導結果について(特養部・短期入所)
3. 居宅介護支援事業所の実地指導について
4. デイホームかたるの実地指導について
5. みなみ高齢者支援センターの実地指導について
6. 処遇改善加算の申請について
7. 2019年度長期勤続職員の表彰について

<その他>

1. 次回評議員会の開催予定について

<法人内部監査開催状況>

【第179回法人内部監査】

日時 2018年5月24日(木) 14:00 ~ 16:50
場所 北広島リハビリセンター 会議室
出席者 高島監事 前田監事
立会者 三瓶常務理事 中川理事 神部理事 他法人事務局員5名同席
欠席者 なし
内容 ①第182回理事会の議案内容確認
②理事・評議員の職務執行状況
③2017年度事業実績状況
④法人・施設運営及び管理状況(利用者処遇他)
⑤法令・定款・諸規程の整備及び遵守状況
⑥2017年度決算状況(計算書類・附属明細書・社会福祉充実残額他)
⑦会計処理状況(会計伝票、総勘定元帳、現金預金出納帳)
⑧現金預金及び積立預金残高、固定資産残高の確認他
⑨各種証憑書類等の精査及び照合他
⑩利用者預り金の管理状況(残高、出納、記帳)

【第180回法人内部監査】

日時 2018年9月4日(木) 14:00 ~ 16:30
場所 北広島リハビリセンター 会議室
出席者 高島監事 前田監事
立会者 三瓶理事長 中川常務理事 神部理事 他法人事務局員4名同席
欠席者 なし
内容 ①第184回理事会の議案内容確認
②理事・評議員の職務執行状況
③障がい者施設の現状及び今後の運営体制
④所轄庁・実施機関等の指導監査、実地指導の状況
⑤法人・施設運営及び管理状況(利用者処遇他)
⑥法令・定款・諸規程の整備及び遵守状況
⑦会計処理状況(会計伝票、総勘定元帳、現金預金出納帳)
⑧現金預金及び積立預金残高、固定資産残高の確認他
⑨各種証憑書類等の精査及び照合他
⑩利用者預り金の管理状況(残高、出納、記帳)

【第181回法人内部監査】

日時 2018年11月27日(火) 14:00~16:40
場所 北広島リハビリセンター 会議室
出席者 高島監事 前田監事
立会者 三瓶理事長 中川常務理事 神部理事 他法人事務局員4名同席
欠席者 なし
内容 ①第185回理事会の議案内容確認
②理事・評議員の職務執行状況
③北海道胆振東部地震に伴う各事業拠点の状況と今後の対応
④所轄庁・実施機関等の指導監査、実地指導結果
⑤法人・施設運営及び管理状況(利用者処遇他)
⑥法令・定款・諸規程の整備及び遵守状況
⑦上半期における収支状況の精査
⑧会計処理状況(会計伝票、総勘定元帳、現金預金出納帳)
⑨現金預金及び積立預金残高、固定資産残高の確認他
⑩各種証憑書類等の精査及び照合他
⑪利用者預り金の管理状況(残高、出納、記帳)

【第 182 回法人内部監査】

日 時 2019年3月5日(火) 14:00～16:50
場 所 北広島リハビリセンター 会議室
出席者 高島監事 前田監事
立会者 三瓶理事長 中川常務理事 神部理事 他法人事務局員5名同席
欠席者 なし
内 容 ①第 186 回理事会の議案内容確認
②理事・評議員の職務執行状況
③2019 年度新規事業に係る取組状況 (指定申請、不動産取得他)
④所轄庁・実施機関等の指導監査、実地指導結果
⑤法人・施設運営及び管理状況(利用者処遇他)
⑥法令・定款・諸規程の整備及び遵守状況
⑦2018 年度決算見込及び 2019 年度当初予算の状況
⑧会計処理状況(会計伝票、総勘定元帳、現金預金出納帳)
⑨現金預金及び積立預金残高、固定資産残高の確認他
⑩各種証憑書類等の精査及び照合他
⑪利用者預り金の管理状況(残高、出納、記帳)

経営委員会（経営会議）開催状況 2018 年度実績

日 時	議 題
<p>2018 年 4 月 25 日(水) 11:00～12:50 出席者 5名 欠席者 1名</p>	<p><検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 企業主導型保育事業について 3. 人材確保・職員育成に向けたアンケート調査結果について 4. 2018 年度法人研修（案）について 5. 職員食事交流会の開催について <報告事項> 1. リクナビによる「2019 年度卒業者向け就職説明会」の実施について 2. 新規採用職員研修会について 3. 2018 年度介護職員初任者研修について 4. 在籍状況について 5. 各サービス事業所の動向と課題 6. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況</p>
<p>2018 年 5 月 22 日(水) 11:00～12:10 出席者 6名 欠席者 0名</p>	<p><検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 障がい者施設の今後の施設運営に関する説明会の開催について 3. 職員親睦交流会の開催について 4. 障がい児領域キャンプ事業への協力について <報告事項> 1. 2018 年度介護職員初任者研修の開催について 2. 2018 年度フクシのお仕事合同相談会について 3. 人事等について 4. 在籍状況について 5. 各サービス事業の動向と課題 6. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況 <その他> 1. 各事業における収入について 2. 企業型保育事業の経過報告について</p>
<p>2018 年 6 月 25 日(水) 11:00～12:15 出席者 5名 欠席者 1名</p>	<p><検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 障がい者施設の今後の施設運営に関する説明会の開催について <報告事項> 1. 2018 年度法人研修について 2. 介護員養成研修（旧介護職員初任者研修）について 3. 法人による介護福祉士資格取得の支援について 4. リハビリセンター夏祭りについて 5. 市内各住区夏祭りの予定 6. 人事等について 7. 在籍状況について 8. 各サービス事業の動向と課題 9. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況</p>
<p>2018 年 7 月 25 日(水) 10:30～12:30 出席者 5名 欠席者 1名</p>	<p><検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 受動喫煙防止法に向けた取り組みについて 3. 次期（2期）3ヶ年アクションプラン策定に向けたスケジュールについて 4. 8 月拠点合同施設長会の検討項目について 5. 職員募集について 6. 法人による介護福祉士資格取得の支援について（案） 7. 平成 30 年年 7 月豪雨の義援金の募集について <報告事項> 1. 介護員養成研修（旧介護職員初任者研修）について 2. 法人研修について 3. 2018 年度介護職員初任者研修について 4. 看護師夜勤体制変更について 5. 人事等について 6. 在籍状況について 7. 各サービス事業所の動向と課題 8. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況</p>

日 時	議 題
<p>2018年8月29日(水) 13:00~14:45 出席者 5名 欠席者 0名</p>	<p><検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 法人による介護福祉士資格取得の支援について 3. 投薬の院内外処方について 4. 平成30年7月豪雨の義援金の募集結果と送金額について <報告事項> 1. 理事長逝去に伴う合同葬の執行結果について 2. 法人研修について 3. みなみ祭について 4. リスクマネジメントシートの見直しについて 5. 在籍状況について 6. 各サービス事業の動向と課題 7. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況</p>
<p>2018年9月25日(水) 17:00~18:30 出席者 5名 欠席者 0名</p>	<p><検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 胆振東部地震救援活動に伴う職員派遣について 3. 北海道厚真福祉会施設入居者の受け入れについて <報告事項> 1. 2018年度法人研修について 2. 地域における公益的な取り組みについて 3. 石狩振興局による実地指導・指導監査について 4. 在籍状況について 5. 各サービス事業の動向と課題 6. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況 <その他> 1. 胆振東部地震による影響について 2. 札幌圏域の法人による合同セミナーについて 3. 地震による転倒防止策について</p>
<p>2018年10月24日(水) 10:30~11:45 出席者 5名 欠席者 0名</p>	<p><検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 北海道厚真福祉会、施設入居者の受入れについて 3. 北海道胆振東部地震義援金について 4. 北海道最低賃金改定に伴う対応について 5. 投薬の院外処方に対する対応について 6. 緊急やむを得ない身体拘束の適正化指針について <報告事項> 1. 定期巡回型随時対応型訪問介護看護事業開設予定者決定について 2. 法人研修について 3. ショートステイ四恩園日曜送迎の廃止について 4. 障がい者施設非常用自家用発電機の改修について 5. 地域における公益的取組について 6. デイホームさとみ運営推進会議について 7. 人事等について 8. 各サービス事業所の動向と課題 9. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況 <その他> 1. 経営委員会構成メンバーについて</p>
<p>2018年11月28日(水) 17:00~18:30 出席者 5名 欠席者 0名</p>	<p><検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 更生部定員数の変更について 3. 期末手当の支給について 4. 北海道厚真福祉会 施設入所者の受け入れについて 5. 胆振東部地震義援金募集結果と送金額について <報告事項> 1. 求人広告について 2. 2018年度法人研修について 3. 人事等について 4. 石狩振興局による指導監査・実地指導結果について 5. 各サービス事業の動向と課題 6. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況</p>

日 時	議 題
2018年12月26日(水) 10:30～12:40 出席者 7名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 第2期3ヶ年アクションプラン(2019～2021年度)について 3. 処遇改善加算の見直しについて 4. 新天皇即位による休日の取り扱いについて 5. 人材確保に向けた取り組みについて <報告事項> 1. 法人研修について 2. インフルエンザワクチンの接種状況と罹患状況について 3. 職員採用時健康診断について 4. 北海道胆振東部地震の対応について 5. 実地指導結果と今後の予定について 6. 各サービス事業の動向と課題 7. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況
2019年1月23日(水) 11:00～12:30 出席者 7名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会の発足について 3. 計画相談支援の体制変更について 4. 障がい福祉サービス事業所の共生事業について 5. 介護職員資格取得のための助成制度について <報告事項> 1. 北海道胆振東部地震の対応について 2. 法人研修について 3. 人材育成システム推進プロジェクト後期考課者研修の実施について 4. インフルエンザ罹患状況について 5. 人事等について 6. 各サービス事業所の動向と課題 7. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況
2019年2月20日(水) 13:30～15:05 出席者 7名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 法人プロジェクト進捗状況について 3. 各種委員会の再編について 4. 介護福祉士資格取得支援制度について 5. 2018年度処遇改善支給額について <報告事項> 1. 法人研修について 2. 地域交流活動について 3. 人事等について 4. 各サービス事業の動向と課題 5. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況
2019年3月27日(水) 10:30～12:30 出席者 7名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業プロジェクトの進捗状況について 3. 社会福祉法人北海長正会キャリアパス要件一覧について 4. 2019年度各種委員会について 5. 資格手当(支給基準)について 6. 星槎道都大学との連携について 7. 有給休暇取得について 8. 法人研修(階層別研修)の開催について <報告事項> 1. グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況について 2. 法人研修について 3. 更生部介護課の勤務体制の変更について 4. 北広島市介護予防・日常生活支援事業について 5. 人事等について 6. 各サービス事業の動向と課題 7. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況

運営委員会（幹部会議）開催状況 2018 年度実績

日 時	議 題
2018 年 4 月 27 日 (金) 9 : 30 ~ 10 : 45 出席者 13 名 欠席者 2 名	<議題> 1. 財務等の報告について 2. 企業主導型保育事業の検討について 3. 障がい者施設更生部廃止に向けた取り組みについて 4. 介護職員初任者研修について 5. 2018 年度法人研修（案）について 6. 各事業の利用状況と動向について 7. 職員食事交流会の開催について
2018 年 5 月 25 日 (金) 9 : 30 ~ 11 : 10 出席者 15 名 欠席者 0 名	<議題> 1. 財務等の報告について 2. 今後の障がい者施設運営に関する説明会の開催について 3. 障害児療育キャンプ事業（北広島市社会福祉協議会主催）への協力について 4. 2018 年度法人研修事業について 5. 2018 年度フクシのお仕事合同説明会について 6. 地域における公益的な取り組みの運用の弾力化について 7. 各事業の利用状況と動向について
2018 年 6 月 28 日 (金) 9 : 30 ~ 11 : 00 出席者 13 名 欠席者 2 名	<議題> 1. 財務等の報告について 2. 今後の障がい者施設運営に関する説明会の開催について 3. 地域公益活動の道内における広域的な取り組みへの参加について 4. 2018 年度法人研修について 5. 介護員養成研修（旧介護職員初任者研修）について 6. 各事業の利用状況と動向について 7. 情報提供
2018 年 7 月 27 日 (金) 9 : 30 ~ 10 : 40 出席者 15 名 欠席者 0 名	<議題> 1. 財務等の報告について 2. 受動喫煙防止法（2019 年夏）に向けた取り組みについて 3. 次期（2 期）3 ヶ年アクションプラン策定に向けたスケジュールについて 4. 8 月拠点合同施設長会議の検討事項について 5. 職員募集について 6. 法人による介護福祉士資格取得の支援について 7. 平成 30 年 7 月豪雨の義援金募集について 8. 法人研修について 9. 各事業の利用状況と動向について 10. 介護人材確保に向けた取り組みについて
2018 年 8 月 31 日 (金) 9 : 30 ~ 11 : 00 出席者 16 名 欠席者 0 名	<議題> 1. 財務等の報告について 2. 法人による介護福祉士資格取得の支援について 3. 投薬の院内外処方について 4. 平成 30 年 7 月豪雨の義援金募集結果と送金額について 5. 故長澤邦雄前理事長の合同葬の執行結果について 6. 各事業の利用状況と動向について 7. 長澤邦雄前理事長ご逝去に伴う法人人事について
2018 年 9 月 28 日 (金) 9 : 30 ~ 11 : 00 出席者 15 名 欠席者 1 名	<議題> 1. 財務等の報告について 2. 胆振東部地震による災害に伴う対応について 3. 各事業の利用状況と動向について 4. 2018 年度法人研修について 5. 胆振東部地震に伴う影響について 6. 障がい者施設の実地指導・指導監査について 7. 合同セミナーの開催について

日 時	議 題
2018年10月26日(金) 9:30~10:30 出席者 15名 欠席者 1名	<議題> 1. 財務等の報告について 2. 北海道厚真福祉施設入居者の受け入れについて 3. 胆振東部地震義援金について 4. 北海道最低賃金改定に伴う改定について 5. 投葉の院外処方に対する対応について 6. 緊急やむを得ない身体拘束の適正化指針について 7. ショートステイ四恩園の日曜送迎の廃止について 8. 平成30年度地域密着型サービス事業者の選考結果について 9. 法人研修について 10. 石狩振興局・北広島市による実地指導について（高齢者施設） 11. 各事業の利用状況と動向について
2018年11月30日(金) 9:30~11:00 出席者 16名 欠席者 0名	<議題> 1. 財務等の報告について 2. 更生部定数変更について 3. 期末手当について 4. 胆振東部地震義援金募集結果と送金額について 5. 障がい者施設の非常用発電機の改修工事について 6. 法人研修について 7. 人事について 8. 石狩振興局による指導監査・実地指導結果について（障がい者施設） 9. 各事業の利用状況と動向について
2018年12月27日(木) 9:30~11:10 出席者 14名 欠席者 2名	<議題> 1. 財務等の報告について 2. 処遇改善加算の見直しについて 3. 新天皇即位に伴う対応について 4. 人材確保に向けた取り組みについて 5. インフルエンザワクチンの接種状況と罹患状況について 6. 胆振東部地震に伴う影響と今後の対応について 7. 高齢者施設の実地指導結果と今後の予定について 8. 事業の利用状況と動向について
2019年1月25日(金) 9:30~10:50 出席者 16名 欠席者 0名	<議題> 1. 財務等の報告について 2. グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会の発足について 3. 計画相談支援の体制変更について 4. 障がい福祉サービス事業所の共生事業について 5. 介護職員資格取得のための助成制度について 6. 第2期3ヶ年アクションプラン2019年度事業計画ヒアリングの実施について 7. 北海道胆振東部地震の対応について 8. 法人研修について 9. 人材育成システム推進プロジェクト2018年度後期考課者研修の実施について 10. インフルエンザ罹患状況について 11. 各事業の利用状況と動向について
2019年2月22日(金) 9:30~11:00 出席者 15名 欠席者 1名	<議題> 1. 財務等の報告について 2. 各種委員会の再編について 3. 介護福祉士資格取得支援制度について 4. 2018年度処遇改善加算支給額について 5. 法人研修について 6. 人事等について 7. 各事業の利用状況と動向について
2019年3月29日(金) 9:30~11:00 出席者 15名 欠席者 1名	<議題> 1. 財務等の報告について 2. 2019年度各種委員会について 3. 資格手当（支給基準）について 4. 星槎道都大学との連携について 5. 有給休暇取得について 6. 更生部介護課の勤務体制の変更について（障がい者施設） 7. 北広島市介護予防・日常生活支援事業について（障がい者施設） 8. 事業の利用状況と動向について

拠点合同施設長会 開催状況 2018 年度実績

日 時	議 題
<p>2018 年 8 月 29 日 (水) 15 : 00 ~ 16 : 30 出席者 7 名 欠席者 0 名</p>	<p><検討事項> 1. 防災対策について 1) 避難訓練の実施状況と課題 ・各拠点毎に年 2 回実施している。 ・「ふれて」「ともに」では、市民スタッフ・地域住民との合同訓練を実施 2) 消防計画書に基づく備蓄などの確認 ・各拠点毎に法人が備える食糧・水・備品等を備蓄している。加えて、北広島市の福祉避難所としての役割を担っていることから、同市による備蓄品もある。 2. 環境整備について 1) 環境美化の現状と課題 ・屋内のワックスがけ、屋外のガラス清掃などは職員を主に行っている。 ・花壇整備は利用者家族、ボランティア、市民スタッフの力を借りている拠点もある。 3. 地域との連携について ・町内会行事（清掃・お祭り）への参加。 ・地域交流の場としてのスペースの提供、ふれて、ともにでは地域住民によるイベントが企画され、利用者との交流が行われている。 4. 受動喫煙防止法に向けた取り組みについての課題 ・2019 年 4 月から法人敷地内全面禁煙を施行する。 ・利用者の喫煙状況により、分煙にむけた喫煙室の検討を行っている。 5. その他 ・車両管理（車両の傷みと維持管理）と運行管理の一本化について ・児童の来所に伴う駐輪場所の確保について ・共生型事業開始に向けての進捗状況</p>
<p>2019 年 2 月 20 日 (水) 11 : 00 ~ 12 : 10 出席者 6 名 欠席者 1 名</p>	<p><検討事項> 1. 施設整備等の管理（更新）と課題について ・建物の老朽化に伴う修繕、外壁補修、外構修繕（アスファルト補修、未舗装部分の改善）、予算外備品、パソコン更新等が挙げられる。 2. 除雪対応の状況と課題について ・今シーズンは積雪量が少ないことから、例年ほど大きな問題はない。 ・業者に除雪業務を一部委託している拠点については、除雪時間を変更してもらうことで問題が解消された。 ・住民の協力を得ている（さとみ） ・駐車スペースの制限から積雪量の状況をみて排雪を行っている（ふれて） 3. 地域との連携について ・地域の生活課題を解決するワークショップの開催、地域住民を対象としたミニ講座の開催、町内会行事への参加、喫茶を通じての地域住民との交流 ・子供食堂、心結カフェ（月 1 回）の開催（ふれて） ・日本ハム子供スポーツ教室の開催（ともに） 4. その他 ・みなみ指定相談事業、みらい委託相談事業の一本化について ・共生型事業開始に向けての進捗状況</p>

2018年度資金収支決算報告書

(自)2018年4月1日 (至)2019年3月31日

No.1

<障がい者施設> ※繰入金収支の内部取引を含む

(単位 円)

拠点区分		法人本部	更生部	療養部	生活支援	診療部	小計 ①	備考	
事業活動による収入	介護保険事業収入	0	0	0	0	8,018,126	8,018,126	施設・居宅・地域密着型サービス等介護給付費	
	障害福祉サービス事業収入	0	184,341,832	379,833,133	28,325,440	0	592,500,405	生活介護・自立訓練・入所支援・居宅介護給付費	
	老人福祉事業収入	0	0	0	0	0	0	サービス付き高齢者向け住宅家賃・管理費・食費他	
	医療事業収入	0	0	0	0	29,198,641	29,198,641	外来診療・訪問介護療養費・予防接種委託事業費	
	その他の事業収入	2,517,400	87,909	1,435,817	427,500	399,492	4,868,118	北広島市委託事業費	
	研修事業収入	0	0	0	0	0	0	介護職員初任者研修事業受講料	
	経常経費寄附金収入	1,620,000	112,950	40,000	0	0	1,772,950	法人及び施設寄附金、寄附物品	
	受取利息配当金収入	405	683	2,930	30	44	4,092	預金利息	
	その他の収入	113,676	1,482,102	3,006,375	0	1,280,313	5,882,466	実習費、食費(利用者以外)、雑収入他	
	事業活動収入 計 ①	4,251,481	186,025,476	384,318,255	28,752,970	38,896,616	642,244,798		
	人件費支出	役員報酬支出	1,800,589	0	0	0	0	1,800,589	職員給与、諸手当
		職員給与支出	6,924,712	79,011,132	175,562,106	17,387,790	8,364,594	287,250,334	職員給与、諸手当
職員賞与支出		1,853,000	22,189,133	52,184,753	3,346,350	2,683,000	82,256,236	職員期末手当	
非常勤職員給与支出		0	26,259,319	35,712,850	64,000	5,307,694	67,343,863	臨時職員等賃金	
派遣職員費支出		0	0	591,761	0	0	591,761	派遣職員委託費	
退職給付支出		44,500	7,369,738	5,710,391	133,500	4,825,555	18,083,684	退職共済掛金	
法定福利費支出		1,234,732	17,649,894	37,741,384	3,335,502	2,127,477	62,088,989	社会保険料事業主負担額	
人件費 小計 A		11,857,533	152,479,216	307,503,245	24,267,142	23,308,320	519,415,456		
事業活動による支出		給食費支出	0	13,721,056	21,129,810	0	0	34,850,866	利用者給食材料
		介護用品費支出	0	311,628	1,080,580	0	0	1,392,208	利用者直接処遇介護用品購入費
		医薬品費支出	0	0	0	0	9,007,572	9,007,572	診療用医薬品購入費
		診療・療養等材料費支出	0	0	0	0	710,182	710,182	診療用消耗品等購入費
	保健衛生費支出	0	116,698	190,002	0	0	306,700	利用者健診費	
	医療費支出	0	580	26,426	0	0	27,006	利用者医療機関診療費	
	被服費支出	0	1,077,770	2,195,973	0	0	3,273,743	利用者衣類・寝具等購入費	
	教養娯楽費支出	0	159,670	767,490	0	0	927,160	利用者行事、レクリエーション等開催諸経費他	
	日用品費支出	0	0	0	0	0	0	利用者現物給付日用品	
	水道光熱費支出	0	7,529,024	15,058,067	240,000	941,175	23,768,266	電気・ガス・水道料	
	燃料費支出	0	5,828,786	11,622,046	0	726,388	18,177,220	重油、灯油代	
	消耗器具備品費支出	132,164	438,629	2,028,632	1,596	174,222	2,775,243	利用者直接処遇消耗品、備品購入費	
事務費支出	保険料支出	0	0	0	0	0	0	利用者損害保険料	
	賃借料支出	0	894,840	1,074,516	675,236	511,515	3,156,107	利用者処遇用器具・備品等リース料	
	葬祭費支出	0	0	0	0	0	0	利用者葬祭費	
	車輦費支出	0	474,254	2,149,627	306,606	51,055	2,981,542	車輦燃料費、車輦検査費等	
	業務委託費支出	270,000	0	0	0	0	270,000	サービス付き高齢者向け住宅管理費返還	
	諸謝金支出	0	0	50,000	0	0	50,000	職員紹介謝礼	
	検査費支出	0	0	0	0	1,603,364	1,603,364	診療用検査費	
	雑支出	14,460	255,643	280,309	1,200	86,380	637,992	その他の事業費支出	
	事業費支出 小計 B	416,624	30,808,578	57,653,478	1,224,638	13,811,853	103,915,171		
	福利厚生費支出	3,735,848	670,515	1,166,103	69,626	63,298	5,705,390	職員検診、福利事業諸費他	
	職員被服費支出	0	137,610	407,836	0	27,559	573,005	職員貸与制服、作業衣等購入費	
	旅費交通費支出	213,460	105,000	140,470	63,340	3,840	526,110	旅費、日当、外勤手当	
研修研究費支出	410,823	157,300	423,582	182,940	26,020	1,200,665	研修会参加費		
事務消耗品費支出	434,182	182,960	713,312	42,208	112,548	1,485,210	事務用品購入費		
印刷製本費支出	198,113	10,108	1,435,780	161,825	40,824	1,846,650	印刷物作成費・製本費		
水道光熱費支出	0	0	0	0	0	0	電気・ガス・水道料		
燃料費支出	0	0	0	0	0	0	重油、灯油代		
修繕費支出	59,456	338,793	4,176,868	0	220,860	4,795,977	建物・器具備品等修理費		
通信運搬費支出	68,604	603,923	479,645	526,084	38,140	1,716,396	電話・FAX・切手・各種発送費		
会議費支出	0	0	0	0	0	0	会議用茶菓子・食糧費		
広報費支出	76,680	185,661	211,615	0	0	473,956	広告折込料、チラシ、広報誌作成他		
業務委託費支出	1,924,560	717,649	1,457,042	0	114,048	4,213,299	清掃・洗濯・警備・除雪等委託費		
手数料支出	122,188	132,599	202,303	10,242	5,724	473,056	振込料・申請手数料・各種代行手数料他		
保険料支出	238,106	297,213	621,588	102,887	16,622	1,276,416	建物・設備損害保険料、職員損害保険料		
賃借料支出	324,200	0	690,054	0	463,104	1,477,358	器具備品等リース料		
土地・建物賃借料支出	0	0	0	360,000	0	360,000	土地及び建物等借入金		
租税公課支出	36,300	23,300	126,400	19,800	46,600	252,400	印紙、自動車税他		
保守料支出	0	1,706,640	3,006,006	27,216	600,212	5,340,074	建物及び各種機器等保守・点検料		
渉外費支出	467,540	125,000	200,400	36,740	55,000	884,680	慶弔費、創設記念費等		
諸会費支出	131,000	191,600	243,500	500	229,000	795,600	各種団体加盟会費・負担金		
雑支出	3,204,004	23,797	1,079,221	5,368	552,356	4,864,746	その他の事務費支出		
事務費支出 小計 C	11,645,064	5,609,668	16,781,725	1,608,776	2,615,755	38,260,988			
利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	介護保険施設職員負担軽減額		
支払利息支出	96,402	316,152	613,700	36,688	0	1,062,942	借入金利息、リース債務利息		
その他の支出	0	0	0	0	0	0	利用者等外給食費他		
流動資産評価減等による資金減少額	0	0	0	0	0	0	利用者負担金徴収不能額		
事業活動資金収支差額 計 ②	24,015,623	189,213,614	382,552,148	27,137,244	39,735,928	662,654,557			
施設整備等による収入	0	0	0	0	0	0	建物新築、改修等補助金		
施設整備等寄附金収入	0	0	0	0	0	0	建物新築、改修等寄附金		
施設整備借入金収入	0	0	0	0	0	0	建物新築、改修等資金借入金		
固定資産売却収入	0	0	15,000	0	0	15,000			
施設整備等収入 計 ④	0	0	15,000	0	0	15,000			
施設整備等による支出	0	1,876,800	3,643,200	0	0	5,520,000	福祉医療機構・銀行借入金元金返済		
設備資金借入金元金償還支出	0	1,392,659	2,974,641	0	0	4,367,300	固定資産新規取得額		
固定資産売却・廃棄支出	0	0	0	0	0	0	固定資産廃棄処分額		
ファイナンス・リース債務の返済支出	0	745,488	1,446,609	639,824	0	2,831,921	パソコン他設備機器リース元金返済		
施設整備等支出 計 ⑤	0	4,014,947	8,064,450	639,824	0	12,719,221			
施設整備等資金収支差額 計 ⑥ (④-⑤)	0	△ 4,014,947	△ 8,049,450	△ 639,824	0	△ 12,704,221			
その他の活動収入	0	0	0	0	0	0	退職共済出資金、各種積立金取崩額		
積立資産取崩収入	100	5,435,631	3,019,051	0	4,539,250	12,994,032	退職共済出資金、各種積立金取崩額		
事業区分間繰入金収入	3,260,000	0	0	0	0	3,260,000	事業区分間の資金繰入額(内部取引)		
拠点区分間繰入金収入	17,760,000	0	0	0	0	17,760,000	拠点区分間の資金繰入額(内部取引)		
その他の活動による収入	0	0	0	0	0	0	長期預り金収入(入居者敷金)		
その他の活動収入 計 ⑦	21,020,100	5,435,631	3,019,051	0	4,539,250	34,014,032			
その他の活動による支出	4,992,000	0	0	0	0	4,992,000	退職共済出資金、各種積立金積立額		
積立資産支出	190,140	2,681,000	5,940,665	540,120	374,340	9,726,265	退職共済出資金、各種積立金積立額		
事業区分間繰入金支出	0	0	0	0	630,000	630,000	事業区分間の資金繰入額(内部取引)		
拠点区分間繰入金支出	0	2,400,000	4,330,000	420,000	0	7,150,000	拠点区分間の資金繰入額(内部取引)		
その他の活動による支出	0	0	0	0	511,920	511,920			
その他の活動支出 計 ⑧	5,182,140	5,081,000	10,270,665	960,120	1,516,260	23,010,185			
その他の活動資金収支差額 計 ⑨ (⑦-⑧)	15,837,960	354,631	△ 7,251,614	△ 960,120	3,022,990	11,003,847			
当期資金収支差額合計 ⑩ (③+⑥+⑨)	△ 3,926,182	△ 6,848,454	△ 13,534,957	15,782	2,183,678	△ 22,110,133			
前期末支払資金残高 ⑪	19,238,148	52,490,485	80,321,203	338,421	2,310,633	154,698,890			
当期末支払資金残高 ⑫ (⑩+⑪)	15,311,966	45,642,031	66,786,246	354,203	4,494,311	132,588,757			

2018年度 資金収支決算報告書
(自)2018年4月1日 (至)2019年3月31日

No2

<障がい者施設> ※繰入金収支の内部取引を含む

(単位 円)

取支区分及び科目	拠点区分	障がい福祉サービス	障がい児通所支援	障がい相談支援	小計②	合計①+②	備考	
事業活動による収入	介護保険事業収入	0	0	0	0	8,018,126	施設・居宅・地域密着型サービス等介護給付費	
	障害福祉サービス事業収入	95,203,156	22,454,145	14,793,060	132,450,361	724,950,766	生活介護・自立訓練・入所支援・居宅介護他給付費	
	老人福祉事業収入	0	0	0	0	0	サービス付き高齢者向け住宅家賃・管理費・食費他	
	医療事業収入	0	0	0	0	29,198,641	外来診療・訪問介護療養費・予防接種委託事業費	
	その他の事業収入	427,500	0	53,900	481,400	5,349,518	北広島市委託事業費	
	研修事業収入	0	0	0	0	0	介護職員初任者研修事業受講料	
	経常経費寄附金収入	40,000	0	0	40,000	1,812,950	法人及び施設寄附金、寄附物品	
	受取利息配当金収入	83	40	330	453	4,545	預金利息	
	その他の収入	564,201	2,278,150	306,295	3,148,646	9,031,112	実習費、食費(利用者以外)、雑収入他	
	事業活動収入 計①	96,234,940	24,732,335	15,153,585	136,120,860	778,365,658		
人件費支出	役員報酬支出	0	0	0	0	1,800,589	職員給与、諸手当	
	職員給料支出	32,465,823	5,118,750	7,016,445	44,601,018	331,851,352	職員給与、諸手当	
	職員賞与支出	9,843,900	1,480,700	1,626,200	12,950,800	95,207,036	職員期末手当	
	非常勤職員給与支出	16,114,607	9,723,719	0	25,838,326	93,182,189	臨時職員等賃金	
	派遣職員費支出	0	0	0	0	591,761	派遣職員委託費	
	退職給付支出	1,702,510	89,000	2,933,185	4,724,695	22,808,379	退職共済掛金	
	法定福利費支出	7,479,067	1,990,609	1,440,141	10,909,817	72,998,806	社会保険料事業主負担額	
	人件費 小計 A	67,605,907	18,402,778	13,015,971	99,024,656	618,440,112		
	事業活動による支出	給食費支出	2,847,508	0	0	2,847,508	37,698,374	利用者給食材料
		介護用品費支出	0	0	0	0	1,392,208	利用者直接処遇介護用品購入費
医薬品費支出		0	0	0	0	9,007,572	診療用医薬品購入費	
診療・療養等材料費支出		0	0	0	0	710,182	診療用消耗品等購入費	
保健衛生費支出		44,180	42,145	0	86,325	393,025	利用者健診費	
医療費支出		0	1,180	0	1,180	28,186	利用者医療機関診療費	
被服費支出		0	0	0	0	3,273,743	利用者衣類・寝具等購入費	
教養娯楽費支出		313,773	58,816	0	372,589	1,299,749	利用者行事、レクリエーション等開催諸経費他	
日用品費支出		0	0	0	0	0	利用者現物給付日用品	
水道光熱費支出		4,685,017	1,073,388	315,740	6,074,145	29,842,411	電気・ガス・水道料	
燃料費支出		1,029,381	224,348	65,998	1,319,727	19,496,947	重油、灯油代	
消耗器具備品費支出		527,814	115,111	0	642,925	3,418,168	利用者直接処遇消耗品、備品購入費	
保険料支出		0	2,700	0	2,700	2,700	利用者損害保険料	
賃借料支出		2,176,284	0	307,152	2,483,436	5,639,543	利用者処遇器具備品等リース料	
葬祭費支出		0	0	0	0	0	利用者葬祭費	
車輦費支出		2,773,237	583,995	107,936	3,465,168	6,446,710	車輦燃料費、車輦検査費等	
業務委託費支出		0	0	0	0	270,000	サービス付き高齢者向け住宅管理費返還	
諸謝金支出		80,000	0	0	80,000	130,000	職員紹介謝礼	
検査費支出		0	0	0	0	1,603,364	診療用検査費	
雑支出		21,096	1,286,812	0	1,307,908	1,945,900	その他の事業費支出	
事業費支出 小計 B		14,498,290	3,388,495	796,826	18,683,611	122,598,782		
福利厚生費支出		385,959	90,690	31,396	508,045	6,213,435	職員検診、福利事業諸費他	
職員被服費支出		95,654	65,792	0	161,446	734,451	職員賞与制服、作業衣等購入費	
旅費交通費支出		69,380	55,600	2,000	126,980	653,090	旅費、日当、外勤手当	
研修研究費支出		4,500	22,500	0	27,000	1,227,665	研修会参加費	
事務消耗品費支出	122,510	74,948	8,113	205,571	1,690,781	事務用品購入費		
印刷製本費支出	397,102	0	1,944	399,046	2,245,696	印刷物作成費・製本費		
水道光熱費支出	0	0	0	0	0	電気・ガス・水道料		
燃料費支出	0	0	0	0	0	重油、灯油代		
修繕費支出	95,515	0	0	95,515	4,891,492	建物・器具備品等修理費		
通信運搬費支出	433,210	111,842	109,958	655,010	2,371,406	電話・FAX・切手・各種送付費		
会議費支出	0	0	0	0	0	会議用茶菓子・食糧費		
広報費支出	0	0	0	0	473,956	広告折込料、チラシ、広報誌作成他		
業務委託費支出	763,029	39,459	11,603	814,091	5,027,390	清掃・洗濯・警備・除雪等委託費		
手数料支出	170,037	11,688	17,220	198,945	672,001	振込料・申請手数料・各種代行手数料他		
保険料支出	227,978	38,288	14,203	280,469	1,556,885	建物・設備損害保険料、職員損害保険料		
賃借料支出	355,320	0	0	355,320	1,832,678	器具備品等リース料		
土地・建物賃借料支出	0	0	0	0	360,000	土地及び建物等借入費		
租税公課支出	4,400	71,900	3,100	79,400	331,800	印紙、自動車税他		
保守料支出	854,602	162,153	47,693	1,064,448	6,404,522	建物及び各種機器等保守・点検料		
渉外費支出	35,000	0	0	35,000	919,680	慶弔費、創設記念費等		
諸会費支出	6,000	10,000	0	16,000	811,600	各種団体加盟会費・負担金		
雑支出	68,601	0	200	68,801	4,933,547	その他の事務費支出		
事務費支出 小計 C	4,088,797	754,860	247,430	5,091,087	43,352,075			
利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	介護保険施設負担金軽減額		
支払利息支出	672,449	309,538	85,404	1,067,391	2,130,333	借入金利息、リース債務利息		
その他の支出	0	0	0	0	0	利用者等外給食費他		
流動資産評価減等による資金減少額	0	0	0	0	0	利用者負担金徴収不能額		
事業活動支出 計②	86,865,443	22,855,671	14,145,631	123,866,745	786,521,302			
事業活動資金収支差額 ③ (①-②)	9,369,497	1,876,664	1,007,954	12,254,115	△ 8,155,644			
施設整備等による収入	施設整備等補助金収入	0	0	0	0	0	建物新築、改修等補助金	
	施設整備等寄附金収入	0	0	0	0	0	建物新築、改修等寄附金	
	施設整備借入金収入	0	0	0	0	0	建物新築、改修等資金借入金	
	固定資産売却収入	0	0	0	0	15,000		
	施設整備等収入 計④	0	0	0	0	15,000		
施設整備等による支出	設備資金借入金元金償還支出	4,989,600	2,296,800	633,600	7,920,000	13,440,000	福祉医療機構・銀行借入金元金返済	
	固定資産取得支出	180,360	0	0	180,360	4,547,660	固定資産新規取得額	
	固定資産売却・廃棄支出	0	0	0	0	0	固定資産廃棄処分額	
	ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0	0	2,831,921	パソコン他設備機器リース元金返済	
	施設整備等支出 計⑤	5,169,960	2,296,800	633,600	8,100,360	20,819,581		
施設整備等資金収支差額 ⑥ (④-⑤)	△ 5,169,960	△ 2,296,800	△ 633,600	△ 8,100,360	△ 20,804,581			
その他の活動による収入	積立資産取崩収入	1,374,080	0	2,537,890	3,911,970	3,911,970	退職共済出資金、各種積立金取崩額	
	事業区分間繰入金収入	0	0	0	0	3,260,000	事業区分間の資金繰入額(内部取引)	
	拠点区分間繰入金収入	0	1,000,000	0	1,000,000	18,760,000	拠点区分間の資金繰入額(内部取引)	
	その他の活動による収入	0	0	0	0	0	長期預り金収入(入居者敷金)	
	その他の活動収入 計⑦	1,374,080	1,000,000	2,537,890	4,911,970	38,926,002		
その他の活動による支出	積立資産支出	1,167,530	207,480	233,460	1,608,470	6,600,470	退職共済出資金、各種積立金積立額	
	事業区分間繰入金支出	0	0	0	0	630,000	事業区分間の資金繰入額(内部取引)	
	拠点区分間繰入金支出	2,260,000	210,000	210,000	2,680,000	9,830,000	拠点区分間の資金繰入額(内部取引)	
	その他の活動による支出	0	0	0	0	511,920		
	その他の活動支出 計⑧	3,427,530	417,480	443,460	4,288,470	27,298,655		
その他の活動資金収支差額 ⑨ (⑦-⑧)	△ 2,053,450	582,520	2,094,430	623,500	11,627,347			
当期資金収支差額合計 ⑩ (③+⑥+⑨)	2,146,087	162,384	2,468,784	4,777,255	△ 17,332,878			
前期末支払資金残高 ⑪	137,604	59,623	112,763	309,990	155,008,880			
当期末支払資金残高 ⑫ (⑩+⑪)	2,283,691	222,007	2,581,547	5,087,245	137,676,002			

＜障がい者（児）施設サービス事業方針＞

北広島リハビリセンター更生部

当施設は、お客様に自立（自律）と社会活動への参加を促進し、社会適応能力の向上を目標として、生活の場の提供と身体機能を維持・回復させるための訓練を提供してきたが、「在宅と地域移行」を重視した施策へ国はシフトしている。当法人においても更生部の定員を減らし「障がい者施設第1期各事業所3ヶ年アクションプラン」に沿って施設体系の見直しを進める。お客様自身が自分の役割や生きがいを持ち続け、目標とする生活に少しでも近づき又は実現することができるよう援助する。

＜重点事項＞

1. 個別支援計画に基づいた「機能訓練」「生活支援」

お客様一人ひとりの個別支援計画に基づいたサービスの提供により、自立（自律）した日常生活又は社会生活ができるよう、生活能力・身体機能向上に必要なサービスを提供する。

2. 「サービスの質の向上」への取り組み

お客様一人ひとりの個別性を理解し、毎日の生活において「生きる喜び」や「大切にされている」と感じられるようなサービスを提供する。サービスアンケート調査や第三者（オンブズマン）による評価により自分たちが提供しているサービスを客観化し改善を図っていく。

3. グランドデザインへの取り組み

障がい者施設が抱える施設空間やプライバシーにおける課題、自立を支援し尊厳を保持することのできるハード面、ソフト面の事業の確立を目指し、2020年度内の更生部廃止を視野に置き、2018年度においては次期定員変更（40名）を見据え、入所現員を40名程度までにすることを目標とする。

北広島リハビリセンター療護部

法人の理念・倫理綱領に基づいた利用者本位の支援の提供を基本とするとともに、利用者への情報の提供、苦情解決、オンブズマン制度等の導入などにより適正なサービスの提供と質の向上を図り、利用者の選択に応えられる施設運営、職員像の形成に努める。また、今後の施設体系のあり方として、グランドデザインに基づく施設環境の改善及びサービス提供体制のあり方の構築に向け協議を進めることを基本方針とする。

＜重点事項＞

1. 「人権意識の高揚と利用者本位サービスの強化」

職員一人ひとりが法人理念や倫理綱領を理解し、利用者の人権を尊重し、利用者本位により良いサービスを提供できるよう、人材育成を目標とした各種研修を実施する。

また、日々の業務の中で理念や倫理綱領を常に意識し、それを職員全体で共有することを心掛け、適正なサービスの提供に努める。

2. 「サービスの質の向上」への取り組み

チームケア・チームアプローチの視点で、風通しの良い職場環境の改善に取り組み、不適切ケア・虐待の未然防止と早期発見・早期対応を目的としたセルフチェックを強化する。合わせて、自己評価だけではなく、利用者・家族を含めた外部評価（オンブズマン制度等）

を導入する。

3. 安定した施設運営に向けての対策

「障がい者施設グランドデザイン案」に基づき、個室化・トイレ改修など生活環境の改善及びサービス提供体制のあり方を踏まえ、具体的なハード面の改修案を作成する。

北広島リハビリセンター診療部

施設で生活されるお客様の医療的ニーズは年々高くなっているが、診療時間制限や立地条件からくる外来診療者の減少、レントゲン設備の老朽化などにより当診療部を取り巻く状況は厳しい。今後の法人における診療体制について協議を進め、他医療機関との連携や協力体制の強化を図りながら、診療部の存続（縮小又は廃止）についての判断を行うこととする。

<重点事項>

1. お客様の健康管理

施設で生活されるお客様の健康管理（予防・早期発見・治療）は、施設生活を継続する上で重要な要素を担っている。当施設でも障がいの多様化・重度化に加え、長期利用による高齢化から医療的な処置を必要とするお客様は増加傾向にあり、院外受診となる他医療機関への外来受診者数も年々増加している。お客様の健康管理には全課が情報を共有し、お客様に寄り添い安心して施設生活を送れるよう取り組んでいく。

2. 「北広島市介護予防・日常生活総合支援事業」の取り組み

昨年度から事業を開始した障がい者施設における介護保険制度に基づく同事業の登録者は50名を超える事業となった。在宅で生活されている要支援高齢者等が、自らが要介護状態になることを防ぎ、地域において自立した日常生活を送ることができるよう当法人が持つ機能訓練の専門性を活かした特色あるサービスを提供したものである。2018年度法改正により共生型事業が可能となるが、今後、法人の社会資源を有効に活用した新たな戦略を考えるうえで当事業がその基盤となり、地域の方々の生活を支え、無くてはならない資源として求められるようサービスの提供に努めることとする。

障がい者福祉サービスみなみ

地域で生活する障がい者に対し、相談支援機関や他支援機関と連携しながら個々の障がい程度や特性に配慮した個別支援計画を基に、その人らしく、生き生きとそれぞれの力を発揮し、地域で生活していく事を支援する。多角的な視点でのリハビリや日中活動を提供し、エンパワメントを高める支援を行う。重度の障害を持つ利用者や家族が安心して過ごせる環境やケアを提供し、制度改正に伴う共生型サービス提供事業所として地域に頼りにされる存在を目指す。

<重点事項>

1. 専門性の高い、個別支援計画に基づく支援の実施

利用者や家族のニーズを把握し、個々の障害特性や生活課題に応じた個別支援計画を作成し、きめ細やかな支援を行う。相談支援機関や他支援機関と連携し、その人らしく地域生活を送れるようにする。

2. 通所する事が楽しく過ごしやすい環境作り

障害の違いに関わらず、一人ひとりのお客様が楽しく、安心して過ごせる環境を作り、食事や入浴、リハビリ、レク活動や他者交流などを楽しみ生き生きと活動することが出来る様にする。お客様の障害状態、体調に合わせた食事形態等ケア全体の柔軟な対応に努め満足間の高い支援を実施する。

3. 安定した施設運営に向けての対策

「障がい者施設第1期各事業3カ年アクションプラン」に基づき、新規利用者の受け入れを積極的に行い、目標稼働率80%を達成してはいるが、共生型サービスを提供する中でさらに安定した運営を目指す。

新たな共生型サービスについて、介護保険対象者と障害福祉サービス利用者との混乱を招かないよう体制の整理を図り、実効性の高い次期アクションプラン作成に向けて検討する。

障がい児通所支援事業みなみ

主たる対象の重度心身障がい児や身体障がい児の特性に合わせて、それぞれの能力にあった適切な療育及び機能訓練の実施に努め、自立を促していく。家庭や学校以外の集団活動や交流を楽しみ、生活体験を増やす中で成長を促していく。家族の抱える悩みや不安に寄り添い、解決を図りながら障がい児、家族が安心して過ごして行けるよう、他支援機関と連携しながら適宜支援を行う。

<重点事項>

1. 医療ケア・個別支援・集団活動の取り組み

一人ひとりの障がい特性や発達の状況を的確に把握し、専門的な見地から必要な医療ケア、療育、機能訓練等の個別支援・集団活動を通じて、心身の発達を促しながら、社会性や自立能力の向上を目指す。

2. 家庭及び関係機関との連携強化

保護者・学校・医療機関等の関係機関との連携を強化し、チームアプローチの視点により、障がいを抱えた子供を取り巻く生活環境整備や活動の場を広げ、家族や障がい児が安心して生活していく環境を作る。

3. 適切な施設運営に向けての対策

「障がい者施設第1期各事業3カ年アクションプラン」に基づき、すでに達成された目標稼働率を維持し、重度の障がい児を対象にしている故の突発的な体調不良による利用実績への影響を最小限に抑えつつ、可能な限り稼働率100%の維持を目指す。

障がい相談支援事業みなみ

4月の制度改正に伴い、益々計画相談支援体制の充実が求められている。地域の障がい児・者や施設利用者、地域移行への支援など多岐に亘っている障害福祉サービス利用者の様々な生活課題の解決や適切なサービス利用に向けてケアマネジメントが必要とされている。個々のエンパワメントの視点で支援を考え、他支援機関と協同していく事が重要となるため、一層他機関との連携強化、支援者会議の実施に向けてみらいと共同しながら確実な実行に努め

る。

<重点事項>

1. 利用者の主体性の尊重

アセスメントを丁寧に行い、本人主体を基本とした質の高いサービス等利用計画作成やより短期間となるモニタリングの実施を確実に実行し、利用者の変化に迅速に対応していく。

2. 関係機関との連携の強化

指定相談支援事業所として、他相談支援機関や福祉サービス事業所等との連携により利用者の個別性を重視した支援の充実を図る。制度改正に伴い、学校や医療機関との連携、支援者会議等の実施をより確実に行うことが求められているため、法人内相談支援事業所みらいとも共同し、実行に努めていく。

3. 相談支援員としての資質向上

権利擁護や障がい特性の理解、社会資源の活用など幅広く知識・情報を収集し、利用者個々に適したサービス等利用計画が作成出来る様相談支援専門員としての資質の向上を図る。また、研修会や学習会に積極的に取り組み、効率的・適正な事務処理に努める。

4. 適切な事業運営に向けての対策

「障がい者施設第1期各事業3カ年アクションプラン」に基づき、年間900件以上の計画策定及びモニタリングの実施を確実に行っていく。制度改正に伴う、特定事業所としての機能強化や市内サービス利用者への支援体制を適宜検討して行く。

障がい生活支援センターみなみ

北広島市地域支援事業における相談支援事業として、障がい福祉サービス及び福祉行政の一翼を担い、公正かつ中立な事業運営を実践する。制度改正に伴い、個別支援については計画相談支援体制の充実が図られる中、個別支援に留まらない地域全体への支援を通して、地域に埋もれたニーズの把握や解決に努めていく。

障がい児・者及び家族が抱える様々な生活課題の解決に向けて、利用者の主体性を尊重し、エンパワメントを高める支援を模索しながら、障害の有無に関わらず、様々な人がその人らしく安心して尊厳のある生活を送ることができるよう、他機関とも連携しながら多様な視点で支援を行い、暮らしやすい地域づくりを目指す。

<重点事項>

1. 地域ニーズの把握と孤立感の解消

様々な生活課題を抱える方（利用者・家族等）の多様なニーズを把握し、抱えている孤立感を解消しその人らしく安心して地域生活を送ることができるよう、社会資源の活用や人とのつながりを創出していく。

2. 行政及び関係機関とのネットワーク体制の強化

住み慣れた地域で尊厳のあるその人らしい生活を継続できるよう、行政機関、社会福祉協議会、自立支援協議会やボランティアなど、地域福祉を支える関係機関と密接な連携を図り、包括的な支援の実現やお互いの存在意義を感じ合える地域づくりを目指す。

3. 主体性・自己決定の尊重

計画相談支援と共同し、個別支援の充実を図る中で、障がいの程度に関わらず、自身の内的能力（ストレングス）を伸ばす事の出来る支援を行い、利用者個々の主体性が尊重され、自己決定による社会参加、それぞれの能力に応じた自立した生活の実現を目指す。

1. 運営管理

(1) 2018年度行事等のあらまし

障がい者支援施設部門・・・更生部、療護部、診療部

年月日		年月日	
2018. 4	2 チーフ会議	2018. 5.	24 法人内部監査
	職員定例集会		25 幹部会
	3 パーマ(きれいや)		療護ケース検討
	4 新規採用職員研修(4日～6日)		28 星槎道都大学福祉施設学内説明会
	9 経営会議		法人合同研修「基本理念と権利・擁護」①
	10 理髪(あい・愛)		懇談会
	11 療護ケア会議		藤女子大学SW実習後半(～6/9)
	朗読の会		29 第43回全国身体障害者施設協議会研究大会第一回 実行委員会
	13 つくろいものVO		安全運転管理者協会 通常総会・意見交換会
	17 パーマ(ミューテ)		30 シネマサロン
	18 喫茶わいわい		更生ケア会議
	書道クラブ		華道クラブ
	19 セレクトメニュー		麻雀の日
	23 懇談会		花壇清掃
	24 理髪(ミューテ)		平成30年度行政課題研修「精神保健福祉基礎研修 ～法制度と相談支援」(～31日)
	25 経営会議		
	更生ケア会議		
	華道クラブ		
	26 平成30年度第一回調査研究活動に係る委員会 第一回正副会長・幹事合同会議		6. 1 開所記念日
	27 幹部会		チーフ会議
	療護ケース検討		2 車椅子清掃
	28 リフレッシュ休暇		3 福祉のお仕事合同説明会
	29 昭和の日		5 パーマ(きれいや)
	30 振替休日		6 第182回理事会
			療護ケア会議
			介護職員専門研修Ⅰ(～7日)
5.	1 チーフ会議		防火総合訓練
	パーマ(きれいや)		8 つくろいものVO
	3 憲法記念日		法人全体研修「介護のチカラ向上研修」①
	4 みどりの日		11 平成30年度第一回研修・全国大会委員会(東京)
	5 こどもの日		12 理髪(あい・愛)
	7 ハーベスト医療福祉専門学校実習(5/7～5/25)		法人合同研修「基本理念と権利・擁護」②
	8 理髪(あい・愛)		13 喫茶わいわい
	北海道介護福祉学校介護実習(～6/27)		危険物取扱者保安講習会
	9 外出レク①(AM石屋製菓・PMみなみ)		14 平成30年度共済会定時総会
	春の屋外清掃		15 ワックス掛け
	法人打合せ		第一回リフトリーダー養成研修(～16日)
	療護ケア会議		16 ワックス掛け
	14 春季健康診断(センター)		19 パーマ(ミューテ)
	15 春季健康診断(ともに)		20 施設見学(医療法人北辰会、介護老人保健施設、恵 み野ケアサポート)
	パーマ(ミューテ)		外出レク②(AM石屋正会・PMみなみ)
	平成30年度北広島市マタニティスクール		書道クラブ
	16 北広島危険物安全協会創立30周年記念式典		朗読の会
	喫茶わいわい		21 第52回評議委員会
	書道クラブ		セレクトメニュー
	17 春季健康診断(四恩園)		法人職員交流会
	藤女子大学 ソーシャルワーク実習指導Ⅰにおける 施設概要に関する講義		22 療護ケース検討
	22 平成30年度北広島市マタニティスクール		23 リフレッシュ休暇
	理髪(ミューテ)		25 福祉施設説明会(道都大学)
	経営会議		懇談会
	23 お花見		26 理髪(ミューテ)
	臨時チーフ会議		シネマサロン

年月日		年月日	
2018. 6. 27	経営会議	2018. 8. 1	チーフ会議
	平成30年度北海道身体障害者福祉施設協議会第二回正副会長・幹事合同会議		シネマサロン
	外出レク③(AM石屋製菓・PMみなみ)	7	パーマ(きれいや)
	更生ケア会議	8	盆踊り
	華道クラブ		療護ケア会議
	花壇・畑草取り	9	法人研修「救急法②」
29	幹部会	11	山の日
	平成30年度北海道身体障害者福祉施設協議会 個別支援計画の実現に向けたケアガイドライン研修会		みなみ第二住区夏祭り
30	リフレッシュ休暇	13	特別休暇
			理学療法士講習会 変形性膝関節症と腰痛症に対する評価と治療の基礎
7. 2	チーフ会議	14	理髪(あい・愛)
	職員定例集会	16	第一回施設職員研修会
3	パーマ(きれいや)	18	法人合同階層別研修
	第一回アンガーマネジメント研修	19	理学療法士講習会(基本編・理論)変形性膝関節症と腰痛症に対する評価と治療の基礎
4	障がい者施設運営に関する利用者説明会		長澤邦雄前理事長 通夜
	療護ケア会議	20	長澤邦雄前理事長 告別式
7	障がい者施設運営に関する家族説明会		2018年度北翔大学介護実習Ⅱ(～9/28)
9	平成30年度相談支援従事者研修(～10日)	21	夏祭り実行委員会 反省会
10	法人全体研修「カイゴのチカラ向上研修」②		パーマ(ミュウテ)
	理髪(あい・愛)		北翔大学 介護実習Ⅱ(～9/29)
	平成30年度北広島市マタニティスクール	22	ワックス掛け
11	シネマサロン		第二回施設職員研修会
	リクナビ見学・説明・面接会	23	ジンギスカン(療護部)
13	平成30年度第二回調査研究活動に係る委員会	24	療護ケース検討
	つくりものVO	25	リフレッシュ休暇
14	リフレッシュ休暇	27	懇談会
	療育キャンプ		千歳保健所管内給食施設調理従事者研修会
16	海の日		ハーベスト医療福祉専門学校臨床実習(～10/19)
17	パーマ(ミュウテ)		平成30年度人間科学部作業療法学科 臨床実習Ⅱ(～9/14)
	第二回アンガーマネジメント研修	28	理髪(ミュウテ)
	平成30年度北広島市マタニティスクール	29	経営会議
19	平成30年度北海道身体障害者福祉施設協議会第一回総会		外出レク④(AM石屋製菓・PMみなみ)
	第43回全国身障協研究大会第二回実行委員会		拠点施設長会議
	北海道消防設備協会第12回北海道北広島市甲種防火管理新規講習会(～20日)		更生ケア会議
20	療護ケース検討	30	花壇・草取り
	法人研修「救急法①」		臨時理事会
21	法人研修「相談援助専門研修」		平成30年度研修・全国大会委員会(中止)
	初任者研修修了試験		ジンギスカン(更生部)
24	理髪(ミュウテ)	31	幹部会
25	経営会議		体験型健康セミナー①
	花壇清掃		
	更生ケア会議	9. 3	チーフ会議
27	幹部会		定例集会
	華道クラブ		法人合同新規採用職員研修(～5日)
28	夏祭り	4	パーマ(きれいや)
	北海道理学療法士会創立50周年記念大会 第60回北海道理学療法士学術大会(～29日)	5	外出レク⑤(AMマックスパリュウー・PMみなみ)
30	懇談会		法人内部監査
	法人全体研修「カイゴのチカラ向上研修」③		第三回施設職員研修会
31	第42回全国身体障害者施設協議研究大会(～1日)		北海道胆振東部地震発生
			朗読の会
		7	臨時経営会議

年月日		年月日	
2018. 9. (6	安全運転管理者副安全管理者講習→延期)	2018.10. 8	体育の日
(8	考課者研修→延期、平成30年度介護福祉士実習指導者講習会①→延期)	9	理髪(あい・愛)
(7	つくろいものVO→中止、親睦会食事交流会①→延期)	10	療護ケア会議
(9	シニアライオンズクラブ20周年記念式典→延期)		厚真リハビリセンター利用者受入れ
11	理髪(あい・愛)	12	親睦会食事交流会⑤
	平成30年度北広島市マタニティスクール	13	リフレッシュ休暇
12	外出レク⑥(AMマックスバリュ・PMみなみ)	14	平成30年度(秋期)臨床実習指導者連絡協議会
	第184回理事会	16	第43回全国身体障害者施設協議会研修大会第三回実行委員会
	療護ケア会議		パーマ(ミュート)
	平成30年度相談支援従事者研修後期日程(～14日)		藤女子大学ソーシャルワーク実習Ⅰ(～29日)
13	竹山神社祭	17	社会保険事務講習会
14	臨時経営会議		喫茶わいわい
	親睦会食事交流会②	19	第5回施設職員研修会
	石狩圏域法人合同セミナー打合せ会議		親睦会食事交流会⑥
17	敬老の日	20	考課者研修
18	平成30年度北海道身体障害者福祉施設協議会第3回正副会長・幹事合同会議		車椅子清掃
	平成30年度北広島市マタニティスクール	22	北海道原子力防火訓練
	パーマ(ミュート)	23	平成30年度障害者の日常生活及び社会成果率を総合的に支援する為の法律並びに児童福祉法に基づく集団指導について
19	介護職員専門研修Ⅱ(1)	19	親睦会食事交流会⑥
	施設職員研修④	20	考課者研修
	喫茶わいわい		車椅子清掃
21	親睦会食事交流会③	22	北海道原子力防火訓練
	法人全体研修「カイゴのチカラ向上研修」④	23	平成30年度障害者の日常生活及び社会成果率を総合的に支援する為の法律並びに児童福祉法に基づく集団指導について
22	平成30年度介護福祉士実習指導者講習会(～23日)		からつ医療福祉センター施設見学(～24日)
23	みなみ祭り		法人全体研修「カイゴのチカラ向上研修」⑥
	秋分の日		理髪(ミュート)
25	経営会議	24	経営会議
	理髪(ミュート)		外出レク⑧
	北海道介護福祉学校介護実習(～11/1)	25	シニアライオンズクラブ大根収穫
26	シネマサロン	26	幹部会
	更生ケア会議		療護ケース検討
	法人全体研修「カイゴのチカラ向上研修」⑤	27	リフレッシュ休暇
	華道クラブ	29	懇談会
	花壇・草取り	30	虐待防止対策職員研修②
27	懇談会		介護職員専門研修Ⅰ(2)(～31日)
28	第43回身障協研究大会第3回実行委員会		全国社会福祉協議会 全国身体障害者施設協議会第18回地域生活支援推進研究会議(～31日)
	幹部会	31	石狩振興局運営指導
	療護ケース検討		外出レク⑨
29	法人全体研修「カイゴのチカラ向上研修」		シネマサロン
			更生ケア会議
10. 1	チーフ会議		
	藤女子大学ソーシャルワーク実習Ⅰ(～15日)		
2	パーマ(きれいや)		
3	外出レク⑦(AMマックスバリュ・PM延期)	11. 1	チーフ会議
	虐待防止対策職員研修①	2	親睦会食事交流会⑦
	西部中学校かぼちゃ寄贈	3	文化の日
4	第53回評議員会	5	あずみ福祉カレッジ介護実習(～8日)
	臨時定例集会	6	パーマ(きれいや)
	平成30年度第二回福祉職場説明会	7	秋の防火総合訓練
5	親睦会食事交流会④		朗読の会
	セレクトメニュー	8	安全祈願祭

年月日		年月日	
2018.11.8	虐待防止対策職員研修③	2018.12.19	シネマサロン
9	つくろいものVO	20	第54回評議員会
11	北海道乳児療育研究会(札幌)	21	療護ケース検討
13	法人打合せ	23	天皇の誕生日
	理髪(あい・愛)	24	振替休日
14	平成30年度北広島市マタニティスクール	25	理髪(ミュウテ)
	35歳以上のための合同企業説明会	26	もちつき
	運動会		経営会議
	療護ケア会議		更生ケア会議
15	法人合同研修(虐待①)	27	懇談会
	プチバイキング(更生部)		幹部会
16	福祉を知るセミナー	28	御用納め
	プチバイキング(療護部)	29	特別休暇
17	平成30年度介護福祉士実習指導者講習会(～18日)	30	特別休暇
	精神科地域医療CONFERENCE	31	特別休暇
20	シニアライオンズ20周年記念式典		
	パーマ(ミュウテ)	2019.1.1	元旦
21	平成30年度北広島市マタニティスクール	2	特別休暇
	喫茶わいわい	3	特別休暇
	法人合同研修(虐待②)	4	御用始め
22	危険物安全協会理事会		チーフ会議
23	勤労感謝の日	(新年カラオケ大会→インフルエンザにより延期)
24	リフレッシュ休暇	8	パーマ(きれいや)
26	平成30年度研修・全国大会委員会(～27日)	9	平成30年度北海道身体障害者福祉施設協議会第4回正副会長・幹事合同会議
	全国身障協第8階職員スキルアップ研修会(～27日)		療護ケア会議
	懇談会	14	成人の日
27	法人内部監査	15	札幌医療リハビリ専門学校実習(～21日)
	理髪(ミュウテ)		理髪(あい・愛)
28	経営会議	17	書道クラブ
	シネマサロン	19	幹部職員研修
	更生ケア会議	20	年金とライフセミナー
29	安全運転管理者・副安全管理者講習	22	厚真リハビリ退所
30	幹部会		パーマ(ミュウテ)
	療護ケース検討	23	経営会議
12.1	平成30年度介護福祉士実習指導者講習会(～2日)		シネマサロン
3	チーフ会議		鍋セレクト(療護)
	平成30年度 北海道文教大 臨床実習Ⅱ(～14日)		麻雀の日
4	パーマ(きれいや)		法人全体研修「カイゴのチカラ向上研修」⑦
5	第184回理事会・役員交流会	24	鍋セレクト(更生)
	療護ケア会議	25	幹部会
11	理髪(あい・愛)		療護ケース検討
	平成30年度第二回相談支援従事者研修【現認研修】(～13日)	28	懇談会
12	年忘れ会食会	29	理髪(ミュウテ)
13	平成30年第二回北海道身体障害者福祉施設協議会研修員会		法人全体研修「カイゴのチカラ向上研修」⑧
	第43回全国身体障害者施設協議会研究大会第4回実行委員会	30	豆まき・新年カラオケ大会
			華道クラブ
			更生ケア会議
14	親睦会忘年会	31	ソーシャルワーク実習「全体報告」
15	大原医療福祉専門学校医療事務学科クラーククラス介護職員初任者研修講師派遣	2019.2.1	チーフ会議
	2018年度介護実習Ⅱ報告会・介護実習懇談会	2	平成30年度第3回福祉職場説明会
18	パーマ(ミュウテ)		法人合同階層別研修

年月日		年月日	
2019. 2.	5	2019. 3	16
			考課者研修
			多様な働き方を実現する人事・賃金制度改革セミナー(札幌)
	6		パーマ(きれいや)
	6	19	パーマ(ミューテ)
	6	20	シネマサロン
	8	22	療護ケース検討
			療護ケース検討
			平成30年度研修・全国大会委員会(第五回)(東京)
	9	25	懇談会
			法人合同新人職員研修(～27日)
	11	26	理髪(ミューテ)
	12		職員研修
		27	経営会議
	13		更生ケア会議
			麻雀の日
	14	28	第55回評議委員会
		29	幹部会
	15		
			平成30年度北海道身体障害者福祉施設協議会第二回総会及び身体障害者福祉研究セミナー・第5回正副会長幹事合同会議(札幌)
	18		
			平成30年度 北海道文教大学人間科学学部 作業療法学科 臨床実習Ⅰ(～22日)
	19		
			平成30年度北広島市マタニティスクール
			平成30年度障がい者虐待防止研修(北広島)
			パーマ(ミューテ)
	20		
			経営会議
			拠点合同施設長会議
			朗読の会
	21		
			セレクトメニュー
	22		
			幹部会
			療護ケース検討
	23		
			リフレッシュ休暇
			北海道文教大学作業療法学科「臨床実習教育者会議」
	25		
			懇談会
	26		
			理髪(ミューテ)
	27		
			ひなまつり
			更生ケア会議
			華道クラブ
2019. 3	1		
			チーフ会議
	2		
			ハーベスト医療福祉専門学校実習指導者会議
	5		
			平成30年度第二回北広島危険物安全協会理事会
			パーマ(きれいや)
			法人内部監査
	6		
			喫茶わいわい
			VO打合せ
			療護ケア会議
	9		
			北海道文教大学理学療法臨床実習指導者会議
	12		
			理髪(あい・愛)
	13		
			第185回理事会
			すきやき鍋(療護)
	14		
			すきやき鍋(更生)
			全国身障協第31回経営セミナー(～15日)(東京)
	15		
			障害者雇用納付金制度事務説明会

1. 運営管理

(1) 2018年度行事等のあらまし

障がい福祉サービス部門・・・障がい者通所、障がい児通所、障がい者相談

年月日		年月日	
2018. 4. 2	チーフ会議	2018. 5. 21	お花見週間(～26日)(福祉サービス)
	職員定例集会		ケア会議(福祉サービス)
	永年勤続表彰	22	平成30年度 マタニティスクールの講師派遣(北広島市)
	理髪(ミューテ)		ケア会議(福祉サービス)
	4月誕生日お祝い週間(～6日)(福祉サービス)	24	パーマ(ミューテ)
	ケア会議(福祉サービス)	25	幹部会
3	開所御膳(福祉サービス)	28	進路実習受入(南幌養護学校)(～30日)
4	スタッフ会議		SW実習後期受入(藤女子大学)(～6/9日)
	法人合同新規採用職員研修(～6日)		法人合同研修「基本理念と福祉サービスへの姿勢」①
5	ケア会議(児童デイ)		ケア会議(福祉サービス)
10	パーマ(ミューテ)	29	ケア会議(福祉サービス)
	ケア会議(福祉サービス)		
11	懇談会①(福祉サービス)	6. 1	チーフ会議
	ケア会議(福祉サービス)		SW実習後期受入(藤女子大学)(～9日)
12	懇談会②(福祉サービス)		公園お散歩週間(～2日)(児童デイ)
	茶話会(福祉サービス)	4	理髪(ミューテ)
14	こいのぼり制作(～20日)(児童デイ)		6月誕生日お祝い週間(～9日)(福祉サービス)
16	畑の芽だし週間(～21日)(児童デイ)		森林浴週間(～9日)(児童デイ)
	ケア会議(福祉サービス)		ケア会議(福祉サービス)
17	ケア会議(福祉サービス)		魚とりゲーム(～9日)(福祉サービス)
18	ケア会議(福祉サービス)	6	スタッフ会議
20	理髪(ミューテ)		懇談会①(福祉サービス)
21	こどもの日お祝い週間(～5/2日)(児童デイ)		茶話会(福祉サービス)
23	畑石灰撒き(～27日)(児童デイ)	7	懇談会②(福祉サービス)
	季節のこいのぼり制作(～27日)(福祉サービス)		ケア会議(児童デイ)
25	ケア会議(福祉サービス)	8	介護職員専門研修①
26	パーマ(ミューテ)	11	唱歌(～16日)(福祉サービス)
27	幹部会	12	パーマ(ミューテ)
			セレクトメニュー(福祉サービス)
5. 1	チーフ会議		法人合同研修「基本理念と福祉サービスへの姿勢」②
	こどもの日のお祝い週間(～2日)(児童デイ)	13	防火総合訓練
7	理髪(ミューテ)		ケア会議(福祉サービス)
	5月誕生日お祝い週間(～12日)(福祉サービス)	14	外出レク②(新札幌駅)(福祉サービス)
	苗植え(～11日)(福祉サービス)	15	理髪(ミューテ)
	畑おこし(児童デイ)	18	しゃぼん玉遊び週間(～23日)(児童デイ)
	ケア会議(福祉サービス)		ケア会議(福祉サービス)
8	パーマ(ミューテ)		玉入れ(～22日)(福祉サービス)
9	懇談会①(福祉サービス)	19	外出レク③(新南小樽市場)(福祉サービス)
	スタッフ会議	20	ケア会議(福祉サービス)
	ケア会議(福祉サービス)	21	ケア会議(福祉サービス)
10	懇談会②(福祉サービス)	22	ケア会議(福祉サービス)
	ケア会議(福祉サービス)	25	七夕制作(～29日)(福祉サービス)
	ケア会議(児童デイ)		クラフトコットンボール(～29日)(福祉サービス)
14	畑苗植え(～26日)(児童デイ)		夏の壁面(うきわ)制作(～29日)(児童デイ)
	職員春季健康診断①	28	パーマ(ミューテ)
	ケア会議(福祉サービス)	29	幹部会
15	外出レク①(北海道博物館)(福祉サービス)	30	ワックス掛け
	平成30年度 マタニティスクールの講師派遣(北広島市)		
	職員春季健康診断②	7. 2	チーフ会議
	ケア会議(福祉サービス)		職員定例集会
16	ケア会議(福祉サービス)		理髪(ミューテ)
17	ケア会議(児童デイ)		7月誕生日お祝い週間(～7日)(福祉サービス)
18	理髪(ミューテ)		風船パレー(～7日)(福祉サービス)

年月日		年月日	
2018. 7. 2	公園遊び週間(～6日)(児童デイ)	2018. 8. 14	パーマ(ミュート)
3	外出レク④(新南小樽市場)(福祉サービス)		水遊び(～18日)(児童デイ)
4	スタッフ会議		アイスクリーム競争(～18日)(児童デイ)
	進路実習受入(札幌養護学校共栄分校)(～5日)	15	盆踊り(福祉サービス)
5	ケア会議(児童デイ)	16	職員研修会①
7	七夕の制作(～13日)(児童デイ)		ケア会議(児童デイ)
9	ケア会議(福祉サービス)	17	理髪(ミュート)
	ブラインドゲーム(～13日)(福祉サービス)		カードゲーム(～18日)(福祉サービス)
10	パーマ(ミュート)	18	法人合同階層別研修「リーダーに求められる組織作りとリーダーシップ」
	介護職員専門研修②	20	秋の壁面(コスモス)制作(～25日)(児童デイ)
11	外出レク⑤(キリンビール園千歳工場)(福祉サービス)		ケア会議(福祉サービス)
	懇談会①(福祉サービス)		中華クイズ(～24日)(福祉サービス)
	ケア会議(福祉サービス)	22	職員研修会②
12	懇談会②(福祉サービス)		中華セレクトメニュー(福祉サービス)
13	ケア会議(福祉サービス)	23	パーマ(ミュート)
14	ビーチボール合戦(～20日)(児童デイ)	27	プレスレット制作(～31日)(福祉サービス)
17	バランスボードゲーム(～21日)(福祉サービス)	28	楽器遊び(～31日)(児童デイ)
18	ケア会議(福祉サービス)		ケア会議(福祉サービス)
20	理髪(ミュート)		外出レク⑧(長沼マオイの丘)(福祉サービス)
	救急救命講習①	31	幹部会
21	相談援助職員専門研修		衛生委員会主催体験型健康セミナー「ヨガ」
	水遊び週間(～27日)(児童デイ)		
	アイスクリーム競争(～27日)(児童デイ)	9. 3	チーフ会議
23	ケア会議(福祉サービス)		理髪(ミュート)
24	ケア会議(福祉サービス)		9月誕生日お祝い週間(～7日)(福祉サービス)
	七夕飾り制作(～28日)(福祉サービス)		お散歩週間(～8日)(児童デイ)
25	施設見学受入(南幌養護学校)		法人合同新規採用職員研修(～5日)
	外出レク⑥(札幌大丸藤井セントラル)(福祉サービス)		ジョイスウンドクイズ(～7日)(福祉サービス)
26	パーマ(ミュート)	5	スタッフ会議
27	幹部会		施設職員研修③
	焼肉(福祉サービス)		外出レク⑨(イオン札幌平岡店)(福祉サービス)
28	外出レク①(新千歳空港ターミナル)(児童デイ)		懇談会①(福祉サービス)
30	外出レク②(コカ・コーラ札幌工場)(児童デイ)		ケア会議(福祉サービス)
	ボーリング(～7/4日)(福祉サービス)	6	安全運転管理者・福安全管理者講修(札幌市)
			懇談会②(福祉サービス)
8. 1	チーフ会議		ケア会議(児童デイ)
	ボーリング(～4日)(福祉サービス)	8	人材育成考課システム考課者研修
	七夕週間(～8日)(児童デイ)	10	芸術の秋週間(～15日)(児童デイ)
	外出レク③(JR札幌駅)(児童デイ)		大判めり絵(～14日)(福祉サービス)
2	施設見学受入(札幌養護学校共栄分校)	11	パーマ(ミュート)
3	外出レク④(コカ・コーラ札幌工場)(児童デイ)	12	ケア会議(福祉サービス)
6	理髪(ミュート)	15	ケア会議(福祉サービス)
	8月誕生日お祝い週間(～10日)(福祉サービス)	18	お月見週間(～22日)(児童デイ)
	盆踊り練習(～14日)(福祉サービス)		ケア会議(福祉サービス)
7	外出レク⑦(新札幌駅)(福祉サービス)		玉つきゲーム(～21日)(福祉サービス)
	外出レク⑤(札幌市青少年科学館)(児童デイ)	19	施設職員研修④
8	スタッフ会議		ケア会議(福祉サービス)
	懇談会①(福祉サービス)	20	パーマ(ミュート)
	ケア会議(福祉サービス)	21	理髪(ミュート)
9	懇談会②(福祉サービス)		ケア会議(福祉サービス)
	救急救命講習②	23	みなみ祭り
	外出レク⑥(石屋製菓北広島工場)(児童デイ)	25	畑のカボチャ収穫(～29日)(児童デイ)
11	第2住区ふるさと祭り		輪投げ(～28日)(福祉サービス)

年月日		年月日	
2018. 9. 28	幹部会	2018. 11. 8	ケア会議(児童デイ)
		12	食いしん坊週間(～17日)(児童デイ)
10. 1	チーフ会議		ケア会議(福祉サービス)
	職員定例集会		輪投げ(～16日)(福祉サービス)
	理髪(ミュート)	13	パーマ(ミュート)
	SW実習 I 受入(藤女子大学)(～15日)	15	法人合同研修「身体拘束の適正化について」①
	紅葉ドライブ週間(～12日)(福祉サービス)		ケア会議(児童デイ)
	10月誕生日お祝い週間(～6日)(福祉サービス)	16	理髪(ミュート)
	ハロウィン制作(～12日)(福祉サービス)	19	冬の壁面制作(～24日)(児童デイ)
	秋の散歩週間(～6日)(児童デイ)	20	ケア会議(福祉サービス)
3	スタッフ会議	21	法人合同研修「身体拘束の適正化について」②
	外出レク⑩(イオン札幌平岡店)(福祉サービス)		ケア会議(福祉サービス)
9	パーマ(ミュート)	22	パーマ(ミュート)
	施設見学受入(南幌養護学校)		デザートバイキング(福祉サービス)
	カラオケ週間(～12日)(福祉サービス)		風船パレー(福祉サービス)
	ケア会議(福祉サービス)	26	音楽遊び(～30日)(児童デイ)
	ハロウィンの壁飾り制作(～15日)(児童デイ)		クイズ(～30日)(福祉サービス)
10	防火総合訓練	28	ケア会議(福祉サービス)
	懇談会①(福祉サービス)	30	幹部会
11	懇談会②(福祉サービス)		
	ケア会議(児童デイ)	12. 1	クリスマスのステンドグラス制作(～7日)(児童デイ)
12	ケア会議(福祉サービス)	3	チーフ会議
15	風船パレー(～19日)(福祉サービス)		理髪(ミュート)
16	SW実習 I 受入(藤女子大学)(～29日)		12月誕生日お祝い週間(～8日)(福祉サービス)
	食欲の秋週間(～22日)(児童デイ)		玉つきゲーム(～7日)(福祉サービス)
18	ケア会議(福祉サービス)	5	スタッフ会議
19	理髪(ミュート)		懇談会①(福祉サービス)
	施設職員研修⑤		ケア会議(福祉サービス)
20	人材育成考課システム考課者研修	6	懇談会②(福祉サービス)
	スポーツの秋週間(～26日)(児童デイ)		ケア会議(児童デイ)
22	もみじの絵のクラフト(～26日)(福祉サービス)	8	スヌーズレン(～15日)(児童デイ)
23	花壇整備・屋外清掃	10	ケア会議(福祉サービス)
	茶話会(福祉サービス)		クリスマスツリー制作(～21日)(福祉サービス)
	からつ医療福祉センター施設視察研修受入(～24日)	11	パーマ(ミュート)
24	ケア会議(福祉サービス)		平成30年度第2回相談支援従事者研修〔現認研修〕(札幌市)
25	パーマ(ミュート)	12	ケア会議(福祉サービス)
26	幹部会	15	年忘れ会食会(福祉サービス)
29	ハロウィン週間(～10/2日)(児童デイ)	17	クリスマス週間(～22日)(児童デイ)
	魚釣りゲーム(～11/2日)(福祉サービス)	19	ケア会議(福祉サービス)
31	ケア会議(福祉サービス)	21	理髪(ミュート)
		25	大掃除週間(～28日)(児童デイ)
11. 1	チーフ会議		正月飾りまゆ玉制作(～28日)(福祉サービス)
	魚釣りゲーム(～2日)(福祉サービス)	27	パーマ(ミュート)
	ハロウィン週間(～2日)(児童デイ)		幹部会
5	理髪(ミュート)	28	御用納め
	11月誕生日お祝い週間(～10日)(福祉サービス)		
	ケア会議(福祉サービス)	2019. 1. 4	御用始め
	玉つきゲーム(～9日)(福祉サービス)		チーフ会議
	落ち葉遊び(～10日)(児童デイ)		職員定例集会
7	スタッフ会議		新年交礼会(福祉サービス)
	懇談会①(福祉サービス)		カラオケ(福祉サービス)
8	懇談会②(福祉サービス)		お正月遊び(～10日)(児童デイ)
	虐待防止対策委員会主催虐待防止対策職員研修	7	理髪(ミュート)

年月日		年月日	
2019. 1. 7	1月誕生日お祝い週間(～14日)(福祉サービス)	2019. 3. 1	ひなまつり週間(～2日)(児童デイ)
	福笑い遊び(～11日)(福祉サービス)		ひなまつり飾り制作(～1日)(福祉サービス)
8	お正月御膳(福祉サービス)	4	理髪(ミューテ)
9	スタッフ会議		3月誕生日お祝い週間(～9日)(福祉サービス)
	懇談会①(福祉サービス)		サッカー(～8日)(福祉サービス)
10	懇談会②(福祉サービス)		ブランコ遊び(～9日)(児童デイ)
	お楽しみクッキング(～11日)(児童デイ)	6	スタッフ会議
	ケア会議(児童デイ)		懇談会①(福祉サービス)
12	冬休み特別企画(～19日)(児童デイ)	7	懇談会②(福祉サービス)
15	パーマ(ミューテ)		ケア会議(児童デイ)
	卓球(～18日)(福祉サービス)	11	卒業祝い(～16日)(児童デイ)
18	理髪(ミューテ)		カードゲーム(～15日)(福祉サービス)
21	節分の升制作(～26日)(児童デイ)	12	パーマ(ミューテ)
	ケア会議(福祉サービス)	13	ケア会議(福祉サービス)
	チラシクイズ(～25日)(福祉サービス)	15	理髪(ミューテ)
22	ケア会議(福祉サービス)	16	人材育成考課システム考課者研修
23	ケア会議(福祉サービス)	18	春の壁面つくり制作(～23日)(児童デイ)
25	幹部会		桜の絵制作(～22日)(福祉サービス)
28	節分週間(～2/3日)(児童デイ)	19	調理活動(福祉サービス)
	クラフトお面制作(～2/1日)(福祉サービス)		ケア会議(福祉サービス)
31	パーマ(ミューテ)	20	ケア会議(福祉サービス)
		25	法人合同新規採用職員研修(～27日)
2019. 2. 1	チーフ会議		春の読書週間(～30日)(児童デイ)
	豆まき(福祉サービス)		輪投げ(～29日)(福祉サービス)
	クラフトお面制作(～1日)(福祉サービス)	26	職員研修会
	節分週間(～3日)(児童デイ)	28	パーマ(ミューテ)
2	法人合同階層別研修	29	幹部会
4	理髪(ミューテ)		
	2月誕生日お祝い週間(～8日)(福祉サービス)		
	輪投げ(～8日)(福祉サービス)		
	冬の壁面雪だるま制作(～9日)(児童デイ)		
6	スタッフ会議		
	懇談会①(福祉サービス)		
7	懇談会②(福祉サービス)		
	ケア会議(児童デイ)		
12	パーマ(ミューテ)		
	雪の感触遊び(～16日)(児童デイ)		
	ケア会議(福祉サービス)		
	料理クイズ(～15日)(福祉サービス)		
13	ケア会議(福祉サービス)		
15	理髪(ミューテ)		
	鍋セレクト(福祉サービス)		
18	ひなまつりのコースター制作(～23日)(児童デイ)		
	玉つみゲーム(～22日)(福祉サービス)		
22	幹部会		
	ケア会議(福祉サービス)		
25	ひなまつり週間(～3/2日)(児童デイ)		
	ケア会議(福祉サービス)		
	ひなまつり飾り制作(～3/1日)(福祉サービス)		
26	ケア会議(福祉サービス)		
27	ケア会議(福祉サービス)		
28	パーマ(ミューテ)		
2019. 3. 1	チーフ会議		

1. 運営管理

(2) 職員の状況

ア. 職員配置状況

○北広島リハビリセンター（更生部・療護部・診療部）

○北広島市介護予防・日常生活地域支援総合事業（いきいきライフ・わくわくフィット）

○地域サポートセンターみなみ（障がい福祉サービス事業・障がい児通所支援事業・障がい相談支援事業）

○障がい者生活支援センターみらい

職 員 現 員

2019年3月31日現在

項 目	北 広 島 リ ハ ビ リ セ ン タ ー			北広島市介護予防・日常生活支援総合事業	地 域 サ ポ ー ト セ ン タ ー み な み			障がい者生活支援センター
	更 生 部	療 護 部	診 療 部	・いきいきライフ ・わくわくフィット	障がい福祉サービス事業所みなみ	障がい児通所支援事業所みなみ	障がい相談支援事業所みなみ	障がい者生活支援センターみらい
施設長 （院長・管理	1	1		[1]	1	1	1	[1]
事務員	3	6[1]	1		[1]			
生活相談員 相談支援専門員	2	4			2		1 [2]	5 [1] (2)
理学療法士	1	[1]	1	[1]	2	[1] (1)		
作業療法士	1		[1]	[1]	[1]	1		
言語聴覚士		[1]	1					
機能訓練指導員	3	2	[1]		[1] (1)			
医 師	[(3)]	[(3)]	(3)		[(1)]	[(1)]		
看護 師	1 (1)[(1)]	3	(1)[2]		1 (2) [(1)]	[1]		
栄 養 士	1 (2)	1						
介 護 職 員	9 (4)	30 (18)[2]			3 (3)[(1)]			
保 育 士						(4)		
ケアサポーター	(9)				(7)			
調 理 師 (員)	1 (2)	4 (3)			1 (2)			
運 転 技 術 員		2 (1)	(1)	[(1)]		(1)		
そ の 他								
施設管理者					[1]			
ボイラー技師	1							
薬剤師								
看護助手			(1)					
管理当直	(1)	(2)						
管理日直	(1)	(2)						
レントゲン技師	[1]	[1]	(1)					
【地域支援事業】 喫茶管理者						(1)		
99 (75) [36]	24 (20) [5]	53 (24) [9]	3 (7) [4]		10 (15) [7]	2 (7) [3]	2 [2]	5 (2) [2]

()は嘱託・臨職

[]は兼務先・出向

1. 運営管理
(2) 職員の状況

職 員 現 員 (再 掲)

2019年 3月31日現在

○北広島リハビリセンター (更生部・療護部)

○北広島市介護予防・日常生活地域サ支援助総合事業(いきいきライフ・わくわくフィット)

○地域サポートセンターみなみ(障がい福祉サービス・障がい児通所支援・障がい相談支援)

職種	職名	更生部			療護部		北広島市介護予防・日常生活支援総合事業		障がい福祉サービス事業所みなみ		障がい児通所支援事業所みなみ		障がい相談支援事業所みなみ
		機能訓練	生活介護	入所支援	生活介護	入所支援	いきいきライフ	わくわくフィット	機能訓練	生活介護	児童発達支援	放課後等デイサービス	
管理者	施設長(管理者)	1	1	1	1	1	[1]	[1]	1	1			1
サービス管理責任者	生活相談員	1	1	1	2	2			1[1]	1[1]			
児童発達支援管理責任者	生活相談員										1	1	
医師	医師		[(3)]		[(3)]				[(1)]	[(1)]	[(1)]	[(1)]	
看護職員医師	看護師	1	1[(1)]	1	2	2				1[(1)](2)	[1]	[1]	
	准看護師	(1)	(1)										
訓練職員	理学療法士	1	1		[1]		[1]	[1]	1	2	1(1)	1(1)	
	作業療法士	1					[1]	[1]		[1]	1	1	
	言語聴覚士				[1]								
	機能訓練		2		2				(1)	1			
生活支援員	生活相談員		1	1	1	1			1	1			2[1]
	介護職員	3	6(4)	9	30(16)	30(4)			2	3(4)			
	保育士										(4)	(4)	
	ケアサポーター		(9)							(7)			
事務職員	事務職員	3	3	1	4[1]	3			2	2			
栄養士	栄養士	1(1)	1(1)	1(1)	1	1							
調理職員	調理師(員)	1(2)	1(2)	1(2)	4(3)	4(3)			1(2)	1(2)			
ボイラー技師	ボイラー技士	1	1	1									
運転技術員	運転技術員				1(1)	1	1	1			(1)	(1)	
その他	管理当直			(1)		(2)							
	管理日直		(1)										
	レントゲン技師		[(1)]		[(1)]								
	【地域支援事業】 喫茶管理者								(1)				

() は嘱託・臨職
[] は診療部兼務

1. 運営管理

(2) 職員の状況

イ. 職員の異動状況 (障害者支援施設)

2019年3月31日現在

区分	2018.4.1付 現在数	2018年度 中途採用	2018年度 退職	2019.4.1付 新規採用	2019.4.1付 現在数	備考
人数	105	4	14	1	96	嘱託 4 臨時職員 69

ウ. 役付職員の状況 (障害者支援施設)

2019年3月31日現在

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	三瓶 徹	訓練課長	福良 貴博
常務理事(更生部施設長)	中川 浩一	訓練係長	谷口 勝也
療護部施設長	齊藤 久男	訓練係長	新井 田渉
院長(嘱託医)	對馬 邦彦	訓練係主任	濱元 さなえ
総務課長	山本 拓二	介護課長	山道 祐子
庶務係長	佐藤 尚文	介護一係長	落合 里沙
庶務係主任	正木 美枝	介護二係長	奈良 綾子
施設業務係主任	菊池 さとみ	介護二係長	佐藤 宏美
給食係長	木戸 和美	介護三係長	三浦 和紀
給食係主任	水留 直樹	介護一係主任	横井 圭司
会計課長	大森 浩昭	介護二係主任	澁野 有祐
経理係長(出向)	前川 忍	介護二係主任	中出 江美子
経理係長	清水 順子	介護三係主任	長内 隆二郎
福祉課長	若狭 聡美	障がい地域支援課長	野村 和泉
福祉係長	飯澤 桃子	通所支援係長	中瀬 智美
福祉係長	西尾 恵史	通所支援係長	渡邊 由佳
福祉係主任	小俣 東美	通所支援係長	齊藤 恵美
福祉係主任	今 綾	通所支援係主任	西野 正展
看護係長	佐藤 恵子	相談支援係長	高橋 直子
看護係主任	館山 町子	相談支援係長	柏 滋

エ. 国家資格取得者 (身体障害施設)

2019年3月31日現在

	更生部	療護部	診療部	障がい福祉サ ビス事業所みなみ	障がい児通所 支援事業所みなみ	障がい相談支援 事業所みなみ	障害者生活支援 センターみらい	計
社会福祉士	2	6		2	1	2	5	18
精神保健福祉士						1	2	3
介護福祉士	8	24		7			1	40
介護支援専門員	3	6		2	1	1	2	15
理学療法士	1		1	2	1			5
作業療法士	1				1			2
言語療法士			1					1
柔道整復師	1	1						2
看護師	2	6	1	3				12
准看護師		3		2				5
保育士	3	6			4			13
薬剤師			1					1
管理栄養士	1	1						2
栄養士	1							1
計	23	53	4	18	8	4	10	120

1. 運営管理

(3) 職員研修実施状況

ア. ② 各種研修会参加の状況 (道外)

2018年度

年 月 日	開 催 地	研 修 会 名 称	参 加 人 数 ・ 氏 名
2019 3/14~15	東 京 都	全社協 第30回経営セミナー	齊藤(久)
6/11	東 京 都	第1回研修・全国大会委員会	齊藤(久)
8/9~10	大 阪 府 *	第42回全国身体障害者施設協議会研修大会	中川
8/30	東 京 都	第2回研修・全国大会委員会	齊藤(久)
12/11~12	東 京 都	全社協 第18回地域生活支援推進研究会議	島田
2018 11/26~27	東 京 都	第3回研修・全国大会委員会及び第8回職員スキルアップ研修会	齊藤(久)
2/5	東 京 都	第2回研修・全国大会委員会	齊藤(久)
3/22	東 京 都	第5回研修・全国大会委員会	齊藤(久)
		小 計 6 名 (更1名 療 6名 診0名 みなみ1名)	
		合 計 58 名 (本部1 更 12 名 療 22 名 診 2 名 みなみ 11 名)	

(3) 職員研修実施状況

イ. その他の研修等参加の状況

2018年度

年 月 日	開 催 地	研 修 会 名 称	参 加 人 数 ・ 氏 名
2018 6/20	恵庭市	施設見学(医療法人北展会介護老人保健施設恵み野ケアサポート)	三浦・長内

1. 運営管理

(3) 職員研修実施状況

ウ. 施設内研修実施状況（課内研修）

2018年度

担当	実施日	研修内容	参加人数
訓練課	2018. 3.23	介護予防事業についての勉強会	7名
	2018. 5.25	日中活動についての検討会	8名
	2018. 9.21	総合事業通所型サービス方針検討会	9名
福祉課	2018. 6. 7	地域資源としての役割について	5名
	2018. 6.28	医療体制変更に伴う相談員の役割について	5名
	2018. 7.19	医療体制変更に伴う相談員の役割について	5名
	2018.12.13	福祉情勢について	5名
	2019. 3.26	ケース検討	5名
障がい地域支援課	2019. 2.19	放課後等デイサービス事業所の自己評価実施に向けて	5名
全体研修		障がい施設研修	
	2018. 8.16	第1回 施設職員研修会「アンガーマネジメント研修」	18名
	2018. 8.22	第2回 施設職員研修会「アンガーマネジメント研修」	18名
	2018. 9. 5	第3回 施設職員研修会「アンガーマネジメント研修」	17名
	2018. 9.19	第4回 施設職員研修会「アンガーマネジメント研修」	20名
	2018.10.18	第5回 施設職員研修会「アンガーマネジメント研修」	23名
	2019. 3.26	職員研修会	51名
		法人合同研修	
	2018.4. 1～6	新規採用職員研修	16名
	2018.9. 3～5	新規採用職員研修	13名
	2018. 5.28	法人全体研修「基本理念と福祉サービスの姿勢」～身体拘束禁止と虐待防止	289名
	2018. 6.12	〃	
	2018. 6. 8	専門別研修「介護のチカラ向上研修①」～薬のはなし～	175名
	2018. 7.10	〃	
	2018. 7.30	〃	
	2018. 9.11	専門別研修「介護のチカラ向上研修②」～心地よい介護技術と生活リハビリにつ	
	2018. 9.21	〃	66名
	2018. 9.26	〃	
	2018.11.15	法人全体研修「身体拘束適正化に向けて」	257名
	2018.11.21	〃	
2019. 1.23	専門別研修「介護のチカラ向上研修③」～摂食障害を知ろう～	71名	
2019. 1.29	〃		
2019. 2.14	〃		

1. 運営管理

(4) ボランティア受け入れ状況 (ボランティア数)

2018年度

	種 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	種目合計
ク ラ ブ	書 道	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	16(8)
	華 道	2(1)	2(1)	2(1)	2(1)	2(1)		2(1)	2(1)	2(1)	2(1)	2(1)	/	20(10)
定 期 レ ク	喫 茶	3	3	3	/	/	3	3	3	/	/	3	3	24
	朗 読 の 会	2	/	2	/	/	2	/	2	/	/	/	/	8
	麻 雀 の 日	/	2	/	/	/	/	2	/	/	2	/	2	8
全 体 レ ク	セ ン タ ー 祭	/	/	/	29	/	/	/	/	/	/	/	/	29
	盆 踊 り	/	/	/	/	9	/	/	/	/	/	/	/	9
	年 忘 れ 会 食 会	/	/	/	/	/	/	/	/	6	/	/	/	6
そ の 他	繕い物	7	/	7	6	/	7	/	4	7	/	6	/	44
	車椅子清掃	/	/	30	/	/	/	34	/	/	/	/	/	64
	月別合計	14	7(1)	44(1)	37(1)	11(1)	12	41(1)	11(1)	15(1)	4(1)	11(1)	5	212(9)

() はクラブ講師ボランティア数

【 定期協力ボランティア団体・個人名 】

- あゆみの会 様
- 航空自衛隊千歳基地准曹会 様
- アオサギの会 様
- 北広島市赤十字奉仕団Vo. 様
- 浅沼 節子 様 (華道講師)

(5) 面会者状況

2018年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人 数	242	241	223	264	257	217	242	212	251	253	181	227	2810
1 日 平 均	8.07	7.77	7.43	8.52	8.29	7.23	7.81	7.07	8.10	8.16	6.46	7.32	8.3

(6) 施設見学等受け入れ状況

2018年度

北広島リハビリセンター	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
団体数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
見学者数	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
地域サポートセンターみなみ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
団体数	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	4
見学者数	0	0	0	5	10	0	18	0	0	0	0	0	33

1. 運営管理

(7) 実習生(研修生)受け入れ状況

2018年度

学 校 名	期 間	人 数	配 置 部 署
ハーベスト医療福祉専門学校	2018 5/7 ~ 5/25	1	診 療 部 訓 練 課
ハーベスト医療福祉専門学校	8/27 ~ 10/19	1	診 療 部 訓 練 課
藤女子短期大学	5/28 ~ 6/9	2	障 が い 地 域 支 援 課
北海道文教大学	8/27 ~ 9/14	1	診 療 部 訓 練 課
藤女子短期大学	10/1 ~ 10/15	2	障 が い 地 域 支 援 課
藤女子短期大学	10/16 ~ 10/29	2	障 が い 地 域 支 援 課
札幌医療リハビリ専門学校	3/4 ~ 3/8	1	療 護 部 訓 練 課
北海道文教大学	2/18 ~ 2/22	1	診 療 部 訓 練 課
北海道文教大学	12/3 ~ 12/14	1	療 護 部 訓 練 課
計		12	

2-1 利用者支援状況

【更生部】

(1) 定員

2019年3月31日現在

	機能訓練	生活介護	入所支援
定員	6	34	40

(2) 日中活動・施設入所支援利用状況

2018年度

月	機能訓練(定員6名)		生活介護(定員54名)		入所支援(定員60名)	
	利用数(1日平均)	支援日数	利用数(1日平均)	支援日数	利用数(1日平均)	支援日数
4月	1.7	22	47.1	22	47.0	30
5月	1.5	23	47.0	22	46.0	31
6月	1.8	22	46.2	22	46.9	30
7月	1.0	23	44.3	23	44.2	31
8月	1.0	23	43.5	23	43.1	31
9月	1.0	22	42.8	22	42.7	30
10月	1.0	23	41.9	23	41.8	31
11月	1.0	22	41.2	22	41.1	30
12月	1.0	23	39.0	23	39.5	31
1月	1.0	23	39.7	23	39.5	31
2月	1.0	20	40.0	20	39.9	28
3月	1.0	23	38.0	23	37.8	31
平均	1.2	22.4	42.6	22.3	42.5	30.4

(3) 入所経路 【施設入所支援対象者】

2018年度

		在宅より	病院より	他施設より	合計
施設入所支援	機能訓練	0	0	0	0
	生活介護	0	0	0	0
合計		0	0	0	0

(4) 退所理由 【施設入所支援対象者】

2018年度

		施設移行				在宅	医療機関	死亡退所	合計
		授産施設	療護施設	老人施設	その他				
施設入所支援	機能訓練	1	0	1	0	1	1	1	11
	生活介護	1	5	1	1	0	1	1	10
合計		1	5	1	1	1	1	1	11

(5)-1 性別年齢別状況

2019年3月31日現在

		最低年齢	最高年齢	平均年齢	男女平均年齢		
					機能訓練	生活介護	施設入所
男性	機能訓練	38歳2ヶ月	38歳2ヶ月	38歳2ヶ月	38歳2ヶ月	63歳9ヶ月	63歳9ヶ月
	生活介護	48歳7ヶ月	78歳11ヶ月	63歳5ヶ月			
	施設入所	48歳7ヶ月	78歳11ヶ月	63歳5ヶ月			
女性	機能訓練	歳ヶ月	歳ヶ月	歳ヶ月	38歳2ヶ月	63歳9ヶ月	63歳9ヶ月
	生活介護	37歳10ヶ月	80歳9ヶ月	64歳7ヶ月			
	施設入所	37歳10ヶ月	80歳9ヶ月	64歳7ヶ月			

(5)-2 性別年齢別状況

2019年3月31日現在

年齢範囲(歳)		15	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	合計
		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
		24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	74	79		
男性	機能訓練	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	生活介護	0	0	0	0	0	2	4	3	5	7	6	1	0	28
	施設入所	0	0	0	0	0	2	4	3	5	7	6	1	0	28
女性	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活介護	0	0	0	1	0	0	1	1	1	3	1	1	1	10
	施設入所	0	0	0	1	0	0	1	1	1	3	1	1	1	10
合計	機能訓練	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	生活介護				1	0	2	5	4	6	10	7	2	1	38
	施設入所				1	0	2	5	4	6	10	7	2	1	38

(6)-1 性別在所期間別状況

【更生部】

2019年3月31日現在

	最短在所期間	最長在所期間	平均在所期間	男女平均在所期間
男 性	1年5ヶ月	20年10ヶ月	9年4ヶ月	9年 6ヶ月
女 性	2年3ヶ月	18年8ヶ月	10年0ヶ月	

0ヶ月・・・H29年3月入所

(6)-2 性別在所期間別状況

2019年3月31日現在

期間範囲(年)	0	0.5	1	3	5	10	15	20	30	合計
	0.5 年未満	1 年未満	3 年未満	5 年未満	10 年未満	15 年未満	20 年未満	30 年未満		
男 性	0	0	1	9	8	4	3	3	0	28
女 性	0	0	1	1	4	1	3	0	0	10
合 計	0	0	2	10	12	5	6	3	0	38

(7) 障害状況

2019年3月31日現在

		脳血管障害による 右片麻痺	脳血管障害による 左片麻痺	脳血管障害による その他	脊髄損傷	頭部外傷	脳性麻痺	頸椎損傷	難 病	そ の 他	合 計
男 性	機能訓練	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	生活介護	9	6	3	0	4	0	2	1	3	28
	施設入所	9	6	3	0	4	0	2	1	3	28
女 性	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活介護	1	3	1	0	0	1	0	2	2	10
	施設入所	1	3	1	0	0	1	0	2	2	10
合 計	機能訓練	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	生活介護	10	9	4	0	4	1	2	3	5	38
	施設入所	10	9	4	0	4	1	2	3	5	38

難病内訳 : 進行性筋委縮症 1名 : もやもや病 1名
: 脊髄小脳変性症 1名 :

(8) 障害支援区分

2019年3月31日現在

		非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	平均区分
男 性	機能訓練	0	0	0	0	0	0	1	6.0
	生活介護	0	0	0	5	9	12	2	4.4
	施設入所	0	0	0	5	9	12	2	4.4
女 性	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活介護	0	0	0	0	5	3	2	4.7
	施設入所	0	0	0	0	5	3	2	4.7
合 計	機能訓練	0	0	0	0	0	0	1	6.0
	生活介護	0	0	0	5	14	15	4	4.5
	施設入所	0	0	0	5	14	15	4	4.5

(9) 身障手長等級別

【更生部】

2019年3月31日現在

	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級
男性	21	7	0	0	0	0
女性	6	4	0	0	0	0
合計	27	11	0	0	0	0

(10) 出身地域別

2019年3月31日現在

		機能訓練			生活介護			施設入所			
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	
道 央	札幌市	東 区	0	0	0	2	0	2	2	0	2
		西 区	0	0	0	2	0	2	2	0	2
		南 区	0	0	0	2	2	4	2	2	4
		北 区	0	0	0	3	1	4	3	1	4
		中央区	0	0	0	1	0	1	1	0	1
		厚別区	0	0	0	1	0	1	1	0	1
		白石区	1	0	1	2	0	2	2	0	2
		手稲区	0	0	0	2	1	3	2	1	3
		清田区	0	0	0	2	0	2	2	0	2
		豊平区	0	0	0	0	2	2	0	2	2
	石 狩 振興局	北広島市	0	0	0	3	1	4	3	1	4
		江別市	0	0	0	1	1	2	1	1	2
		千歳市	0	0	0	2	0	2	2	0	2
		恵庭市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		石狩市	0	0	0	0	1	1	0	1	1
		当別町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		新篠津村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
空知総合振興局	0	0	0	1	0	1	1	0	1		
道 南	後志総合振興局	0	0	0	1	0	1	1	0	1	
	渡島総合振興局	0	0	0	1	0	1	1	0	1	
	檜山振興局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	胆振振興局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	日高振興局	0	0	0	0	1	1	0	1	1	
道 東	十勝総合振興局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	釧路総合振興局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	根室振興局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オホーツク総合振興局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
道 北	上川総合振興局	0	0	0	1	0	1	1	0	1	
	宗谷総合振興局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	留萌振興局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他の地域		0	0	0	1	0	1	1	0	1	
合 計		1	0	1	28	10	38	28	10	38	

2-2 利用者支援状況

【療護部】

(1) 定員

2019年3月31日現在

	生活介護	入所支援
定員	80	80

(2) 日中活動・施設入所支援利用状況

2018年度

月	生活介護(定員80名)		入所支援(定員80名)	
	利用数(1日平均)	支援日数	利用数(1日平均)	支援日数
4月	68.8	22	69.6	30
5月	66.1	23	67.2	31
6月	67.1	22	67.9	30
7月	67.7	23	68.5	31
8月	66.0	23	66.8	31
9月	64.4	22	65.1	30
10月	61.6	23	62.3	31
11月	60.5	22	61.5	30
12月	61.0	23	61.8	31
1月	60.1	23	61.0	31
2月	57.5	20	58.3	28
3月	59.8	23	59.4	31
平均	63.4	22.4	64.1	30.4

(3) 入所経路 【施設入所支援対象者】

2018年度

	在宅より	病院より	他施設より	合計
施設入所支援	0	0	1	1

(4) 退所理由 【施設入所支援対象者】

2018年度

	施設移行				在宅	医療機関	死亡退所	合計
	授産施設	療護施設	老人施設	その他				
施設入所支援	0	0	1	0	1	4	3	9

(5)-1 性別年齢別状況

2019年3月31日現在

		最低年齢	最高年齢	平均年齢	男女平均年齢	
					生活介護	施設入所
男性	生活介護	46歳3ヶ月	80歳0ヶ月	61歳0ヶ月	63歳4ヶ月	62歳11ヶ月
	施設入所	38歳2ヶ月	80歳0ヶ月	60歳5ヶ月		
女性	生活介護	47歳9ヶ月	92歳4ヶ月	66歳11ヶ月	63歳4ヶ月	62歳11ヶ月
	施設入所	47歳9ヶ月	92歳4ヶ月	66歳11ヶ月		

(5)-2 性別年齢別状況

2019年3月31日現在

年齢範囲(歳)		18	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	合計
		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
		24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	74	79		
男性	生活介護	0	0	0	0	0	5	6	6	10	3	4	2	1	37
	施設入所	0	0	0	1	0	5	6	6	10	3	4	2	1	38
女性	生活介護	0	0	0	0	0	1	3	4	2	5	4	2	3	24
	施設入所	0	0	0	0	0	1	3	4	2	5	4	2	3	24
合計	生活介護	0	0	0	0	0	6	9	10	12	8	8	4	4	61
	施設入所	0	0	0	1	0	6	9	10	12	8	8	4	4	62

【療護部】

(6)-1 性別在所期間別状況

2019年3月31日現在

	最低在所	最高在所	平均在所	男女平均在所期間
男性	3ヶ月	39年3ヶ月	11年7ヶ月	12年7ヶ月
女性	2年8ヶ月	39年0ヶ月	14年2ヶ月	

0ヶ月・・・H29年3月入所

(6)-2 性別在所期間別状況

2019年3月31日現在

期間範囲(年)	0	0.5	1	3	5	10	15	20	30	合計
	5 0.5 年未満	5 1 年未満	5 3 年未満	5 5 年未満	5 10 年未満	5 15 年未満	5 20 年未満	5 30 年未満	5	
男性	1	0	2	9	12	6	1	2	5	38
女性	0	0	3	3	5	3	4	2	4	24
合計	1	0	5	12	17	9	5	4	9	62

(7) 障害状況

2019年3月31日現在

		脳血管障害による 右片麻痺	脳血管障害による 左片麻痺	脳血管障害による その他	脊髄損傷	頭部外傷	脳性麻痺	頸椎損傷	難病	その他	合計
男性	生活介護	14	5	1	0	2	5	3	2	5	37
	施設入所	14	5	1	0	3	5	3	2	5	38
女性	生活介護	2	8	3	1	0	5	1	1	3	24
	施設入所	2	8	3	1	0	5	1	1	3	24
合計	生活介護	16	13	4	1	2	10	4	3	8	61
	施設入所	16	13	4	1	3	10	4	3	8	62

難病内訳 : 後縦靭帯骨化症 1名 : 脊髄小脳変性症 1名
: 遠位型ミオパチー 1名

(8) 障害支援区分

2019年3月31日現在

		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	平均区分
男性	生活介護	0	0	0	1	2	34	5.8
	施設入所	0	0	0	1	2	35	5.8
女性	生活介護	0	0	0	0	5	19	5.7
	施設入所	0	0	0	0	5	19	5.7
合計	生活介護	0	0	0	1	7	53	5.8
	施設入所	0	0	0	1	7	54	5.8

(9) 身障手長等級別

2019年3月31日現在

	1級	2級	3級	4級
男性	29	8	1	0
女性	23	1	0	0
合計	52	9	1	0

【療護部】

(10) 出身地域別

2019年3月31日現在

		生活介護			施設入所			
		男	女	計	男	女	計	
道 央	札幌市	東 区	2	1	3	2	1	3
		西 区	4	1	5	4	1	5
		南 区	0	1	1	0	1	1
		北 区	4	0	4	4	0	4
		中央区	0	0	0	0	0	0
		厚別区	1	2	3	1	2	3
		白石区	4	1	5	5	1	6
		手稲区	2	0	2	2	0	2
		清田区	5	1	6	5	1	6
		豊平区	2	1	3	2	1	3
道 南	石 狩 振興局	北広島市	4	5	9	4	5	9
		江別市	0	0	0	0	0	0
		千歳市	3	2	5	3	2	5
		恵庭市	1	3	4	1	3	4
		石狩市	0	0	0	0	0	0
		当別町	0	0	0	0	0	0
		新篠津村	0	0	0	0	0	0
空知総合振興局	1	1	2	1	1	2		
道 東	後志総合振興局	後志総合振興局	2	0	2	2	0	2
		渡島総合振興局	0	1	1	0	1	1
		檜山振興局	0	0	0	0	0	0
		胆振振興局	1	1	2	1	1	2
		日高振興局	1	0	1	1	0	1
道 東	オホーツク総合振興局	十勝総合振興局	0	0	0	0	0	0
		釧路総合振興局	1	0	1	1	0	1
		根室振興局	0	0	0	0	0	0
		オホーツク総合振興局	0	1	1	0	1	1
道 北	留萌振興局	上川総合振興局	0	0	0	0	0	0
		宗谷総合振興局	0	1	1	0	1	1
		留萌振興局	0	0	0	0	0	0
その他の地域		0	0	0	0	0	0	
合 計		38	23	61	39	23	62	

(11) 福祉課主催レクリエーション実施状況及び利用者参加数

2019年3月31日現在

レクリエーション種目	実施日	回数	参加者数
喫茶わいわい	4月～3月(7、8、12、1月除く月一回)	8回	445名
車椅子清掃	6/2、10/20	2回	105台
麻雀の日	5/30、10/24、1/23、3/27	4回	15名
朗読の会	4/11、6/20、9/5、11/7	4回	72名

【療護部】

2-3 短期入所利用者支援状況 【ショートステイ】

2018年度

月	施設別	障害支援区分						施設別 延利用日数	延利用日数	一日平均 利用者数
		1	2	3	4	5	6			
4	更生部	0	0	10	23	2	0	35	78	2.6
	療護部	0	0	3	7	8	25	43		
5	更生部	0	0	0	23	0	0	23	70	2.3
	療護部	0	0	0	12	8	27	47		
6	更生部	0	0	7	21	0	0	28	86	2.9
	療護部	0	0	4	3	8	43	58		
7	更生部	0	0	7	24	0	0	31	79	2.5
	療護部	0	0	0	0	6	42	48		
8	更生部	0	0	13	25	0	0	38	72	2.3
	療護部	0	0	0	0	8	26	34		
9	更生部	0	0	3	21	0	0	24	53	1.8
	療護部	0	0	0	0	8	21	29		
10	更生部	0	0	4	24	0	0	28	70	2.3
	療護部	0	0	4	0	9	29	42		
11	更生部	0	0	7	20	0	0	27	61	2.0
	療護部	0	0	0	0	9	25	34		
12	更生部	0	0	3	22	0	0	25	54	1.7
	療護部	0	0	0	0	8	21	29		
1	更生部	0	0	0	18	0	0	18	44	1.4
	療護部	0	0	0	0	6	20	26		
2	更生部	0	0	4	23	0	0	27	60	2.1
	療護部	0	0	0	0	8	25	33		
3	更生部	0	0	7	26	0	0	33	74	2.4
	療護部	0	0	5	0	8	28	41		
計	更生部	0	0	65	270	2	0	337	801	2.2
	療護部	0	0	16	22	94	332	464		

2-4 ADL 状 況

(1) 更生部（入 所）

2019年3月31日現在

介助度	食 事	着 脱	入 浴	整 容	体位交換	服 薬	洗 濯	移乗動作	平地移動	電動車椅子	排 泄	オムツ
全介助 名	1	6	4	4	6	18	26	4	1	1	4	3
一部介助 名	22	15	30	6	1	20	1	7	3	34	20	9
自立 名	15	17	4	28	31	0	11	27	34	3	14	26
全介助 %	2.6	15.8	10.5	10.5	15.8	47.4	68.4	10.5	2.6	2.6	10.5	7.9
一部介助 %	57.9	39.5	78.9	15.8	2.6	52.6	2.6	18.4	7.9	89.5	52.6	23.7
自立 %	39.5	44.7	10.5	73.7	81.6	0.0	28.9	71.1	89.5	7.9	36.8	68.4

* 在籍 38 名

(2) 療護部（入 所）

2019年3月31日現在

介助度	食 事	着 脱	入 浴	整 容	体位交換	服 薬	洗 濯	移乗動作	平地移動	電動車椅子	排 泄	オムツ
全介助 名	22	42	32	21	14	50	62	33	19	7	40	38
一部介助 名	10	14	29	21	0	10	0	24	3	54	19	8
自立 名	30	6	0	20	48	2	0	5	40	1	3	16
全介助 %	35.5	67.7	52.5	33.9	22.6	80.6	100.0	53.2	30.6	11.3	64.5	61.3
一部介助 %	16.1	22.6	47.5	33.9	0.0	16.1	0.0	38.7	4.8	87.1	30.6	12.9
自立 %	48.4	9.7	0.0	32.3	77.4	3.2	0.0	8.1	64.5	1.6	4.8	25.8

* 在籍 62名

2-5 食事量形態別食数

2019年3月31日現在

施設別 食種・主食別		更生部				療護部				みなみ				合計			
		形態	刻	刻小	ミキサー	計	刻	刻小	ミキサー	計	刻	刻小	ミキサー		計		
一般食	常食	①	8			8	2	1	1	4	38	3	1	42	54		
		②	7	1		8	6	4		10				0	18		
	全粥食	①	1			1				0		1	1	2	3		
		②				0			1	1				0	1		
	軟菜食	米飯				0		3	1	4				0	4		
		全粥				0		1	3	4	1			1	5		
		ミキサー粥				0				0				0	0		
		その他				0		1		1				0	1		
	ミキサー食	全粥				0				0			3	3	3		
		ミキサー粥				0			2	2			3	3	5		
特別食	PC食 (腎疾患食)	米飯	1			1				0			0	1			
		全粥				0				0			0	0			
	脂肪コント ロール食	米飯				0				0			0	0			
		全粥				0				0			0	0			
	エネルギー コントロール 食①	米飯	4	1		5	2	2		4	8			8	17		
		全粥		1	1	2			2	2	1			1	5		
	エネルギー コントロール 食① 減塩	米飯				0	2	2		4				0	4		
		全粥				0			3	4				0	4		
		ミキサー粥				0			1	1				0	1		
	エネルギー コントロール 食②	米飯				0	2			2				0	2		
		全粥			1	1	2			2				0	3		
		ミキサー粥				0				0				0	0		
	エネルギー コントロール 食② 減塩	米飯	3			3	1			1				0	4		
全粥					0				0				0	0			
エネルギー コントロール 食②	米飯	1			1	4	1	2	7	2			2	10			
	全粥		1		1				0				0	1			
減塩 (軟)	米飯	2	2		4	4			4	5	2		7	15			
	全粥			1	2				0	1		1	1	3			
	全粥			1	1				0				0	1			
経管栄養(胃ろう)					0			5	5			4	4	9			
食事なし					0				0			15	15	15			
合計		27	6	2	3	38	25	15	13	4	62	56	6	2	26	89	189

2-6 院外受診状況表

(更生部・療護部)

2018年度

月	受診科目	内	脳	整	泌	外	皮	神	産	精	歯	眼	耳	そ	計	合計	付添職員数
		科	外科	形外科	尿器科	科	膚科	経内科	婦人科	神科	科	科	鼻科	の他			
4	更生部	3	3	4	4		7	1		9		1	2		34	69	45
	療護部	12	2	1	1	1	8			7		2	1		35		
5	更生部	11		2	2	1	10	1		6		2			24	64	43
	療護部	11		3	2	3	10	1		6		4			40		
6	更生部	15	2	5	1		3			8	1	2			37	85	62
	療護部	15	4	3	2	5	8		1	7		2	1		48		
7	更生部	5	1	2	4	1	7			7		2			29	78	45
	療護部	16	2	5	2	2	14			8					49		
8	更生部	10	1	3	3	1	5	2		6		1			32	65	38
	療護部	7	1	3	3	2	10			5		2			33		
9	更生部	8	1	2	1	1	5			10		2			30	65	39
	療護部	13	3	1	2	1	6		2	6			1		35		
10	更生部	12	3	2	5		8			6		3			39	77	46
	療護部	13	2		5	1	10			5		1	1		38		
11	更生部	6	2	1	1		4	1		5		1			21	52	32
	療護部	8	1	1	1	2	9			7		2			31		
12	更生部	7	2	2	4		13			6		3			37	68	36
	療護部	10	3		2	1	8			6		1			31		
1	更生部	9		2	2	1	9			6		1			30	57	37
	療護部	9	3		1	2	6			4			2		27		
2	更生部	7	3			3	8	1		5		1			28	65	41
	療護部	14	6		1	3	8			3		1	1		37		
3	更生部	5	1	3	3		6			3		5			26	79	48
	療護部	13	5	2	1	5	8			10		2	7		53		
計	更生部	98	19	28	30	8	85	6	0	77	1	24	2	0	378	835	512
	療護部	141	32	19	23	28	105	1	3	74	0	17	14	0	457		
合計		239	51	47	53	36	190	7	3	151	1	41	16	0	835	512	

2-7 理学療法実施状況

(1) 更生部機能訓練

2018年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	19.5	20	19	20	20	17	20.5	20	18.5	17.5	18	20.5	231	1.3
延人数	33	36	34	20	21	18	23	21	22	19	20	25	292	

※9/6～9/7(AM)までの期間、胆振東部地震の為、リハビリ中止。1/5インフルエンザ感染蔓延防止の為、リハビリ中止。

(2) 更生部生活介護

2018年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	19.5	20	19	20	20	17	20.5	20	18.5	17.5	18	20.5	231	18.6
延人数	397	406	385	361	353	299	384	376	354	289	360	328	4,292	

※9/6～9/7(AM)までの期間、胆振東部地震の為、リハビリ中止。1/5インフルエンザ感染蔓延防止の為、リハビリ中止。

(3) 療護部生活介護

2018年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	19.5	20	19	20	20	17	20.5	20	18.5	17.5	18	20.5	231	24.5
延人数	564	552	478	512	489	364	439	435	480	390	453	481	5,637	

※9/6～9/7(AM)までの期間、胆振東部地震の為、リハビリ中止。1/5インフルエンザ感染蔓延防止の為、リハビリ中止。

(4) 社会適応訓練(地域参加型体験訓練、調理動作訓練)

2018年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(5) 日中活動Ⅰ(ハッスルウェンズデイ；スポーツ・ゲーム・作業活動 毎週水曜日午後)

2018年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1回平均
実施数	3	3	4	2	2	3	4	2	1	2	2	3	31	17.5
延人数	51	61	62	23	29	58	76	32	16	32	40	61	541	

(6) 日中活動Ⅱ(チャレンジサタデイ；カラオケ 土曜日午後)

2018年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1回平均
実施数	3	3	3	2	2	5	2	2	4	3	2	5	36	20.4
延人数	49	53	62	37	41	100	45	45	89	63	45	104	733	

※1/5インフルエンザ感染蔓延防止の為、レクリエーション中止。

(7) 診療部外来

2018年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	8	7	6	4	5	5	8	8	11	6	6	8	82	1.0
延人数	8	7	6	4	5	5	8	8	11	6	6	8	82	

※ 物理療法実施状況

診療部外来

2018年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	17	17.5	16.5	16.5	18	6.5	19.5	18.5	15.5	11.5	17	18	192	31.6
延人数	601	578	522	440	468	213	637	550	508	361	573	617	6,068	

※2/17(PM)～2/20までの期間、感染蔓延防止の為、診療休診

※ 補助用具修理(車椅子・装具等)・意見書・診断書資料

2018年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
補助用具修理	25	21	18	21	32	21	27	29	24	24	20	11	273
意見書・診断書	2	1	2	3	2	1	0	2	1	1	2	0	17

2-8 作業療法実施状況

(1) 更生部機能訓練

2018年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	19.5	20	19	20	20	17	20.5	20	18.5	17.5	18	20.5	231	0.0
延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(2) 更生部生活介護

2018年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	19.5	20	19	20	20	17	20.5	20	18.5	17.5	18	20.5	231	12.4
延人数	223	243	223	191	227	239	271	251	240	231	257	261	2,857	

(3) 療護部生活介護

2018年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	19.5	20	19	20	20	17	20.5	20	18.5	17.5	18	20.5	231	7.6
延人数	139	148	143	165	186	147	169	147	125	118	111	147	1,745	

2-9 言語療法実施状況

(1) 更生部機能訓練

2018年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	18	16.5	18	18.5	17.5	12	19.5	19	16.5	14.5	15.5	16.5	202	0.0
延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(2) 更生部生活介護

2018年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	18	16.5	18	18.5	17.5	12	19.5	19	16.5	14.5	15.5	16.5	202	0.1
延人数	2	1	0	0	2	1	5	0	0	1	0	0	12	

(3) 療護部生活介護

2018年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	18	16.5	18	18.5	17.5	12	19.5	19	16.5	14.5	15.5	16.5	202	2.1
延人数	35	40	36	42	34	21	52	44	40	34	24	25	427	

(4) 診療部外来

2018年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	18	16.5	18	18.5	17.5	12	19.5	19	16.5	14.5	15.5	16.5	202	11.0
延人数	203	178	200	208	193	140	205	196	180	157	167	187	2,214	

2-10 自助具制作状況

2018年度

	更生部	更生部通所	療護部	療護部通所	外来	ショート	計
制作数	0	0	0	0	0	0	0

2-11 外来患者月別実績表

2018年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	年度 1日平均
診療日数	20	20	11	14	19	16	17	17	14	16	15	15	194	77.0
社保患者数	380	400	276	308	354	278	329	324	282	263	278	282	3,754	
国保患者数	1,312	1,138	866	984	1,002	939	995	874	772	790	727	785	11,184	
延患者数	1,692	1,538	1,142	1,292	1,356	1,217	1,324	1,198	1,054	1,053	1,005	1,067	14,938	
月1日平均	84.6	76.9	103.8	92.3	71.4	76.1	77.9	70.5	75.3	65.8	67.0	71.1		

3. 在宅福祉サービス事業実績状況

(1) 北広島市日常生活支援総合事業(通所型サービス(A))

2018年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護予防プログラム	199	193	202	215	211	152	224	233	193	188	196	204	2410
ホットパック	192	178	199	211	207	119	215	223	189	169	196	204	2302

北広島市日常生活支援総合事業(通所型サービス(C))

2018年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
機能訓練	3	4	8	13	12	11	13	9	4	2	4	3	86
ホットパック	2	4	8	12	12	4	10	5	4	2	4	3	70

(2) 入浴サービス利用状況(北広島市地域生活支援事業)

2018年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延利用回数	117	124	126	95	119	96	113	104	107	109	121	125	1356
実利用人数	19	20	21	17	23	19	18	17	19	19	18	21	231

4-1 利用者支援状況

【障がい福祉サービス】

(1) 定員（及び登録者数）

2019年3月31日現在

定員	機能訓練（ ）内は登録数		生活介護（ ）内は登録数	
	6	2	34	78

(2) 利用実績状況

2018年度

月	機能訓練（定員6名）		生活介護（定員34名）	
	実利用数(1日平均)	実支援日数	実利用数(1日平均)	実支援日数
4月	0.7	23	26.7	23
5月	0.5	24	27.1	24
6月	0.7	24	29.2	24
7月	0.5	24	28.7	24
8月	0.4	24	29.6	24
9月	0.4	22	25.0	22
10月	0.3	23	30.3	23
11月	0.3	23	31.6	23
12月	0.0	24	30.1	24
1月	0.1	23	26.6	23
2月	0.2	21	28.6	21
3月	0.1	25	26.9	25
平均	0.4	23.3	28.4	23.3

(3)-1 性別年齢別状況

2018年度

		最低年齢	最高年齢	平均年齢	男女平均年齢	
					機能訓練	生活介護
男性	機能訓練	48.7	48.7	48.7		
	生活介護	19.2	83.3	52.6		
女性	機能訓練	24.8	24.8	24.8		
	生活介護	22	81.9	53.8		

(3)-2 性別年齢別状況

2018年度

年齢範囲(歳)		15	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	合計
		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
男性	機能訓練	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	生活介護	0	4	2	2	5	3	8	3	7	3	6	1	2	46
女性	機能訓練	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	生活介護	3	2	2	2	2	1	3	4	6	4	1	3	1	34
合計	機能訓練	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	生活介護	3	6	4	4	7	4	11	7	13	7	7	4	3	80

(4) 性別在籍期間別状況

2018年度

期間範囲(年)	0	0.5	1	3	5	10	15	20	30	合計
	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
	0.5年未満	1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	15年未満	20年未満	30年未満		
男性	4	2	11	29	0	0	0	0	0	46
女性	1	2	6	25	0	0	0	0	0	34
合計	5	4	17	54	0	0	0	0	0	80

(5) 障害状況

【障がい福祉サービス】

2018年度

		脳血管障害による右片麻痺	脳血管障害による左片麻痺	脳血管障害によるその他	脊髄損傷	頭部外傷	脳性麻痺	頸椎損傷	難病	その他	身障手帳なし(精神)	合計
男性	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	生活介護	9	12	2	1	2	5	7	3	3	1	45
女性	機能訓練	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	生活介護	1	7	0	0	1	8	2	4	7	3	33
合計	機能訓練	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
	生活介護	10	19	2	1	3	13	9	7	10	4	78

難病内訳： 遠位型ミオパチー 多発性硬化症 筋緊張性ジストロフィー
 進行性筋萎縮症 多系統萎縮症 全身性強皮症、シェーグレン症候群
 先天性代謝異常症

(6) 障害支援区分

2018年度

		非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	平均区分
男性	機能訓練	0	0	1	0	0	0	0	
	生活介護		0	2	14	8	6	15	
女性	機能訓練	0	0	0	1	0	0	0	
	生活介護		0	4	8	4	4	14	
合計	機能訓練	0	0	1	1	0	0	0	
	生活介護		0	6	22	12	9	28	

* 機能訓練については障害区分認定が無いため、一次判定(コンピューター判定)結果を記載

(7) レクリエーション実施状況

2018年度

レクリエーション種目	実施月	回数	内 容
外出レク	5~9	9	北海道博物館、新札幌、小樽、キリンビール、大通り、マオイの丘、平岡イオン
焼肉	8	1	前年度好評だった焼肉を屋外で実施 職員が肉・野菜を焼き、利用者様へ配膳
盆踊り	8	1	櫓(太鼓踊り)、ゲームコーナー、抽選会、デザートタイム
セレクトメニュー	4, 6, 8, 11, 1, 2	6	お祝い御膳、バイキング、鍋、デザートバイキング
年忘れ会食会	12	1	エレキギター、相撲甚句、食事会、カラオケ大会、ピンゴ大会

(8) 地域生活支援事業 ~ 日中一時支援

2018年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延利用回数	117	124	126	95	119	96	113	104	107	109	121	125	1356
実利用人数	19	20	21	17	23	19	18	17	19	19	18	21	231

4-2 利用者支援状況

【障がい児通所支援】

(1) 定員（及び登録者数）

2019年3月31日現在

	児童発達支援登録数	放課後等デイサービス登録数
定員(5名)	2	26

(2) 利用実績状況

2019年3月31日現在

月	児童発達	放課後デイ	利用合計(定員5名)	
	実利用数(1日平均)	実利用数(1日平均)	実利用数(1日平均)	実支援日数
4月	0.4	4.9	5.3	23
5月	0.4	4.4	4.8	24
6月	0.4	4.4	4.8	25
7月	0.3	4.5	4.8	25
8月	0.3	4.4	4.7	25
9月	0.3	3.6	3.9	23
10月	0.4	3.9	4.2	25
11月	0.4	4.3	4.5	24
12月	0.3	4.2	4.5	23
1月	0.2	4.4	4.6	23
2月	0.4	4.5	4.9	23
3月	0.3	4.4	4.7	24
平均	0.3	4.3	4.6	23.9

(3) 性別年齢別状況

2019年3月31日現在

		最低年齢	最高年齢	平均年齢	男女平均年齢	
					児童発達	放課後デイ
男児	児童発達					
	放課後デイ	7歳4ヶ月	16歳10ヶ月	12歳9ヶ月		12歳10ヶ月
女児	児童発達	4歳2ヵ月	3歳2ヵ月		10歳1ヵ月	
	放課後デイ	9歳7ヶ月	15歳5ヶ月	13歳0ヶ月		12歳10ヶ月

(4) 医療的ケア

2019年3月31日現在

ケア内容		胃ろう	経鼻	SC	てんかん	酸素	呼吸器
人数	児童発達	1	1	1	2	0	0	0	0	0	5
	放課後デイ	10	2	7	16	1	7	0	0	0	43

※一人の利用者で複数のケア実施あり

(5) 障害種目

2019年3月31日現在

		脳障がい	遺伝性疾患	てんかん	先天性	脊髄疾患	代謝疾患	側弯症	染色体異常
		人数	児童発達	1	0	0	1	0	0	0	0
	放課後デイ	13	4	2	2	2	1	1	1	0	26

※重複障害あり

※難病内訳

(6) 出身地域別

2019年3月31日現在

		北広島市	札幌市	恵庭市	江別市	由仁町	安平町	…	…	…	…
人 数	児童発達	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	放課後デイ	15	3	3	3	1	1	0	0	0	26

(7) レクリエーション実施状況

2019年3月31日現在

レクリエーション種目	実 施 月	回 数	内 容
季節の製作	4、5、6、7、9、10、 11、12、2、3	10	こいのぼり、うきわ作り、七夕、コスモス作り、ハロウィン、ハリネズミ、クリスマス、節分、春、ひなまつり
季節の行事	4、5、6、7、8、9、1 0、11、12、2、3	11	こどもの日お祝い週間、七夕、スポーツの秋、ハロウィン、豆 クリスマス、お正月遊び、雛祭、水遊び、落ち葉遊び、雪遊び
畑	5、6、9	3	畑おこし、苗植え、収穫
外出レク	8	6	新千歳空港、コココーラ工場見学、青少年科学館、白い恋人 工場見学
調理レク	8、9、12	7	クレープ、いももち、スイートパンプキン、焼き芋、フルーツパ 栗ご飯、栗のムース

4-3 利用者支援状況

【障がい相談支援】

(1) 計画相談件数（サービス等利用計画作成数）※H27.4～指定

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
計画相談支援	新規	18	31	20	15	9	58	39	27	19	21	16	31	304	618
	継続	25	21	19	23	34	22	13	40	25	17	19	56	314	
障害児相談支援	新規	22	7	26	18	4	9	10	4	9	7	6	17	139	217
	継続	3	1	2	2	4	9	7	8	20	8	5	9	78	
地域移行支援	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4
	継続	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
地域定着支援	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
新規月別 小計		40	38	46	33	13	67	49	31	28	28	22	48	443	
継続月別 小計		28	22	21	25	38	31	20	48	45	25	24	65	392	
月別 合計		68	60	67	58	51	98	69	79	73	53	46	113	835	

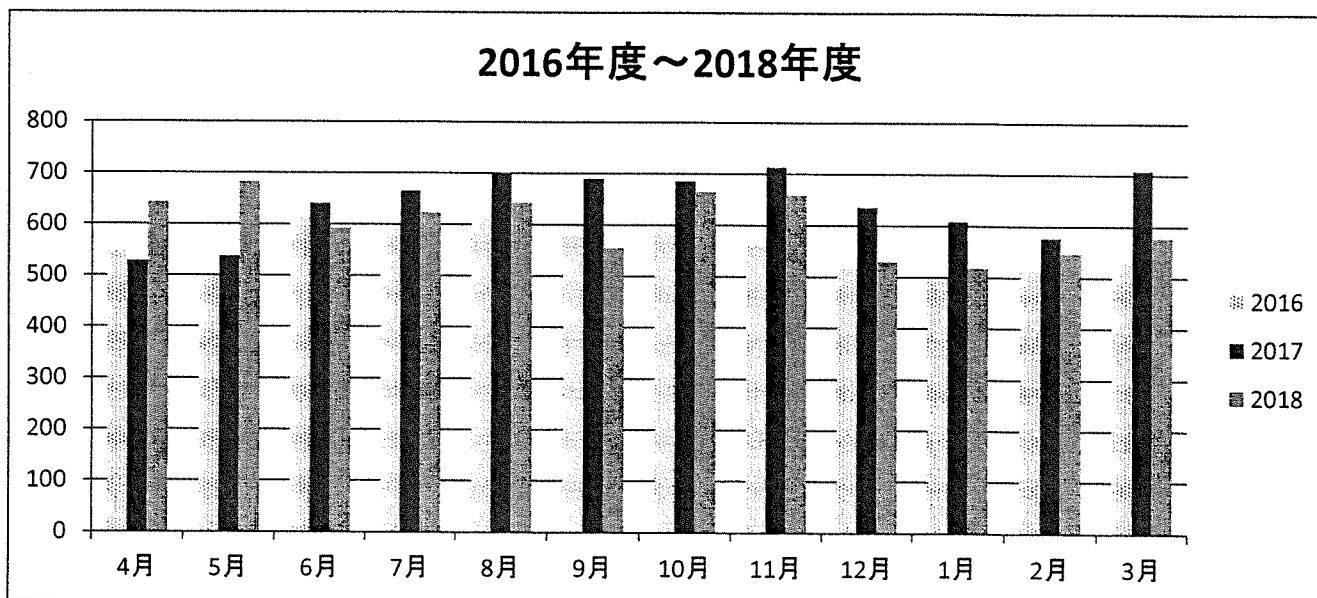
5. 障がい者生活支援センターみらい事業実績状況

(1) 月別相談件数

2018年度

* 同一利用者に関わる相談は一日1件で集計

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談件数	643	683	593	623	643	555	665	659	530	518	547	578	7,237

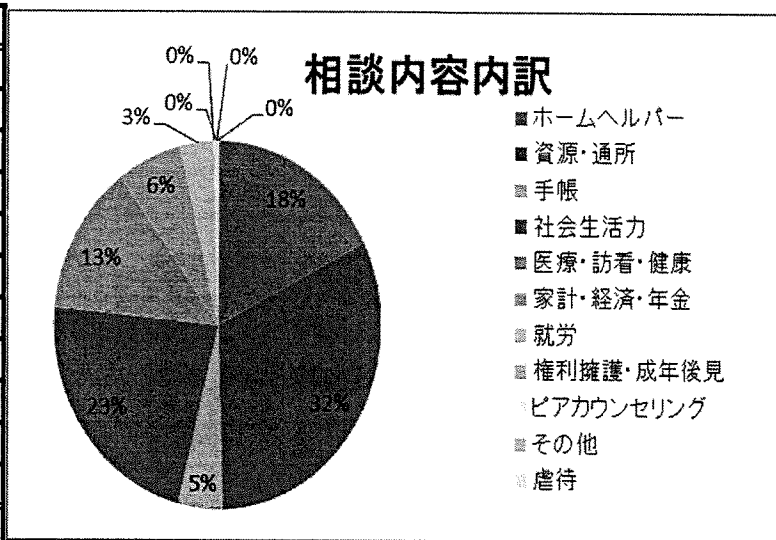


(2) 内容別・形態別・障害別・地域別相談件数(2018年度)

* 受けた回数をそのまま集計している。(内容が重複している相談は除く)

① 相談内容内訳

相談内容内訳	()内は前年度人数
ホームヘルパー	1,550 (2,020)
資源・通所	2,965 (2,962)
福祉用具・手帳	382 (397)
社会生活力	2,004 (1,979)
医療・訪看・健康	1,244 (1,613)
家計・経済・年金	609 (691)
就労	285 (295)
権利擁護・成年後見	12 (61)
ピアカウンセリング	13 (12)
その他	6 (6)
虐待	13 (11)
合計	9,083 (10,047)

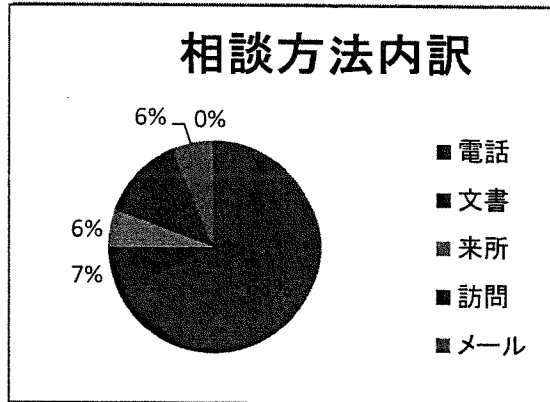


虐待実件数4件、関係機関と連携し数日にわたって対応しているケースもある。特定相談(計画相談)事業所と連携により福祉サービス相談数は安定傾向。全般的な件数減につながっているが、反面、サービス利用以外の相談が増えて来ている。

(ヘルパー、訪問看護のFAX等での連絡は一部計上していない)

② 相談方法内訳

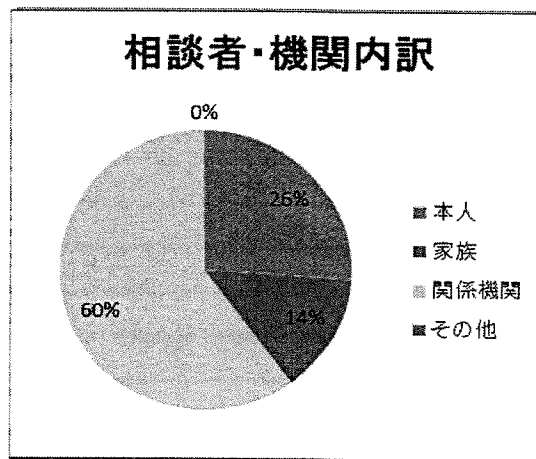
相談方法内訳		()内は前年度人数
電話	7,226	(7,652)
文書	771	(1,126)
来所	623	(789)
訪問	1,381	(1,396)
メール	622	(704)
会議	59	(74)
合計	10,682	(11,741)



相談者の精神状態により(特に精神障がい者)、繰り返しの電話相談や訪問時間が長時間に及ぶことが多い。その為単純に数字に表面がある。

③相談者・機関内訳

相談者・機関内訳		()内は前年度人数
本人	2,905	(2,940)
家族	1,539	(1,507)
関係機関	6,732	(7,554)
その他	9	(5)
合計	11,185	(12,006)



家族支援を含め複雑な問題を抱えるケースが多く、関係機関との連携が重要となって来ている。
(文書、FAX等での連絡件数は一部計上していない)

(3)-1 相談数・相談実人数・新規相談数の比較

2018年度

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
相談件数	6,122	6,833	6,557	6,643	7,690	7,237
相談実人数	258	370	393	377	405	429
新規相談件数	80	108	81	73	78	65

高齢者の相談(介護保険)移行ケースに比べ、新規相談数が多く、実人数の増加は続いている。

(3)-2 相談実人数詳細

2018年度

	身体	重心	知的	精神	発達	その他	実人数
障がい者 (2017年度)	78 (65)	6 (6)	91 (88)	99 (107)	17 (14)	12 (11)	303 (291)
障がい児 (2017年度)	12 (11)	7 (7)	48 (51)	0 (0)	59 (45)	0 (0)	126 (114)
計	90 (76)	13 (13)	139 (139)	99 (107)	76 (59)	12 (11)	429 (405)

(4)-1 ピアカウンセラー活動内容

2018年度

日(曜日)	活動時間	活動内容
7月6日(金)	10:35~11:20	北広島市北の台小学校5年 肢体障がいについての講話
7月10日(火)	10:35~11:20	北広島市立緑ヶ丘小学校6年 肢体障がいについての講話
7月17日(火)	10:35~11:20	北広島市立双葉小学校4年 肢体障がいについての講話
7月20日(金)	10:35~12:10	北広島市立双葉小学校4年 聴覚障がいについての講話及び手話
8月24日(金)	10:35~11:20	北広島市立大曲東小学校4年 肢体障がいについての講話
8月31日(金)	10:35~11:20	北広島市立緑ヶ丘小学校2年 聴覚障がいについての講話及び手話体験
9月5日(水)	10:35~12:10	北広島市立大曲小学校4年 聴覚障がいについての講話及び手話体験
9月12日(水)	10:35~12:10	北広島市立西部小学校5年 聴覚障がいについての講話及び手話体験
10月10日(水)	10:30~12:25	北広島市立西の里小学校陽香分校 聴覚障がいについての講話及び手話体験
11月6日(火)	10:30~12:05	北広島市立西の里小学校5年 聴覚障がいについての講話及び手話体験
11月8日(木)	10:40~12:15	北広島市立西の里小学校5年 聴覚障がいについての講話及び手話体験
11月12日(月)	10:35~12:10	北広島市立双葉小学校4年 聴覚障がいについての講話及び手話体験
11月19日(月)	10:30~12:05	北広島市立東部小学校4年 聴覚障がいについての講話及び手話体験

(4)-2 こころの交流会実施状況 単位:人

2018年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
参加者	4	5	6	5	7	9	6	8	4	4	9	4	71

今年度から、普段相談を受けている中で聞かれた趣味等に関するテーマを月々取り上げ、参加しやすい形式を実施。同じような趣味をもつ仲間づくりの機会を意識し一定の成果が得られている(参加者の増加、継続参加、他社会資源につながった)。

(4)-3 発達障がい者当事者会 BONDS 単位:人

2018年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
参加者	1	2	2	1	3	2	4	2	2	3	2	1	21

現在の所、運営に関して「みらい」が関わる部分が多く、当事者自身が運営し軌道に乗れる様に支援している。一方で1月は新年会を当事者だけで開催するなど、少しずつ成長しており、時間をかけて「BONDS」を応援していく。

6-1. リスクマネジメント報告

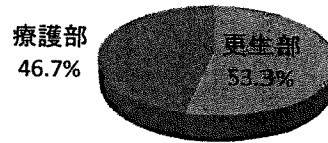
～ 事故・ニアミス報告より ～

(1) リスク報告件数

更生部	56 件	53.3%
療護部	49 件	46.7%
計	105 件	100.0%

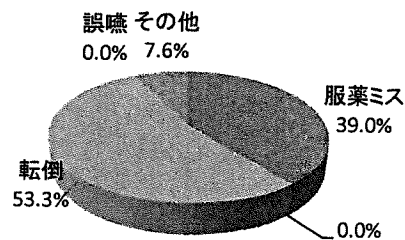
※ 更生部・療護部ともショートステイを含む

2018年度



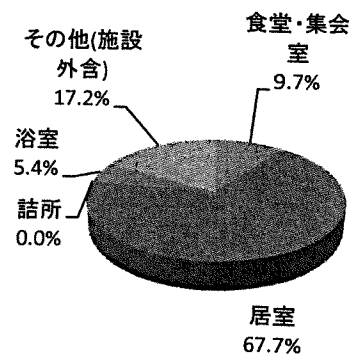
(2) リスク内容

服薬ミス	41 件	39.0%
転倒	56 件	53.3%
誤嚥	0 件	0.0%
その他	8 件	7.6%
計	105 件	100.0%



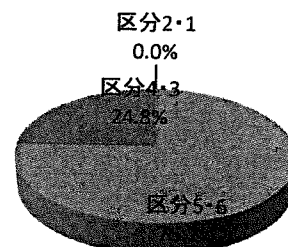
(3) 発生場所

食堂・集会室	9 件	8.6%
居室	63 件	60.0%
詰所	12 件	11.4%
浴室	5 件	4.8%
その他(施設外舎)	16 件	15.2%
計	105 件	100.0%



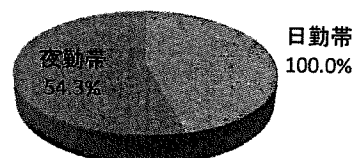
(4) 対象者障害区分

区分 5・6	79 件	75.2%
区分 3・4	26 件	24.8%
区分 1・2	0 件	0.0%
計	105 件	100.0%



(5) 発生時間帯

日勤帯	48 件	45.7%
夜勤帯	57 件	54.3%
計	105 件	100.0%



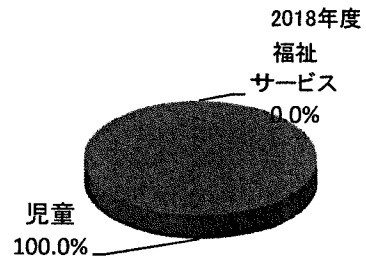
6-2 リスクマネジメント報告（障がい福祉サービス・障がい児通所）

～ 事故・ニアミス報告より ～

(1) リスク報告件数

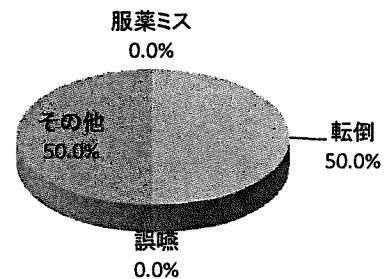
福祉サービス	28 件	90.3%
児 童	3 件	9.7%
計	31 件	100.0%

※ 更生部・療護部とも通所を含む



(2) リスク内容

服薬ミス	3 件	9.7%
転倒	18 件	58.1%
誤嚥	0 件	0.0%
その他	10 件	32.3%
計	31 件	100.0%



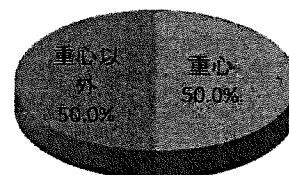
(3) 発生場所

各活動室	16 件	51.6%
浴室	5 件	16.1%
車内（送迎時）	4 件	12.9%
帰宅時	5 件	16.1%
その他	1 件	3.2%
計	31 件	100.0%



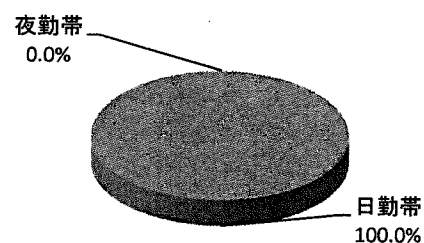
(4) 対象者障害区分

重度心身障害児	9 件	29.0%
重心以外	22 件	71.0%
計	31 件	100.0%



(5) 発生時間帯

日勤帯	31 件	100.0%
夜勤帯	0 件	0.0%
計	31 件	100.0%



2018年度 総務課庶務係 事業計画

主管 総務課

重点事業方針	
<p>近年、職員のライフスタイルも変化し、それぞれ多様化した条件に応じたワークスタイルで働く状況が見受けられる。それに付随するように制度も複雑化しており内容を理解できていない職員も多くいるため、情報提供や説明ができるよう各々が変動する情報や制度について知識力を高め、職員の生活に不利益が生じないよう取り組んでいく。</p>	
重点事業項目	
<p>1. 庶務係は施設職員の生活をサポートする役割を担っているため、一人ひとりが安心して職務に励むことができる環境を整える。</p> <p>2. 常に利用者、職員、外部のお客様の立場になって物事を考え信頼される庶務係（事務室）となるよう業務を展開していく。</p> <p>3. 庶務係は施設の入り口として一番最初に接する顔となるため、挨拶、言葉遣いに気を配り、礼儀正しく笑顔と誠意ある態度で接していく。</p> <p>4. マイナンバー制度による特定個人情報や健康診断、ストレスチェック制度などあらゆる職員情報が集約される部署であるため、その情報管理は厳重に行わなければならない。加えて、ソーシャルメディアの普及に伴い、個人の情報発信は手軽なものとなる一方、インターネット上の情報漏洩に関する問題も増えている。モラルを含め、適正な情報管理と個人情報保護を徹底していく。</p> <p>5. 施設全体に係る部署として各課との連携は業務を遂行していくうえで欠かせない出来事なものと考ええる。各課・各委員会が主催する研修、行事には参加・協力をしていく。</p>	
【上半期評価】	【最終評価】
<p>上半期、庶務係として挨拶、言葉遣い、電話対応など施設の窓口としての役割、請求、給与、職員に関する各種手続きなどの処理、また施設行事や研修、委員会と積極的に参加など、重点事業項目は計画通り実施することができた。下半期も一人一人問題意識をもって、上半期の同様業務に取り組んでいきたい。</p>	<p>今年度は震災や様々な変更がありイレギュラーな年ではあったが、年間通して重点事項は計画通り実施することができた。今年度は通常業務について一人一人が良く考え、多角的に物事を捉えることができた年であった。次年度は元号が変更の年度であり、システムや手続きなど、どのような形になるのかきちんと見極めしっかりと準備をしていきたい。</p>

2018年度 総務課庶務係 事業計画

主管 総務課

（ねらい） 項目	事業内容	実績	
		評価	評価内容
<p>1. 業務内容も幅広く、正確さを要する職務なため、的確かつ迅速に仕事を遂行していく。</p> <p>2. 利用者、職員に対し生活をサポートする役割を担っているため、常に役に立つ情報提供を心掛ける。</p> <p>3. 職員の多様化したワークスタイルに対応できるよう努めていく。</p>			
1	<p><input type="checkbox"/>受付業務（窓口対応） 挨拶・言葉遣いには気を配り、礼儀正しく笑顔と誠意ある態度で接していく。</p> <p><input type="checkbox"/>受付業務（電話対応） 正確に聞取り迅速に各部署へ伝達し、お客様、ご家族様を待たせることのないよう心掛ける。</p> <p><input type="checkbox"/>請求業務 利用方法が多様化してきたことで請求業務が複雑化しているため、内容をきちんと把握し適切に処理していく。</p>	4	計画通り実施
2	<p><input type="checkbox"/>請求業務 利用方法が多様化してきたことで請求業務が複雑化しているため、内容をきちんと把握し適切に処理していく。</p> <p><input type="checkbox"/>給与業務 職員にとって大切な社会原資だけに、安定して支給されるよう正確に処理し誤りがないよう努めていく。</p>	4	
3	<p><input type="checkbox"/>給与業務 職員にとって大切な社会原資だけに、安定して支給されるよう正確に処理し誤りがないよう努めていく。</p> <p><input type="checkbox"/>職員に係る各種手続き 職員の生活に不利益が生じないよう、手続きなどについては迅速に対応し、提出漏れのないよう努めていく。</p>	4	
4	<p><input type="checkbox"/>各関係機関に対する対応 各種、通知、依頼、文章が送付（送附）されてくるため内容を精査し提出に不備がないよう努める。 必要に応じて関係機関と連携をし業務の遂行に努める。</p>	4	
5	<p><input type="checkbox"/>守秘義務と個人情報保護の徹底 情報が漏れることがないよう守秘義務や個人情報管理は徹底していく。</p>	4	
6	<p><input type="checkbox"/>読書推進活動（本の宅配サービス等） 北広島市図書館等のサービスを活用し、利用者の施設生活の充実にならびに職員の福利厚生の充実をはかる。</p>	4	
7	<p><input type="checkbox"/>読書推進活動（本の宅配サービス等） 北広島市図書館等のサービスを活用し、利用者の施設生活の充実にならびに職員の福利厚生の充実をはかる。</p>	4	
8	<p><input type="checkbox"/>読書推進活動（本の宅配サービス等） 北広島市図書館等のサービスを活用し、利用者の施設生活の充実にならびに職員の福利厚生の充実をはかる。</p>	4	
備考			

評価基準：
 5. 良くできている（期待した以上の成果が得られた）
 4. できている（期待した成果が得られた）
 3. 十分ではない（期待した成果が得られなかった）
 2. できていない（見直しが必要）
 1. 全くできていない

2018年度 総務課施設業務係事業計画

主管 総務課

重点事業方針	
① 施設敷地外の建物、設備、車両の維持管理にあたっては、既存の機能を低下させることなく安全性、効率性、快適性に留意し利用者の処遇と職員の業務効率の向上に努める。	
② 施設内のお客様、職員、地域の皆様が利用しやすい診療部を目指します。	
重点事業項目	
1) 建物の維持	6) 窓口業務
2) 設備の管理	7) 医療関係書類の管理、整理
3) 車両の管理及び運転	8) 診療報酬の作成
4) 光熱水費及び燃料費	9) 総合支援事業の請求
5) 除雪・排雪	10) 医師、各課、係との連携
【上半期評価】	【最終評価】
全体的に問題なく各事業項目を行っている。 4月から総合支援事業に関しての受付対応から請求までの流れが、まだ軌道に乗らず介護保険の確認不足や請求の返戻があるため、総合支援事業に関しても関係部署と密に連絡を取り情報を共有する。	窓口業務、診療報酬の作成、医師・各課との連携については問題なく業務を行っている。 医療関係書類の管理、整理については未実施のため2019年度は速やかに取り組む。 総合事業に関しては、介護保険の確認や請求において各部署と情報共有を図っているため、返戻も少なくなっている。

2018年度 総務課施設業務係(業務)事業計画

主管 総務課

(ねらい)	項目	事業内容	実績	
			評価	評価内容
1. お客様の情報収集(本人、家族、関係機関等)し、関係部署で共有する 2. 3.	1	窓口業務 ①あいさつ、声掛け ②病状の把握 ③診察後の対応 ④迅速に会計 医療関係書類の管理、整理	4	意識して行っている
	2	①退所者の年度毎の書類整理(年2回) ②長期保管(5年間)している書類の処理 ③他医療機関との連絡調整 診療報酬の作成	2	未実施
	3	①減点、査定、返戻の対応は速やかに対応する ②病名入れ、検査項目の点検 ③保険証の確認 総合支援事業の請求	5	実施している
重点事業項目	4	①介護保険の確認 ②返戻の対応(各事業所との連携) ③関係部署との連携 医師、各課、係との連携	4	実施している
	5	①診療報酬に関する事項 ②医薬品、検査に関する事項 ③医薬品の購入に関する事項 ④外来患者の診療に関する事項 ⑤診断書、意見書等の作成 ⑥保険証の確認 ⑦訓練(消災鎮痛、リハビリ)に関する事項 ⑧診断書等の計測依頼	4	実施している
	6			
	7			
	8			
備考	9			
	10			
	11			
	12			

評価基準： 5. 良くできている(期待した以上の成果が得られた) 4. できている(期待した成果が得られた)
3. 十分ではない(期待した成果が得られなかった) 2. できていない(見直しが必要)
1. 全くできていない

2018年度 総務課施設業務係(施設)事業計画

主管 総務課

重点事業方針	
施設敷地内外の建物、設備、車両の維持管理にあたっては、既存の機能を低下させることなく安全性、効率性、快適性に留意し利用者の処遇と職員の業務能力の向上に努める。	
重点事業項目	
1) 建物の維持 2) 設備の管理 3) 車両の管理及び運転 4) 光熱水費及び燃料費 5) 除雪・排雪	【上半期評価】 1) 建物の経過年数等による損耗、破損箇所等はあるが、営繕依頼等については迅速に対応しているが、営繕依頼等を維持する事が出来た。 2) 各業者との連携をとり法的点検、保守点検の実施が出来た。 3) 車両の経過年数等により故障等が増えてきているが、最良の状態で使用できるよう車両定期検査、自主検査をやっている。 4) ・暖房の送水、設定温度や各系統の循環ポンプ運転は、天候や気温にたじ微調整してきた。 ・車両にあたっては、無駄なアイドリングを避け、無理のない運転をして燃費を伸ばし、燃料(ガソリン、軽油)の節約をしてきた。
【最終評価】 1) 建物の経過年数等による損耗、破損箇所等はあるが、営繕依頼等については迅速に対応しているが、営繕依頼等を維持する事が出来た。 2) 各業者との連携をとり法的点検、保守点検の実施が出来た。 3) 車両の経過年数等により故障等が増えてきているが、最良の状態で使用できるよう車両定期検査、自主検査をやっている。 4) ・暖房の送水、設定温度や各系統の循環ポンプ運転は、天候や気温にたじ微調整してきた。 ・車両にあたっては、無駄なアイドリングを避け、無理のない運転をして燃費を伸ばし、燃料(ガソリン、軽油)の節約をしてきた。	

2018年度 総務課施設業務係(施設)事業計画

主管 総務課

目 的	項目	事業内容	実績	
			評価	評価内容
1. 建物の維持、管理 2. 設備の維持、管理 3. 車両の維持、管理及び安全運転 4. 光熱水費及び燃料費の低減化 5. 除雪、排雪の迅速な対応、安全作業	1	・建物の維持 床磨き、草刈り、除草剤散布、外部窓ガラス清掃、内部外部のペンキ塗り、アスファルトの補修、営繕依頼 ・設備の管理 真空ヒーター、エレベーター、消防設備、危険物設備、受電設備、エアコン、各定期点検、簡易専用水道検査、水質検査、受水槽清掃、浴室配管洗浄、浴室薬注部品交換、浴室側、ボイラー室側ポンプ定期整備、オイルギヤポンプ取扱。	4	実施している
	2	(危険物設備、消防設備、真空ヒーター、各自主点検)	4	実施している
	3	・車両の管理及び運転 車検、車両定期点検、自主点検、車両配車計画、除雪機グリスアップ、洗車	4	実施している
	4	・光熱水費及び燃料費 暖房タイマー、温度調整、循環ポンプ調整、エアコン調整、燃料等使用量調査	4	実施している
	5	・除雪・排雪 宿直者と連携、トラック排雪	5	実施している
6				
7				
8				
重点事業項目				
備 考				

評価基準：
 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 総務課(給食係)事業計画

主管 総務課

重点事業方針	
センター基本理念に基づき、『食』を通して利用者の心身自立への援助や食を通して楽しみ・喜びが持てるような「生活の質」充実への援助、また国が示す「21世紀における国民健康づくりに運動」に則った食事提供に努める。又、給食業務に携わる職員として徹底した衛生管理のものと調理工夫と資質向上に努めながら各課と連携し利用者に満足してもらええる食事提供を目指す。	
重点事業項目	
1) 栄養管理 2) 衛生管理 3) 各個人に配慮した食事提供 4) 賄材料管理 5) 各課・委員会と連携し季節感のある行事食提供 6) ミーティング・研修会参加の遂行	
【上半期評価】	【最終評価】
より良い食事提供を行えるよう各職員と連携をとっているため概ね良いと評価したい。	給食提供に際し最も留意すべき衛生管理について問題なく提供し、且つ下半期は季節感のある行事食提供にも力を入れることができた為、概ね良いと評価したい。

2018年度 総務課(給食係)事業計画

主管 総務課

ねらい	項目	事業内容	実績		
			評価	評価内容	
1. 日常給食や行事食等を通し喜びられる食事の提供 2. 食中毒予防 3. 技術向上・自己研鑽	1	必要栄養量を充足した食事計画	4	概ね適切	
	2	身体状況に合わせた食事提供	4	概ね適切	
	3	嗜好に配慮した食事提供	4	配慮している	
	4	価格変動や品質の良否に配慮した予算内での食事提供	4	配慮している	
	5	衛生管理マニュアルに則った衛生管理	4	概ね実施	
	6	連絡事項の徹底と問題点の意識共有	4	意識している	
	7	専門職としての情報収集	4	実施している	
	8	委員会や各課連携のもと季節感のある行事食提供	4	創意工夫をしている	
	9				
	10				
	11				
	12				
重点事業項目					
備考					

評価基準： 5. 長くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (期待していない)
 1. 全くできていない

2018年度 会計課事業計画

主管 会計課

重点事業方針	
<p>会計課が法人本部に移管し、3年目となる2018年度は前年度の業務内容を振り返り、さらに進化する中で財務管理体制を高めていくよう取り組む。種々の新たな取り組みを考察しながら、中・長期的な目線にたつて、業務の効率化を目指していくこととする。新社会福祉法が2017年度から全面施行となり、財務管理においてもその役割は極めて重要であると位置づけられている。2018年度の介護報酬改定を見据えた収支分析はもとより財政に直接、大きな影響を及ぼす利用状況を逸早く分析し、経営には欠かせない見直しを早急に行うこととする。また今般の新社会福祉法により組織運営の在り方が大きく見直されることが当課としても法人本部内においてさらに連携強化を図りながら、その対応に向けて取り組んでいきたい。法人の基本理念並びに倫理綱領に基づき、職員としての資質を更に向上させて、その役割が最大限発揮できるよう努める。</p>	
重点事業項目	
<ol style="list-style-type: none"> 1) 予算に基づいた正確かつ迅速な会計処理の実施に努める。 2) 業務の合理化・省力化を図り、より効率的な会計処理に努める。 3) 各拠点区分の予算執行状況及び内容の検討を行うため、広範囲な財務資料及びデータを作成する。 4) 他部門との連携を密にし、より円滑な業務の遂行ができるよう取り組む。 5) 制度の動向を的確に把握し、将来に備えての財政面における対策や見直しができるよう提案する。 6) 経費削減の観点から継続的な取引品目及び価格等を随時比較検討する他、質の良い品を低コストで購入できるよう取り組む。 7) 財務の安定化に資するため、収支分析を過年度比較によりその傾向を把握し、目標値等の設定を行いながら、解りやすく周知できるよう取り組む。 8) 法人内部監査及び外部監査への対応等も含めて、さらに財務管理体制(内部統制等)の構築を図れるよう取り組む。 9) TKC財務管理システムの導入により財務会計処理の効率化と財務情報の充実を図る。 10) 法人の基本理念及び倫理綱領に基づき、職員として相応しい行動を常に心がけて評価されるよう努める。 	
【上半期評価】	【最終評価】
<p>TKC財務管理システムの導入により財務管理体制を強化し、また月次での財務データ入力を迅速化すると共に外部の専門家による種々の勉強会を行い、職員の財務に関する知識の向上を目指してスキルアップを行っている。今後は日々の業務を効率よく行い、時間的余裕が生まれるよう努めていくことで将来的な様々な財務分析と提案等ができるよう取り組むこととする。</p>	<p>TKC財務管理システム導入初年度として比較的スムーズに移行することができたと考えている。内部統制及び業務の効率化、省力化という観点では今期から本システムを稼働させたことは将来的に利点が大きいのと認識している。今後はさらに応用しながら、安定した財務体制の構築に努めていきたい。</p>

2018年度 会計課事業計画

主管 会計課

目的 (ねらい)	項目 / 事業内容	実績		
		評価	評価内容	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 経理規程及び社会福祉法人会計基準等を順守し、正確かつ迅速に業務を遂行する。 2. 財政状況の収支分析を行うための資料及びデータを作成する。 3. 各課・係との連携による経費削減等に向けた取り組みを行う。 4. 更なる財務管理体制の構築に向けた取り組みを行う。 5. TKC財務管理システムの導入による効率化と財務情報の充実を目指す。 6. 法人職員としての相応しい行動への評価と資質の向上を目指す。 	1	日常の仕訳伝票作成及び月末日までの会計処理状況	4	概ねできている。
	2	迅速な入出金の処理状況、出納確認、ビジネスダイレクト活用状況	3	一部の入出金の処理に遅れがでている。
	3	経営会議用データ作成、幹部会用データ作成	4	概ねできている。
	4	各課係との物品予算請求業務及び連絡調整	4	概ねできている。
	5	制度の動向及び将来的な財政面における提案	3	将来的な財政面の提案はさらに時間を要して検討が必要。
	6	物品購入等各種取引における比較検討	3	時間をかけて比較検討が必要。
	7	現状及び過年度比較による収支分析	4	前期との比較はできている。
	8	法人内部監査及び外部監査への対応	4	概ねできている。
	9	更なる財務管理体制の構築に向けた取り組み	4	TKC財務管理システム導入により管理体制を強化。
	10	TKC財務管理システムの導入に向けた取り組み	4	予定どおり導入した。
	11	法人基本理念及び倫理綱領に基づく行動	4	概ねできている。
12				
備考				

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた) 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要) 1. 全くできていない

2018年度 福祉課 事業計画

主管 福祉課

重点事業方針	
<p>◇長期利用・高齢化にともないADLや活動性の低下が進んでいる。生活のマンネリ化によるストレス、活動意欲の低下や精神疾患によるサポートが必要な利用者も多くなっている。各課と連携を図りながら個別支援計画書に基づき、安心感のある生活の中で意欲的な生活が出来る支援を提供する。</p> <p>◇自立生活や家庭復帰の可能性を探り、体験・見学などを通して地域生活の可能性を広げる支援を行う。</p> <p>◇医療依存度（医療ケアの必要性）の高い利用者が増えている現状から安定した医療体制の維持を図り、必要なケアの提供に努める。</p> <p>◇他支援機関とのネットワークなどから新しい知識や情報の収集を図り、利用者個々のニーズに沿った情報・サービス提供を行う。一施設に留まらず、利用者個々に合った生活のあり方を検討する。</p> <p>◇相談員一人一人が問題意識を持ち、且つチームとして一体的に業務に取り組み姿勢を持つ。</p> <p>◇地域の社会資源の一つとしての役割を果たし、地域とのつながりを意識的に作る。</p>	<p>重点事業項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 相談員としての資質（利用者ニーズや施設課題への対処、調整能力）の向上を目指す 2) 個別支援計画の作成・モニタリングの徹底 サービス利用計画書作成に伴う他事業所との連携 3) ショートステイ受け入れ窓口としての調整や対応、地域からの相談に対応する。 4) 他職種・関係機関との連携によりサービスの充実を図り、利用者の可能性を広げる支援を行う。 5) 家族と協同して利用者を支えるために、家族との信頼関係を構築する 6) 業務の効率化を図る 7) 障害者虐待防止法に対する理解と取り組みを推進する
<p>【上半期評価】</p> <p>グラントデザインに基づき施設の過渡期でもあり、更生・療護共に利用者さんの生活の在り方・目標設定について他課と相談検討を重ねた。</p>	<p>【最終評価】</p> <p>グラントデザインに基づき施設の過渡期でもあり、更生・療護共に積極的な意味での目標設定は難しかったものの、相談員個々の力を発揮できたと思う。</p> <p>また、次年度はさらに他事業所・関係機関等との連携や情報収集が必要になってくると思われるため、チームとしての協力体制をとりながら取り組んでいく。</p>

2018年度 福祉課 更生部事業計画

主管 福祉課

項目	事業内容	実績	
		評価	評価内容
<p>1. 利用者が安心して施設生活を送り、且つ意欲的に活動することが出来る</p> <p>2. 地域移行の可能性を高め、実現を目指す</p> <p>3. 他支援機関とのネットワーク作り、社会資源情報を増やす</p>			
1	定期ケア会議の実施、個別支援計画に基づく支援提供	4	概ね計画に沿って実施
2	地域移行への取組み（社会資源情報提供・見学など）	4	個別支援計画にあわせ実施
3	他機関との連携・情報交換機会を作る	3	個別ニーズにあわせて実施にとどまった
4	喫茶わいわい（共通）運営	4	喫茶を仲間同士で楽しむことが難しく形態の見直しが必要
5	朗読の会（共通）運営	4	参加者の範囲拡大に向け実施方法検討必要
6	ボランティア調整	4	年度計画に沿って実施できた。若干送迎の行き違いあり
7	地域資源の情報収集と有効活用（利用者外出支援など）	3	
8	利用者・家族との支援内容の共通認識を図る	3	グラントデザインに沿った支援を実施、本人家族の希望に至って治うことが難しかった
9			
10			
11			
12			
備考			

評価基準： 5. 良くできている（期待した以上の成果が得られた） 4. できている（期待した成果が得られた） 3. 十分ではない（期待した成果が得られなかった） 2. できていない（見直しが必要） 1. 全くできていない

2018年度 福祉課療護部事業計画

主管 福祉課

項目	事業内容	実績	
		評価	評価内容
重点事業項目	1 定期ケア会議の実施、個別支援計画に基づく支援提供	5	
	2 近郊医療機関との連携体制を進める	4	
	3 喫茶わいわい（共通）運営	4	喫茶を仲間同士で楽しむことが難しく形態の見直しが必要
	4 麻雀の日運営	5	企画そのものができなかった
	5 学習会の運営	1	
	6 朗読の会（共通）運営	4	参加者の範囲拡大に向け実施方法検討必要
	7 ボランティア調整	4	年度計画に沿って実施できた。若干、送迎の行き違いあり
	8 利用者・家族との支援内容の共通認識を図る	4	面会時や電話での連絡が中心となっており
	9		
	10		
	11		
	12		
備考			

評価基準： 5. 良くできている（期待した以上の成果が得られた） 4. できている（期待した成果が得られた）
 3. 十分ではない（期待した成果が得られなかった） 2. できていない（見直しが必要）
 1. 全くできていない

2018年度 福祉課 庶務業務事業計画

主管 福祉課

項目	事業内容	実績	
		評価	評価内容
計 画	1 業務上、利用者個人の金銭取り扱いが多くなるため、利用者・家族の信頼を得る事が出来る対応に努め、安心していただく。	2	家族で定期的に収支のお知らせができた
	2 日常的な相談窓口として迅速で、正確な対応を心がける。	3	申込みミスが多かった
	3 利用者の生活嗜好を見極め、より充実した生活が送れるよう情報提供を行う。	2	業務に追われ利用者さんの話をゆっくりと聞くことができなかった
	4 行事日程調整・予定表の作成	4	
	5 請求業務補助	4	
	6 文書管理	4	
	7 個人情報保護の徹底	4	利用者さんの情報はもれがないよう意識して徹底した
	8 保険証等の管理	4	
	9 利用者向け掲示物等の取扱い	3	
	10		
	11		
	12		
備考			

評価基準： 5. 良くできている（期待した以上の成果が得られた） 4. できている（期待した成果が得られた）
 3. 十分ではない（期待した成果が得られなかった） 2. できていない（見直しが必要）
 1. 全くできていない

2018年度 福祉課 ショートステイ事業計画

主管 福祉課

項目	事業内容	実績	
		評価	評価内容
1	利用者・家族との信頼関係の構築	4	個別支援計画書の作成ができていない
2	利用者のニーズの把握と個別支援計画書の作成	2	
3	みなみ・みらいとの連携・情報の共有	4	
4	関係機関・他事業所との連絡・調整	1	
5	受け入れ調整時の介護課・看護課への情報提供	3	申し送りが上手くいっていないことがある
6	利用時の状況・状態の把握	4	
7	重度心身障害児・者、医療行為が必要な規利用者受け入れに向けた検討・体制作り	1	施設の体制的に困難
8	在宅サービスについての情報収集と知識の習得	2	課内統一の徹底不足
9	緊急ショートを受け入れ体制の整理		前年度で整理済
10	知的・精神障害者がい者に対する対応の検討	1	施設の体制的に困難
11			
12			
重点事業項目			
備考			

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 福祉課研修計画

主管 福祉課

項目	事業内容	実績	
		評価	評価内容
<p>(ねらい)</p> <p>1. 社会情勢や地域課題をタイムリーに把握し、相談員としての知識を向上させる。 2. 重度化・高齢化・障害の重複化に対応した施設支援の在り方、個別支援について検討する。 3. 将来にわたっての施設運営の安定化策を探り、相談員として役割を明確にする。</p>			
1	困難ケースを基にしたケース検討 (課内・各職種)	5	その都度ケース検討を実施し共有
2	各種研修企画への参加 (制度、虐待、サービス管理者等)	5	各相談員のスキルアップのため参加率はほぼ100%
3	相談員研修・交流会等への参加	4	課内を無人にすること難しく参加十分ではなかった。交流については特定の施設と実施
4	市内事業所向け研修の参加	5	参加し内容を課内で共有
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
計 画			
備考			

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 訓練事業計画

主管 訓練課

重点事業方針	
<p>今年度の訓練課の事業展開として、入所利用者様に対するリハビリテーション及び日中活動の充実を図り、身体機能の維持・向上とQOLの向上を目指して行きたい。また、施設で掲げるアクションプランの動向を見据えながらサービスの提供を行い、変化に対応出来る事業を実施したい。</p> <p>介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービスに関しては、昨年より順調に利用者数が推移しており、地域にも認識されて来ている。今年度は一層のサービスの充実を図り、地域に求められる資源としての専門性の高いリハビリテーションを実施し、地域に根ざしたサービスを提供して行きたい。</p>	
重点事業項目	
<ol style="list-style-type: none"> 1) リハビリテーション実施計画書を作成し、アセスメントに沿って利用者様本位のリハビリテーションを実施致します。 2) 機能訓練利用者様が希望する自立生活・社会復帰の実現に向けたリハビリテーションを実施致します。 3) 生活介護利用者様の施設内外での「生活・活動のしづらさ」を取り除けるよう、心身機能・ADL・QOL向上を図れるよう、リハビリテーションを実施致します。 4) 入所利用者様のQOL・活動性向上及び認知機能低下予防を図る為、充実した日中活動やレクリエーションを実施致します。 5) 外来リハビリテーションをご利用の患者様に、QOL向上の為、心身機能やIADLの向上及び安心安全な食生活に向けた「脳血管・運動器リハビリテーション」「概食機能療法」「物理療法」を実施致します。 6) 介護予防・日常生活支援総合事業における通所型サービスA・サービスCをご利用の皆様、介護予防や健康増進の促進および生活機能の向上を図り、生きがいや自己実現の達成、社会参加に向けた「包括的高齢者運動プログラム」や「個別・集団的な活動」また「短期集中リハビリテーション」を実施致します。 	
【上半期評価】	【最終評価】
<p>入所リハビリテーションに関しては、リハビリテーション実施計画書に基づきリハビリテーションを実施している。また、レクリエーションも新しいカラオケ機械を導入し、利用者のニーズに合わせて提供出来ている。通所事業に関しては、昨年度から順調に利用者数が増加しており、登録者数は定員を達している。利用者アンケートを実施し、高い満足度評価を頂いている。外来リハビリテーションに関しては、ST部門、消炎鎮痛については従来通り推移して安定して提供出来ている。脳血管Ⅲ、運動器Ⅱについては診療体制が整っており、リハビリの実施を停止している状況である。</p>	<p>入所リハビリテーションに関しては、上半期同様にリハビリテーション実施計画書に基づきリハビリテーションを実施している。その他、カラオケ介護予防機器の介護予防コンテンツを使用しての回想法等は、利用者様に好評であった。通所事業に関しては、ご利用者様や地域包括支援センターの要望やニーズも多くあり、2019年度4月より定員数の増加を図っている。外来リハビリテーションに関しては、ST部門、消炎鎮痛でご利用者様のニーズも多く、上半期同様に安定して提供出来ている。</p>

2018年度 訓練課全体計画

主管 訓練課

目的	月	事業内容	実績	
			評価	評価内容
<ol style="list-style-type: none"> 1. 入所利用者様に対し、リハビリテーション実施計画書に沿ったリハビリテーションを実施致します。 2. 入所利用者様に、充実した日中活動やレクリエーションを提供致します。 3. 総合事業を利用される地域の皆様に対し、生活機能の向上及び介護予防・健康増進の地域資源の担い手として、通所サービスを提供致します。 4. 診療外来の患者様に対し、専門性の高い良質なリハビリテーションを提供致します。 5. 障がい福祉と地域の高齢者とが共に支え合いながら交流出来るような「共生型サービス」の実現を目指します。 	4	個別リハビリテーション 集団リハビリテーション ハッスルウェンズデイ チャレンジサタデー 総合事業通所型サービスC開催 総合事業通所型サービスA開催 診療外来リハビリテーション	4	
	5		4	
	6		4	
	7		4	
	8	実習生受け入れ	4	
	9	実習生受け入れ	4	
	10		4	
	11		4	
	12		4	
	1	実習生受け入れ	4	
2	実習生受け入れ	4		
3		4		
備考				

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた) 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要) 1. 全くできていない

2018年度訓練課更生部事業計画

主管 訓練課

重点事業方針	
<p>訓練課更生部の重点事業方針</p> <p>1) 機能訓練利用者様に対しては、近年、利用者数が減少傾向にあるが、ご本人が希望する在宅及び社会復帰へ向け、心身機能及びADL能力の向上、地域・社会生活に適応できるよう支援して行きたい。</p> <p>2) 生活介護利用者様に対しては、施設生活の中での「生活のしづらさ」を解消し、その人らしい生活が送れるよう、リハビリテーションやレクリエーションを通じて支援して行きたい。</p>	
重点事業項目	
<p>1) リハビリテーション実施計画書を作成し、アセスメントに沿って利用者様本位のリハビリテーションを実施致します。</p> <p>2) 機能訓練利用者様が希望する自立生活・社会復帰の実現に向けたリハビリテーションを実施致します。</p> <p>3) 生活介護利用者様の施設内外での「生活・活動のしづらさ」を取り除けるよう、心身機能・ADL・QOL向上を図れるよう、リハビリテーションを実施致します。</p>	
【上半期評価】	【最終評価】
<p>機能訓練事業に関しては、上半期1名の利用者様を自宅社会復帰することが出来たものの、その後、対象者がおらず、実施出来ていない。</p> <p>生活介護事業に関しては、上半期1名の利用者様の自立生活、社会復帰を支援することが出来た。その他の利用者様についても施設内ADLの維持、QOL向上の為のリハビリテーション、レクリエーションの実施を提供することが出来ている。</p>	<p>機能訓練事業に関しては、上半期同様に1名のご利用者様の自宅社会復帰に向けて2019年7月の期限まで支援を継続して行く。</p> <p>生活介護事業に関しては、グラントデザインに沿って、利用者数も減少している中で、施設の動向に合わせ、利用者様のリハビリテーションを提供する事が出来ている。</p>

2018年度訓練課更生部リハビリテーション事業計画

主管 訓練課

ねらい	項目	事業内容	実績	
			評価	評価内容
<p>1. リハビリテーション実施計画書を作成し、利用者のマネジメントを行います。</p> <p>2. 機能訓練利用者様の在宅・社会復帰に向けたリハビリテーションを実施致します。</p> <p>3. 生活介護利用者様のADL・QOL向上を目指し、リハビリテーションを実施致します。</p> <p>4. グループリハビリテーション・レクリエーションを実施し、活動性の向上と認知機能低下を予防致します。</p> <p>5. リハビリ勉強会を実施し、利用者の生活意識の改善・向上を図ります。</p>	1	リハビリテーション実施計画書の作成	4	3カ月に1度更新している
	2	個別リハビリテーションの実施	4	ニーズに応え実施している
	3	グループリハビリテーションの実施	2	個別は実施できているが、グループまでは実施出来ていない
	4	レクリエーションの実施	4	週2回のレクリエーションを実施出来ている
	5	リハビリ勉強会の実施	1	今年度は実施出来なかつたので、見直す必要がある
	6	補装具及び車椅子等の各種相談業務	4	利用者様の生活に支障が無いよう実施している
	7	各課との連携によるサービスの向上	4	グラントデザインに沿って連携している
	8	個別支援計画及びアセスメントの作成	4	情報が共有出来るよう作成出来ている
	9	学術的かつ社会職能面での専門性を備える	4	個々、及び課内で取り組んでいる
	10	実習生の受け入れ	4	年間通して3養成校から受け入れをしている
	11			
	12			
備考				

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)

3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)

1. 全くできていない

2018年度 訓練課療護部事業計画

主管 訓練課

重点事業方針	
訓練課療護部の重点事業方針 1) 年々、高齢化、機能の重篤化進んでいる療養部入所利用者様に対し、心身機能や介護予防を図り、安心して施設生活を営んで頂けるようリハビリテーションを実施致します。 2) 療養部入所利用者様が、楽しみや生きがいを持って生活して頂けるよう、充実した日中活動やレクリエーションを実施致します。	
重点事業項目	
1) リハビリテーション実施計画書を作成し、アセスメントに沿って利用者様本位のリハビリテーションを実施致します。 2) 生活介護利用者様が、末長く安心して施設で生活して頂けるよう、心身機能・ADL・QOL向上を図れるよう、リハビリテーションを実施致します。 3) 入所利用者様のQOL・活動性向上及び認知機能低下予防を図る為、充実した日中活動やレクリエーションを実施致します。	
【上半期評価】	【最終評価】
リハビリテーション実施計画書に沿って利用者様本位のレクリエーションの実施が出来ている。また、カラオケ機器を導入した音楽療法や回想法等を行い利用者様のQOL・活動性の向上及び認知機能の向上に努めている。	上半期同様にリハビリテーション実施計画書に沿って、利用者様本位のレクリエーションの実施が出来ている。また、趣味活動やレクリエーション、軽体操等、ご利用者様のニーズ、状態に合わせて実施する事が出来た。その他、カラオケ介護予防機器の利用者様に好評であった。STでは、他部門と協力し、食事形態に関する検討を行い、利用者様に安全・安心に食事を楽しんで頂けるよう取り組みが出来た。また、口腔ケアに継続的に介入し、誤嚥性肺炎の予防及び、口内環境の改善が図れた。

2018年度 訓練課療護部リハビリテーション事業計画

主管 訓練課

ねらい	項目	事業内容	実績	
			評価	評価内容
重点事業項目	1	リハビリテーション実施計画書の作成	4	3カ月に1度更新している
	2	個別リハビリテーションの実施	4	ニーズに添え実施している
	3	グループリハビリテーションの実施	4	回想法等取り入れ実施している
	4	レクリエーションの実施	4	週2回のレクリエーションを実施出来ている
	5	リハビリ勉強会の実施	1	今年度は実施出来なかったため、見直しが必要がある
	6	補装具及び車椅子等の各種相談業務	4	利用者様の生活に支障が無いよう実施している
	7	各課との連携によるサービスの向上	4	グラントデザインに沿って連携している
	8	個別支援計画及びアセスメントの作成	4	情報が共有出来るよう作成出来ている
	9	学術的かつ社会職能面での専門性を備える	4	個々、及び課内で取り組んでいる
	10	実習生の受け入れ	4	年間通して3名程度から受け入れをしている
11				
12				
備考				

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 訓練課診療部事業計画

主管 訓練課

<p>訓練課診療部の重点事業方針</p> <p>1) 心身に障がいがある方、あるいはその恐れのある地域住民の皆様を対象に、地域に求められる資源としての専門性ある良質なリハビリテーションを提供し、個人の活動と生活機能の向上及び健康増進を支援し、地域に根ざしたサービスを提供して行きたい。</p> <p>2) 障がい福祉と地域の高齢者が共に支え合いながら交流出来るような「共生型サービス」を目指し、お客様に対し地域の資源の活用とつながりの拠点であるサービスを提供して行きたい。</p>	
<p>重点事業項目</p> <p>1) 外来リハビリテーションをご利用の患者様に、QOL向上の為、心身機能やIADLの向上及び安心安全な食生活に向けた「脳血管・運動器リハビリテーション」「摂食機能療法」「物理療法」を実施致します。</p> <p>2) 介護予防・日常生活支援総合事業における通所型サービスA・サービスCをご利用の皆様、介護予防や健康増進の促進および生活機能の向上を図り、生きがいや自己現実の達成、社会参加に向けた「包括的高齢者運動プログラム」や「個別・集団的活動」また「短期集中リハビリテーション」を実施致します。</p>	
<p>【上半期評価】</p> <p>通所事業については、昨年度から利用者数も増加しており、登録者数は定員を達している。また利用者アンケートと実施し、高い満足度評価を頂いている。ST部門、物理療法については、入所利用者様対象に安定してリハビリテーションの提供が出来る。脳血管Ⅲ、運動器Ⅱについては、診療体制が整っており、診療を実施出来ていない。</p>	<p>【最終評価】</p> <p>通所事業に関しては、登録者数が定員を達している状態で、ご利用希望者様に待機して頂いている状態であったが、2019年度4月より定員数の増加が出来ない体制を整える事が出来た。2019年4月以降は、待機者解消が期待できる。外来リハビリテーションに関しては、ST部門、消炎鎮痛でご利用者様のニーズも多く、上半期同様に安定して提供出来ている。脳血管Ⅲ、運動器Ⅱについては、診療体制が整っており、上半期同様に診療を実施出来ていない。</p>

2018年度 訓練課診療部リハビリテーション事業計画

主管 訓練課

<p>目的</p> <p>○地域の現状を捉え、対象の皆様様のQOLの向上を図り、健康長寿でいっまでも住み慣れた地域生活を送る事ができるよう、地域を支える担い手として支援致します。</p> <p>1. 外来リハビリテーション; 医療的リハビリテーションを提供し、心身機能の維持・改善を目指し、日常生活活動の向上を図られるよう支援致します。</p> <p>2. 総合事業 通所型サービスA; 介護予防ならびに健康増進の促進を目指し、家庭や社会参加を促し、生きがいや自己現実の達成を図られよう支援致します。</p> <p>3. 総合事業 通所型サービスC; 生活環境を含めた生活機能の向上を目指し、自立した地域生活を送る事ができるよう支援致します。</p>	<p>項目</p> <p>1 外来リハビリテーション リハビリテーション実施計画書作成と説明・同意</p>	<p>事業内容</p>	<p>実績</p> <p>評価</p> <p>評価内容</p>
	4		利用者様のニーズを反映し作成している
	1	外来リハビリテーション 脳血管および運動器リハビリテーションの実施	診療を休止している。
	4	外来リハビリテーション 摂食機能療法の実施	対象者に対し、制薬予防を図れている。
	4	外来リハビリテーション 消炎鎮痛 (物理療法) の実施	Dr.の指示の下、実施している
	5	通所型サービスA ニーズに合わせた包括的高齢者運動プログラムの実施	利用者様、ご家族のニーズにぶき実施している。
	5	通所型サービスA ニーズに合わせた個人活動および集団活動の実施	運動だけでなく、利用者様が楽しめるよう実施出来ている。
	4	通所型サービスC 在宅訪問における生活機能の評価	在籍者数は少ないが実施している。
	4	通所型サービスC 個別プログラム及び環境調整	在籍者数は少ないが実施している。
	4	通所型サービスA・C 安心・安全な送迎サービス	事故無く安全に実施出来ている。
	4	通所型サービスA・C 地域包括ケア会議とサービス担当者会議の参加	情報交換等も積極的に高い実施出来ている。
	4	11 学術的かつ社会職能面での専門性を備える	個々、及び課内で取り組んでいる。
4	12 実習生の受け入れ	年間通して8 養成校から受け入れをしている。	
備考			

評価基準: 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた) 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要) 1. 全くできていない

2018年度介護課更生部事業計画

主管 介護課更生部

重点事業方針

北広島リハビリセンターの基本理念に基づき、ご利用者様の個人の尊厳を守り、その人らしい安心・安全・豊かな生活を送れるよう、ご利用者の視点に立ったサービスを提供する。また質の高いサービスを提供出来る様、自己研鑽に努め、知識・技術の向上につなげる。

ご利用者様との信頼関係をより深め、また地域に求められる資源、選ばれる施設となる為、障害者虐待防止法をはじめとする関係法令の遵守に努める。

介護職員の人員不足がより深刻になり、職員の負担が大きくなるに比例し、介護リスクも高まるが、職員の負担や介護リスクの軽減のためにも、日々の業務を現状維持とせず、定期的に業務の見直しを行う事で、ムラ・ムダを省いていく。

日々多忙な業務の中にあっても、更生部の特色である自立支援の視点を持って日常生活訓練への働きかけや、クラブ活動の支援等に取り組む。

重点事業項目

- 1) 個別支援計画に基づき、個別性を尊重した根拠のある支援を目指す。
- 2) 専門職として職員相互での研鑽等により知識、技術を磨きサービスの質の維持、向上を図る。
- 3) 転倒、誤薬、誤嚥等をはじめあらゆる場面で介護事故の防止に努める。
- 4) 基本的な権利を守り、明るく誠実な対応に努め互いの信頼を深めるよう努める。
- 5) 各課協力のもとクラブ活動、季節ごとの行事等の日中活動に取り組む。

【下半期評価】

1) ご利用者様それぞれのADL状況、障害を把握し、移乗し難い、移乗し不安のあるご利用者様には床起行リフトを使用し、無下固職の方に対しては食事内容や水分摂取方法の指導、対応を行うなど、一人一人が安心、安全に生活して頂ける様環境を整える事が出来た。

2) 様々な研修を通して知識を身につけ、日々の仕事の中に活かすことが出来た。中でも虐待に関しては、多くの職員が問題意識や関心を持ち、言葉使いや身体拘束に対しての考え方や関わり方は良い方向に変わっていった。

3) 利用者様連帯での転倒の事故が多くなり、見守り強化やNC使用の促進など転倒防止に努めた。結果として減少は出来なかったが、まだまだ初期的なミスもあり氏名確認の徹底や声出しでの確認等の対策も継続し、報告書を出し、再発防止に努めていく。

4) ご利用者様と接する時の、挨拶や身だしなみに気をつけていたため、信頼を失うようなことは無かったと思うが、業務に追われてご利用者様一人一人の話をしっかりと傾聴出来ることが出来なかった。

5) クラブ活動は、先生の嫌気が出来ず書道クラブの休止となくなったが、書道クラブは円滑に行えた。季節ごとの行事は各課、各委員と協力し、ご利用者様に喜んでもらえる支援が出来た。

【最終評価】

ご利用者様のADLの低下が顕著になり、その都度、移乗方法などを見直し、改善していく事で、より安心・安全に生活できるような支援を行なった。また、様々な研修を通して得た知識・技術を現場で活かす事が出来、より質の高いサービス提供に繋げることが出来た。

虐待に関する研修も多く受け、丁寧な言葉使いや、ご利用者様が「さん」付けで呼ぶ等、意識しながら業務に当たることが出来たが、所々で言葉の乱れ等はまだあるのでこれから引き続き改善していきたい。

ご利用者様の減少、職員の減少により、定期的に業務の変更が必要だったが、職員協力のもとスムーズな業務の改善が行う事が出来た。

クラブ活動は書道クラブのみではあったが、各行事へは積極的に参加して頂く事が出来た。

2018年度介護課更生部事業計画

主管 介護課更生部

目 (むらい)	事業内容	実績	
		評価	評価内容
1. ご利用者様の立場に立ち、誠実で丁寧な対応に努め、信頼関係を深める。 2. 転倒、誤薬等の介護事故、リスクの低減に努める。 3. 専門職としての責任感を持ち、他業種とも協力しながら、安心・安全に適切なサービスの提供に努める。			
1	・一人一人の声を傾け誠実な対応に努める。	3	ご利用者へは誠実な態度で対応する事に努めたが、もう少しご利用者様の話しを傾聴する機会を増やす必要があった。 早い段階でのマスキングの着用や加湿器の導入で自立したインフルエンザの拡大は無かった。
2	・感染症を予防する為に、早めの感染予防対策を行う。	4	事故に関しては発生したが、再発防止を促されるため通常のチェック体制を徹底する。
3	・誤薬を始めとする介護事故を未然に防ぐ為、最終確認を怠らない。	3	ADLの低下に伴い、移乗方法や車椅子に関する改善等、他課の協力のもと良い支援が行えた。
4	・利用者のニーズに沿った支援を行うために、他課と綿密な連携をとる。	4	職員間のコミュニケーションは円滑だったが、多岐にわたる、職員間の連携や地域に密着した対応、報告・連絡・相談はしっかりと行なっていた。
5	・職員同士のコミュニケーションが円滑である為にも、職場内での報告・連絡・相談を徹底して行う。	3	個人情報管理、預り金の適切な処理を行うことができた。
6	・個人情報や預り金の適切な処理及び管理を行う。	5	虐待に関する研修に参加し、虐待防止に関する意識を高めたと思えるが、書道クラブについてはさらに進捗を促す必要がある。
7	・虐待防止の為、知識を身につけ、利用者に対し公平・平等に接する。	4	業務の見直し・改善を行い、省力化ができた。
8	・日々の業務を見直し、ムラ・ムダを省いていく。	4	日々の業務の中でADLの維持・拡大を意識した支援は出来なかった。 研修を通して新たに得た知識を、業務に活かす事が出来た。 書道クラブについてはまだ不十分である。
9	・日常生活を通して可能な限りADLの維持・拡大を支援する。	2	書道クラブを円滑に行うことが出来、クラブ活動の場には、楽しんで参加して頂けた。
10	・利用者に対する言葉使い、呼称等に気をつけ、より丁寧な対応を心がける。	4	
11	・クラブ活動の円滑な実施。	4	

重点事業項目

備考

- 評価基準： 5. 長くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた) 3. 十分でない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要) 1. 全くできていない

2018年度介護課療護部事業計画

主管 介護課療護部

	<p>重点事業方針</p> <p>北広島リハビリセンターの基本理念に基づき、ご利用者様の基本的な権利を守り尊厳が保たれるようご利用者様の立場に立ち、個々の主体性や個性を尊重し、施設生活及び地域とのつながりの中で、安心・安全・健康にそなわしい豊かな生活を送れるよう支援する。</p> <p>ご利用者様がより良い生活を送れるよう、限られた人員の中で、より効率的・効果的・重点的な視点をもって勤務体制・業務の改善・遂行に努めると共に、チームアプローチの充実を図る。</p> <p>人材不足が深刻さを増し職員にかかる荷重が増えるのに比例し、介護事故をはじめとするリスクは高まるがご利用者様の安全と健康を第一とし、関係者にとっても心身にダメージを受ける事となることを十分認識し、メンタルケアの充実を図り、介護事故の予防と迅速かつ誠実な対応に努める。</p> <p>相手への敬意の心を持ち、誠実な対応をすると共に、障害者虐待防止法をはじめとする関係法令の遵守に努め信頼関係を深める。</p>
	<p>重点事業項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 個別支援計画に基づき、個性を尊重した根拠のある支援を目指す。 2) 専門職として職員相互での研鑽等により知識、技術を磨きサービスの質の維持、向上を図る。 3) 転倒・誤薬・誤嚥等をはじめあらゆる場面で介護事故の防止に努める。 4) 基本的な権利を守り、明るく誠実な対応に努め互いの信頼を深める。 5) ご利用者様の高齢化、重度化により体力や抵抗力の低下が進む中、感染症予防、健康管理に努める。 6) 虐待防止マニュアル等を再認識し、虐待の再発防止について課内での理解を深める。 7) 職員がゆとりをもって働ける環境を整え、ご利用者様に寄り添えるケアの実践に努める。
	<p>【上半期評価】</p> <p>上半期というタイミングでは、評価していません。</p>
	<p>【最終評価】</p> <p>職員にとっては心身にゆとりを持つことが難しい環境において、ご利用者様のニーズに少しでも応えようと日々邁進してきた。特に虐待や人権に関する研修を受け、丁寧な言葉使いや、ご利用者様を「さん」付けで呼ぶ等、意識しながら業務に当たることが出来たが、まだまだ言葉の乱れ等はまだまだあるのでこれからは引き継ぎ改善していきたい。感染症予防については、早い段階での対応ができた。又、ご利用者様の日々の変化に対する報告や連絡、さらにはご家族への対応等意識することで信頼構築に繋がっていると思ふ。しかし求められる個別性への対応、知識・技術の向上への意識はあっても課一丸となって取り組むことができなかった。職員が働き甲斐をもち、ご利用者様に誠実に関わることの出来る環境をつくるために具体的な方向性を決め実施していくことの下準備の段階であった。</p>

2018年度介護課療護部事業計画

主管 介護課療護部

<p>(ねらい)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ご利用者様の立場に立ち、誠実な対応に努め、信頼関係を深める。 2. 転倒、誤薬等の介護事故、リスクの低減に努める。 3. 専門職としての責任感を持ち、安心・安全に適切なサービスの提供に努める。 4. 人材不足による職員への荷重を考え、業務の見直し・改善・メンタルケアの充実を図る。 	<p>事業内容</p>	<p>評価</p>	<p>実績</p>
	<p>1 ・一人一人の声に耳を傾け誠実な対応に努める</p>	3	<p>訴えられる利用者や訴えられない利用者との差が出てきている。訴えられない利用者に対する対応を考える必要がある。</p>
	<p>2 ・健康管理に努め、感染症を予防する</p>	4	<p>早い段階でのマスクの着用や加圧マスクの導入で自立したインフルエンザの拡大は無かった。</p>
	<p>3 ・変化を見逃さず、事故を未然に防ぐ様努める</p>	3	<p>いつもと違う変化の気づきと情報の共有はあり、重篤になる前に対応できた。</p>
	<p>4 ・虐待防止を念頭に置き、誰にでも公平・公正に接する</p>	3	<p>虐待に関する研修に参加し、虐待防止に対する意識は高まったと思うが、言葉遣いについてはさらに磨きが必要がある。利用者から受けるハラスメントの問題を考えていく必要がある。</p>
	<p>5 ・個人情報や預り金の適切な処理及び管理</p>	4	<p>情報については、事務の保管方法や職員同士の会話を見直す必要がある。</p>
	<p>6 ・生活しやすい環境を整え、個々の心身の変化に応じた個別ケアに努める</p>	3	<p>訴えられる利用者や訴えられない利用者との間に差がある。プライベートな環境・状況を整える配慮がさらに必要。</p>
	<p>7 ・気持ちのよい挨拶を心掛け、円滑なコミュニケーションを図る</p>	3	<p>職員一人ひとりが意識は出てきている。さらには、相手にとりどのように伝わるかを考えて円滑なコミュニケーションを取っている。</p>
	<p>8 ・報告・連絡・相談を密にし、やりがい・働きがいのある環境づくりに努める</p>	2	<p>チーム内の連携はとれている。しかし、他職種との連携、特に上司との連携うまくいかず、やりがい・働きがいさがそがれてしまっている。</p>
	<p>9 10</p>		

重点事業項目

備考

- 評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
1. 全くできていない

2018年度 看護課事業計画

看護課

重点事業方針	
<p>入所利用者の高齢化、重症化等により医療的ケアも多くなり、又、在宅生活を送っているショートステイ利用者にも医療的ケアを必要とする方が増えてきている。このため施設看護師としての役割が大きくなってきている。施設看護師の基本的役割である、利用者の健康管理を充分に行うと共に普段の利用者の状況把握に努める。</p> <p>又、入所利用者の異常の早期発見・病状の悪化による緊急時の対応も重要な役割である。</p> <p>北広島リハビリセンターの事業計画に基づいて、診療部の役割を適切に発揮し業務遂行することを基本方針とする。</p>	
重点事業項目	
<p>1) 継続した看護が出来るような体制づくりと、業務の見直しをする。</p> <p>2) ケアチームの一員として専門性を発揮する。安全・確実・効果的なケアの提供をする。看護の質の向上を図る。</p> <p>3) 利用者の高齢化、重症化に対し介護職員、他課職員と協力し異常の早期発見と事故防止に努める。</p> <p>4) 他課と連携し、緊急時の対応がスムーズに行える。</p> <p>5) 施設全体の健康を守る。</p>	
【上半期評価】	【最終評価】
<p>・看護スタッフが少ない中で、看護ケアを含め諸々の連絡事項が漏れないように、ノートやメモ等といった方法を取り、連絡を密に行なった。</p> <p>・ケアチームの一員として働きかけていたが、日常的に連携が上手くいかない事が多かった。</p> <p>・緊急時の対応としては、比較的他課との連携が取れていた。緊急ではないが、受診が必要な場合においても、病室の受入れが良かったこともあり、スムーズな受診が出来た。</p>	<p>・看護スタッフが少なくなり、業務の見直しを看護課内で話し合い、他課との打ち合わせ等も行った。変更事項が多かったため、それぞれ漏れがないように、ノート、メモ等に残した。</p> <p>・利用者様が、より良い看護ケア、診療等受けられるよう、介護課からの情報共有を心がけた。</p> <p>緊急時、速やかにDrに報告し、早目の対応が出来たケースが多かった。</p> <p>・インフルエンザ等が発症した場合は、早目の対応、が出来、アウトブレイクを起さず、最小限の感染者で終わった。</p>

2018年度看護課事業計画

看護課

(ねらい)	項目	事業内容	実績	
			評価	評価内容
重点事業項目	1.	入所利用者の健康維持と異常の早期発見。 ケアチームの一員として専門性を発揮する。 チーム内でのコミュニケーションをとり、継続した看護ケアを行う。	4	カンファレンスは行なわず、速やかにその場で話し合いを行なった。 薬剤業務はなくなったが、介護課からの問い合わせに、対応。 担当をなくし、定期的に見直しを行なっている。 特に問題なく行われた。
	2.	診療所の薬剤業務においては薬剤師と協力しながら、薬剤の効果、副作用を確認し調剤する。	4	
	3.	自立支援計画に基づき個人の看護計画・ケア計画の具体的な取り組みを担当制として定期的に、見直し評価する。	4	
	4.	ショートステイ利用者へのサービスと安全に配慮し、通所職員、又介護職員と利用者の情報を共有し連携したケアを継続していく。	4	
	5.	課内学習 ナースミミーティング等を利用して情報交換し問題意識を統一する。又、職員間のコミュニケーションを図る。	3	情報交換は、看護師の人数が少ないため勤務の調整が難しく、その都度話し合いを行なっている。
	6.	研修会等に積極的に参加し看護・福祉に対する知識を高めると共に個人々のレベルアップを図り日常の業務に反映させる。	4	研修会には、可能な限り参加している。研修会以外にも看護課内で知識の共有をはかり、業務に反映出来る様努力している。
	7.	利用者の容態急変に備え、救命、AEDの対応が速やかに行えるよう点検、熟知する。	4	点検は、毎日ガラス越しではあるが、行なっている。
	8.	定期的な検査で健康管理を行なう。利用者の高齢化により生活習慣病、慢性疾患、悪性腫瘍などの対策にも取り組み適切な援助をしていく。予防接種の励行。	4	定期検査・予防接種を行なった。検査結果、Drの指示のもと利用者様に援助を行なった。
	9.	日常生活の中での自己管理に対する指導援助をする。	3	御本人と介護課への働きかけを行なった。
	10.	褥瘡・肺炎（誤嚥性肺炎を含む）、尿路感染等の予防に努めるよう、日常の活性化を促進する。	3	介護課への指導をその都度行なった。
	11.	施設内の感染予防に積極的に取り組み、感染の流行があれば速やかに他課へ連絡、協力を仰ぐ。環境整備。	4	インフルエンザの発症があったが、拡大しなかった。
備考	<p>評価基準： 5. 良くできている（期待した以上の成果が得られた） 4. できている（期待した成果が得られた） 3. 十分ではない（期待した成果が得られなかった） 2. できていない（見直しが必要） 1. 全くできていない</p>			

2018年度 障がい地域支援課 事業計画

主管 障がい地域支援課通所支援係

重点事業方針	
<p>○利用者様がみなみで気持ちよく過ごせ、毎日でも行きたいと思ってもらえる環境を作り、多様な日中活動を提供する。</p> <p>○みなみを利用する事で利用者様に喜んで頂き、生き生きとした生活を送って頂ける支援を目指す。</p> <p>○日頃からの情報共有とチームワークを大切に、チーム力を高め、質の高いケアの提供、各職種の専門性を生かし、一体的な支援を行う。</p> <p>○利用者様、ご家族に真摯な態度で接し、信頼を得ていく。</p> <p>○どのような障害の方にも安全で安心できるサービス提供に努める。</p> <p>○施設機能を生かし、他専門職や部署との連携を図りながら充実したサービス提供を目指す。</p> <p>○事業に関する工夫や節約に努め、円滑な事業運営に努める。</p> <p>○地域住民にみなみを利用して頂く機会（行事等）や協力をし、地域資源の一つとしての存在を確立する。</p> <p>○共生型サービスが始まることから障がい者、高齢者など多様な利用者に対して一体的にサービス提供を行っていく。</p>	
重点事業項目	
<p>1) 整理整頓し、気持ちの良い環境を作り、挨拶・笑顔・言葉使いについて利用者目線を徹底する。コミュニケーションを意識的にとり、利用者・家族、職員同士の信頼関係や協調関係を作る。</p> <p>2) 利用者様のニーズを把握し、個々の状況に合わせた日中活動の充実、リハビリを提供。基本的なケアの充実を基本とし、人的資源（ボランティア等）を有効活用しながら、様々な活動機会を作り、利用者の能力の拡大を図る。</p> <p>3) 毎日の利用者送迎、ケアでの事故や危険を未然に防ぐ為、職員間での確認作業を徹底し、緊張感を持たつつ業務を行う。万一、ミスがあった際は即座に報告し、迅速な対応に努める。</p> <p>4) 常に利用者状況に合わせて、業務の見直しを行い、変化に対応する。職員業務（配置含め）の改善や業務整理（事務作業、ケア会議の効率化、統一など）に努力し、スムーズな業務遂行を行う。</p> <p>5) 近郊市町村を含めた、みなみ（通所）への期待に応える様、新規利用者の受け入れ体制を検討する。送迎やチーム体制、様々な障害状況にも対処する事の出来る専門職として能力向上を図る。</p> <p>6) 共生型サービスが開始になる為、介護保険サービスとの円滑な調整を行い、使い慣れたサービスを提供し、安心して利用して頂けるように連携に努める。</p>	
【上半期評価】	【最終評価】
	<p>新規利用者5名、終了者4名であった。終了者は、在宅生活継続が困難と介護保険サービスへの移行であった。次年度から共生型通所介護が開始となる為、引き続きサービス利用出来る様円滑にサービス調整を行いたい。上半期の反省を生かし、ミーティングや会議にて情報共有し細かな連携、ケアの統一を図る事に努めた。引き続き、チーム力を高め質の高いサービスを提供出来る様努めていく。利用日増の相談も多いため、限られた人員の中で安全にお受け出来る体制が取れる様、業務内容の見直しを継続して図っていく。</p>

2018年度 障がい地域支援課 事業計画

主管 障がい地域支援課通所支援係

（むら） 目的	事業内容		実績	
	項目	評価	評価内容	実績
重点事業項目	1. 利用者個々の状況に合った、日中活動の充実	5	笑顔、挨拶に始まり、声掛け、コミュニケーションを増やす	意識的に実施出来る いる ニーズに応じ、新たな活動 内容の提供を実施
	2. チームで一体感を持った支援体制づくり	4	艦スゴーツ、創作活動、カラオケ、外出、誕生会の実施	
	3. 地域や周囲の社会資源との協調関係づくり	4	グループワークや集団活動（音楽・製作）の実施	
		1	将来目標（就労）などによる学習会、見学会の実施	未実施
		2	他事業所利用者との交流や地域の行事への参加	未実施
		2	サービス内容、活動等についてのアンケート実施	アンケート実施に向け、内 容の検討が必要
		4	ケース会議開催方法の見直しと内容の周知、徹底	周知、徹底に努めた
		3	細かなケア内容の蓄積と支援の統一方法を検討	ミーティング等で周知を 行い統一に努めた
		3	送迎車両や送迎体制の改善、安全性の向上	引き継ぎ、安全運転と効率 良い送迎体制を検討する
		4	整理整頓、節約努力や作業効率を上げる工夫	
		4	職員間の報告・連絡・相談体制の徹底（風通し良く）	
	備考	12	地域住民に向けた行事の企画、運営	4

評価基準： 5. 良くできている（期待した以上の成果が得られた） 4. できている（期待した成果が得られた） 3. 十分ではない（期待した成果が得られなかった） 2. できていない（見直しが必要） 1. 全くできていない

2018年度 障がい地域支援課事業計画

主管 障がい地域支援課課長 支援係
児童発達支援・放課後等デイサービス

重点事業方針	
* 地域の資源の一つとして、重度心身障がい児の日常活動の場を提供し、地域、家族からの期待に応えていく。	
* 専門職による質の高いリハビリや療育の提供、日中活動の充実を図る。	
* 児童が安心して過ごすことが出来る場所であり、ご家族が信頼出来る事業所であるよう、職員の手配を高め、チームケアを行っていく。	
* 児童の成長、発達段階に合わせて療育の提供を行い、長期的な視点でケアを行う。	
* 緊急的な対応（避難訓練や医療面等）を想定し、日頃からご家族と都に連絡をとり、児童の体調面の悪化等、迅速に駆けつけ対応出来る体制を作る。	
* 少ないスタッフ数でありながら、多職種での支援のため、日頃の情報共有とチームワークを大切に、きめ細かく、質の高いサービスの提供に努めていく。	

重点事業項目	
1) 医療的ケアの重要性	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時（顕微鏡検査、医療的な面、後援等）に迅速に対応する。 児童それぞれ障がいの種類が、疾患に依じた、きめ細かく医療ケアの提供。
2) 専門職による質の高いリハビリや療育、日中活動の提供	<ul style="list-style-type: none"> 児童個別に合わせてサービス提供の実施を行う。 衛生的な環境を保ち、児童が快適に過ごすことが出来るよう環境設定を行う。 発達段階に合わせて専門職によるリハビリの実施。 季節に合わせて製作、行事の実施。
3) チームアプローチ	<ul style="list-style-type: none"> ミーティングや連絡ノートを活用、申し送りによる情報共有を図り、要領書も共通認識を持ちながら進める。 報・連・相の徹底、コミュニケーションによる信頼関係を構築していく。
4) 家族に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> 日常の負担軽減、レスパイトケアの役割を果たし、緊急な受け入れの要望にも出来る限り応えていく。 相談しやすい雰囲気作りを行い、信頼関係の構築を努める。
5) ケア会議の実施	<ul style="list-style-type: none"> 障がい特性、ご家族の思いを汲み取り専門的な視点を生かした個別支援計画の作成を定期的に行う。
6) 地産連携	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、他支援機関、学校との情報交換、連携を行っていく。

【上半期評価】	【最終評価】
<ul style="list-style-type: none"> 今年度も夏休み中、外出レクの実施を行った。外出先で医療的ケアを行うに当たり、安静に過ごせる場所の確保や、時間の制約の中での実施、外出先での準備対応等、課題も多かったが、無事に全ての外出レクを実施でき、ご家族、児童ともに喜んで頂くことが出来た。はじめに公共交通機関（JR）での移動も体験することが出来、普段中々体験することが出来ない経験が出来、充実した夏休みを過ごすことができた。」と、ご家族より感謝の言葉も頂いたのである。 8月より、定期利用の児童2名の入院が長期化する事により、全体の利用数の減少となっている。定員が5名と少ない為、そのような場合、キャンセル待ちしている児童を調整するも、限界があり、難しさを感じている。また、突発的な入院や体調不良によるキャンセルも依然として多い状況のため、課題である。 ノートの活用、毎日のミーティングの実施により、情報共有が出来、支援に対し共通認識を持つことが出来ている。引き継ぎ、当日勤務ではない職員に対し、情報が伝わりにくい面があるため、工夫していきたい。 学校の先生との直接関係の見える関係作りが少しずつ出来てきている。引き継ぎ、関係構築を構築していきたい。 胆振東部地震について、夜間、呼吸器や常時酸素を使用している児童が多い。主に電力の確保について、今回の地震の際、ご家族から不安の声が聞かれた。生命の維持に関わる為、切実な問題である。今後、課題を整理し、備えていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 週ごとに療育内容の予定を立て、月間予定表としてご家族にお渡ししている。季節ごとの活動や賑やかな季節には積極的に屋外へお散歩に行き、地域にある自然を楽しむ等、活動の充実を図ることが出来ている。今後も計画を立て、実施をしていきたい。 個別ニーズに合わせてきめ細かく医療的ケアの実施を行っている。てんかん発作や急な体調不良により予定していた活動に参加出来なない事もあるが、その日の体調や様子、スケジュールにより、臨機応変な対応が出来るように心がけている。 ご家族、特にキーパーソンとなる母親との関わりについて難しいと感じる場面も多かった。まず、想いを「受け止める」こと、「聴くこと」と大切にしたい。関わっていった。「信頼関係の構築」を大切に今後も接していくようにしたい。

2018年度 障がい地域支援課研修計画

主管 障がい地域支援課課長 支援係

項目	事業内容	実績	
		評価	評価内容
1. 専門職としての知識・技術・能力の向上			
2. チームでの支援力の向上(職員全体の底上げ)			
3. 安心感、安全性を高める			
1	介護(介助)方法、動作の実地研修	4	研修としては未実施だが、都度確認を行った
2	専門的知識、技術の講習実施や外部研修参加	1	未実施
3	医療行為(サクション等)の研修	1	未実施
4	他施設、他事業所の見学	1	未実施
5	事例研究、ケース検討の実施	4	随時実施
6	困難事例などの検討(他機関との会議に参加)	4	随時実施
7	事故対策研修(実際例などの共有)	3	対応について話し合い、対策を取ったが研修としては未実施
8	感染症対策研修	3	対応について話し合い、対策を取ったが研修としては未実施
9			
10			
11			
12			

評価基準：
5. 良くできている(期待した以上の成果が得られた) 4. できている(期待した成果が得られた)
3. 十分ではない(期待した成果が得られなかった) 2. できていない(見直しが必要)
1. 全くできていない

2018年度障がい地域支援事業計画

主管 障がい地域支援課

児童発達支援・放課後等デイサービス

日 ね らい	項目	事業内容	実績	
			評価	評価内容
	1	緊急時の迅速な対応、看護師によるきめ細やかな医療的ケアの実施（個別ケース毎に柔軟に対応を行う）	4	個々のスケジュールに沿って活動内容を設定している。
	2	児童個別に合わせたサービス提供の実施	4	毎月必ずまで評価を実施、年度調整も随時に対応している。
	3	環境整備（スヌーズレン設備の充実、畑作り、行き届いた清掃）	5	PfOTによりリハビリを実施している。
	4	定期的なリハビリを実施する事による能力拡大、発達支援	4	直前直後の前期中、季節毎の行事や製作を出来る限り実施している。
	5	保育士による季節毎の製作、行事の実施	4	ミーティングはなるべく毎日実施、一方的な報告が中心ではなく、その場で意見が交わらるなど積極的に参加し共有する場を確保している。
	6	毎朝のミーティングや連絡ノートの活用、時間差出勤職員に対しては個別の申し送りによる情報共有	3	日々の仕事の中で喧嘩合いになりからな場面も見られる。今年度改善を引き継いでいきたい。
	7	「報・連・相」の徹底、コミュニケーションによる信頼関係の構築	3	みなみを定額利用することで保護者（母）が仕事を始めるケースも増えた。
	8	日常の負担軽減、レスパイトケアの役割	4	相談の必要と思われる時は、じっくりお話を聞くよう努めた。
	9	相談しやすい関係作り、信頼関係の構築の為、定期的に家族と話をする機会を作る（個別面談、電話でのやり取り等）	4	見直しについて定期的に実施していく必要がある。実施方法について検討する。
	10	障がい、特性やご家族の思いを汲み取り、専門的な視点を生かした個別支援計画の作成	3	実施方法について検討する必要がある。
	11	毎月の定期的なケア会議の実施	3	気になる事があれば、ご家族から主治医に確認していたり、より、こちらからも他支援機関に働きかけを行っている。
	12	必要時の他支援機関、学校との情報交換の実施による地域連携	4	

評価基準：
 5. 良くてきている（期待した以上の成果が得られた）
 4. できていない（期待した成果が得られなかった）
 3. 十分ではない（期待した成果が得られなかった）
 2. できていない（見直しが必要）
 1. 全くできていない

2018年度障がい相談支援事業所みなみ事業計画

主管 障がい地域支援課

重点事業方針	重点事業項目	【最終評価】
報酬改定が行われ、基本報酬の見直し及び加算の創設、相談支援専門員一人が担当する一月当たりの標準担当件数が設定され、より質の高い計画相談作成に向けた取り組み強化が求められている。4月より市内で新設される事業所へ移管する登録者も踏まえ、月ごとの計画件数の管理、特にモニタリング実施期間の変更に伴う件数増加の把握と確実な実施に向け、事業所訪問の効率化を図っていく。また特定事業所加算の相談員の配置基準が見直されたことから、今年度一年間の計画実施状況を見極めた上で、新体制へ向けての課題等みらいと協働しながら検討していく。	1) より質の高い計画作成を目指して 標準作成担当数の管理 2) 情報収集、他事業所との連携と効率化 サービス担当者会議の開催 会議録等書類の作成 モニタリングの実施 3) 請求業務、スケジュール管理の徹底 新たな加算の創設 4) みらいとの協働	1) ～3) について ・今年度の報酬改定に伴う制度動向に基づき作成担当数、実施すべき件数を滞りなく遂行している。 ・特に2) に関しては、利用者の状況に応じて他機関との連携を行い、サービス利用以前の状況についても対応しているケースが増えている。 4) 計画作成に関するケース共有で連携が不十分であり、必要なモニタリングの未実施につながる事案（特に件数の多い月の対応がなされていない）もあり、下半期に向けた課題となる。未実施分の解消に向けた取り組みを行なうことで、月3～10ケースほどのモニタリング実施数の増加が見込める。 ＊下半期から次年度に向け（特に12月、3月実施状況を目安として）今後の相談体制の見直し、体制整備が必要となる。
重点事業方針	重点事業項目	【最終評価】
報酬改定が行われ、基本報酬の見直し及び加算の創設、相談支援専門員一人が担当する一月当たりの標準担当件数が設定され、より質の高い計画相談作成に向けた取り組み強化が求められている。4月より市内で新設される事業所へ移管する登録者も踏まえ、月ごとの計画件数の管理、特にモニタリング実施期間の変更に伴う件数増加の把握と確実な実施に向け、事業所訪問の効率化を図っていく。また特定事業所加算の相談員の配置基準が見直されたことから、今年度一年間の計画実施状況を見極めた上で、新体制へ向けての課題等みらいと協働しながら検討していく。	1) ～3) について ・上半期に引き継ぎ作成担当件数、実施すべき件数に対して遅延なく遂行している。 ・上記実施スケジュール管理を徹底することにより、報酬改定に伴う新単価、加算請求に対応することができた。加えてサービス利用計画作成以前の相談対応、一般相談（障がい者生活支援センターみらい）対象ケースの引き継ぎ、連携ケースが増加し、滞りなく対応している。 4) 12月、3月の作成数が増加していることから事前コースの解消が行われ、未実施分の減少に努め前年度比より解消できた。 ※次年度については、一般相談支援との一体運営体制および人員配置体制の再構築のため、当事業所による事業（指定特定相談支援、指定障害児相談支援、指定一般相談支援）を2019年5月31日付にて休止とする。	

2018年度障がい相談支援事業所みなみ事業計画

主管 障がい地域支援課

(ねらい)	項目	事業内容	実績	
			評価	評価内容
	1	外部研修等の参加、相談員間の意見交換及び計画案相互チェック	5	必要時に迅速に意見交換、および計画案の確認等が出来る体制を継続し、質を確保した計画作成を継続することができた。
	2	他事業所からのサービス利用状況・訪問による情報収集と書類整理	5	計画作成業務遂行の他にサービス利用以前の相談ケースが増加したため、他事業所、機関との連携機会が増え、より良い支援体制の構築が得られた。
重点事業項目	3	月ごとの計画作成、モニタリング数の把握と実施、スケジュール管理の徹底	4	「連続なくモニタリングを実施すること」を念頭に置いて業務遂行することにより、状況把握、スケジューリング管理が定着した。
	4	報酬改正に対応した加算等の請求及びびチェック体制の強化	4	報酬改正による前年度、加算に対応し取りこぼしの無いよう体制を構築した。
	5	経過措置の一年間で計画相談の実行状況を見極め、新体制に向けた相談員配置を検討していく。	2	一般相談(障がい者生活支援センターみらい対応)との連携、対応すべきモニタリング実施についてのフォローが前年度比では解消できたものの不十分であったため、計画作成業務分担等の見直しが必要となった。加えて人員配置の見直しの必要もあり、次年度の事業求仕に至った。
	6			
	7			
備考	8			
	9			
	10			
	11			
12				

評価基準： 5. 良くできている(期待した以上の成果が得られた) 4. できている(期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない(期待した成果が得られなかった) 2. できていない(見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度障がい者生活支援センターみらい事業計画

主管 障がい者生活支援センターみらい

重点事業方針	重点事業項目	【上半期評価】	【最終評価】
○障害を抱える個人や家族の孤立感の緩和に努め、共生社会の実現を視野に誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指します。	1) 地域住民とのつながりを深め、地域のストレングスを活かしたサービスや活動を創出していきます。	昨年、相談員1名増による影響で相談件数は年間1000件増となり、今年度も維持している状況。求められる委託相談の実績として達成されていると評価。	相談件数は毎月600件程の実績が続いた。精神障がい者の相談件数は増加傾向。精神状態により長時間や繰り返しの相談に繋がっている。複雑な生活課題を抱える家庭や児童虐待、DV相談なども増えているが、相関、行政や関係機関と連携しつつ対応しているが、相談員一人一人に罹る負担も大きくなっており、相談員間でのフォロー体制を試行錯誤しながら実践している。
○利用者個々の価値観を尊重したニーズの把握に努め、他機関と連携しながら、エンパワーメントを高める支援を行います。	2) 他機関との連携強化により情報共有を図り、協力してエンパワーメントを高める支援を行います。	障害者同士の出会いや交流の場として、4月よりこころの交流会、当事者会の開催方法を更し、月々の反省を踏まえながら上半期で転組みが固まった所。こころの交流会については参加者が増加傾向で、10名を超える参加が見られている。新しい交流仲間作りのきっかけとなり、他の日中活動の場への関係の発展が見られている。	地域で孤立気味の障害者同士の交流機会を実施する中で交流関係や活動の広がりが見られている。為、次年度も利用者状況を把握しつつ、様々な交流企画や地域での居場所作りを進めて行く必要がある。
○北広島市の障がい相談窓口としての機能の一層の充実を図るため、相談体制の組織力の向上を図っていきます。	3) 積極的な情報発信・啓発活動を行い、広く地域住民との顔の見える関係作りや相談に繋がるルート作りを行います。	9月の震災に際し、単身生活利用者の安否確認に時間を要した経験からも地域や他者とのつながりの重要性を再認識する事となった。障害者にとって、より日常的な地域とのつながり作りの重要性を感じている。地域との関わりについて、地域差(包括支援センター間の違い)あり不十分と感じている。今後も、サービスに繋がりにくい利用者の居場所作りを努めたい。	
	4) 専門職としての倫理観と、柔軟な発想力で地域課題を解決していくことのできる人材を育成していきます。		
	5) PDCA サイクルに基づいて常に改善を図り、業務効率化の取り組みを実施していきます。		
	6) 相談支援員同士や他職種との連携や協同を意識し、互いに支え合える職場づくりを目指します。		

2018年度 障がい者生活支援センターみらい 事業計画

主管 障がい者生活支援センターみらい

ねらい	項目	事業内容	実績	
			評価	評価内容
スローガン「One for all, All for one」 ～多様な人間同士がお互いの存在を認め合い、その人らしい生活を送ることが出来る地域～ 障害の有無、障害の違いや程度の差に関わらず、それぞれが自己や他者の存在意義を感じる事が当たり前の生活であることを目指す	1	自立支援協議会や地域の協議体へ参加し地域への浸透を図る	3	担当の割り振りを行い参加継続
	2	障がい等の理解促進と支援機関の周知活動を行う	3	声かけには参加するが能動的な活動はなし
	3	孤立感解消のためのコミュニケーションに取り組み当事者会や交流会の実施(充実)	4	交流会は参加者の拡大につながった
	4	サービ担当会議等による他機関連携強化	2	困難事例についての会議に参加
	5	ホームページの活用方法の見直し、即時性のある有効な情報発信を行う	3	今まで同様の活用、即時性が課題
	6	相談への時代に沿ったアクセス方法検討に伴い、SNSの活用など利用実態把握	4	インスタの活用を開始
	7	制度改正に沿った相談支援体制作りと計画相談支援の実行	3	次年度に向けた体制作りの検討を行った
	8	事務、計画相談等請求業務の効率化へICTの活用検討	3	活用検討し、次年度に実践期待
	9	人材育成考課システムに基づいた定期面談	3	実施はできているが内容・やり方には課題あり
	10	課内ミーティングの充実 (月1回 前月振り返り、次月計画、行事等の進め方など)	2	月1回開催ができておらず今後要検討
	11			
	12			
備考				

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
1. 全くできていない

2018年度 障がい者生活支援センターみらい研修計画

主管 障がい者生活支援センターみらい

ねらい	項目	事業内容	実績	
			評価	評価内容
1. 多くのケース事例や相談支援体制について学び、相談支援の質の向上を図る。 2. 福祉分野に限らず、広い視野を持ち、地域の課題について取り組むことができる。 3. 業務の効率化を図り、利用者支援に生かすことができる。	1	相談支援事業所の研究発表会、事例研究会への参加	3	全国身障協にて実践事例を発表
	2	各地域でのモデル事業や取組紹介などの活用	1	情報収集にとどまり、活用については今後
	3	地域ネットワークへの参加	4	できるだけ参加した
	4	アメニティフォーラムなど全国ネットワークへの参加	2	全国の会議には参加したがアメニティフォーラムは今後
	5	地域づくりの研究、研修会などの参加	2	情報収集・見学は実施
	6	他事業所との連携による困難事例の研究	3	要対協など声かけがあれば参加
	7	計画相談に関する課内研修の実施	1	課外の研修には参加しているが課内研修は行っていない
	8	相談支援専門員初任者・更新研修の受講	4	研修時期を把握しきちんと受講
	9	各支援機関等主催の利用者支援に関する研修会参加	4	主催の虐待研修や計画相談の研修に参加
	10	随時、研修会・会議案内等を検討し、必要に応じて参加	3	業務に関係する研修には積極的な参加を意識
	11	ICT導入等、業務効率化に関するビジネス研修への参加	1	ICT導入を目指しているが研修参加までには至らず
12				
備考	研修参加にともなう課内への伝達研修の実施。また、それに対し人材育成の観点から、評価等に反映させるなどのフィードバックを検討。			

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
1. 全くできていない

2018年度 環境美化委員会 全体計画

目的 (ねらい)	1. 施設利用者が清潔で美しく、また安心・安全な生活が保たれるような居住環境を提供していく。 2. 施設内外の整理整頓、備品を大切に扱う、清掃美化等を行い自分たちの施設を大事に使用するという自覚を持てるような環境を作る。また施設周辺地域への貢献にもつなげていく。 3. 年間を通じて当委員会が企画立案・協議し、具体的な方途を図りその実現に向けて活動することを環境美化推進委員会の方針とする。 佐藤尚文 清水順子 小原真美 矢吹朋子 中島基光 菊池 士 姉崎智寿美 大日向伸也 神原英明 斉藤希子 佐々木祐輔		
	担当職員		
計画	月	事業内容	実績 評価
	4月	<ul style="list-style-type: none"> 菜園準備(土壌改良) 古紙回収予定 	定例委員会 4/14開催 4
	5月	<ul style="list-style-type: none"> 春の意外清掃 花壇・菜園 花壇土台準備・菜園土壌改良 水やり 花壇の花・菜園の苗購入 草取り 	4
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ワックス掛け(1回目) 敷地内草刈り 	4
	7月	<ul style="list-style-type: none"> 敷地内草刈り 	4
	8月	<ul style="list-style-type: none"> ワックス掛け(2回目) 敷地内草刈り 	4
	9月	<ul style="list-style-type: none"> 菜園内作物収穫予定 敷地内草刈り 備品整理・確認 	4
	10月	<ul style="list-style-type: none"> 秋の意外清掃 花壇・菜園後片付け 掃木鉢整理 木の伐採 	4
	11月	<ul style="list-style-type: none"> 庭木冬囲い(シムバ-人材委付) 木の伐採準備日 	4
	12月		
	1月		
	2月	定例委員会(事業計画・次年度予算)	
3月	定例委員会(次年度予定)		
備考			

評価基準: 5. 良くできている(期待した以上の成果が得られた) 4. できている(期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない(期待した成果が得られなかった) 2. できていない(見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 防火対策委員会 事業計画

目的 (ねらい)	1. 現行の消防法に沿った内容で整備されている施設にあっては防火対策は重要な課題である。近年、国内では、毎年のように地震や台風等害が猛威を振るっている状況があり、火災のみならず自然災害対策にも重点を置く必要がある。 2. 年2回の防火総合訓練を機に自営防衛組織や事故の役割、任務の理解と防火に対する知識の修得等、自主防衛組織としての防火管理体制の確立を目指す。 3. 北広島市の福祉遊園所としての役割を担えるように、備品や非常用食料品の整備と管理に取り組む。		
	担当職員	山本 拓二 三浦 和紀 西尾 恵史 谷口 勝也 水留 直樹 山下 誠一郎 石戸橋 江美子 神 将大 内馬場 恵子	
計画	項目	事業内容	実績 評価
	1	防火対策委員会の定期開催(5月 6月 10月 11月)と必要時の臨時開催	4
	2	避難訓練、夜間想定訓練、夜間緊急訓練(6月 11月)	4
	3	防火機器の取り扱い理解	4
	4	防火総合訓練の立案と消防署への届け出	4
	5	防火対象物定期点検実施と消防署への届け出	4
	6	非常用食料品・物品の確認、備蓄調整	4
	7		
	8		
	9		
10			
備考			

評価基準: 5. 良くできている(期待した以上の成果が得られた) 4. できている(期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない(期待した成果が得られなかった) 2. できていない(見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 給食委員会全体計画

平成30年度(みなみ)防火事業報告
 主管 地域サポートセンターみなみ防火対策委員会

目 的 な ら い	項目	事業内容	実績	
			評価	評価内容
重点事業項目	1	防火対策委員会の開催	4	定期的な開催により防災意識を持つことが出来た
	2	避難訓練、夜間想定訓練の実施	4	夜間想定連絡や緊急対応の意識付けができた
	3	防災機器取扱説明・体験	5	消火器、非常電灯の作動方法を実演確認した
	4	非常・防災用品の備蓄整備	2	防災用品で必要なものが購入できていない
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
備考				

評価基準: 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

目 的 な ら い	項目	事業内容	実績	
			評価	評価内容
1) 利用者の意見・要望・嗜好など、給食に係わる様々な情報収集 2) 食事に係わる諸問題の対応策を協議 3) 喜ばれる給食実現にむけた活動		担当職員 木戸和美 濱本さなえ 西野正展 今綾 秋山 美智子 松永隆 佐渡葵 宇佐美菜奈		
	1	日々の給食に関する意見のとりまとめ	4	実施している
	2	季節感のある食事の工夫を協議・提案	4	実施している
	3	行事食についての提案・協力	4	実施している
	4	個人の身体状況に合わせた食事提供に係る提案・協力	4	実施している
	5	個人の嗜好に合わせた食事提供に係る提案・協力	3	概ね実施
	7			
備考				

評価基準: 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度レクリエーション委員会全体計画

目的 (ねらい)	1. 施設内での生活が主となる利用者様に対し、地域への外出や四季折々の季節を感じて貰う機会を提供させて頂きます。 2. 行事やレクリエーションを通して利用者様同士の交流や職員との交流の場を増やし、利用者様に笑ったり、話あったり、協力したり、感じたりする機会を増やして行きます。 3. 利用者様に施設行事に関するアンケート調査を実施し、利用者様の思いに沿った行事やレクリエーションを提供して行きたい。			
	担当職員	谷口 勝也、中田花奈美、澤田 勇樹、大脇 里菜、笠原 晴香、前川 忍、菊池 士		
計画	月	事業内容	実績	
	4		評価	
	5	外出レクリエーション お花見	5	今年度から企画したお花見が季節感を感じることが出来、好評であった。
	6		4	年間行事予定通り実施出来た。
	7	※アンケート調査の実施	4	
	8	盆踊り	4	
	9		4	
	10		4	
	11	運動会	5	厚真リハの利用者様と交流が出来、好評であった。
	12	年忘れ会食会 餅つき大会	5	厚真リハの利用者様と交流が出来、好評であった。
1				
2	豆まき大会	5	新春カラオケ大会と合同で出来、好評であった。	
3	ひな祭り	4	女性だけでなく男性ご利用者様にも楽しんでもらえた。	
備考				

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 研修委員会全体計画

目的 (ねらい)	1. 当委員会では「サービスの質の向上」に重点をおき、職員の資質向上と充実、専門職としてのスキルアップ・スキルチェンジに向けて取り組んでいきたい。 2. 他課・多職種との連携を図り、チームワークの結束に向けて取り組んでいきたい。			
	担当職員	新井田 渉 澤田 勇樹 榎又 早紀 藤原 光 千葉 彩佳 山田 稔 高橋 奈津美 島田 成美 小笠原 博美		
計画	月	事業内容	実績	
			評価	
		施設職員研修会の実施 「アンガーマネジメント研修」	4	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の施設職員研修会を活かすため「アンガーマネジメント研修」をテーマに開催。 ・参加については高連の欠席も柔軟に対応できた。短時間勤務者にも参加有無を確認する事が次年度から必要。 ・アンガーマネジメントの基礎について学習できたが、具体的な実践練習まで繋がればより良かった。 ・ワーク方法をもう少し工夫すれば、より一層他課・多職種のコミュニケーション向上に繋がった。 ・研修終了後も形骸化されず、注意喚起が図れた。 ・現場の実態把握と研修の効果目的に研修前と直後、1月にアンケート実施。結果として、怒りを感じた際にアンガーマネジメントを活用できた方の9割以上が効果を感じた。 ・職員に委員会の目的や一年間の活動実績等周知できた。 ・各事業所の次年度の事業計画が周知され、職員同じベクトルに向かって取り組もうという姿勢が見られた。
	8	場所 訓練棟		
	9			
	10	時間 18:00~20:00		
		内容 ・講師 (講師：アンガーマネジメント協会 長谷川 恵 先生) 「アンガーマネジメント入門講座」 ・グループワーク		
	3	職員研修会の実施 (3月26日) ・各委員会報告 ・2019年度の事業計画について	4	
	備考			

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 編集委員会事業計画

(ねらい)	事業内容		実績	
	月	事業内容	評価	評価内容
職員相互のコミュニケーションとチームワーク作り、さらに情報交換による職員のスキルアップを目的に、また、日々変化する社会情勢や福祉制度そして施設の現況、情報等を提供することで「選ばれる施設作り」を実現していくために、利用者様と利用者様のご家族及び関係機関に向けて広報誌を発行する。	担当職員 清水順子、通 摩周、澤田勇樹、藁田 綾、掛川未奈、勝山綾乃、内馬場恵子、前野 遼			
計 画	4	委員会開催 役割分担、次号の掲載内容について検討	4	委員会を開催し役割分担をした
	5			
	6	委員会開催 次号の進行状況の確認	3	委員会を開催し掲載内容の確認をするが欠席者多数のため確認できず
	7			
	8	委員会開催 次号の進行状況の確認	3	委員会を開催し進行状況の確認、撮影が不十分のため再度掲載内容を検討する
	9			
	10	委員会開催 次号の掲載内容検討、次年度事業計画、予算要望書作成	4	委員会を開催、掲載内容を確定する
	11			
	12	委員会開催 次号の進行状況、構成、原稿締切日程の検討、住所録の確認	3	委員会を開催、欠席者多数のため確認できず
	1			
	2	広報誌『さくらの丘』1号発行 委員会開催、評価検討	4	委員会を開催、評価の検討をする
	3			
備考				

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 虐待防止対策委員会全体計画

(ねらい)	事業内容		実績	
	項目	事業内容	評価	評価内容
目的	1.	研修の実施、セルフチェックリスト、各課目標設定などを行いながら職員一人一人が虐待に対する内容を正確に把握できるような取り組みの実施。	5	外部講師をお願いし実施
	2.	グリーンゾーンの考え方や統一した見解をもち業務いかせるような取り組みの実施。	5	研修前と研修後で実施することができた。
	3.	職員間でチェックしあえる職場環境の構築。	2	具体的に取り組みむことができなかった
	3.	職員間でチェックしあえる職場環境の構築。	5	研修委員会との合同で実施した
	5.	虐待防止マニュアルの見直し	2	内容が広域にわたるため、次年度も引き続き見直しが必要。
計 画	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
備考				

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 リスクマネジメント委員会全体計画

項目	事業内容	実績	
		評価	評価内容
1	定例の委員会の開催	4	8、9月を除き実施
2	施設内事故・ニアミス報告事例の分析	2	報告内容の整理、分析には至らず
3	事故・ニアミス報告書に基づく防止策の検討	3	意識調査としてアンケートを実施。他対策方法の検討必要。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
計 画			
担当職員 西尾恵史 渡邊由佳 横井圭司 菊池さとみ 藤井美樹 水留直樹 遊野有祐 服部泰広 1. 事故・ニアミス・ヒヤリハット等の報告活動へのアプローチ、実態検証等、防止対策検討を繰り返し、リスク低減・回避を図る。 2. 施設報告やリスク発生時対応等、リスクマネジメント(危機管理対策)システムの整備。			
備考			

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (期待した成果が得られなかった)
 1. 全くできていない

2018年度感染症対策検討委員会事業計画

項目	事業内容	実績	
		評価	評価内容
1	各部署へ展示物等による注意喚起	1	昨年のを使用
2	感染症対策グッズ(物品)の管理と配布	4	各部署物品の確認を行った。
3	発生時の対策と対応	4	インフルエンザ発生時、対応が早く、集団感染にはならなかった
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
具体的な取り組み			
備考			

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (期待した成果が得られなかった)
 1. 全くできていない

2018年度個人情報管理委員会全体計画

ねらい	<p>○2017年5月30日施行「個人情報保護法」の改正により、今まで認識されていなかったものも個人情報情報の範囲となっている可能性があるため、個人情報情報の範囲を再確認していく。その上で個人情報保護の取組みが職員に徹底して行われるよう周知し、利用者様・職員の情報流出がないよう委員から再度重要認識していく。</p> <p>○コンプライアンスの観点での啓蒙活動として、新しい情報を委員で共有し個人・施設全体の情報を守る手段を提供していく。</p>			
	<p>佐藤宏美・小侯東美・中田花奈美・河西恵美子・佐藤恵子・米田貴大・通藤周・佃真紀</p>			
計画	項目	事業内容	実績	
	4		評価	
	5	第1回 委員会開催 (5/17) ・今後の取組み・個人情報に関する意見について	改正された個人情報保護法に合わせマニュアル・規程の見直し	4
	6			
	7			
	8	第2回 委員会開催 (8/16) ・マニュアル、規定の改善検討と周知について	個人情報管理マニュアルの見直しと職員全体への周知方法について検討	4
	9			
	10	第3回 委員会開催 (10/18) ・マニュアルの見直しについて	個人情報管理マニュアルの内容見直しと各課への配布時期を検討	4
	11			
	12	第4回 委員会開催 (12/20) ・マニュアル見直しと周知ポスターについて	マニュアルの配布に合わせ職員への周知方法としてポスターを作成	4
	1			
	2	第5回 委員会開催 (2/21) ・来年度事業計画・全体研修での委員会報告	マニュアル・ポスター配布 来年度事業計画検討	4
3				
備考	<p>委員会開催の都度、個人情報に関する近況を検討し対応した。 (研修の振り返り用紙の決済・健診個人票の取り方法等)</p>			

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
1. 全くできていない

1. 運営管理

2018年度 北広島リハビリセンター特養部四恩園

(1) 北広島地域サポートセンター四恩園基本方針

～幸福実現サービスの拠点として～

第4次産業の発展は、周囲の環境や仕事の仕方、人間関係にも変化をもたらしていく。ビックデータ、人工知能、ロボットなどの技術革新はこれまで考えてもみなかったことが可能になるようになった。今ある仕事のうち49%が人工知能にとって代わり、そのピークは2045年とも言われ、技術が人間を超える時代が来るとも言われている。しかし、そのような時代においてもなくなる仕事として社会福祉施設職員、介護職員、(医療)ソーシャルワーカーが名を連ねておりこれからも社会福祉事業は、技術が人間を超えるような時代においても人間がこの世に存在し続ける限り、人間を中心においた実践が求められている。同時に職員ひとり一人が、人としての道、道徳、倫理観をしっかり備え、しなければならないこと、してはならないという普遍性を持たなければならないのだと思う。

私たちの仕事は何か？それは「人の幸福に係る仕事」であるということ。我々が専門職を超えた一人の人間として相手と向き合おうとした時に、相手は「自分を気にかけてくれる人がいる」「自分は一人ではない」という孤独感を払拭でき「生きていてもいいのだ」という生の力がみなぎるのだと思う。

時代が変化しても日本という国に生まれた者として変えてはいけないもの、人として生まれた以上、最期まで求めるもの、それはその人にしかない「幸福」であるのだと思う。障がいや病気を抱え生きるとは不便ではあるが不幸にしてはいけない。それぞれの不便さを認めあい、助け、助けられる社会こそ共生の理念であると思う。24時間、稼働するサポートセンター四恩園、サポートセンターともにを核とした「ひとり一人の幸福実現サービス」を届けられる仕組みを作ることを目標として事業に取り組んでいく。

<重点事業項目>

1. 中重度者への適切なサービス提供

三大ケアを基本とした中重度者対応の充実と看取りケア

2. 地域住民の身近な認知症ケアの拠点としてのデイホームさとみ

お茶の間、カフェを通じた地域住民との交流の場としての活動促進

3. 心身機能の維持、回復を目指すデイサービス

マシン導入の検討と心身機能回復と活動、参加の促進

4. 人材確保、定着

初任者研修、地域ボランティアの育成と活用

5. 地域への公益的な取り組みとしてのアウトリーチ

地域の社会資源活用による住民との交流機会の確保
各地区夏祭りへの協力と利用者の参加促進

北広島リハビリセンター特養部四恩園

～ひとりひとりの充実した生活を目指して～

2015年度に入所が要介護3以上と限定され、中重度の方を支える機能に重点化する中、2017年度は14名の方が退所され、16名の方が入所となり入退所が非常に多い年度となった。ほぼ毎月退所の方がいる中、入所調整が滞ってしまう状況があり、今年度は定期的な待機者の状況確認、スムーズな入所調整を図っていききたい。

2018年度介護報酬改正では、排泄に介護を要する利用者への支援に対する評価の創設や、褥瘡発生予防のための管理に対する評価など、安心・安全で自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現が求められており、定期的な評価を行ない、多職種が協働し支援計画を作成し支援を行なっていく。

また特養の医療ニーズへの対応として、看取りについて一定の医療提供体制を整えた特養内での看取りについては評価を充実させるなど特養が看取りの場としてより一層位置づけられている。今後も施設での看取りを希望される方については、ご本人、ご家族の希望に沿いながら看取りケアを行なっていききたい。

人材確保が難しい状況にはあるが、研修やOJTを通して職員一人一人のスキルアップを図り、効率的で質の高いケアの提供を目指していく。

<重点事業項目>

1. 生活を支える為の基本的なケア（食事・入浴・排泄）と接遇マナー、介護技術の質の維持・向上を図ります。
 - ・内部・外部研修を通して個々の職員のスキルアップを目指す。各委員会での業務の見直し、業務内容の標準化を図ります。
 - ・朝夕のミーティング等を活用しケア内容について、見直しを図っていきます。
2. 定期的なサービス評価を行い業務改善に活かし、入所・短期の安定利用に繋がっていきます。
 - ・お客様の生活の質向上の為、各委員会で月毎の目標を明確にし、その実行内容の評価を繰り返し行い、質の向上に繋がっていきます。
 - ・お客様のご家族を対象としたサービス評価を上半期・下半期に各1回ずつ行い、業務改善に繋がっていきます。
 - ・定期的な待機者の状況確認、スムーズな入所調整を行っていきます。
3. 人と人とのつながりを通じて幸福を感じられる場所の実現を目指します。
 - ・入所者の方々が地域住民の一員として、地域の資源を活用しながら地域に出ていく取り組みを実施。ふれて、ともにで行われる事業への参加。
 - ・多職種連携のケアカンファレンスを実施し、1人ひとりの個別性に配慮した生活支援を展開していきます。

北広島ショートステイ四恩園

～求められる資源として～

2017年度は、長年ショート利用されていたお客様の逝去、他施設への入所が続く等利用率が昨年度より低下した。その中で、特養入所が基本的に要介護3以上となっている中、要介護1、2の方々が主介護者の体調の悪化、入院などにより介護者不在の状況となり、在宅生活が困難となり急きょサ高住等他施設への入居が目立った。新規利用となる方々については、同様の理由や、独居高齢者の方の新規利用は体調悪化により入院、お1人での生活が難しくなり、退院となるも直ぐに入居できる場所がなく、ショート利用となる方が殆どであった。

利用されるお客様は、要支援1から要介護5まで、年代は60台から100歳までと幅広く、それぞれショートステイに求める支援内容もさまざまである。ご家族が求めるサービス内容も多様になってきている。生活スタイルの多様性を理解し、在宅生活の延長線上にある事を常に意識し、ご本人は勿論、ご家族、ケアマネージャー、他の利用しているサービス事業所とも情報共有、協力しながら短期入所の基本方針に示された、在宅生活が継続できるよう心身機能を維持し、家族の心身の負担軽減を図る事ができるサービスを提供していきたい。

<重点事業項目>

1. 円滑な利用に向けての情報収集、ニーズの把握に努めていきます。
 - ・ご本人、ご家族、ケアマネージャー、利用中のサービス事業所からの情報収集を行い、円滑なサービス提供に繋げていきます。
 - ・ショート利用のお客様ご家族を対象としたサービス評価を行い、結果を業務改善に繋げていきます
 - ・個室利用希望が増加しており、ハード面においても出来るだけ対応できるように検討を図っていきます。
2. 市内他事業所へ当事業所の情報を発信、情報交換を行いサービスの質の向上に繋がります。
 - ・市内居宅介護支援事業所、高齢者支援センターへ定期的に情報を発信、ケアマネージャーとの情報交換を行い、新規の利用者、サービス内容の見直しに繋がっていきます。

北広島デイサービスセンター四恩園

～より細やかで質の高いサービスを目指して～

2018年度の介護報酬改正では、これまで2時間ごとに設定されていた通所介護のサービス提供時間区分が1時間ごとの設定に見直された。この見直しは、当事業所にとっては一見減収にもつながる内容であるが、視点を変えると、これまでサービス提供時間の設定との兼ね合いで取り組めなかった「より細やかな時間でのサービス提供」や理美容サービスをはじめとした「付加サービスの検討」など、お客様個々の希望に沿った質

の高いサービスを行うことができるチャンスと考えることもできる。この改正を機に、お客様と職員が体験と感動を共有できるような細やかで質の高いサービスの提供を目指したいものである。

また、今回の改正では、ケアマネージャーが利用者やその家族に対して、「利用者はケアプランに位置づける居宅サービス事業所について、当該事業所をケアプランに位置づけた理由を求める事が可能であることを説明すること」が義務付けられた。これからの居宅サービス事業所がお客様やご家族、ケアマネージャーから選んでいただける事業所になるためには、提供するサービスの根拠と利用によって生じたお客様の変化（＝サービス利用の効果）を目に見える形で伝えることが必須となるのではないかと考える。今年度は、北広島デイサービスセンター四恩園のもつ機能と効果について自信をもって外部に発信していけるための各種評価・計画書作りにも力を入れていくこととする。

職員の確保が難しい中、職員一人一人の負担軽減も大きな課題である。少ない職員で大きな効果が出せるための機器の導入と職員のスキルアップ、人材の有効活用・機能分化についても検討し、具現化したい。

<重点事業項目>

1. 北広島デイサービスセンター四恩園だからできるサービスの検討・実施

- ・お客様アンケートや面談等により、お客様とご家族の希望をお聞きします。
- ・月に1回以上、支援センターや居宅介護支援事業所を訪問し、お客様やご家族の希望や地域で不足しているサービス内容についての情報交換を行います。
- ・正職会議・全体会議にてお客様・ご家族からの希望と「お客様のために」やりたいサービスのアイデアを集約し、実現に向けた検討をします。

2. 事業所がもつ機能と効果について自信を持って発信するための評価・計画の推進

- ・各種評価・計画書を提供するサービスの根拠と利用の効果を伝えるための手段とできるよう、内容や優先順位等を見直します。

3. 機器の導入と職員のスキルアップ、人材の有効活用・機能分化についての検討

- ・内部・外部研修により、職員個々のスキルアップを目指します。
- ・少ない職員で大きな効果が出せるための機器の導入と活用について検討します。
- ・職種ごとの機能分化と連携を推進することで、少ない人材を有効に活用していくことを目指します。

デイホームさとみ

～介護力アップと個別ケア～

さとみのお客様も98歳、100歳と超高齢化が進み身体の状態に合わせたケアが必要になってきている。職員の入れ替わりや勤務日数の制限もあり経験不足や情報量の不足をチームワークで補えるよう取り組み、お客様のひとり一人の人格に対して温かく思いやりを持って接し続けていくことが求められている。

さとみのお客様が地域の医療機関に入院するケースも増えていることから、ケアマネ

からの報告・連絡・相談から入院先の MSW や訪問診療の医師と一歩進んだ入退院の申し送りや生活情報の交換ができるようにしたいものである。

さとみのお茶の間の活動が行政より地域ボランティアと認められた。デイサービス以外の地域と結びつきができると同時に地域の生活課題も見えてきている。お茶の間の活動については、地域包括支援センター等との連携により、今後も継続していきたいものである。

これまでに取り組んだ、お客様参加型のおやつ週間や年間行事も現在利用されているお客様はもちろん、新規のお客様とも一緒に喜んで楽しめるよう、さとみの売りを発信する方法についても検討していきたい。

<重点事業項目>

1. 生活歴を理解し、周りのお客様に配慮した適切なケアの実施

- ・周囲の人を大切にして思いやり お客様も職員同士も

2. ADL、IADL の違いを理解した食事形態、入浴方法

- ・むせ込み予防体操と姿勢 食器の配置、食材の工夫

3. 一日の水分量を増やし、嗜好に合わせた飲食。

- ・アガーの有効活用で満足感も満たす。

4. 地域との結びつきでさとみを活用する

- ・お茶の間から地域の一人暮らしの課題を包括支援と共有する。

5. 訪問医師や入退院の対応

デイホームかたる

～選ばれるデイサービスを目指して～

2017 年度は「新規の獲得」「自立支援」「地域との連携」を柱に事業展開し、2016 年度に続き増員となる成果を上げ、月平均 25 名を達成することができた。デイホームかたるの強みである「活動・参加」の多様性が軽度者のニーズに合っているということがおお客様とご家族、地域の皆様、ケアマネージャー等に認識していただけている結果であると考えます。

2018 年度の介護保険制度改正では、「基本報酬とサービス提供時間区分の見直し」「生活機能向上連携加算の創設」「アウトカム評価」等に重点がおかれている。デイホームかたるとしては、軽度者の方をターゲットとし、地域交流ホームふれてやボランティアとの連携等、地域の力も活用することで「お客様 1 人ひとりの“やりたいこと”が“できる”ために」という視点での「自立支援」を目指し続けていくものと考えている。

新年度も基本的なサービス提供時間は 7 時間 15 分のままとする中で、3 時間利用から 9 時間利用までお客様のニーズに合わせたサービスが提供できるような体制を整えていくこと、定員を 30 名から 35 名に変更して受け入れの幅を増やすこと、新設された加算に関して算定が可能か確認・検討することも行っていくものとする。

<重点事業項目>

1. 転倒予防、認知症予防を軸とした魅力あるプログラムの検討・実施
 - ・作業療法士と連携し既存のリハビリプログラムを検討・評価方法の見直しを行います。脳トレや脳活性化ゲームをより効果の高いものにするための検討をいたします。
2. お客様の“やりたいこと”を取り入れたプログラムの検討・実施
 - ・お客様にアンケートや聞き取りを行い、できるものから取り入れていく。
3. お客様同士、お客様と地域、事業所と地域がつながり、支え合える関係の構築
 - ・ふれてを活用する中で、関係性を築き、活動に繋げていく。
4. 共生の理念やデイホームかたるの取り組みなどの啓蒙と発信
 - ・月に1度居宅、支援センターへ出向き、かたるの取り組みをアピールする。
5. 職員のスキルアップと業務内容の整理と改善
 - ・月に2度課内会議を持ち、業務内容に関して整理する時間を作ります。課内研修も基礎研修を中心に企画・実施します。

北広島市みなみ高齢者支援センター

～北広島団地地区の地域包括ケアシステム実現に向けて～

北広島団地地区の現状は、平成29年11月末現在で65歳以上高齢化率が44.4%、75歳以上高齢化率が21.3%と市内でも群を抜いて高齢化率の高い地域である。又、ここ10年以内に人口は約2,500人程度減少、世帯数は約500世帯ほど増加しており、少子高齢化・単身・老夫婦世帯の増加が浮き彫りとなっている。これらの結果、孤独死・認知症による徘徊、虐待、悪徳商法などによる権利侵害・交通・買い物・除雪など多くの課題を抱える地域住民が多数存在している。近年は我が事・丸ごと地域共生社会実現本部の設置などから、高齢者のみならず、年齢・受け手と支え手というような縦割りの区切りを撤廃する傾向にあり、ますます地域包括支援センターにおける責任や役割も増している。

2025年までに地域包括ケアシステムを実現し、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続けられる北広島団地地区となるよう、地域包括支援センターは「個を地域で支える援助」と「個を支える地域を作る援助」を両輪で実践する。地域包括ケアシステムは、地域包括支援センターだけで作れるものではなく、地域住民・行政・病院・大学・社会福祉協議会・民生委員・民間企業などさまざまな団体が有機的に手を結び、規範的統合の下、同じ場所を目指して課題解決や自助や互助の強化を図らなければ実現できない。

今後も地域というフィールドの中で、個人や団体などさまざまな場面に介入し、縁結び役として連携・協働の輪を広げていけるよう努める。

<重点事業項目>

1. 地域包括支援センターが実践している各事業の機能強化と他機関連携強化
 - ・総合相談支援事業、権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント事業、介護予防事業、家族支援事業、介護予防マネジメント事業、地域ケア会議事業等
2. 担当圏域における自助・互助機能の強化

- ・生活支援コーディネーターや第2層協議体などの実践からネットワーク強化と新しい資源の創出
- 3. 認知症対策の強化
 - ・認知症初期集中支援チームの実践、認知症カフェ“心結カフェ”の実施など。
- 4. 相談援助技術の向上
 - ・①研修等への参加による自己研鑽②情報の共有③相談体制の確立④メンタルヘルスの向上に向けた取り組みなどを実施

(2) 北広島団地地域サポートセンターともに

北広島団地地域交流ホームふれて

北広島団地は、高齢者の生活課題が浮き彫りになるとともに、地域住民のつながりの希薄化という問題を抱えている。このような現状については地域住民、自治会においても大きな課題となり悩んでいる。制度だけでは対応することが出来ない生活課題に、地域住民と行政と法人が共に、考え、行動し、その取り組みの輪を拡げ継続していくことが、地域包括ケアシステムの構築に向けた確実な一歩となると考える。

また、「北広島団地地域サポートセンターともに」「北広島団地地域交流ホームふれて」は、地域の人たちにとっての活動の場、安らぎの場、出会いの場などの、かけがえのない場となるよう、市民スタッフ、地域住民、自治体、関係機関、当法人職員の協働によりともに取り組んでおり、今後も継続していく。地域住民が主体となって自らの地域の生活課題解決に向けて取り組むことを、法人がコーディネートしながら協働しているという、先駆的で効果的な「地域における公益的な取り組み」である。

<重点事業項目>

- 1) 地域の課題解決に向けた取り組み
 - ・三位一体（地域住民・行政・法人）による地域包括ケアシステムの構築
- 2) 地域における公益的な取り組み
 - ・社会福祉法人に課せられた義務である前に、法人の使命として
- 3) 地域に求められる拠点として
 - ・共生の理念のもと、地域の方々が積極的に交流し、ともにつながり、ともに考え、ともに支え合える場に

北広島居宅介護支援事業所四恩園

～多様な生き方や価値観を肯定し尊重する「共生社会」の具体化を～

高齢化に伴い、地域で生活する高齢者の抱える問題は多様化し、様々な要因が複雑に絡み合い、虐待、孤立、徘徊といった形で顕在化している。背景にあるその人らしさや価値観もまた多様化し、関わる私たちケアマネージャーにはより高度な価値・知識・技

術・態度が求められている。

お客様の抱える問題が複雑化・多様化しているからこそ、ケアマネージャーは、お客様の声に耳を傾け、困難の背景に何があるのかを理解し、ありのままのその人を否定せず一人の人として接し、受けとめ、力を引き出し、自己決定を支援する相談援助のプロセスの重要性を認識し実践しなければならない。

「共生社会」は、地域に暮らす、または関わる者同士が、多様な生き方や価値観を肯定し尊重する寛容さがなければ実現できない。ケアマネージャーもまた、多様な生き方や価値観を肯定し尊重する相談援助において、お客様が「私をわかってくれる人がいる」「私を思ってくれる人がいる」を感じられるような関係を形成し、共生社会における人と人のつながりを大切にする支援を実践していかなければならない。

平成30年度は、お客様が生活する地域において、どのような「個々のお客様を地域で支える支援」と「地域の基盤づくり（地域づくり）」が必要とされるのか理解を深め具体化したい。

また今年度は、介護報酬改定が行われ、より円滑な医療との連携によって地域でお客様を支える支援が求められている。入退院支援、看取りケアを中心に円滑な連携を具体化していく。

<重点事業項目>

1. **お客様を地域で支えるケアマネジメントの実践**
 - ・お客様の生き方や価値観を肯定する相談援助の実践
 - ・円滑な医療連携の推進（情報提供の方法・書式の検討、退院時カンファレンス参加徹底等）
2. **安定経営へ向けたケアプラン数確保**
 - ・ケアマネージャー8名のケアプラン受け入れ体制（ケアプラン数280件/月、目標）
3. **ともに支えあう地域の基盤づくり**
 - ・ふれて、ともにでの活動（情報発信）、自治会、地区社会福祉委員会のお祭り等への参加。
 - ・ケアマネージャーの相談援助と地域の基盤づくりの関係性の理解を深める
4. **地域を支える相談援助職の人材育成**
 - ・主任ケアマネージャーによるスーパービジョン、ミーティング（グループスーパービジョン）を活用した相談援助の向上とストレスマネジメント
 - ・事例検討の実施、きたひろサービスネット研修会等への参加。

北広島グループホーム四恩園

～専門職との連携で充実した生活を支援していく～

前年度は、「認知症介護基礎研修」を基本としBPSD（行動・心理症状）にも対応できるような知識、技術力を向上させ臨機応変な対応を実践していくことに取り組んできました。一人ひとり理解し随時チームで話し合いながら進めていくことを大切にしてきました。ご家族や地域のみなさまからの支えも大きく行事などについても協力頂き、参加、実施する事ができていました。今後も、個別の対応で内容を検討しながら継続し

ていきたい。これからは、より専門性の高い視点で個別に生活を支援していくことが必要となる。

生活機能向上や口腔ケアについての知識を介護職員としての立場で専門職から指導頂き、お客様の健康管理に配慮しより良い生活の充実に努めていきたい。認知症の基礎知識を踏まえ、事例検討などを通し分析力、アプローチにつなげていける力、視点を広げていくことで認知症の人の生活支援を継続していきたい。1つひとつの関わりに根拠があることを理解し、「人生の最後の生活をグループホーム四恩園で」と、選んでいただけるようサービスの質の向上に努めていく。また、地域との関わり、家族の集いを通しての意見や情報交換の充実。今後も、地域で生活していくことを大切に取組んでいく。

<重点事業項目>

1. 個人の身体状況、認知症の症状（BPSD）などの事例を通し具体的に関わっていくことへの分析力を高めるため研修を実施する。
2. 看取りについて。
 - ・バイタルサインの把握など基本的な関わりから、個別の関わりについて学びを深め、安楽な環境について追及する。
3. 緊急時の対応、リスクマネジメントについて
 - ・急変時の対応、救急搬送の手順、連携について再確認する。
 - ・ヒヤリハット、気づきシートを活用し、環境要因など気づける視点の拡大。
4. 認知症ケア専門職として、質の向上に努める。
 - ・「口腔ケアの基本」「生活機能の向上」などについて、専門職から毎月又は個々に指導を受け学び実践する。
 - ・職員それぞれが目標を持ち、研修参加等自己研鑽する。
5. 地域で暮らし続けることを大切にし、地域の行事、イベントの参加
 - ・ご家族との交流も「家族の集い」を定期的で開催し、意見交換、情報共有し運営推進会議に反映していく。
 - ・イベント内容の検討
 - ・運営推進会議おおむね2か月に1回の実施
 - ・「家族の集い」年2回の実施
 - ・自己評価、外部評価（アンケート）年1回の実施

北広島訪問看護ステーション四恩園

～「地域包括ケア」を担う総合職として～

2017年度は、前年度より約400件多い訪問件数であった。5月に准看スタッフ1名の増員があったが、記録や報告書作成、健診・インフルエンザ対応、会議や法人研修、地域活動等訪問以外の時間が多く、専門性に特化した外部内部研修の参加や企画が困難であった。スタッフの平均年齢が56.8歳といった高齢化も進み、自身の健康状態の不安

や家族の高齢化・介護の問題といったことも浮上ってきており、「訪問看護ステーションの存続」「持続可能な事業に向けての取り組み」が緊急の課題となっている。2018年度は、昨年度開催できなかったナース会議を実施し、年間を通して「社会福祉法人における看護職のあり方」と「次世代人材確保・育成」に向けた取り組みをしていかなければならない。全国における訪問看護ステーション数は直近5年で1.4倍増加しているという。複雑なニーズを持ち医療が必要な在宅患者は今後ますます増えるだろう。これまで社会福祉法人が母体の訪問看護ステーションとして「お客様とその御家族が住み慣れた地域でできるだけ長くその人らしい生活が送れるように、医療・福祉・保健の連携・ネットワークを構築する一助となるよう、また予防的視点を持ち、医療面のみならず総合的な知識や技術を習得できるよう努力しステーション自体の質向上を図る」ことを実践してきた。現に現在の利用者は10歳代から100歳代と年代もかなり幅があり、末期ガン、生活習慣病、認知症、神経難病、知的障がい、精神障がい、発達障がい、身体障がいといったあらゆる疾病・障がいの方が対象で、当ステーションの特徴でもある。高齢者のみならず障がい児者、健常者等全世代が共生する地域を支える地域包括ケアができるステーションとして今後も事業継続していくのが責務であると考えている。

包括的取り組みとしては、外出行事として昨年度はフラメンコやロマンポルノ映画鑑賞、メイク&写真撮影会、ススキノツアーを実施。作品展も訪問介護課と共同開催した。法人内ではグループホームスタッフへの看取り研修の継続と、ヘルパースタッフへの精神疾患利用者の対応の講義。市内ステーション合同会議は継続し新たに事例検討会を開催、好評を得た。2018年度も引き続き色々と企画していきたい。

グループホームは開設より7名の看取りを経験している。厚生労働省は「終末期医療とケア」を「人生の最終段階における医療とケア」に表記変更した。利用者にとって最善の医療とケアを提供できるようにチームとして関わるのが今後ますます重要となる。それは地域でも同様である。市内クリニックとネットを介しての情報共有を開始したが、今後IT活用も視野に多方面・様々なアイデアで仕掛けていく年にしたい。

<重点事業項目>

1. 次世代人材確保・育成～年間4回ナース会議開催と人材確保計画の立案
2. 地域包括ケア推進への取り組み～外出行事年2回・研修講演開催年2回
3. 人生の最終段階における医療の決定プロセスの普及～GH等他事業所への研修実施・情報交換と連携の機会年2回

北広島複合型サービス四恩園

～お客様とご家族にどこよりも親身に、臨機応変に関わる事業所としてあり続ける～

28年度、29年度と看取りはなかったものの、認知症があり医療ニーズの高いお客様、認知症が重度で常時手厚い介護を必要とする方を多数お引き受けする事ができた。看護師を中心に訪問診療への立ち合いや受診の同行、主治医とのメールや話し合いなど、訪問看護、通い時の看護サービスなど医療機関との密な連携のもとお客様の健康管理に

注力してきた。個別性を重視し、出来る事を見つけ発揮してもらおう介護をこころがけ、機能改善し体調を整えいきいきとした日常生活を提供している。退院後の新規受け入れにも力を入れ、細やかに関わる事で心身機能が向上している。介護力のない家族であっても、ともに生活したいという気持ちを尊重し、柔軟で手厚いサポートでその人らしい家での暮らしを支える事もできた。ご家族からは「このサービスを利用できていなかったら、とても生きてはいたらなかった」「複合型サービスを利用しているから介護の負担も軽減している」「何かあっても助けてくれると安心できる」との評価や感謝の言葉も多数いただいている。

複合型サービスとは介護・看護・相談援助が一体的に提供されることにより実現できるオーダーメイドのサービスであり、他事業所では対応できないお客様の受け入れが可能なのだと思う。今回の報酬改定では医療ニーズへの対応、看取り、機能維持や健康管理が評価されており、複合型サービスにおいても看護体制、訪問機能の強化に手厚い加算が設定されている。社会福祉法人が展開するサービスであるため、病院併設の事業所とは利用者層は異なっているが、認知症があり医療ニーズがある方を継続支援し、医療との連携により在宅の限界点を伸ばすという役割を今後も果たしていきたいと思う。

当事業所のもう一つの特徴は、多様な地域交流である。「ともに」における市民スタッフやボランティア、地域住民との交流、地域イベントへの参加など楽しみの多い日常を提供し、多くの笑顔を生み出す事ができた。お客様本位を通底に地域に求められる資源としてあり続けた法人の姿勢が、地域の皆様とともに創り出す温かな繋がり原動力となっている。複合型サービスにおいても、地域の皆様の支援に感謝を忘れず、地域に求められるサービスとしての信頼を勝ち得ていきたいと思う。

<重点事業項目>

1. 個々のお客様の生活の意向を踏まえ、その人固有の価値観に基づいた生活を継続できるように、自立支援介護に努め生活リハビリ・看護サービスを提供する。
2. 主治医との連携を取るため、訪問診療の立ち合いや受診同行、主治医とのメール等の情報共有により、お客様が適切な医療サービスが利用できるよう支援する。
3. いつでもつながる安心を提供するため、随時の相談援助や介護相談、臨機応変なサービス提供体制を維持し他機関とも連携していく。
4. ボランティアや市民スタッフ、家族との繋がりを活用し、多様な交流と地域行事や外出機会の提供など楽しみある生活を提供する。
5. 医療との連携のもと、看取りの希望に対応していく。

北広島ホームヘルプサービスステーション四恩園

～地域の生活者であるお客様を支えるヘルパーとして～

私たちヘルパーは、お客様のお宅を訪問し、実際の生活の中に入って支援させていただいている。独居高齢者や老夫婦世帯、様々な障害を抱えながらの生活の中で、身の周りの支援がなされる事でかろうじて在宅生活が維持されているケースも多い。現在の介

護の特徴として介護の長期化と担い手の変化があるのではないか。例えば、嫁の立場での介護に代わって実の息子・娘が増えており、未婚できょうだいも少ないという世代が介護を担っている。「8050問題」とも言われる80代の親と50代の子といった形がまさにそうであり、ここ北広島市においてもこの形態の家族は増えていると感じる。

又、認知症のあるお客様も確実に増えており、在宅で住み続ける為にはなにが必要なのかの見極めが非常に大切になってくる。認知症のお客様と向き合う時、技術以前に人としての姿勢が問われる場面が多々ある。「人として」大切にしていきたいと思う。

「何の為に訪問しているのか?」「訪問の目的は?」この部分が抜けては的外れの支援になってしまう。お客様を訪問している時、援助を通してその人の生活全てをみていく、そこに気づきが生まれ、他職種との連携へと繋がり、チームケアとなる。

高齢者や障がい者等の生活全体、生き方そのものにかかわり「根拠のある介護」を提供することが、専門職として重要であると考えている。

<重点事業項目>

1. 次世代人材確保・育成～初任者研修からの育成。2018年介護報酬改定より、生活援助の資格要件の緩和を鑑み事業所独自の新任研修の構築。
2. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の提供に向けて、関係機関との連携を取りながら調整・具体化し、実現する。
3. ヘルパー業務の効率化～ほのぼののシステムの導入に伴い、業務の見直し（書類等の作製）を行う。IT機器の利用も検討。
4. 地域の情報を積極的に取り込み共有する事で、お客様に情報の提供をする。
5. 援助技術の研鑽とタイムリーな情報の共有～ヘルパー全体会議における事例検討の内容の見直しや研修の検討。

サービス付き高齢者向け住宅 しおん

～安全・安心から充実した幸せな生活をおくるために～

しおんに入居したお客様が安心・安全である生活をしていただくため、ともに管理課を始めとする厨房、また各事業者全体でお客様一人一人に関わってくれることはとても素晴らしいことである。五年目にして、しおんの本来の目標である「お客様が自分らしい生活を送る」ことを目指すために、一人一人生き様が違う33名のお客様とどう向き合っていくかである。

昨年最高齢のお客様が体調を崩し食事が摂れなくなった時、医師から生活か治療かの選択があり、家族の希望で入院となったがそれまでの間、介護で関わる時間が増え、初めてのことでありたまどってしまった事も事実である。今までも新たな出来事にはその都度職員間で知恵を出し合い対処してきたが、今回のことで具体的な道筋を作る必要がある。他の部署から協力をもらい、連携しながらお客様の生活を守っていく必要があると感じた。特に訪問介護の協力は欠かせない。定期巡回型はしおんのお客様のこれからの生活に必要不可欠と考えられる。

価値観が違うお客様のニーズは多種にわたるが、グループ別を実施できる楽しみを昨年に引き続き行っていく。現在行っている転倒予防のための健康体操以外にも、疾患別等個別に内容を検討しお客様の健康に役立つよう関わっていく。

ともには喫茶を始めとする地域のボランティアが多く活躍している。その人たちの中でもしおん独自で行う買い物送迎や歌のサークルなどに参加する方はごく一部である。活躍している地域の方とお客様の交流する機会を多く作りながら、一人一人のコーディネートができればお客様の幸せも広がって来ると考えられる。

<重点事業項目>

4. 他部署との協力、連携を具体化する。

- ・定期巡回型訪問介護看護の実施に向け調整していく。

5. 人と人とのつながりを大切にする。

- ・お客様同士の交流、地域の人との交流をサポートする。

6. 体調管理を行い、康寿命を延ばす。

- ・健康体操を初めとする個々に必要な体操を実施していく。

4. 季節感を味わい日々の生活を充実させる。

- ・四季折々の行事を実施していく。

介護職員初任者研修

～介護の魅力と実践力のある介護職員の育成と定着～

2016年からスタートした本研修事業ではあるが、初年度は8名（内、法人職員5名）、2017年度は5名（内、法人職員3名）であったが、昨年度は応募者少なく休講となった。本研修は地域住民へ介護の魅力を伝えることと、法人職員で無資格でケアを担う職員の知識、技術の向上を目的に開講される研修である。

国家的課題である介護職員不足は当法人においても避けられない重要な課題であり、介護に興味を持つ介護未経験者にいかに介護の魅力を伝え、介護職を志し、さらには当法人の職員として実践の現場に立ってもらうことでサービス利用者の生活の困難さを解消していくことは社会福祉法人としての使命でもある。

全ての科目を法人職員が担当し、現場にある事例を用いながらの座学、さらには現場実習、そして採用後も座学による現場のリアリティをさらに深めるという、本研修と現場が一体的になることで実践力のある職員育成、定着につながるものである。

2018年度の介護保険改正による訪問介護の生活援助の報酬引き下げは「認定ヘルパー」でも可能としたが、訪問介護サービスに留まらず介護サービスは誰でもできるサービスではなく専門性に裏打ちされたサービスであることを多くの人に理解してもらう上でも初任研修修了資格（従来の訪問介護員2級修了）は介護職員としてのナショナルミニマムとして位置づけるものである。当研修修了者の増加は、法人事業全体に及ぼす影響は少なくないものと考えている。

＜重点事業項目＞

1. 研修受講者の確保と事業の継続

- ・北広島市以外の近郊都市へのチラシの配布

2. 研修修了後の採用と定着へ向けた取り組み

- ・高齢者施設におけるフローアアシスタント制度、ケアスタッフ移行プログラムとリンクさせ、定着を図る。

3. 現任職員の研修の場としての活用

- ・高齢者施設中心の講師陣から障がい施設職員の講師への招聘

4. サービス向上推進プロジェクト研修委員会による企画への移行

- ・高齢者施設中心の企画、運営から法人事業としての企画、運営へ

2) 社会福祉事業 収支決算報告書

2018年度 社会福祉事業資金収支決算報告書
(自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日

<高齢者施設> ※繰入金収支の内部取引を含む

(単位:円)

収支区分及び科目	拠点区分	特養部	デイサービス	デイホーム さとみ	デイホーム かたる	ホームヘルプ	複合型 サービス	グループホーム	合計	備 考
事業活動による収入	介護保険事業収入	204,589,174	91,344,396	16,019,928	63,691,555	37,291,914	75,203,012	88,012,080	576,152,059	施設・居宅・地域密着型サービス等介護給付費
	障害福祉サービス事業収入	0	0	0	0	31,728,589	0	0	31,728,589	生活介護・自立訓練・入所支援・居宅介護給付費
	老人福祉事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	サービス付き高齢者向け住宅家賃・管理費・食費他
	医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	外来診療・訪問介護療養費・予防接種委託事業費
	その他の事業収入	515,018	0	0	427,500	427,500	427,500	877,500	2,675,018	街灯料助成金他
	研修事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	介護職員初任者研修事業受講料
	経常経費寄附金収入	50,000	0	0	0	2,288,070	0	0	2,338,070	法人及び施設寄附金、寄附物品
	受取利息配当金収入	593	270	108	54	86	215	55	1,381	預金利息
	その他の収入	638,524	11,300	0	23,701	144,676	40,842	0	859,043	実習費、食費(利用者以外)、雑収入他
	事業活動収入 計①	205,793,309	91,355,966	16,020,036	64,142,810	71,880,835	75,671,569	88,889,635	613,754,160	
人件費支出	職員給料支出	64,817,453	25,025,858	0	17,916,401	12,420,811	21,814,080	21,364,059	163,358,662	職員給与、諸手当
	職員賞与支出	14,911,890	5,668,686	0	4,444,315	3,010,550	5,049,600	4,915,265	38,000,306	職員期末手当
	非常勤職員給与支出	48,567,115	28,141,136	12,508,937	17,085,236	47,541,638	24,269,794	27,825,334	205,939,190	臨時職員等賃金
	派遣職員費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	派遣職員委託費
	退職給付支出	2,479,470	1,312,885	0	125,530	189,480	509,120	563,340	5,179,825	退職共済掛金
	法定福利費支出	16,166,566	6,984,515	470,474	4,680,587	7,014,336	6,162,077	6,991,418	48,469,973	社会保険料事業主負担額
	人件費 小計 A	146,942,494	67,133,080	12,979,411	44,252,069	70,176,815	57,804,671	61,659,416	460,947,956	
事業費支出	給食費支出	18,465,403	4,304,441	617,292	3,990,121	0	3,329,863	6,289,626	36,996,746	利用者給食材料
	介護用品費支出	3,586,727	72,004	20,364	39,733	0	31,904	128,348	3,879,080	利用者直接処遇介護用品購入費
	医薬品費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	診療用医薬品購入費
	診療・療養等材料費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	診療用消耗品等購入費
	保健衛生費支出	157,977	10,368	8,658	16,973	0	10,800	6,696	211,472	利用者健診費
	医療費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	利用者医療機関診療費
	被服費支出	1,561,244	173,474	0	82,776	0	220,752	0	2,038,246	利用者衣類・寝具等購入費
	教養娯楽費支出	196,221	391,274	36,470	248,349	10,494	104,898	253,244	1,240,950	利用者行事、レクリエーション等開催諸経費他
	日用品費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	利用者現物給付日用品
	水道光熱費支出	9,957,139	4,245,063	339,298	3,722,155	1,849,140	2,812,000	3,428,362	26,353,157	電気・ガス・水道料
	燃料費支出	6,092,085	2,609,627	286,982	1,680,223	631,788	842,333	1,052,920	13,195,958	重油、灯油代
	消耗器具備品費支出	2,127,652	241,409	128,157	232,323	1,162,075	289,210	400,368	4,581,194	利用者直接処遇消耗品、備品購入費
	保険料支出	0	0	0	2,700	0	0	0	2,700	利用者損害保険料
	賃借料支出	323,755	0	0	0	0	0	0	323,755	利用者処遇用具・備品等リース料
	葬祭費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	利用者葬祭費
	車輦費支出	1,556,758	1,823,253	579,287	1,244,903	621,967	696,878	0	6,523,046	車輦燃料費、車輦検査費等
	管理費返還支出	0	0	0	0	0	0	0	0	サービス付き高齢者向け住宅管理費返還
	諸謝金支出	0	200,000	50,000	30,000	50,000	0	0	330,000	介護職員初任者研修事業講師料
	雑支出	1,135,080	53,089	0	26,773	1,297	5,994	3,564	1,225,797	その他の事業費支出
	事業費支出 小計 B	45,160,041	14,124,002	2,066,508	11,317,029	4,326,761	8,344,632	11,563,128	96,902,101	
事務費支出	福利厚生費支出	1,095,639	307,592	80,158	168,180	298,066	269,176	243,489	2,462,300	職員検診、福利事業諸費他
	職員被服費支出	88,995	0	6,350	0	0	0	0	95,345	職員貸与制服、作業衣等購入費
	旅費交通費支出	93,820	4,000	10,800	53,120	29,920	33,804	60,642	286,106	旅費、日当、外勤手当
	研修研究費支出	276,042	93,560	0	48,380	140,703	65,420	78,916	703,021	研修会参加費
	事務消耗品費支出	971,477	60,822	10,113	67,944	1,497,799	18,684	52,961	2,679,800	事務用品購入費
	印刷製本費支出	1,022,096	186,305	28,980	54,196	99,103	74,359	64,489	1,529,528	印刷物作成費・製本費
	水道光熱費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	電気・ガス・水道料
	燃料費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	重油、灯油代
	繕繕費支出	1,797,376	0	6,908	337,068	0	97,200	45,414	2,283,966	建物・器具備品等修理費
	通信運搬費支出	1,225,041	180,202	195,051	400,585	224,430	243,093	227,025	2,695,427	電話・FAX・切手・各種発送費
	会議費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	会議用茶菓子・食糧費
	広報費支出	385,982	0	0	110,370	32,642	0	0	528,994	広告折込料、チラシ、広報誌作成他
	業務委託費支出	8,518,102	97,200	154,284	189,669	0	0	437,562	9,396,817	清掃・洗濯・警備・除雪等委託費
	手数料支出	646,578	6,336	14,820	25,944	8,766	89,787	149,173	941,404	振込料・申請手数料・各種代行手数料他
	保険料支出	327,469	242,982	82,899	232,392	175,110	203,377	79,285	1,343,514	建物・設備損害保険料、職員損害保険料
	賃借料支出	1,887,530	961,741	0	288,441	894,837	196,549	135,015	4,364,113	器具備品等リース料
	土地・建物賃借料支出	0	0	0	0	0	0	0	0	土地及び建物等借入金
	租税公課支出	50,300	2,900	0	7,400	85,400	58,200	0	204,200	印紙、自動車税他
	保守料支出	1,340,487	639,295	0	601,830	226,638	302,184	377,730	3,488,164	建物及び各種機器等保守・点検料
	渉外費支出	175,000	30,000	10,000	70,000	65,000	35,000	40,000	425,000	慶弔費、創設記念費等
	諸会費支出	170,300	50,300	12,500	56,300	5,000	5,000	59,000	358,400	各種団体加盟会費・負担金
	雑支出	652,229	28,440	23,223	56,505	27,881	11,127	94,739	893,689	その他の事務費支出
	事務費支出 小計 C	20,724,463	2,891,675	636,086	2,767,869	3,811,295	1,702,960	2,145,440	34,679,788	
	利用者負担軽減額	69,999	0	0	0	0	0	0	69,999	介護保険施設負担金軽減額
	支払利息支出	80,267	29,782	2,097	146,400	65,137	131,809	338,013	793,145	借入金利息、リース債務利息
	その他の支出	59,733	0	0	0	0	0	0	59,733	利用者等外給食費他
	流動資産評価減等による資金減少額	0	0	0	0	0	0	0	0	利用者負担金徴収不能額
	事業活動支出 計②	213,036,997	84,178,539	15,684,102	58,483,007	78,380,008	67,984,072	75,705,997	593,452,722	
	事業活動資金収支差額 ③(①-②)	△ 7,243,688	7,177,427	335,934	5,659,803	△ 6,499,173	7,687,497	13,183,638	20,301,438	
に よ る 収 入	施設整備等補助金収入	0	0	0	0	13,300,000	0	0	13,300,000	建物新築、改修等補助金
	施設整備等寄附金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	建物新築、改修等寄附金
	施設整備借入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	建物新築、改修等資金借入金
	固定資産売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0	
	施設整備等収入 計④	0	0	0	0	13,300,000	0	0	13,300,000	
に よ る 支 出	設備資金借入金元金償還支出	0	0	0	4,944,000	657,700	1,550,100	4,089,600	11,241,400	福祉医療機構・銀行借入金元金返済
	固定資産取得支出	216,000	0	162,000	0	10,712,968	0	0	11,090,968	固定資産新規取得額
	固定資産売却・廃棄支出	0	0	0	0	0	0	0	0	固定資産廃棄処分額
	ファイナンス・リース債務の返済支出	1,899,297	581,552	73,087	146,202	484,776	879,418	879,416	4,943,748	パソコン他設備機器リース元金返済
	施設整備等支出 計⑤	2,115,297	581,552	235,087	5,090,202	11,855,444	2,429,518	4,969,016	27,276,116	
	施設整備等資金収支差額 ⑥(④-⑤)	△ 2,115,297	△ 581,552	△ 235,087	△ 5,090,202	1,444,556	△ 2,429,518	△ 4,969,016	△ 13,976,116	
に よ る 収 入	積立資産取崩収入	1,969,760	1,134,885	0	81,030	189,480	464,620	563,340	4,403,115	退職共済出資金、各種積立金取崩額
	事業区分間繰入金収入	2,600,000	0	0	0	0	0	0	2,600,000	事業区分間の資金繰入額(内部取引)
	拠点区分間繰入金収入	0	0	110,000	1,130,000	6,500,000	0	7,740,000	7,740,000	拠点区分間の資金繰入額(内部取引)
	その他の活動による収入	0	0	0	0	0	0	0	0	長期預り金収入(入居者敷金)
	その他の活動収入 計⑦	4,569,760	1,134,885	110,000	1,211,030	6,689,480	464,620	563,340	14,743,115	
に よ る 支 出	積立資産支出	2,427,990	1,037,025	0	808,620	5,882,300	960,120	990,520	6,806,575	退職共済出資金、各種積立金取崩額
	事業区分間繰入金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	事業区分間の資金繰入額(内部取引)
	拠点区分間繰入金支出	2,730,000	5,700,000	210,000	970,000	1,050,000	1,750,000	4,260,000	16,670,000	拠点区分間の資金繰入額(内部取引)
	その他の活動による支出	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の活動支出 計⑧	5,157,990	6,737,025	210,000	1,778,620	1,632,300	2,710,120	5,250,520	23,476,575	
	その他の活動資金収支差額 ⑨(⑦-⑧)	△ 588,230	△ 5,602,140	△ 100,000	△ 567,590	5,057,180	△ 2,245,500	△ 4,687,180	△ 8,733,460	
	当期資金収支差額合計 ⑩(③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨)	△ 9,947,215	993,735	847	2,011	2,563	3,012,479	3,527,442	△ 2,408,138	
	前期末支払資金残高 ⑪	60,819,665	40,650,421	3,124,727	9,834,173	33,919,445	5,688,556	4,249,143	158,286,130	
	当期末支払資金残高 ⑫(⑩+⑪)	50,872,450	41,644,156	3,125,574	9,836,184	33,922,008	8,701,035	7,776,585	155,877,992	

3) 公益事業 収支決算報告書

2018年度 公益事業資金収支決算報告書

(自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日

<高齢者施設> ※繰入金収支の内部取引を含む

(単位 円)

収支区分及び科目	拠点区分	居宅介護支援	訪問看護	高齢者支援センター	サ高住しおん	初任者研修	合計	備考
介護保険事業収入		54,041,378	15,645,357	36,248,400	0	0	105,935,135	施設・居宅・地域密着型サービス等介護給付費
障害福祉サービス事業収入		0	0	0	0	0	0	生活介護・自立訓練・入所支援・居宅介護給付費
老人福祉事業収入		1,073,430	0	0	52,688,722	0	53,762,152	サービス付き高齢者向け住宅家賃・管理費・食費他
医療事業収入		0	7,999,282	0	0	0	7,999,282	外来診療・訪問介護療養費・予防接種委託事業費
その他の事業収入		0	0	0	22,500	0	22,500	街灯料助成金他
研修事業収入		0	0	0	0	328,000	328,000	介護職員初任者研修事業受講料
経常経費寄附金収入		10,000	0	0	0	0	10,000	法人及び施設寄附金、寄附物品
受取利息配当金収入		133	62	80	33	2	310	預金利息
その他の収入		130,106	0	98,500	270,341	0	498,947	実習費、食費(利用者以外)、雑収入他
事業活動収入 計①		55,255,047	23,644,701	36,346,980	52,981,596	328,002	168,556,326	
職員給料支出		24,752,753	14,029,225	20,171,381	9,232,215	0	68,185,574	職員給与、諸手当
職員賞与支出		5,598,650	3,237,500	4,450,715	2,113,400	0	15,400,265	職員期末手当
非常勤職員給与支出		822,246	24,090	983,630	15,758,172	0	17,588,138	臨時職員等賃金
派遣職員費支出		0	0	0	0	0	0	派遣職員委託費
退職給付支出		133,500	133,500	44,500	663,548	0	975,048	退職共済掛金
法定福利費支出		5,022,400	2,801,408	3,931,830	3,630,779	0	15,386,417	社会保険料事業主負担額
人件費 小計 A		36,329,549	20,225,723	29,582,066	31,398,114	0	117,535,442	
給食費支出		0	0	0	9,084,629	0	9,084,629	利用者給食材料
介護用品費支出		0	2,322	0	0	0	2,322	利用者直接処遇用介護用品購入費
医薬品費支出		0	0	0	0	0	0	診療用医薬品購入費
診療・療養等材料費支出		0	0	0	0	0	0	診療用消耗品等購入費
保健衛生費支出		0	24,094	0	0	0	24,094	利用者健診費
医療費支出		0	0	0	0	0	0	利用者医療機関診療費
被服費支出		0	0	0	0	0	0	利用者衣類・寝具等購入費
教養娯楽費支出		0	0	0	42,501	0	42,501	利用者行事、レクリエーション等開催諸経費他
日用品費支出		0	0	0	0	0	0	利用者現物給付日用品
水道光熱費支出		1,232,715	616,350	240,000	3,543,895	0	5,632,960	電気・ガス・水道料
燃料費支出		421,162	210,576	0	1,052,920	0	1,684,658	重油、灯油代
消耗器具備品費支出		2,835	0	972	29,889	59,400	93,096	利用者直接処遇消耗品、備品購入費
保険料支出		0	0	0	0	0	0	利用者損害保険料
賃借料支出		0	0	0	0	0	0	利用者処通用器具・備品等リース料
葬祭費支出		0	0	0	0	0	0	利用者葬祭費
車輦費支出		0	0	228,566	304,094	0	532,660	車輦燃料費、車輦検査費等
管理費返還支出		0	0	0	0	0	0	サービス付き高齢者向け住宅管理費返還
諸謝金支出		0	0	0	80,000	96,000	176,000	介護職員初任者研修事業講師料
雑支出		0	0	0	0	0	0	その他の事業費支出
事業費支出 小計 B		1,656,712	853,342	469,538	14,137,928	155,400	17,272,920	
福利厚生費支出		109,004	48,818	105,415	127,372	0	390,609	職員検診、福利事業諸費他
職員被服費支出		0	0	0	0	0	0	職員貸与制服、作業衣等購入費
旅費交通費支出		7,100	7,320	86,190	61,480	0	162,090	旅費、日当、外勤手当
研修研究費支出		35,600	5,568	236,500	118,100	0	395,768	研修会参加費
事務消耗品費支出		154,102	9,042	449,844	25,386	0	638,374	事務用品購入費
印刷製本費支出		355,280	20,520	814,872	19,330	0	1,210,002	印刷物作成費・製本費
水道光熱費支出		0	0	0	0	0	0	電気・ガス・水道料
燃料費支出		0	0	0	0	0	0	重油、灯油代
修繕費支出		21,600	0	35,640	6,480	0	63,720	建物・器具備品等修理費
通信運搬費支出		241,268	129,623	549,945	224,793	820	1,146,449	電話・FAX・切手・各種発送費
会議費支出		2,808	0	20,702	0	0	23,510	会議用茶菓子・食糧費
広報費支出		110,371	0	0	0	0	110,371	広告折込料、チラシ、広報誌作成他
業務委託費支出		0	0	189,670	538,002	0	727,672	清掃・洗濯・警備・除雪等委託費
手数料支出		3,672	14,820	29,924	139,710	1,080	189,206	振込料・申請手数料・各種代行手数料他
保険料支出		193,291	31,981	73,926	61,186	40	360,424	建物・設備損害保険料、職員損害保険料
賃借料支出		35,676	273,839	709,104	790,873	0	1,809,492	器具備品等リース料
土地・建物賃借料支出		0	0	784,800	0	0	784,800	土地及び建物等借用費
租税公課支出		224,300	1,500	2,900	965,300	0	1,194,000	印紙、自動車税他
保守料支出		151,092	75,546	200,610	377,730	0	804,978	建物及び各種機器等保守・点検料
渉外費支出		45,000	45,000	10,000	35,000	0	135,000	慶弔費、創設記念費等
諸会費支出		12,600	5,000	35,000	5,000	0	57,600	各種団体加盟会費・負担金
雑支出		94,590	28,740	363,960	14,050	0	501,340	その他の事務費支出
事務費支出 小計 C		1,797,354	697,317	4,699,002	3,509,792	1,940	10,705,405	
利用者負担軽減額		0	0	0	0	0	0	介護保険施設負担金軽減額
支払利息支出		660,527	13,744	0	696,077	0	1,370,348	借入金利息、リース債務利息
その他の支出		0	0	0	36,581	0	36,581	利用者等外給食費他
流動資産評価減等による資金減少額		0	0	0	0	0	0	利用者負担金徴収不能額
事業活動支出 計②		40,444,142	21,790,126	34,750,596	49,778,492	157,340	146,920,696	
事業活動資金収支差額③(①-②)		14,810,905	1,854,575	1,596,384	3,203,104	170,662	21,635,630	
施設整備等補助金収入		0	0	0	0	0	0	建物新築、改修等補助金
施設整備等寄附金収入		0	0	0	0	0	0	建物新築、改修等寄附金
施設整備借入金収入		0	0	0	0	0	0	建物新築、改修等資金借入金
固定資産売却収入		0	0	0	0	0	0	
施設整備等収入 計④		0	0	0	0	0	0	
設備資金借入金元金償還支出		8,041,600	108,900	0	8,430,100	0	16,580,600	福祉医療機構・銀行借入金元金返済
固定資産取得支出		386,348	0	0	0	0	386,348	固定資産新規取得額
固定資産売却・廃棄支出		0	0	0	0	0	0	固定資産廃棄処分額
ファイナンス・リース債務の返済支出		278,933	205,818	0	530,921	0	1,015,672	パソコン他設備機器リース元金返済
施設整備等支出 計⑤		8,706,881	314,718	0	8,961,021	0	17,982,620	
施設整備等資金収支差額⑥(④-⑤)		△ 8,706,881	△ 314,718	0	△ 8,961,021	0	△ 17,982,620	
積立資産取崩収入		0	0	0	328,207	0	328,207	退職共済出資金、各種積立金取崩額
事業区分間繰入金収入		0	0	0	0	0	0	事業区分間の資金繰入額(内部取引)
拠点区分間繰入金収入		0	0	0	2,000,000	0	2,000,000	拠点区分間の資金繰入額(内部取引)
その他の活動による収入		0	0	0	380,000	0	380,000	長期預り金収入(入居者敷金)
その他の活動収入 計⑦		0	0	0	2,708,207	0	2,708,207	
積立資産支出		973,740	470,100	926,340	342,120	0	2,712,300	退職共済出資金、各種積立金積立額
事業区分間繰入金支出		2,960,000	1,020,000	620,000	630,000	0	5,230,000	事業区分間の資金繰入額(内部取引)
拠点区分間繰入金支出		2,000,000	0	0	0	0	2,000,000	拠点区分間の資金繰入額(内部取引)
その他の活動による支出		0	0	0	460,000	0	460,000	
その他の活動支出 計⑧		5,933,740	1,490,100	1,546,340	1,432,120	0	10,402,300	
その他の活動資金収支差額⑨(⑦-⑧)		△ 5,933,740	△ 1,490,100	△ 1,546,340	1,276,087	0	△ 7,694,093	
当期資金収支差額合計⑩(③+⑥+⑨)		170,284	49,757	50,044	△ 4,481,830	170,662	△ 4,041,083	
前期末支払資金残高⑪		10,099,873	11,215,611	7,215,768	△ 7,164,786	83,250	21,449,716	
当期末支払資金残高⑫(⑩+⑪)		10,270,157	11,265,368	7,265,812	△ 11,646,616	253,912	17,408,633	

4)2018年行事のあらまし

年月日	行事	年月日	行事
4.1	音楽クラブ（施設サービス課）	5.15	キャラバンメイト全体会（居宅）歌声喫茶（ふれて）
4.2	職員定例会、辞令交付、長期勤続表彰	16	訪問看護定例会議、レクレッシュ（かたる）
4	書道クラブ（グループホーム）		グループホーム会議、健康体操（サ高住しおん）
	健康体操（サ高住しおん）		お茶の間（ベンチ設置（ふれて、ともに、みなみ）
	こども将棋教室・こども食堂（ふれて）	17	誕生会（GH）しおん会議（サ高住）
	職員会議（さとみ）		ランチ会（ふれて）
4～6	法人合同新人職員研修	18	華道クラブ（施設サービス課）
7	健康体操（サ高住しおん）	19	園遊会（施設サービス課）トリムコースを歩こう（ふれて）
8	お茶の間（さとみ）		健康体操（サ高住しおん）
9	レクレッシュ（かたる）	20	歌のサークル（サ高住しおん）
10	ケア会議（施設サービス課）	19～20	介護職員初任者研修
	正職員会議（かたる）	21	支援センター会議（みなみ）
	全体会議（複合型）	23	経営会議
	まーぶるひろば（ふれて）		健康体操（サ高住しおん）
11	健康体操（サ高住しおん）	24	内部監査、買物送迎（サ高住しおん）
12	絵手紙会（デイ四恩園）		三職種会議（みなみ）
	社会福祉会議、看護職会議、主任CM会議（みなみ）	25	幹部会議、チーフ会議
14	活け花会（デイ四恩園）健康体操（サ高住しおん）		東光ストア一介護予防、4支援センター会議（みなみ）
15	歌のサークル（サ高住しおん）	26～27	介護職員初任者研修
16	市民スタッフ監査（ともに）	26	健康体操（サ高住しおん）、お茶の間（さとみ）
17	絵本朗読（かたる）	28	石狩振興局ともに視察
18	グループホーム会議、健康体操（サ高住しおん）		ふれて花壇整備、ライフ&パワーアセスメント（かたる）
	お茶の間（ともに）ミニ講座（ふれて）	29	すずらん保育園交流（施設サービス課）
19	華道クラブ（施設サービス課）全体会議（かたる）	30	健康体操（サ高住しおん）
	しおん会議（サ高住しおん）ケース会議（みなみ）		ミニ講座、世界遺産（ふれて）
	ランチ会（ふれて）		
20	北広島介護サービス連絡協議会総会	6.1	国土交通省職員ともに視察
	心結カフェ（みなみ）、プレママカフェ（ふれて）	2～3	介護職員初任者研修
21	レク大会（グループホーム）	3	北広島市介護人材相談会、音楽クラブ（施設サービス課）
	健康体操（サ高住しおん）	5	複合型サービス全体会議、書道クラブ（GH）
22	お茶の間（さとみ）	6	182回理事会
23	定例支援センター会議（みなみ）		ハンドマッサージ（かたる）
24	三職種会議（みなみ）ランチ会（ふれて）	7	職員会議（さとみ）正職員会議（かたる）
25	経営会議		地域包括支援センター運営協議会（みなみ）
	健康体操（サ高住しおん）	8	カイゴのチカラ向上研修、レクレッシュ（かたる）
	ライフ&パワーアセスメント（ふれて）	9～10	介護職員初任者研修
	東光ストア一介護予防事業（みなみ）	9	友愛セール、活け花会（デイ四恩園）
	サービス検討委員会	10	お茶の間（さとみ）子供食堂（ふれて）
	買物送迎（サ高住しおん）ミニ講座・世界遺産	12	法人合同研修
27	幹部会、チーフ会議、ヘルパー全体会議		ケア会議、あおぞら保育園交流（施設サービス課）
28	健康体操（サ高住しおん）書道会（デイ四恩園）		まーぶるひろば（ふれて）
		13	全体会議（かたる）子供将棋教室（ふれて）
5.1	ワークショップ委員会（ふれて）		定例会議（訪問看護）グループホーム会議
2	健康体操（サ高住しおん）	14	絵手紙会（デイ四恩園）ランチ会（ふれて）
5	健康体操（サ高住しおん）	15	まーぶるひろば（ともに）
8	ケア会議（施設サービス課）		サービスネット交流会（ともに）心結カフェ（みなみ）
	複合型サービス会議	16～17	介護職員初任者研修、お茶の間（ともに）
5.8	屋外清掃（四恩園）	19	ガラス清掃（四恩園）
9	健康体操（サ高住しおん）	20	ガラス清掃（ともに）
10	屋外清掃（ともに）	21	ガラス清掃（日赤奉仕団）法人食事交流会（JRホテル）
11	市民スタッフミーティング（ともに）		第152回評議員会、誕生会（GH）
12～13	介護職員初任者研修	23～24	介護職員初任者研修
12	健康体操（サ高住しおん）	24	お茶の間（さとみ）
	ワークショップ（ふれて）	25	華道クラブ（施設サービス課）
13	町内大掃除（さとみ）	26	感染対策研修
	家族の集い（グループホーム）	27	経営会議
14	グループホーム、複合、サ高住運営推進会議	28	幹部会議、チーフ会議
14～15、17	職員健康診断	30～1	介護職員初任者研修、東光ストア一介護予防（みなみ）

年月日	行事	年月日	行事
7.1	第3住区福祉祭り	8.8	健康体操（サ高住しおん）
2	定例会、第3住区福祉祭り後片付	9	夏祭り（施設サービス課）
	介護職員初任者研修実習～7日		救急救命講習、ランチ会（ふれて）
3	防火訓練（さとみ）	10	書道クラブ（複合型）
	四恩園職員全体研修（ともに）	11～13	夏季休暇
4	防火訓練（ふれて、かたる）	11	第2住区夏祭り、健康体操（サ高住しおん）
	健康体操（サ高住しおん）		活け花会（デイ四恩園）
5	防火訓練（四恩園）とともに継続的地域協議会（ともに）	15	健康体操（サ高住しおん）
6	サービスネット研修	16	GH誕生会
	防火訓練（ともに）	17	サービスネット研修
7	健康体操（サ高住しおん）		生協ふれあいサロン、心結カフェ（みなみ）
8	介護職員初任者研修、		プレママカフェ（ふれて）
	お茶の間（さとみ）（ふれて）		お盆法要（施設サービス課）
9	GH、複合型運営推進会議	18	ともに市民講座
10	カイゴのチカラ向上研修		法人合同主任・係長研修
11	健康体操（サ高住しおん）	19	長澤前理事長通夜
12	絵手紙会（デイ四恩園）さとみ職員会議		健康体操、歌のサークル（サ高住しおん）
	レクレッシュ（かたる）	20～27	外出行事（かたる）
14～15	介護職員初任者研修、		支援センター会議（みなみ）
14	第4住区夏祭り、健康体操（サ高住しおん）	21	ハンドマッサージ（かたる）
17	四恩園職員全体研修（ともに）		複合型サービス全体会議
	事例検討（居宅）かおり幼稚園交流（GH）	22	訪問看護定例会議、GH会議
	ハンドマッサージ・買物外出（かたる）		市民スタッフ会議（ふれて）健康体操（サ高住しおん）
	おしゃべりサロン（みなみ）	23	買物送迎、しおん会議（サ高住しおん）
18	親睦会スポーツ大会、市民スタッフ会議（ふれて）		絵本朗読（かたる）、ランチ会（ふれて）
	GH会議、お茶の間（ともに）	24	みなみ三職種会議
	健康体操（サ高住しおん）	25	書道会（デイ四恩園）
19	サービス検討委員会	26	さとみお茶の間
	ランチ会（ふれて）しおん会議（サ高住しおん）	27	華道クラブ（施設サービス課）
20	絵本朗読（かたる）プレママランチ会（ふれて）	29	経営会議、健康体操（サ高住しおん）
	心結カフェ（みなみ）救急救命講習	30	チーフ会議、ライフ&パワーアセスメント（ふれて）
21	健康体操（サ高住しおん）		東光ストア介護予防（みなみ）
	白樺2丁目夏祭り	31	幹部会議、ふれてフェスティバル準備
	法人合同相談援助研修（ともに）		ヘルパー全体会議
	介護初任者研修修了試験		
22	お茶の間（さとみ）	9.1	ふれてフェスティバル
23	緑が丘小学校花火大会（サ高住しおん）		健康体操（サ高住しおん）
	華道クラブ（施設サービス課）	2	音楽クラブ（施設サービス課）
25	経営会議	3～5	法人合同新人職員研修
	三職種会議（みなみ）健康体操（サ高住しおん）	3	語る正職員会議
	ライフ&パワーアセスメント（ふれて）	5	健康体操（サ高住しおん）
26	買物送迎（サ高住しおん）	6	ランチ会（ふれて）
	東光ストア介護予防事業（みなみ）	8	考課者研修、健康体操（サ高住しおん）
27	幹部会議、チーフ会議、ヘルパー全体会議	9	こども食堂（ふれて）
	健康体操（サ高住しおん）4支援センター会議	10	GH誕生会、複合型運営推進会議
28	介護職員初任者研修修了式		心結カフェ外出（みなみ）
	北広島リハビリセンター祭	11	複合型全体会議、カイゴのチカラ向上研修
29	里見町5、6丁目夏祭り		ケア会議（施設サービス課）レクレッシュ（ふれて）
30	カイゴのチカラ向上研修	12	第183回理事会
			すずらん保育園交流（施設サービス課）
8.1	健康体操（サ高住しおん）		かたる全体会議・研修、こども将棋教室（ふれて）
2	さとみ職員会議	13	絵手紙会（デイ四恩園）
3～4	デイ四恩園夏祭り、書道クラブ（GH）		ミニ講座・口腔ケア（ふれて）
4	ともに夏祭り、健康体操（サ高住しおん）	14	ハンドマッサージ（かたる）
5	音楽クラブ（施設サービス課）	15	敬老祝賀会（施設サービス課）
6	レクレッシュ、正職員会議（かたる）		第2住区敬老の集い（みなみ）健康体操（サ高住しおん）
7	ケア会議（施設サービス課）	16	GH敬老の集い、歌のサークル（サ高住しおん）
	ともに子供工作教室、まーぶるひろば（ふれて）	17	第三住区敬老の集い（みなみ）

年月日	行事	年月日	行事
18	ワックスがけ (四恩園)	11.23	三職種会議 (みなみ)
	健康体験講座 (ともに)、三職種会議 (みなみ)	24	経営会議、健康体操 (みなみ)
17~19	胆振東部地震災害派遣 (向山・奥山)	25	サービス検討委員会。東光ストア一介護予防 (みなみ)
20~22	胆振東部地震災害派遣 (リハセンター職員)		買物送迎 (サ高住しおん)、ふれてそばの日
23~25	胆振東部地震災害派遣 (清水・林)		お話し (複合)
26~28	胆振東部地震災害派遣 (リハセンター職員)	26	幹部会、チーフ会議
29~30	胆振東部地震災害派遣 (向山・吉田)		ヘルパー全体会議
19	ワックスがけ (四恩園)、健康体操 (サ高住しおん)	27	訪問看護外出 (鮭ツアー)
20	ワックスがけ (ふれて)、しおん会議 (サ高住しおん)	28	さとみお茶の間、第4住区独居高齢者食事会 (みなみ)
	支援センター会議 (みなみ)	29~2	かたる食事外出
21	カイゴのチカラ向上研修	29	ライフ&パワーアセスメント (ふれて)
	生協サロン、心結カフェ (みなみ)	30	感染対策研修
	プレママカフェ (ふれて)	31	健康体操 (サ高住しおん)
22	健康体操、敬老会 (サ高住しおん)		
	書道会 (デイ四恩園)	11.2	地域ケア会議・ベンチ撤去 (ふれて、みなみ)
24	書道クラブ (施設サービス課)	3	健康体操 (サ高住しおん)
25	ライフ&パワーアセスメント (ふれて)	4	音楽クラブ (施設サービス課)
26	経営会議	4~9	外出行事 (かたる)
	カイゴのチカラ向上研修、	6	外食行事 (グループホーム)
	彼岸法要 (施設サービス課)		認知症サポーターステップアップ研修 (みなみ)
26~28	敬老会 (かたる)	7	屋外清掃、健康体操 (サ高住しおん)
26	健康体操 (サ高住しおん)		かたる正職員会議
27	買物送迎 (サ高住しおん)、東光ストア一介護予防 (みなみ)	8	ボイラー祈願祭、さとみ職員会議
28	幹部会、チーフ会議	9	書道クラブ (複合型)
	ヘルパー全体会議、健康体操 (サ高住しおん)	10	てとるワークショップ (ふれて)
30	働きたい女性企業合同説明会	11	さとみお茶の間、こども食堂祭り (ふえて)
		13	まーぶるひろば (ふれて)
10.1~3	作品展 (ヘルパーステーション) 四恩園	14	かたる全体会議、子供将棋教室 (ふれて)
2	健康体操 (サ高住しおん)		グループホーム会議、健康体操 (サ高住しおん)
3	正職員会議 (かたる)	15	法人全体研修 (センター)
4~10	作品展 (ヘルパーステーション) ふれて		ランチ会 (ふれて)、しおん会議 (サ高住しおん)
4	第53回評議員会	16	市内5ステーション研修 (訪問看護)
	レクレッシュ (ふれて)		複合型サービス全体会議
5	親睦会食事交流会		生協ふれあいサロン、心結カフェ (みなみ)
	書道クラブ (複合・GH)		プレママカフェ (ふれて)
6	健康体操 (サ高住しおん)	17	健康体操 (サ高住しおん)
7	音楽クラブ (施設サービス課)	18	歌のサークル (サ高住しおん)
9	ケア会議 (施設サービス課)	19	運営推進会議 (複合、GH)
10	訪問看護定例会議、かたる全体会議		絵本朗読 (かたる)
11	4支援センター会議 (みなみ)		定例支援センター会議、三職種会議 (みなみ)
11~21	作品展 (ヘルパーステーション) ともに	20	まーぶるひろば (ともに)
12	親睦会食事交流会		第1住区おしゃべりサロン (みなみ)
13	健康体操 (サ高住しおん)	21	法人全体研修 (ともに)
	福祉の集い (みなみ)		レクレッシュ (ふれて) 健康体操 (サ高住しおん)
14	こども食堂 (ふれて)		お茶の間 (ともに)
16	複合型サービス全体会議	22	ひろしま幼稚園交流 (施設サービス課)
	さとみ運営推進会議		東光ストア一介護予防 (みなみ)
	第1住区おしゃべりサロン (みなみ)	24	健康体操 (サ高住しおん)
17	グループホーム会議、健康体操 (サ高住しおん)	25	買物送迎 (サ高住しおん)、さとみお茶の間
	第4住区お茶の間 (みなみ)	26	華道クラブ (施設サービス課)
	2019年度新規採用職員面接	28	経営会議
18	グループホーム誕生会、しおん会議 (サ高住しおん)	29	ライフ&パワーアセスメント (ふれて)
	ランチ会 (ふれて)		健康体操 (サ高住しおん)
19	親睦会食事交流会		市内5ステーション研修 (訪問看護)
	生協ふれあいサロン、心結カフェ (みなみ)	30	幹部会議、チーフ会議
20	考課者研修、まーぶるひろば (ともに)		ヘルパー全体会議
21	ともに地域の学芸会		
22	華道クラブ (施設サービス課) 定例支援センター会議		

年月日	行事	年月日	行事
12.1	第4住区40周年記念イベント（ともに）	1.15	ケア会議、施設サービス課
2	音楽クラブ（施設サービス課）		かたる初詣外出、第一住区おしゃべり（みなみ）
	健康体操（サ高住しおん）		まーぶるひろば（ふれて）
5	第184回理事会	16	三職種会議（みなみ）ケア会議（施設サービス課）
	健康体操（サ高住しおん）		身体介護研修（ヘルパー）定例会議（訪問看護）
6	餅つき大会（施設サービス課）		グループホーム会議、健康体操（サ高住しおん）
	さとみ職員会議	17	グループホーム誕生会
7	GH書道クラブ		ランチ会（ふれて）
	レクレッシュ（ふれて）	18	身体介護研修（ヘルパー）複合型サービス書道クラブ
8	ヘルパー親睦会、健康体操（サ高住しおん）		しおん会議（サ高住しおん）、
	活け花会（デイ四恩園）ふれて忘年会		生協ふれあいサロン、心結カフェ（みなみ）
10	さとみ餅つき、こども食堂（ふれて）		プレマカフェ（ふれて）
11	ケア会議（施設サービス課）まーぶるひろば（ふれて）	19	管理職研修
12～13	デイ四恩園もちつき、かたる書道会		健康体操（サ高住しおん）
	健康体操（サ高住しおん）子供将棋教室（ふれて）		歌のサークル（サ高住しおん）
13	かおり幼稚園交流（複合、GH）		運営推進会議（複合、GH）
14	親睦会忘年会、しおん会議（サ高住しおん）		レクレッシュ（ふれて）定例支援センター会議（
15	ともに餅つき大会	22	まーぶるひろば（ふれて）
16	健康体操、歌のサークル（サ高住しおん）	23	経営会議
17～18	かたる忘年会		カイゴのチカラ向上研修
18	三職種会議（みなみ）まーぶるひろば（ともに）		お話会（複合型）健康体操（サ高住しおん）
19	お茶の間カラオケ大会（ともに）	24	サービス検討委員会。東光ストアー介護予防（みなみ）
	グループホーム会議、健康体操（サ高住しおん）		買物送迎（サ高住しおん）
19～20	さとみ餅つき	25	幹部会議・チーフ会議、4支援センター会議（みなみ）
20	第54回評議員会		ヘルパー全体会議
	クリスマス会（施設サービス課）		デイ四恩園書道会
	買物送迎（サ高住しおん）定例支援センター会議（みなみ）	27	さとみお茶の間
21	ヘルパー全体会議、絵本朗読（かたる）	28	華道クラブ（施設サービス課）
	心結カフェ（みなみ）プレマカフェ（ふれて）	29	カイゴのチカラ向上研修
22	健康体操（サ高住しおん）		健康体操（サ高住しおん）
23	第3、4住区餅つき（みなみ）		
24	クリスマス会（さとみ、サ高住しおん）	2.2	法人階層別研修（主任以上）
25	ライフ&パワーアセスメント（ふれて）	3	健康体操（サ高住しおん）
	クリスマス会（ふれて）		音楽クラブ（施設サービス課）
26	経営会議	4	かたる正職員会議
	ふれて餅つき大会、健康体操（サ高住しおん）	6	定期巡回サービス研修
27	幹部会議、チーフ会議		健康体操（サ高住しおん）
28	仕事納め	7	さとみ職員会議
29	健康体操（サ高住しおん）		レクレッシュ（かたる・ふれて）
29～3	年末年始休暇	9	健康体操（サ高住しおん）
		10	こども食堂（ふれて）
2019.1.1	新年交礼会、新春芸芸会（施設サービス課）	12	ケア会議（施設サービス課）
	新年の集い（GH）		まーぶるひろば（ふれて）
2	健康体操（サ高住しおん）	13	健康体操（サ高住しおん）
4	御用始め・定例集会		広葉中認知症サポーター養成（みなみ）
	板かるた大会（ふれて）		子供将棋教室（ふれて）
5	音楽クラブ（施設サービス課）	14	4支援センター社福士、看護職会議（みなみ）
	健康体操（サ高住しおん）	16	雪かき交流祭り（ふれて）
6	里見5、6丁目総会		健康体操（サ高住しおん）
8	子ども冬フェス（ふれて）	17	歌のサークル（サ高住しおん）
9	健康体操（サ高住しおん）	18	三職種会議（みなみ）
	市民スタッフ会議・交流会（ともに）	19	デイ四恩園ワックスがけ
	かたる正職員会議、子供将棋教室（ふれて）		第1住区おしゃべりサロン（みなみ）
10	さとみ職員会議		まーぶるひろば（ふれて）
12	健康体操（サ高住しおん）白樺2丁目総会（ふれて）	20	敬愛会議、拠点合同施設長会議
13	緑陽2丁目総会（ともに）		かたる・ふれてワックスがけ
	こども食堂（ふれて）	21	定例支援センター会議（みなみ）
14	緑陽第1町内会総会		グループホーム誕生会、買物送迎（サ高住しおん）

5) 職員の状況

ア. 職員の配置状況

2019年3月31日現在

	介護老人福祉施設四恩園	デイサービス四恩園	デイホームさとみ	デイホームかたる	みなみ高齢者支援センター	居宅介護支援事業所四恩園	グループホーム四恩園	複合型サービス四恩園	ホームヘルプサービスステーション四恩園	訪問看護ステーション四恩園	サービス付き高齢者向け住宅しおん	北広島地域交流ホームふれて	
正規職員	19	8	0	6	8	9	7	7	4	3	2	0	73
臨時職員	30	19	11	10	0	0	18	17	30	1	5	2	143
合計	49	27	11	16	8	9	25	24	34	4	7	2	216

イ. 役付職員の状況

2019年3月31日現在

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	三瓶 徹	施設サービス課係長	田中 祐子
常務理事	中川 浩一	施設サービス課係長	飯田 真素枝
四恩園施設長	神部 健史	施設サービス課主任	清水 孝修
管理課長	向山 篤	給食サービス課係長	土池 康介
複合型サービス課長	平野 佐緒利	高齢者地域支援課係長	奥山 智直
訪問看護課長	町田 丸美	高齢者地域支援課係長	林 晃市
通所介護課課長	玉邑 亜矢	通所介護課係長(かたる)	吉田 匡貴
グループホーム課長	皆木 有子	グループホーム課主任	恩田 不美代
居宅介護支援課長	新沼 右文	施設サービス課主任	鈴木 優子
訪問介護課長	吉永 美香	複合型サービス課主任	佐藤 吉朗
会計課経理係長	前川 忍		
給食サービス課係長	長谷川 倫子		
管理課係長	大日向 伸也		
施設サービス課係長	長谷川 智彦		

ウ. 職員の異動状況

区 分	2018. 4. 1	2018年度 (4.2～3.31)	2018年度 (4.2～3.31)	2019. 4. 1	2019. 4. 1
	現 在 数	中途採用	退 職	新規採用	現 在 数
正規職員	75	0	3	6	78
臨時職員	149	23	28	0	144
計	224	23	31	6	222

エ. 国家資格等取得者

2019年3月31日現在

※(重複有り)

	サ ー ビ ス 課 設	サ ー ビ ス 課 設	サ ー ビ ス 課 設	サ ー ビ ス 課 設	サ ー ビ ス 課 設	サ ー ビ ス 課 設	サ ー ビ ス 課 設	サ ー ビ ス 課 設	サ ー ビ ス 課 設	サ ー ビ ス 課 設	サ ー ビ ス 課 設	サ ー ビ ス 課 設	サ ー ビ ス 課 設	サ ー ビ ス 課 設
社会福祉士	4	1	1	2	0	1	7	2	1	0	0	19		
精神保健福祉士	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3		
介護福祉士	18	7	6	4	27	8	5	0	5	9	2	91		
介護支援専門員	6	3	1	3	5	9	6	3	2	3	1	42		
保健師	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2		
看護師	1	2	1	2	1	0	1	3	4	0	0	15		
准看護師	1	4	0	2	0	0	0	0	4	0	0	11		
作業療法士	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2		
理学療法士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
管理栄養士	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
栄養士	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
調理師	3	2	1	1	0	0	0	0	0	1	2	11		
実務者研修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		
ヘルパー1・2級 初任者研修	11	10	5	5	29	3	0	0	1	11	3	78		

6) 職員研修状況

ア. 外部研修実施状況

2018年度

地区	月	日	開催地	研修会名称	参加者名
道外	10	10～11	東京都	第45回国際福祉機器展	向山篤 清水孝修
		25～26	三重県四日市市	全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会	林晃市
	5	9～11	札幌市	北海道介護支援専門員実務研修前期	吉田匡貴
		11	札幌市	福祉有償運送運転者講習・セダン等運転者講習	吉永美香 上小倉苑美
		23～25	札幌市	北海道介護支援専門員実務研修前期	松崎千恵 高橋希美
		26～28	札幌市	高齢者虐待対応現任者研修	奥山智直 林 真紀
	6	6. 25. 7/10	札幌市	北海道介護支援専門員実務研修他施設実習	松崎千絵
		14. 20. 21	札幌市	北海道介護支援専門員実務研修他施設実習	吉田匡貴
		15	札幌市	セミナー「5年間新卒者離職ゼロ」	向山篤 吉永美香
		17～18	札幌市	サービス提供責任者研究セミナー	吉永美香 トスナツス千春
		25	札幌市	平成30年度石狩振興局管内地域包括支援センター連絡協議会	中尾真紀
	7	4. 11. 18	恵庭市	北海道介護支援専門員実務研修他施設実習	高橋希美
		10～13	札幌市	北海道介護支援専門員実務研修後期	吉田匡貴
		24～27	札幌市	北海道介護支援専門員実務研修後期	松崎千恵 高橋希美
		25～26	札幌市	全道老人福祉研究大会	神部健史 向山篤 清水孝修 吉田匡貴
		27	札幌市	外国人介護人材受け入れ研修	三瓶徹 向山篤
	8	27	恵庭市	千歳保健所管内給食調理従事者研修	中川敦子
		28～31	札幌市	認知症介護実践リーダー研修（前期）講義・演習	吉田
	9	2	札幌市	これからの介護、福祉の仕事を考えるデザインスクール	上小倉苑美

		3～6	札幌市	認知症介護実践リーダー研修（後期）講義・演習	吉田誠		
		6	札幌市	安全運転管理者・副管理者講習	地震のため 延期		
		7	当別町	平成 30 年度北海道医療大学就職イベント	地震のため 中止		
		15	札幌市	第 3 回札幌地区感染対策 Q & A セミナー	吉永美香		
		17	札幌市	これからの介護、福祉の仕事を考えるデザインスクール	上小倉苑美		
		20～21	札幌市	認知症介護実践リーダー研修他施設実習	吉田誠		
		23	札幌市	これからの介護、福祉の仕事を考えるデザインスクール	上小倉苑美		
			25	江別市	石狩管内老人福祉施設、介護・相談系職員研修会	吉永美香 清水孝修 吉田匡貴	
			25	札幌市	平成 30 年第 1 回石狩振興局管内地域包括支援センター 連絡会議	中尾真紀	
			26	千歳市	平成 30 年介護保険施設等集団指導	町田丸美	
			27	札幌市	平成 30 年度介護保険施設等及び有料老人ホームに対す る集団指導	玉邑亜矢 吉永美香 田中祐子 清水孝修	
	10		5	札幌市	平成 30 年度北海道高齢者虐待防止研修会（施設編）	渡辺雄太 吉野和代	
			10	札幌市	危険物取扱者保安研修	神原英明	
			10～11	札幌市	認知症介護実践リーダー研修（後期）講義・演習延期刊	吉田誠	
			17～18	札幌市	北海道主任介護支援専門員更新研修（前期）	平野佐緒利 林晃市	
			20	札幌市	危険物取扱者保安研修	神原英明	
			21	札幌市	これからの介護、福祉の仕事を考えるデザインスクール	上小倉苑美	
			22～23	札幌市	認知症介護実践リーダー研修（後期）講義・演習延期分	吉田誠	
			27	札幌市	平成 30 年度初任者介護支援専門員 O J T 事業初日全体 研修	伊東賢志郎	
			29～31	札幌市	平成 30 年度全国老人福祉施設研究大会北海道大会	神部健史 向山篤 大日向伸也	
			11	2	江別市	難病患者等ホームヘルパー養成事業	石田泉 福田美穂
				11	札幌市	これからの介護、福祉の仕事を考えるデザインスクール	上小倉苑美
				12～14	札幌市	北海道主任介護支援専門員更新研修（後期）	平野佐緒利 林晃市
13	札幌市	平成 30 年度北海道介護予防従事者研修		毛利秀景			

				池田千佳 佐々木祐輔 横井内幸恵
	14	札幌市	認知症介護実践リーダー研修まとめ	吉田誠
	26	札幌市	平成 30 年第 1 回石狩振興局管内地域包括支援センター 連絡会議	林晃市 奥山智直 中尾真紀 高谷里奈
	29	札幌市	安全運転管理者、副管理者講習	向山篤 大日向伸也 奥山智直
	30	札幌市	認知症初期集中支援チームフォローアップ研修	林晃市
	30	札幌市	生活支援コーディネーター養成研修	中尾真紀
12	4	札幌市	安全運転管理者、副管理者講習	神原 英明 坂井 雄治
	10	札幌市	平成 30 年度北海道介護予防従事者研修	毛利秀景 池田千佳 佐々木祐輔 横井内幸恵
	12～14	札幌市	北海道介護支援専門員更新研修（後期）	寺沢康代
	15～16	札幌市	北海道主任介護支援専門員更新研修（後期）	平野佐緒利 林晃市
1	11～12	札幌市	車輛系建設機械運転技能研修	林大輔
	16	札幌市	I C T雇用促進セミナー	向山篤 清水孝修
	18	札幌市	平成 30 年度老人福祉施設施設長セミナー	神部健史 向山篤 清水孝修
	20	札幌市	年金とナイスライフセミナー	大日向伸也 小倉美佐保
	29	札幌市	平成 29 年度老人福祉施設長研究セミナー	神部 健史 向山 篤 大日向伸也
2	8	札幌市	電気安全講習会	林大輔
	14	札幌市	平成 30 年社会福祉法人経営実務セミナー	向山篤
	15	札幌市	平成 30 年度札幌市、石狩老施協合同研修	神部健史 清水孝修
	27	札幌市	平成 30 年度初任者介護支援専門員 O J T 事業最終日全 体研修	伊東賢志郎

	3	1	札幌市	平成 30 年北海道生活支援コーディネーター養成研修	林晃市 毛利秀景
		26	旭川市	自立支援介護実践セミナー	清水孝修 長谷川智彦
		9	札幌市	これからの介護、福祉の仕事を考えるデザインスクール	上小倉苑美
					延べ 104 名

イ. 法人合同研修高齢者施設研修

2018年度

担当	期 日	研 修 内 容	参加数
	4月4日(水)～6日(金)	新規採用職員研修	16名
	9月3日(月)～5日(水)	新規採用職員研修	13名
	5月28日(月)・6月12日(火)	法人全体研修 『基本理念と福祉サービスの姿勢』 ～身体拘束禁止と虐待防止について 講師 三瓶 徹 理事長	289名
	11月15日(木)・11月21日(水)	法人全体研修 『身体拘束の適正化に向けて』 講師 三瓶 徹 理事長	257名
	2月2日(土)	階層別研修 リーダーシップ研修 『リーダーに求められる組織作りとリーダーシップ』 講師 北海道総合福祉研究センター 五十嵐教行氏	44名
	7月21日(土)	専門別「相談援助職研修」 『地域包括ケア時代における相談援助職の役割とスキル獲得』 講師 (学)西野学園 越石 全 氏	32名
	6月8日(金) 7月10日(火) 7月30日(月)	専門別「カイゴのチカラ向上研修」① 『薬のはなし』 講師 イズミ薬局 高橋氏 訪問看護課長 町田 丸美	175名
	9月11日(火) 9月21日(金) 9月26日(水)	専門別「カイゴのチカラ向上研修」② 『心地よい介護技術と生活リハビリについて』 講師 通所介護課長 玉邑 亜矢	66名
	2019年 1月23日(水) 1月29日(木) 2月14日(木)	専門別「カイゴのチカラ向上研修」③ 『摂食障害を知ろう』 講師 訓練課主任 濱本さなえ	71名

計17回 延べ963名

ウ) 高齢者施設内部研修

担当	期 日	研 修 内 容	参加数
高齢者施設	6月27日(水)	『感染予防研修』 講師 訪問介護課長 吉永美香 給食サービス係長 土池康介	130名
	10月3日	『感染予防研修』 講師 訪問介護課長 吉永美香	100名
	7月3日(水) 7月17日(月)	アンガーマネジメント研修 講師 プラスM 長谷川久美子氏	169名

計4回 延べ399名

7) 実習等(研修生)受入状況

2018年度

所属団体名等	人数	期 間	実 習 箇 所	資 格
社会福祉法人北海長正会	3	2018年7月2日～7月7日	グループホーム	介護職員初任者研修
	6		介護老人福祉施設	介護職員初任者研修
	9		訪問介護	介護職員初任者研修
北海道社会福祉協議会	1	2018年12月5日	介護老人福祉施設	認知症介護実践者研修
	1	2018年12月6日	介護老人福祉施設	認知症介護実践者研修
星槎道都大学	1	2018年7月9日～7月13日	通所介護(四恩園)	介護等体験
	1	2018年8月14日～9月14日	地域包括支援センター	相談援助実習
札幌学院大学	1	2018年7月16日～7月20日	通所介護(かたる)	介護等体験
酪農学園大学	1	2018年10月8日～10月12日	通所介護(四恩園)	介護等体験
北星学園大学	1	2018年8月9日～9月13日	介護老人福祉施設	相談援助実習
	1	2018年8月9日～9月13日	地域包括支援センター	相談援助実習
北広島社会福祉協議会	2	2018年11月	通所介護・四恩園	市民後見人養成講座

8) 四恩園施設見学受入状況

2018年度

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
団体数	0	2	3	0	2	2	1	2	0	0	0	1	13
見学者数	0	11	20	0	18	7	20	24	0	0	0	18	118

※ (ともに、ふれて、含む)

2. 事業実施状況

(1) 特養部

1) 施設サービス利用者状況

ア. 在籍者人数調

2019年3月31日現在

項目	男	女	合計
人数	6	41	47

イ. 年齢別

2019年3月31日現在

年齢区分	男	女	計
50～59歳	0	0	0
60歳～64歳	0	0	0
65歳～69歳	0	2	2
70歳～74歳	0	2	2
75歳～79歳	0	3	3
80歳～84歳	2	6	8
85歳～89歳	3	5	8
90歳～94歳	1	9	10
95歳～99歳	0	12	12
100歳以上	0	1	1
計	6	41	47
平均年齢	86.5	86.4	86.45

※最高106歳

ウ. 障害現症別(身体障害者手帳保持者のみ)

2019年3月31日現在

障害名区分	男	女	計
脳血管障害(右麻痺)	0	2	2
脳血管障害(左麻痺)	0	0	0
脳血管障害(その他)	0	1	1
頸髄損傷	0	0	0
脳性麻痺	0	0	0
神経難病	0	0	0
知的障害	0	0	0
その他	1	1	2
計	1	4	5

エ. 障害等級別

2019年3月31日現在

区 分 等 級	男	女	計
1 級	1	3	4
2 級	0	0	0
3 級	0	0	0
4 級	0	0	0
5 級	0	0	0
6 級	0	0	0
計	1	3	4

オ. 利用経路

2018年度

居宅より	病院より	老人保健施設より	その他	計
12	4	2	2	20

カ. 退所理由

2018年度

居宅へ	病院へ	老人保健施設へ	その他(含看取り)	計
0	10	0	10	20

キ. 在所期間

2019年3月31日現在

区 分 年 数	男	女	計
1 年 未 満	3	14	17
2 年 未 満	2	7	9
3 年 未 満	1	4	5
4 年 未 満	0	6	6
5 年 未 満	0	0	0
5 年 以 上	0	9	9
10 年 以 上	0	1	1
計	6	41	47
平 均	1年9ヵ月	2年9ヵ月	2年3ヵ月

ク. 保険者別

2019年3月31日現在

実施機関名	男	女	計
北 広 島 市	6	40	46
赤 平 市	0	1	1
計	6	41	47

ケ. 診療別施設外受診状況表

2018年度

受診先 症 状	北 広 島 市	恵 庭 市	札幌市									長 沼 町	そ の 他	合 計
			清 田 区	豊 平 区	白 石 区	厚 別 区	中 央 区	東 区	南 区	北 区	西 区			
一 般 内 科	125		4		17	3		2						151
呼 吸 器 科														
循 環 器 科	22		1			1								24
消 化 器 科	132													132
外 科	7				1									8
整 形 外 科	49	1									1			51
脳 神 経 外 科	99	4				6	1				1			111
神 経 内 科														
精 神 科	3		15											18
泌 尿 器 科				15	9									24
婦 人 科	2						1							3
耳 鼻 科	2													2
眼 科	7													7
皮 膚 科	270	1												271
歯 科	39			3										42
そ の 他		3	1			2	1							7
計	757	9	21	18	27	12	3	2			2			851
上 記 中 の 定 期 受 診 者	348		19	15	18	6					1			407

※ 入退院含む

コ. 月別施設受診状況表(施設外受診)

2018年度

	入 所 者				ショート利用者		往 診(ショート)			計 (延人数)
	協力医 療機関 受診	他病院 受診	入 院	退 院	受 診	入 院	輪厚三愛 (看取り)	やまと 皮膚科	他	
4月	22	28	1	1	4	0		22(2)		74(6)
5月	17	27	4	3	6	0	1	22(4)		74(10)
6月	18	28	4	2	6	0	1	28(3)		81(9)
7月	12	33	4	2	2	0		25(3)		76(5)
8月	19	26	3	3	2	0		26		77(2)
9月	20	33	3	0	3	0	1	13		70(3)
10月	21	32	4	5	2	2		21		83(3)
11月	17	32	3	3	3	0		12		67(3)
12月	9	32	2	0	2	0		20		63(1)
1月	11	28	4	1	4	0		27(3)		71(9)
2月	15	19	6	2	6	0	1	17(2)		60(4)
3月	12	25	2	1	2	2		15(2)		55(8)
計	193	343	40	23	42	4	4			851(63)

※()数字は、受診・往診者の数中のショートステイ利用者数状況

		障害自立度					認知症自立度					
		自立	J	A	B	C	I	II	III	IV	M	なし
介護1	2			2				2				
介護2	3			2	1		1	2				
介護3	16		1	6	10			8	6	1	1	
介護4	23			1	21			9	8	5	1	
介護5	3				3			1	2			
合計	47		1	11	35		1	22	16	6	2	
%	100		2.1	23.4	74.5		2,1	46,8	34,0	12,8	4,3	
合計	47	47名					47名					

<参考>

障害自立度	J	何らかの障害を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する	認知症自立度	I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している
	A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしでは外出しない		II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少みられても誰かが注意していれば自立できる
	B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ		III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが時々みられ、介護を必要とする
	C	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えに介助を要す		IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁にみられ、常に介護を必要とする
				M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患がみられ、専門医療を必要とする

2) 施設サービス行事等実施状況

ア. 行事实績一覧

特別養護老人ホーム四恩園(ショートステイ含む)

2018年度

月	日	曜日	行事名	参加人数				計
				利用者	職員	ボランティア	家族	
5	8	火	良寿司外出	2	2	0	0	4
	19	土	春のお花見会	52	16	5	29	102
6	12	火	あおぞら保育園交流会	54	2	0	0	56
	29	金	札幌ドーム野球観戦	2	2	0	0	4
7	1	日	第3住区ふくしま祭り	1	1	0	0	2
	11	火	すずらん保育園交流会	52	2	0	1	55
8	9	木	夏祭り	46	10	5	14	75
9	12	水	すずらん保育園交流会	21	4	0	0	25
	15	土	敬老会	51	18	8	27	104
11	22	木	広島幼稚園防火訪問	53	4	0	0	57
12	6	木	もちつき大会	52	16	8	5	81
	21	木	クリスマス忘年会	51	18	0	1	70
1	1	月	新年交礼会	51	9	0	3	63
			新春演芸大会	51	4	1	0	56
計				539	108	27	80	754

※誕生日のお祝いは個別に企画

3) ボランティア受入状況

ア) 定期ボランティア

2018年度

月 日	内 容	団 体 名
月1回第4曜日	華道クラブ	藤原 晴美氏、三浦 田鶴子氏、永島 博子氏
月1回	書道クラブ	休止中
月1回不定期日曜日	音楽クラブ	鈴木誠次氏 天内美和氏 合田みどり氏
毎月1回	車椅子清掃、加湿器清掃 花壇整備	家族ボランティア他

イ) 月別ボランティア内容

2018年度

月	内 容	人 数	団 体 名 等
4	華道クラブ	2	社会福祉協議会
	音楽クラブ	3	個人ボランティア
5	華道クラブ	2	社会福祉協議会
	音楽クラブ	3	個人ボランティア
	春のお花見会	5	ふくろう
6	華道クラブ	2	社会福祉協議会
	音楽クラブ	3	個人ボランティア
7	華道クラブ	2	社会福祉協議会
	第三住区福祉まつり	0	
8	華道クラブ	2	社会福祉協議会
	夏祭り	5	ふくろう
9	敬老祝賀会	4	ふくろう
	華道クラブ	2	社会福祉協議会
	音楽クラブ	3	個人ボランティア
10	華道クラブ	2	社会福祉協議会
	音楽クラブ	1	個人ボランティア
11	車椅子清掃	6	家族ボランティア
12	華道クラブ	2	社会福祉協議会
	もちつき	3	ふくろう
		5	個人ボランティア
	音楽クラブ	3	個人ボランティア
	すずらん保育園訪問	2	個人ボランティア
	クリスマス忘年会	2	個人ボランティア
1	新年交礼会	1	家族ボランティア
3	華道クラブ	2	社会福祉協議会
	加湿器清掃	6	個人ボランティア
計		72	

4) 四恩園面会者数

2018年度

項目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	人 数	193	169	167	152	199	197	175	194	202	149	128	
1日平均(人)	6.4	5.5	5.6	4.9	6.4	6.6	5.6	6.5	6.5	4.8	4.6	5.1	5.7人

5) 家族ボランティア報告

2018年度

月	日	事業	家族等参加者数
4	26	車椅子清掃	8名
5	24	花壇整備	9名
6	28	花壇整備	8名
7	26	花壇整備	7名
8	30	花壇整備	10名
12	20	加湿器清掃	7名
1	24	加湿器清掃	8名
2	28	加湿器清掃	8名
3	28	加湿器清掃	7名

3. 要介護度別サービス利用実績状況

1) 特養部

2018年度

月	人数	要 介 護 度					計	入院	外泊	一日平均 利用者数
		1	2	3	4	5				
4月	実人数	3	1	17	20	6	47	83	0	85.8
	延利用者数	90	30	478	569	120	1,287			
5月	実人数	3	1	14	19	8	45	124	0	81.5
	延利用者数	93	31	422	552	165	1,263			
6月	実人数	3	1	15	19	7	45	61	0	85.5
	延利用者数	90	30	441	567	154	1,282			
7月	実人数	3	1	17	20	6	47	109	0	87.0
	延利用者数	93	31	493	566	165	1,348			
8月	実人数	2	2	16	23	4	47	120	0	79.0
	延利用者数	62	62	460	530	110	1,224			
9月	実人数	2	2	17	24	3	48	105	0	85.5
	延利用者数	60	60	410	662	90	1,282			
10月	実人数	2	2	15	24	3	46	76	0	86.3
	延利用者数	62	62	419	702	93	1,338			
11月	実人数	2	3	14	23	4	46	36	0	87.8
	延利用者数	60	90	309	678	120	1,257			
12月	実人数	2	3	15	23	4	47	48	2	90.1
	延利用者数	62	92	431	698	124	1,407			
1月	実人数	2	3	15	23	4	47	0	0	89
	延利用者数	62	93	405	704	116	1,380			
2月	実人数	2	3	17	23	4	49	0	0	78.9
	延利用者数	56	84	382	532	51	1,105			
3月	実人数	2	3	17	23	3	48	147	0	83.4
	延利用者数	62	93	496	611	31	1,293			
計	実人数	28	25	189	264	56	562	909	2	84.9
	延利用者数	852	758	5,146	7,371	1,339	15,466			

2)短期入所生活介護利用状況

2018年度

月	人数	要支援1	要支援2	要介護度					計	一日平均利用者数(人)
				1	2	3	4	5		
4月	実人数	0	0	2	12	10	4	3	31	10.9
	延利用者数	0	0	11	114	109	72	32	338	
5月	実人数	0	0	6	10	9	4	3	32	9.8
	延利用者数	0	0	38	87	83	74	32	314	
6月	実人数	0	0	5	12	7	3	5	32	9.3
	延利用者数	0	0	24	96	80	44	52	296	
7月	実人数	1	0	6	9	8	2	5	31	7.9
	延利用者数	8	0	38	68	52	33	46	245	
8月	実人数	1	0	5	8	6	4	3	27	8.0
	延利用者数	2	0	14	84	49	34	33	216	
9月	実人数	1	0	4	7	8	2	4	26	8.8
	延利用者数	2	0	14	97	54	22	39	228	
10月	実人数	0	0	2	9	9	2	4	26	9.0
	延利用者数	0	0	23	96	52	28	35	234	
11月	実人数	0	0	5	9	7	2	3	26	9.4
	延利用者数	0	0	12	109	49	37	38	245	
12月	実人数	0	0	2	8	6	2	4	31	6.3
	延利用者数	0	0	13	109	46	9	19	196	
1月	実人数	0	0	2	8	8	1	3	22	9.9
	延利用者数	0	0	6	140	52	8	12	218	
2月	実人数	1	0	3	8	11	1	2	26	8.6
	延利用者数	4	0	8	106	89	8	8	223	
3月	実人数	0	0	4	8	11	1	2	26	8.0
	延利用者数	0	0	25	125	76	8	14	248	
計	実人数	4	0	46	108	100	28	9	295	8.7
	延利用者数	16	0	226	1,231	791	377	360	3,001	

3) デイサービスセンター利用状況

2018年度

月	人数	要支援1	要支援2	要 介 護 度					計	一日平均 利用者数 (人)
				1	2	3	4	5		
4月	実人数	4	9	32	20	10	4	7	86	28.4
	延利用者数	16	65	236	191	115	20	68	711	
5月	実人数	3	9	33	18	11	4	7	85	29.5
	延利用者数	13	65	264	199	131	25	69	766	
6月	実人数	4	9	33	18	12	5	7	88	28.5
	延利用者数	17	59	260	195	115	29	65	740	
7月	実人数	5	9	31	17	12	6	6	86	27.7
	延利用者数	20	64	252	150	140	36	59	721	
8月	実人数	4	10	28	18	11	6	7	84	26.3
	延利用者数	17	67	226	180	115	37	68	710	
9月	実人数	5	9	25	15	16	5	7	82	27.2
	延利用者数	22	47	194	154	173	28	61	679	
10月	実人数	5	10	28	16	14	5	7	85	28.3
	延利用者数	20	69	233	166	179	33	64	764	
11月	実人数	4	10	28	17	14	5	7	85	29.1
	延利用者数	16	66	233	173	171	33	65	757	
12月	実人数	6	11	29	18	14	5	7	90	29.8
	延利用者数	18	67	220	188	177	34	71	775	
1月	実人数	5	11	29	16	13	5	7	86	27.7
	延利用者数	20	72	214	181	169	36	56	748	
2月	実人数	5	12	30	16	13	5	6	87	29.5
	延利用者数	18	71	221	170	153	34	40	707	
3月	実人数	5	11	29	16	11	5	7	84	23.9
	延利用者数	18	73	227	185	150	35	53	741	
計	実人数	55	120	355	205	151	60	82	1,028	28.0
	延利用者数	215	785	2,780	2,132	1,788	380	739	8,819	

4) デイホームかたる利用状況

2018年度

月	人数	要支援1	要支援2	要 介 護 度					計	一日平均 利用者数 (人)
				1	2	3	4	5		
4月	実人数	19	11	36	11	10	4	1	92	23.4
	延利用者数	76	79	248	92	75	34	4	608	
5月	実人数	19	12	37	11	10	4	1	94	24.3
	延利用者数	86	83	265	84	102	31	4	655	
6月	実人数	18	12	37	12	10	4	1	94	23.3
	延利用者数	75	72	232	99	69	32	3	582	
7月	実人数	20	13	35	10	10	3	1	92	22.8
	延利用者数	79	88	243	96	84	21	5	616	
8月	実人数	20	14	33	11	10	3	1	92	24
	延利用者数	89	89	242	99	94	30	4	647	
9月	実人数	22	10	39	11	9	3	0	94	22.5
	延利用者数	80	68	234	83	71	26	0	562	
10月	実人数	21	11	39	9	8	3	0	91	23.5
	延利用者数	90	81	287	79	68	30	0	635	
11月	実人数	20	13	43	8	9	4	0	97	24.6
	延利用者数	80	97	283	65	73	41	0	639	
12月	実人数	21	15	41	9	9	4	0	99	24.6
	延利用者数	84	101	284	64	68	38	0	639	
1月	実人数	22	14	38	9	9	4	0	96	23.5
	延利用者数	90	101	273	69	64	38	0	635	
2月	実人数	23	13	38	9	8	4	0	95	24.1
	延利用者数	79	88	252	71	53	35	0	578	
3月	実人数	20	14	41	10	7	3	0	95	24.8
	延利用者数	78	101	299	79	53	36	0	646	
計	実人数	245	152	457	120	109	43	5	1,131	23.8
	延利用者数	986	1,048	3,142	980	874	392	20	7,442	

5) デイホームさとみ利用状況

2018年度

月	人数	要 介 護 度					計	一日平均 利用者数(人)
		1	2	3	4	5		
4月	実人数	5	2	5	2	1	15	4.4
	延利用者数	30	23	44	11	1	109	
5月	実人数	5	2	3	2	1	13	4.5
	延利用者数	46	24	39	12	1	122	
6月	実人数	6	2	4	2	1	15	4.9
	延利用者数	48	22	44	13	1	128	
7月	実人数	6	3	3	2	1	15	4.8
	延利用者数	43	31	38	13	1	126	
8月	実人数	5	2	4	2	1	14	4.2
	延利用者数	31	16	44	13	1	105	
9月	実人数	5	3	5	2	1	16	4.8
	延利用者数	40	22	44	12	1	119	
10月	実人数	5	1	4	2	1	13	4.4
	延利用者数	40	22	44	12	1	119	
11月	実人数	6	1	4	2	1	14	4.2
	延利用者数	41	10	43	13	1	108	
12月	実人数	5	1	3	2	0	11	3.9
	延利用者数	37	10	40	11	0	98	
1月	実人数	5	1	3	2	1	12	4.1
	延利用者数	38	11	37	11	1	98	
2月	実人数	5	1	3	2	1	12	3.6
	延利用者数	37	8	30	10	1	86	
3月	実人数	5	0	3	1	1	10	3.1
	延利用者数	44	0	26	9	1	80	
計	実人数	63	19	44	3	11	140	4.2
	延利用者数	475	199	473	140	11	1,298	

6)ホームヘルプサービスステーション利用状況(介護保険制度利用)

2018年度

月	人数	要支援1	要支援2	要 介 護 度					計	一日平均 利用者数 (件)
				1	2	3	4	5		
4月	実人数	29	14	51	15	6	1	3	119	22.7
	延訪問回数	129	82	296	86	34	25	29	681	
5月	実人数	31	14	52	14	4	2	3	120	23.7
	延訪問回数	155	83	328	92	22	25	30	735	
6月	実人数	33	14	52	14	3	2	4	122	26.2
	延訪問回数	152	120	324	92	17	25	57	787	
7月	実人数	28	13	49	14	3	1	3	111	21.3
	延訪問回数	127	72	306	82	15	2	56	660	
8月	実人数	33	12	48	14	4	1	3	115	24.8
	延訪問回数	160	73	317	96	60	1	61	768	
9月	実人数	30	12	49	14	6	1	4	116	22.0
	延訪問回数	123	66	281	81	61	4	45	661	
10月	実人数	29	13	49	16	7	2	4	120	24.6
	延訪問回数	138	78	337	93	81	4	31	762	
11月	実人数	28	14	49	15	7	2	3	118	25.0
	延訪問回数	132	83	338	83	82	5	27	750	
12月	実人数	30	15	49	15	6	2	3	120	23.7
	延訪問回数	139	82	329	81	72	3	29	735	
1月	実人数	30	17	48	13	6	1	3	118	22.7
	延訪問回数	133	89	315	78	63	1	26	705	
2月	実人数	30	17	48	15	6	0	3	119	24.5
	延訪問回数	124	83	292	90	72	0	24	685	
3月	実人数	30	15	50	17	5	1	3	121	25.1
	延訪問回数	137	82	353	92	76	1	36	777	
計	実人数	361	170	594	176	63	16	39	1,419	23.9
	延訪問回数	1,649	993	3,816	1,046	655	96	451	8,706	

7) ホームヘルプサービスステーション利用状況(自立支援法)

2018年度

月	人数	居 宅 介 護				重 度 訪問介護	一日平均 利用数 (人)	
		身体介護	通院介護 (身体伴う)	家事援助	通院介護 (身体な			
4月	実人数	29	4	9	0	29	0	13.2
	延利用数	383	6	114	0	395	0	
5月	実人数	26	3	10	0	27	0	13.3
	延利用数	383	6	137	0	411	0	
6月	実人数	30	3	10	0	30	0	13.2
	延利用数	378	9	115	0	395	0	
7月	実人数	29	2	11	0	29	0	12.9
	延利用数	384	5	129	0	400	0	
8月	実人数	29	4	9	0	30	0	12.8
	延利用数	379	6	120	0	396	0	
9月	実人数	29	3	10	0	29	0	12.4
	延利用数	377	3	115	0	372	0	
10月	実人数	32	3	11	0	32	0	13.9
	延利用数	403	6	136	0	432	0	
11月	実人数	30	3	11	0	30	0	14.9
	延利用数	430	5	130	0	447	0	
12月	実人数	27	3	8	0	29	0	13.5
	延利用数	380	6	96	0	417	0	
1月	実人数	33	3	11	0	33	0	14.3
	延利用数	424	8	127	0	442	0	
2月	実人数	31	3	12	0	31	0	15.7
	延利用数	424	3	130	0	439	0	
3月	実人数	33	3	12	0	33	0	15.7
	延利用数	471	4	138	0	486	0	
計	実人数	358	37	124	0	362	0	15.9
	延利用数	4,957	67	1,487	0	5,032	0	

8)居宅介護支援事業所利用状況

2018年度

月	要 介 護 度					計
	1	2	3	4	5	
4月	150	62	28	21	13	274
5月	150	62	28	21	12	273
6月	155	64	27	21	13	280
7月	147	66	29	17	15	274
8月	142	66	29	19	14	270
9月	144	69	33	18	13	277
10月	154	68	32	17	12	283
11月	144	63	29	16	12	264
12月	143	65	26	16	11	261
1月	140	67	26	15	12	260
2月	141	65	29	15	14	264
3月	143	66	30	13	13	265
計	1,753	783	346	209	154	3,245
割合	54.0(57.4)	24.1(19.3)	10.7(10.7)	6.4(7.7)	4.7(4.7)	100

()内2017年度

9) 訪問看護ステーション利用状況

2018年度

月	人数	要支援1	要支援2	要 介 護 度					計	医療	計	平均 利用数 (件)
				1	2	3	4	5				
4月	実人数	2	3	13	10	3	4	2	37	14	51	10.1
	延利用回数	2	15	60	49	16	21	12	175	60	235	
5月	実人数	2	2	14	9	2	4	2	35	12	47	10.4
	延利用回数	3	10	67	43	15	19	13	170	59	229	
6月	実人数	2	2	14	10	3	5	2	38	15	53	10.8
	延利用回数	3	10	55	53	15	19	13	168	80	248	
7月	実人数	3	3	14	9	3	4	2	38	14	52	10.6
	延利用回数	8	14	56	52	13	11	14	168	65	233	
8月	実人数	3	3	14	8	3	4	2	37	13	11	9.1
	延利用回数	6	13	62	46	13	11	10	161	66	223	
9月	実人数	3	3	13	8	3	3	2	35	14	9	10.4
	延利用回数	7	11	54	38	14	9	10	143	64	214	
10月	実人数	3	4	12	7	4	3	2	35	10	45	10.2
	延利用回数	9	20	56	39	19	12	14	169	38	207	
11月	実人数	5	3	13	7	3	4	2	37	12	49	9.7
	延利用回数	13	14	55	40	15	14	12	163	51	214	
12月	実人数	5	3	13	9	1	4	1	36	10	46	9.7
	延利用回数	13	13	59	43	10	13	4	155	38	193	
1月	実人数	5	2	12	7	1	4	1	32	9	41	7.7
	延利用回数	10	6	55	27	9	13	4	124	37	161	
2月	実人数	3	2	12	8	2	4	1	32	12	44	10.5
	延利用回数	10	6	51	40	15	14	4	140	60	200	
3月	実人数	5	2	12	8	2	3	1	33	11	44	10.9
	延利用回数	14	7	59	43	17	14	3	157	61	218	
計	実人数	41	32	156	100	30	46	20	425	146	571	10.0
	延利用回数	98	139	689	513	171	170	113	1,893	679	2,572	

10)複合型サービス利用状況

2018年度

月	人数	要 介 護 度					計	一日平均 利用者数 (人)
		1	2	3	4	5		
4月	実人数	4	3	4	5	2	18	13.1
	延利用者数	68	75	89	124	37	393	
5月	実人数	3	3	5	6	3	20	13.9
	延利用者数	56	49	96	165	64	430	
6月	実人数	4	3	4	6	3	20	13.9
	延利用者数	66	56	84	150	62	418	
7月	実人数	4	4	5	5	4	22	16.7
	延利用者数	84	110	115	126	83	518	
8月	実人数	4	4	5	5	4	22	17.1
	延利用者数	81	108	117	142	82	530	
9月	実人数	4	3	5	4	5	21	14.9
	延利用者数	72	78	117	70	109	446	
10月	実人数	4	3	5	3	6	21	16.6
	延利用者数	91	79	128	69	147	514	
11月	実人数	4	3	5	3	6	21	16.1
	延利用者数	68	77	122	81	135	483	
12月	実人数	4	3	6	3	5	21	14.2
	延利用者数	60	79	110	76	114	439	
1月	実人数	4	3	6	3	5	21	15.7
	延利用者数	79	78	148	62	119	486	
2月	実人数	4	3	6	2	5	20	15
	延利用者数	61	72	138	34	115	420	
3月	実人数	3	5	6	1	5	20	15.5
	延利用者数	70	116	145	20	128	479	
計	実人数	46	40	62	46	53	247	14.9
	延利用者数	856	977	1,409	1,119	1,195	5,556	

11)グループホーム利用状況

2018年度

月	人数	要 介 護 度					計	入院	ひと月平均 利用者(%)
		1	2	3	4	5			
4月	実人数	1	5	7	3	2	18	0	100.0
	延利用者数	30	150	210	90	60	540	0	
5月	実人数	1	5	7	3	2	18	0	100.0
	延利用者数	31	155	217	93	62	558	0	
6月	実人数	1	5	8	3	2	19	0	100.0
	延利用者数	30	150	240	90	60	570	0	
7月	実人数	1	6	8	3	1	19	0	100.0
	延利用者数	31	161	248	93	16	549	0	
8月	実人数	1	5	9	3	0	18	0	100.0
	延利用者数	31	155	279	93	0	558	0	
9月	実人数	1	5	9	3	0	18	0	100.0
	延利用者数	30	150	270	90	0	540	0	
10月	実人数	0	6	7	4	1	18	0	100.0
	延利用者数	0	186	217	124	31	558	0	
11月	実人数	0	5	8	4	1	18	2	96.9
	延利用者数	0	150	229	114	30	523	17	
12月	実人数	0	5	8	4	1	18	0	100.0
	延利用者数	0	155	248	124	31	558	0	
1月	実人数	0	5	8	4	1	18	0	100.0
	延利用者数	0	155	248	124	31	558	0	
2月	実人数	0	5	7	4	2	18	0	100.0
	延利用者数	0	140	196	112	56	504	0	
3月	実人数	1	5	7	4	2	19	1	96.4
	延利用者数	3	155	217	124	39	538	19	
計	実人数	7	62	93	42	15	219	3	99.4
	延利用者数	186	1,862	2,819	1,271	416	6,554	34	

12) サービス付き高齢者向け住宅利用状況

2018年度

月	人数	自立	要支援1	要支援2	要 介 護 度					計	入院	一日平均 利用者数 (人)
					1	2	3	4	5			
4月	実人数	1	3	5	13	10	2	0	0	34	0	100.0
5月	実人数	1	3	7	10	7	4	0	0	32	0	93.5
6月	実人数	1	4	9	9	7	4	0	0	33	1	97.1
7月	実人数	1	3	9	7	8	6	0	0	34	1	97.1
8月	実人数	1	3	9	8	8	5	0	0	34	1	97.1
9月	実人数	1	3	9	8	8	5	0	0	34	1	97.1
10月	実人数	1	3	9	8	8	5	0	0	34	1	97.1
11月	実人数	1	3	9	8	8	5	0	0	34	2	94.0
12月	実人数	1	3	9	8	8	5	0	0	34	4	88.2
1月	実人数	1	3	9	8	8	5	0	0	34	1	97.1
2月	実人数	1	3	9	8	8	5	0	0	34	2	94.0
3月	実人数	1	3	9	8	8	5	0	0	34	2	91.0
計	実人数	2	37	102	103	96	56	0	0	398	15	95.3

13)①2018年度 北広島市みなみ高齢者支援センター 相談状況・内訳

種別	相談状況														相談者内訳																											
	相談件数		利用方法別相談状況(件)						年齢区分			性別		要介護認定状況																												
	件数	実人数	新規人数	訪問	来所	電話	事業	文書	その他	時間外対応	第1号被保険者		その他	男性	女性	不明	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	非該当	その他	本人	家族	知人	民生委員	医療機関	介護保険サービス			福祉サービス	保健・医療サービス	介護保険サービス事業者		行政	高齢者支援センター	福祉機関	社会福祉協議会	その他
											前期高齢者	後期高齢者																			居宅介護支援事業所	介護用品機器業者										
4	400	195	17	163	35	194	0	0	8	1	67	329	4	0	123	277	0	150	90	35	5	0	1	0	3	116	199	72	0	0	17	32	3	7	17	11	1	4	4	33		
5	435	222	20	139	35	243	0	11	7	5	76	359	0	0	147	288	0	178	70	30	13	1	2	0	3	138	180	84	6	6	23	42	10	4	34	10	0	2	0	34		
6	540	245	27	163	47	304	4	8	14	2	90	449	1	0	204	336	0	219	107	34	13	1	10	5	1	150	260	102	4	4	23	48	10	3	43	19	1	0	0	23		
7	549	272	28	163	38	267	47	14	20	55	82	466	1	0	205	344	0	181	97	36	3	1	1	0	0	230	281	107	2	4	21	45	6	8	37	19	2	3	2	12		
8	588	307	24	161	30	289	92	2	14	81	109	477	2	0	201	387	0	193	98	44	8	1	4	0	4	236	340	88	4	7	26	30	9	10	36	17	2	5	0	14		
9	513	226	31	180	43	254	15	10	11	25	76	437	0	0	163	350	0	198	96	17	5	5	1	0	0	191	282	104	3	8	15	31	6	6	27	10	0	4	0	17		
10	563	252	32	224	44	264	2	9	20	3	86	473	4	0	183	380	0	196	82	41	0	1	2	1	2	238	305	92	0	10	32	52	4	11	29	16	0	3	2	7		
11	485	237	28	172	35	244	0	9	25	8	85	394	6	0	167	318	0	205	82	34	3	1	2	5	0	153	267	86	0	5	21	42	2	8	28	21	1	2	0	2		
12	451	230	14	162	26	242	0	12	9	3	70	377	4	0	150	301	0	172	92	27	3	3	4	4	1	145	232	74	4	4	12	33	4	9	49	24	0	1	0	5		
1	489	228	22	170	27	271	0	8	13	9	66	423	0	0	183	306	0	194	89	34	1	4	13	2	0	152	236	110	1	10	33	33	5	3	39	13	2	4	0	0		
2	474	255	24	156	24	251	14	11	18	7	53	420	1	0	165	309	0	201	53	15	1	3	7	6	0	188	260	73	3	5	24	31	2	6	51	10	1	1	0	7		
3	520	263	26	187	45	268	1	8	11	7	54	465	1	0	145	375	0	218	95	22	4	1	5	6	1	168	289	90	5	3	20	32	2	2	45	20	1	0	0	11		
計	6007	2932	293	2040	429	3091	175	102	170	206	914	5069	24	0	2036	3971	0	2305	1051	369	59	22	52	29	15	2105	3131	1082	32	66	267	451	63	77	435	190	11	29	8	165		

13) ②2018年度北広島市みなみ高齢者支援センター 相談実施報告②

種別	相談内容内訳																																																						
	介護保険(総合相談)				介護保険(予防)				ケアマネジャー支援				介護予防事業		保険福祉サービス				住まい			家族支援			介護関係				権利擁護				その他																						
	ケアマネジャー	在宅サービス	地域密着サービス	住宅改修・福祉用具	特定施設	施設入所	苦情	その他	新規アセスメント	更新アセスメント	担当者会議	モニタリング	評価	その他	相談	同伴訪問	担当者会議	情報提供	その他	二次予防事業	一次予防事業	公的福祉サービス	民間サービス	保健サービス	障がい者サービス	苦情	その他	サードサービス付高齢者向け住宅	サードサービス付高齢者向け住宅以外	公営住宅	住み替え	その他	介護方法	介護・生活相談	その他	療養相談	入院	退院	通院	寝たきり予防	認知症	精神疾患	その他	成年後見	日常生活自立支援事業	悪徳商法	虐待	その他	生計	年金・保険	人間関係	楽しみ・生きがい	ボランティア	その他	
4	31	11	57	0	41	1	5	0	21	5	2	17	81	5	36	13	0	1	0	0	0	2	0	0	3	1	2	0	1	0	4	1	1	4	0	5	16	9	1	13	10	9	6	0	0	1	0	2	4	0	0	0	16		
5	37	6	54	1	28	0	1	2	29	11	3	14	91	3	39	26	2	0	3	0	0	5	0	0	3	0	0	1	1	1	2	4	5	5	2	11	28	9	10	1	23	19	16	0	0	0	9	4	0	0	1	8	14		
6	28	21	85	1	51	3	9	5	30	11	1	29	92	1	60	29	2	5	0	1	0	8	1	1	1	0	1	3	5	0	0	2	10	4	1	18	28	23	14	0	20	9	17	1	0	2	17	0	2	2	19	1	7	13	
7	35	8	72	0	45	1	10	0	19	7	0	18	103	2	54	23	1	2	0	1	0	8	1	1	0	0	1	0	1	0	5	1	5	2	3	7	29	8	9	2	38	23	21	1	0	1	11	0	0	1	16	0	2	10	
8	22	11	73	0	48	0	16	0	27	4	0	13	128	1	34	25	3	4	6	1	90	2	1	0	0	0	1	1	1	1	7	1	6	1	2	12	28	20	13	2	28	20	24	3	0	0	5	0	11	3	11	0	2	14	
9	47	17	42	0	44	0	10	0	29	11	1	12	104	3	49	5	1	3	1	0	12	0	0	2	1	0	0	1	1	1	1	0	0	8	18	11	8	1	14	17	26	0	0	0	17	4	3	6	0	1	32				
10	69	5	80	0	70	0	9	2	23	10	0	19	114	3	57	19	2	4	2	1	0	17	0	2	0	0	3	0	0	0	6	1	0	10	37	24	6	5	16	14	16	0	0	1	3	3	0	5	1	3	21				
11	39	13	83	4	67	1	8	0	19	9	1	29	111	4	58	21	4	6	0	2	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	2	0	6	18	19	7	0	33	23	19	1	0	4	0	0	1	2	4	14						
12	34	11	51	1	42	4	7	8	11	7	1	25	126	3	16	38	0	1	0	0	0	4	0	0	1	0	2	0	0	1	1	3	0	9	32	16	9	1	29	14	18	0	0	1	4	0	1	0	3	1	17				
1	52	18	83	0	70	1	10	1	7	6	1	15	130	5	14	30	1	5	0	6	0	4	6	0	0	0	2	0	0	5	2	0	1	12	48	11	13	1	28	7	38	8	0	9	4	3	2	1	8	3	0	11			
2	78	13	81	0	27	1	15	7	10	4	8	22	113	2	15	21	1	1	4	10	0	8	2	1	1	0	2	1	0	1	2	9	35	14	9	2	29	9	31	1	1	2	1	1	0	0	17	0	0	31					
3	65	21	88	0	37	1	19	1	16	5	1	31	148	9	18	24	4	5	0	4	0	2	3	0	0	1	0	7	1	0	7	1	8	3	1	13	29	6	5	1	25	20	12	0	6	8	0	1	0	18	1	0	23		
計	537	155	946	7	570	13	119	26	241	90	19	244	1341	41	450	274	21	37	16	28	146	0	61	16	6	10	4	4	22	12	2	41	16	38	28	13	120	346	177	112	17	296	185	247	21	1	21	65	28	26	14	105	10	28	216

14)①2018年度 ふれてイベント等報告

年	月	日	イベント種類	来場数	イベント内容		
4		4	こども食堂	30	地域食堂「ふれてこども食堂」		
		4	イベント	30	ドラムコンサート		
		4	ふれてミニ講座	8	子ども将棋教室		
		8	こども食堂	30	地域食堂「ふれてこども食堂」		
		8	地域のお茶の間	80	『テナーサクセス』		
		9	レクレッシュ	14	レクレッシュ『スカットボール』		
		10	まーぶるひろば	4	子育て支援センターあいの出張保育と連携		
		18	ふれてミニ講座	15	『カーネーションづくり』		
		19	ランチ会	20	ランチ会『むうちゃん焼き鳥』		
		20	プレママカフェ	0	妊娠中の方を中心とした交流会		
		20	心結の会	20	心結カフェ『介護について語り合う会』		
		24	ランチ会	15	どん丸『海鮮丼』		
		25	ふれてミニ講座	6	ライフ&パワーアセスメント		
		26	ふれてミニ講座	30	『世界遺産』		
		毎週	ふれてミニ講座	103	いきいき百歳体操(毎週、月・木)		
		毎週	ふれてミニ講座	188	ふれてコンディショントレーニング(毎週、月～金)		
		5		8	まーぶるひろば	2	子育て支援センターあいの出張保育と連携
				9	ふれてミニ講座	3	子ども将棋教室
				12	ワークショップ	33	ワークショップ
				13	こども食堂	30	地域食堂「ふれてこども食堂」
				13	地域のお茶の間	80	『エルフィンズ』
				15	イベント	30	歌声喫茶
				16	レクレッシュ	2	レクレッシュ『ラダーゲッター』
				16	ワークショップ	24	ベンチ設置
				17	ランチ会	20	ランチ会『むうちゃん焼き鳥』
				18	プレママカフェ	4	妊娠中の方を中心とした交流会
18	心結の会			18	心結カフェ『介護について語り合う会』		
19	イベント			20	トリムコースの花と虫を楽しもう		
28	ふれてミニ講座			5	ライフ&パワーアセスメント		
30	ふれてミニ講座			12	『カード入れづくり』		
31	ふれてミニ講座			20	『世界遺産』		
毎週	ふれてミニ講座			97	いきいき百歳体操(毎週、月・木)		
毎週	ふれてミニ講座			176	ふれてコンディショントレーニング(毎週、月～金)		
6				8	レクレッシュ	7	レクレッシュ『ラダーゲッター』
				10	こども食堂	20	地域食堂「ふれてこども食堂」
				10	地域のお茶の間	60	『サクセス&ピアノ』
				12	まーぶるひろば	16	子育て支援センターあいの出張保育と連携
				13	ふれてミニ講座	4	子ども将棋教室
				14	ランチ会	14	ランチ会『ぐん平弁当』
				15	プレママカフェ	10	妊娠中の方を中心とした交流会
				15	心結の会	18	心結カフェ『介護について語り合う会』
				21	ふれてミニ講座	25	『高血圧について』
		21	ランチ会	25	ランチ会『むうちゃん焼き鳥』		
		29	ふれてミニ講座	10	ライフ&パワーアセスメント		
		29	ふれてミニ講座	25	『世界遺産』		
		毎週	ふれてミニ講座	98	いきいき百歳体操(毎週、月・木)		
		毎週	ふれてミニ講座	207	ふれてコンディショントレーニング(毎週、月～金)		
		7		8	こども食堂	30	地域食堂「ふれてこども食堂」
				8	地域のお茶の間	80	『カラオケ』
				10	まーぶるひろば	8	子育て支援センターあいの出張保育と連携
				11	ふれてミニ講座	5	子ども将棋教室
				12	レクレッシュ	6	レクレッシュ『ラダーゲッター』
				13	ふれてミニ講座	10	『味噌講座』
				13	イベント	70	吉川よしひろさんチェロコンサート
				19	ランチ会	25	ランチ会『むうちゃん焼き鳥』
				20	プレママカフェ	10	妊娠中の方を中心とした交流会
				20	ランチ会	20	ランチ会『ほっともつと弁当』
				20	心結の会	14	心結カフェ『介護について語り合う会』
				25	ふれてミニ講座	10	ライフ&パワーアセスメント
26	ふれてミニ講座			30	『世界遺産』		
毎週	ふれてミニ講座			98	いきいき百歳体操(毎週、月・木)		
毎週	ふれてミニ講座			194	ふれてコンディショントレーニング(毎週、月～金)		
8				6	レクレッシュ	12	レクレッシュ『ラダーゲッター』
				7	まーぶるひろば	10	子育て支援センターあいの出張保育と連携
				7	こども食堂	20	地域食堂「ふれてこども食堂」
				7	イベント	47	ふれてこども夏フェス
				8	イベント	20	バンド・ライブ
				9	ランチ会	15	ランチ会『ケンタッキー』
				17	プレママカフェ	4	妊娠中の方を中心とした交流会
				17	心結の会	13	心結カフェ『介護について語り合う会』
				23	ランチ会	30	ランチ会『むうちゃん焼き鳥』
				28	ふれてミニ講座	8	ライフ&パワーアセスメント
				月・木	ふれてミニ講座	98	いきいき百歳体操(毎週、月・木)
		毎週	ふれてミニ講座	140	ふれてコンディショントレーニング(毎週、月～金)		
		9		1	イベント	800	ふれてフェスティバル2018
				5	ランチ会	11	ランチ会『ぐん平弁当』
				11	まーぶるひろば	4	子育て支援センターあいの出張保育と連携
				11	レクレッシュ	10	レクレッシュ『スカットボール』
				10	ふれてミニ講座	4	子ども将棋教室
				13	ふれてミニ講座	30	『お口のケアの大切さ』
				21	プレママカフェ	2	妊娠中の方を中心とした交流会
				21	心結の会	15	心結カフェ『介護について語り合う会』
				25	ふれてミニ講座	8	ライフ&パワーアセスメント
				27	ランチ会	8	ランチ会『むうちゃん焼き鳥』
				月・木	ふれてミニ講座	90	いきいき百歳体操(毎週、月・木)
				毎週	ふれてミニ講座	142	ふれてコンディショントレーニング(毎週、月～金)

10	4	レクレッシュ	8	レクレッシュ『ラダーゲッター』
	9	まーぶるひろば	12	子育て支援センターあいの出張保育と連携
	10	ふれてミニ講座	5	子ども将棋教室
	14	こども食堂	30	地域食堂「ふれてこども食堂」
	14	地域のお茶の間	50	『JICA留学生とGBバンド』
	18	ランチ会	25	ランチ会『むうちゃん焼き鳥』
	19	プレママカフェ	4	妊娠中の方を中心とした交流会
	19	心結の会	22	心結カフェ『介護について語り合う会』
	25	イベント	50	ふれてそばの日
	30	ふれてミニ講座	10	ライフ&パワーアセスメント
30	イベント	36	ふれてハロウィン	
月・木	ふれてミニ講座	84	いきいき百歳体操（毎週、月・木）	
毎週	ふれてミニ講座	188	ふれてコンディショニングトレーニング（毎週、月～金）	
11	2	ちーむとる	30	ベンチ設置
	10	ちーむとる	32	ワークショップ
	11	こども食堂	80	地域食堂「ふれてこども食堂」※こども食堂まつり
	11	地域のお茶の間	80	『セラピー犬のデモンストレーション』
	13	まーぶるひろば	10	子育て支援センターあいの出張保育と連携
	14	ふれてミニ講座	6	子ども将棋教室
	15	ランチ会	30	ランチ会『むうちゃん焼き鳥』
	16	プレママカフェ	1	プレママカフェ
	16	心結の会	19	心結カフェ『介護について語り合う会』
	21	レクレッシュ	4	レクレッシュ『スカットボール』
22	ふれてミニ講座	9	コンディショニングトレーニングお茶会	
29	ふれてミニ講座	8	ライフ&パワーアセスメント	
月・木	ふれてミニ講座	110	いきいき百歳体操（毎週、月・木）	
毎週	ふれてミニ講座	170	ふれてコンディショニングトレーニング（毎週、月～金）	
12	5	ふれてミニ講座	5	『クリスマスリースづくり』
	5	ランチ会	15	ランチ会『お寿司&お蕎麦セット』
	7	レクレッシュ	14	レクレッシュ『スカットボール』
	8	イベント	65	ふれて忘年会
	9	こども食堂	30	地域食堂「ふれてこども食堂」
	9	地域のお茶の間	50	『マジックショー』
	10	ふれてミニ講座	6	『味噌講座』
	11	まーぶるひろば	6	子育て支援センターあいの出張保育と連携
	12	ふれてミニ講座	4	子ども将棋教室
	19	ふれてミニ講座	20	『感染症対策』
20	ランチ会	25	『むうちゃん焼き鳥』	
21	プレママカフェ	1	妊娠中の方を中心とした交流会	
21	心結の会	18	心結カフェ『介護について語り合う会』	
25	イベント	11	ふれてクリスマス	
25	ふれてミニ講座	7	ライフ&パワーアセスメント	
26	イベント	250	もちつき大会	
月・木	ふれてミニ講座	86	いきいき百歳体操（毎週、月・木）	
毎週	ふれてミニ講座	148	ふれてコンディショニングトレーニング（毎週、月～金）	
1	4	イベント	20	板かるた大会
	8	こども冬フェス	20	冬休みこどもイベント『ペン立て&ポプリリースづくり』
	8	こども食堂	30	地域食堂「ふれてこども食堂」
	9	ふれてミニ講座	5	子ども将棋教室
	13	地域のお茶の間	50	『ウクレレ』
	13	こども食堂	30	地域食堂「ふれてこども食堂」
	15	まーぶるひろば	2	子育て支援センターあいの出張保育と連携
	15	イベント	25	ランチ会『むうちゃん焼き鳥』
	18	イベント	30	ランチ会『お寿司&お蕎麦セット』
	18	プレママカフェ	2	妊娠中の方を中心とした交流会
18	心結の会	20	心結カフェ『介護について語り合う会』	
19	ちーむとる	40	地域の生活課題を解決するワークショップ	
21	レクレッシュ	11	レクレッシュ『ラダーゲッター』	
31	ふれてミニ講座	8	ライフ&パワーアセスメント	
月・木	ふれてミニ講座	85	いきいき百歳体操（毎週、月・木）	
毎週	ふれてミニ講座	131	ふれてコンディショニングトレーニング（毎週、月～金）	
2	8	レクレッシュ	9	レクレッシュ『ラダーゲッター』
	11	こども食堂	30	地域食堂「ふれてこども食堂」
	11	地域のお茶の間	40	『ボードゲーム』
	12	まーぶるひろば	6	子育て支援センターあいの出張保育と連携
	13	ふれてミニ講座	4	子ども将棋教室
	14	ランチ会	10	『お寿司&お蕎麦セット』
	15	心結の会	21	心結カフェ『介護について語り合う会』
	17	ちーむとる	83	雪かき交流まつり2019
	20	ふれてミニ講座	11	『雪かきの正しい方法』
	22	プレママカフェ	1	妊娠中の方を中心とした交流会
26	ミニ講座	11	レクレッシュ『ラダーゲッター』	
28	ミニ講座	3	ライフ&パワーアセスメント	
28	防災訓練	40	職員、お客様、市民スタッフ、地域の方合同の防災避難訓練	
月・木	ふれてミニ講座	96	いきいき百歳体操（毎週、月・木）	
毎週	ふれてミニ講座	195	ふれてコンディショニングトレーニング（毎週、月～金）	
3	10	こども食堂	30	地域食堂「ふれてこども食堂」
	10	地域のお茶の間	60	『パティンとアコーディオン』
	12	まーぶるひろば	12	子育て支援センターあいの出張保育と連携
	12	ランチ会	12	『お寿司&お蕎麦セット』
	13	ふれてミニ講座	4	子ども将棋教室
	14	レクレッシュ	10	レクレッシュ『ラダーゲッター』
	15	プレママカフェ	1	妊娠中の方を中心とした交流会
	15	心結の会	23	介護する家族主催のカフェ
	20	ふれてミニ講座	15	『在宅介護サービスについて』
	26	ふれてミニ講座	5	ライフ&パワーアセスメント
27	こども食堂	65	地域食堂「ふれてこども食堂」	
27	こども春フェス	35	春休みこどもイベント『マイ箸とレジックアクセサリー』	
28	ふれてミニ講座	30	『世界遺産①』	
月・木	ふれてミニ講座	86	いきいき百歳体操（毎週、月・木）	
毎週	ふれてミニ講座	186	ふれてコンディショニングトレーニング（毎週、月～金）	
延べイベント等参加者数合計		7346		

14)② 2018年度 ふれて来場者数

		年代													来場目的					何で知った				居住地																		
		乳児	幼児	小学生	中学生	高校生	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代	来場者計	喫茶	キッズ	イベント	ミニ講座	デイ	ふれて通信	ホームページ	友人	その他	栄	北進	広葉	輝美	商	白樺	若葉	青葉	高台	里見	泉	松葉	緑陽	山手	その他市内	市外
4月	男性	5	4	3	2	0	0	0	4	6	4	43	90	57	0	0	218	133	4	72	10	0	31	0	0	0	4	0	3	0	0	5	0	0	2	0	4	1	0	0	7	0
	女性	5	6	41	0	0	0	0	23	9	0	99	229	108	1	0	521	163	26	84	223	0	261	0	29	0	5	5	10	6	3	117	22	1	1	35	13	9	1	4	10	1
	合計	10	10	44	2	0	0	0	27	15	4	142	319	165	1	0	739	296	30	156	233	0	292	0	29	0	9	5	13	6	3	122	22	1	3	35	17	10	1	4	17	1
5月	男性	0	7	10	0	0	0	0	7	10	33	133	57	5	0	262	139	0	93	13	0	40	0	21	0	0	0	1	0	2	7	0	0	0	3	2	1	1	3	10	0	
	女性	0	10	40	12	0	0	1	29	2	6	75	306	79	5	0	565	189	26	108	195	0	228	0	39	0	0	12	12	5	6	96	28	0	4	32	10	6	1	5	4	0
	合計	0	17	50	12	0	0	1	29	9	16	108	439	136	10	0	827	328	26	201	208	0	268	0	60	0	0	12	13	5	8	103	28	0	4	35	12	7	2	8	14	0
6月	男性	0	2	9	6	0	0	0	3	1	14	118	64	0	0	217	135	5	38	18	0	44	0	24	0	0	0	1	0	3	11	0	0	9	2	2	3	0	0	13	0	
	女性	9	17	29	8	0	0	0	28	6	10	47	254	101	2	0	511	164	63	57	221	0	245	0	88	0	2	18	5	2	3	111	27	0	11	28	21	9	2	2	15	0
	合計	9	19	38	14	0	0	0	28	9	11	61	372	165	2	0	728	299	68	95	239	0	289	0	112	0	2	18	6	2	6	122	27	0	20	30	23	12	2	2	28	0
7月	男性	3	5	41	0	0	0	0	2	0	1	23	142	98	14	0	329	131	33	86	23	0	24	0	28	0	0	1	1	0	3	2	0	0	2	3	0	2	0	0	12	0
	女性	5	18	64	3	0	0	0	32	16	6	98	227	114	17	0	600	127	52	107	226	0	203	0	43	0	3	6	10	5	8	95	20	0	3	38	14	4	0	2	6	1
	合計	8	23	105	3	0	0	0	34	16	7	121	369	212	31	0	929	258	85	193	249	0	227	0	71	0	3	7	11	5	11	97	20	0	5	41	14	6	0	2	18	1
8月	男性	2	8	30	0	0	0	5	3	7	2	32	94	60	0	0	243	155	20	54	0	0	33	0	19	0	4	0	0	0	4	5	0	0	0	0	0	0	1	0	10	0
	女性	2	13	35	0	0	0	10	19	5	7	83	196	66	1	0	437	163	32	91	140	0	195	0	39	0	0	3	1	5	3	60	23	0	3	31	11	5	9	6	3	0
	合計	4	21	65	0	0	0	15	22	12	9	115	290	126	1	0	680	318	52	145	140	0	228	0	58	0	4	3	1	5	7	65	23	0	3	31	11	5	10	6	13	0
9月	男性	10	30	42	20	10	20	22	30	43	40	46	121	99	11	0	544	106	0	419	14	0	74	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1	9	0
	女性	10	30	69	20	10	20	26	34	43	44	69	229	128	11	0	743	116	30	433	156	0	207	0	65	0	0	3	0	2	2	99	25	1	1	21	17	5	5	5	5	0
	合計	20	60	111	40	20	40	48	64	86	84	115	350	227	22	0	1287	222	30	852	170	0	281	0	75	0	0	3	0	2	2	99	25	1	2	22	18	6	5	6	14	0
10月	男性	6	5	9	0	0	0	10	0	2	3	27	91	95	0	0	248	150	0	84	4	0	73	0	16	0	8	0	0	0	0	1	0	0	2	5	4	0	1	0	9	0
	女性	16	6	31	0	0	0	14	36	1	2	92	218	150	2	0	568	226	21	126	188	0	274	0	73	3	0	7	10	0	4	84	26	0	14	32	29	8	3	2	8	3
	合計	22	11	40	0	0	0	24	36	3	5	119	309	245	2	0	816	376	21	210	192	0	347	0	89	3	8	7	10	0	4	85	26	0	16	37	33	8	4	2	17	3
11月	男性	0	10	15	0	0	0	2	0	5	2	16	90	109	0	0	249	143	0	102	1	0	92	0	16	0	0	0	0	0	5	7	0	0	3	0	5	2	3	1	9	0
	女性	5	10	20	0	0	0	2	23	0	0	37	197	175	8	0	477	195	5	100	197	0	300	0	23	0	4	8	10	0	13	89	26	0	8	19	13	10	14	7	6	0
	合計	5	20	35	0	0	0	4	23	5	2	53	287	284	8	0	726	338	5	202	198	0	392	0	39	0	4	8	10	0	18	96	26	0	11	19	18	12	17	8	15	0
12月	男性	5	10	15	5	0	0	5	5	20	12	29	91	89	4	0	290	87	0	182	10	0	30	0	22	0	10	0	0	1	2	0	1	0	1	0	2	2	0	1	4	0
	女性	9	14	45	5	0	0	9	50	17	15	81	192	171	5	0	613	119	28	254	206	0	192	0	43	0	4	14	1	0	3	80	22	0	11	26	16	11	0	5	4	0
	合計	14	24	60	10	0	0	14	55	37	27	110	283	260	9	0	903	206	28	436	216	0	222	0	65	0	14	14	1	1	5	80	23	0	12	26	18	13	0	6	8	0
1月	男性	0	1	11	0	0	0	0	5	10	32	112	68	0	0	239	148	3	110	16	0	36	0	10	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	1	0	7	0
	女性	1	2	26	0	0	0	6	10	8	11	59	176	117	3	0	419	154	22	137	135	0	167	0	71	0	4	7	3	0	4	67	27	0	0	20	13	8	1	2	4	0
	合計	1	3	37	0	0	0	6	10	13	21	91	288	185	3	0	658	302	25	247	151	0	203	0	81	0	4	7	5	0	4	67	27	0	0	21	16	9	2	2	11	0
2月	男性	0	3	9	0	0	0	3	3	7	7	13	100	81	2	0	228	114	4	65	31	0	45	0	25	0	4	0	0	0	0	5	0	0	2	1	5	1	0	0	8	0
	女性	2	4	23	4	0	0	13	16	2	1	42	204	144	8	0	463	137	22	80	194	0	222	0	64	0	11	6	8	0	1	86	27	5	5	21	30	7	0	2	7	0
	合計	2	7	32	4	0	0	16	19	9	8	55	304	225	10	0	691	251	26	145	225	0	267	0	89	0	15	6	8	0	1	91	27	5	7	22	35	8	0	2	15	0
3月	男性	8	10	21	0	0	0	0	0	0	7	99	92	1	0	238	122	2	75	13	0	58	0	20	0	0	0	2	0	0	12	1	0	5	2	2	1	2	1	2	0	
	女性	4	12	51	0	0	0	0	22	6	0	58	232	131	4	0	520	151	27	106	191	0	249	0	49	0	7	7	3	0	3	90	26	0	12	21	12	7	0	3	1	0
	合計	12	22	72	0	0	0	0	22	6	0	65	331	223	5	0	758	273	29	181	204	0	307	0	69	0	7	7	5	0	3	102	27	0	17	23	14	8	2	4	3	0
合計	男性	39	95	218	33	10	20	47	47	105	92	315	1281	969	37	0	3308	1563	71	1380	153	0	580	0	211	0	30	1	10	1	19	55	2	0	27	18	30	15	9	7	100	0
	女性	68	142	474	52	10	20	81	322	115	102	840	2660	1484	67	0	6437	1904	354	1683	2272	0	2743	0	626	3	40	96	73	25	53	1074	299	7	73	324	199	89	36	45	73	5
	合計	107	237	689	85	20	40	128	369	220	194	1155	3941	2453	104	0	9745	3467	425	3063	2425	0	3323	0	837	3	70	97	83	26	72	1129	301	7	100	342	229	104	45	52	173	5

地域交流スペース利用状況

(平成30年度)

<団体利用>

月	団体数	活動室1	活動室2	活動室3	活動室4・5	体育館	グラウンド	まーぶる		お茶の間	合計
								大人	子供		
4	34	150	9	26	52	641	0	5	3	24	910
5	39	179	31	67	63	771	25	3	3	27	1,169
6	44	111	10	76	110	885	42	0	0	32	1,266
7	33	132	31	22	0	725	32	5	5	98	1,050
8	39	103	9	31	57	944	26	4	4	24	1,202
9	30	75	5	24	94	738	30	4	3	22	985
10	33	77	16	32	84	1,157	38	3	3	19	1,409
11	47	57	15	60	89	1,166	0	3	4	21	1,415
12	39	105	15	51	185	1,175	0	6	6	94	1,637
1	36	99	17	80	26	780	0	4	3	0	1,009
2	34	155	7	69	45	813	0	4	4	24	1,121
3	36	129	6	26	95	1,554	0	1	1	28	1,840
		1,372	171	564	880	11,349	193	42	39	413	15,023

震災避難

<宿泊利用> (人)

月	団体数	人数
4	0	0
5	1	4
6	0	0
7	0	0
8	2	32
9	2	3
10	1	14
11	0	0
12	0	0
1	0	0
2	0	0
3	0	0
	6	53

<個人利用、一般>

月	利用日数	体育館	グラウンド	喫茶	キッズ	体操			販売			合計
						健康体操	100歳	つむら	ヤクルト	パン		
4	27	147	0	295	233	お客様 一般	157	0	71	30	65	1,423
5	31	179	16	290	198	お客様 一般	167	0	84	38	68	1,482
6	27	133	5	287	127	お客様 一般	189	0	113	18	30	1,335
7	30	208	6	394	163	お客様 一般	180	0	88	22	64	1,493
8	25	59	3	278	57	お客様 一般	187	0	53	29	34	1,093
9	25	146	0	190	105	お客様 一般	46	235	61	28	23	1,043
10	23	94	3	649	61	お客様 一般	174	0	92	28	55	1,626
11	21	85	0	290	87	お客様 一般	54	238	117	23	38	1,189
12	24	88	0	203	74	お客様 一般	161	0	70	29	48	1,007
1	25	58	0	139	78	お客様 一般	66	218	85	22	28	791
2	23	79	0	475	43	お客様 一般	149	0	64	22	41	1,228
3	31	167	0	268	221	お客様 一般	27	191	78	29	30	1,358
	312	1,443	33	3,718	1,447	お客様 一般	154	0	82	26	28	15,048
		1,443	33	3,718	1,447	お客様 一般	1,998	0	831	337	553	30,071
						お客様 一般	554	2,510	1,007	239	378	

(総人数)

団体	個人	合計
910	1,423	2,333
1,169	1,462	2,631
1,266	1,335	2,601
1,050	1,493	2,543
1,202	1,093	2,295
995	1,043	2,038
1,409	1,626	3,035
1,415	1,189	2,604
1,637	1,007	2,644
1,009	791	1,800
1,121	1,228	2,349
1,840	1,358	3,198
15,023	15,048	30,071

2018年度 管理課事業計画

主管 管理課

重点事業方針	
<p>2018年は医療、介護、障がいサービスのトリプル改定が行われ、今回も厳しい報酬改定が予測される。事業を行う以上、利益追求は必然であり、利益を上げなければ成長、発展のための投資もできず、従業員への還元もできないため利益を上げることは事業にとって大前提となる。しかし社会福祉法人の本来の目的は「地域に必要とされる」「地域に役に立つ」存在になることである。高齢化率40%を超える北広島団地地区において最期まで任が置かれた地域で自分らしく暮らすことが出来る、また共生の理念の下、要介護高齢者に留まらず、すべての人々の暮らしやすさ、生きやすさを目標に、全事業の連携役を担っていくこととする。</p>	<p>報酬改定に伴う、各事業の収支状況を把握し適正な経営が行えるようにする。</p> <p>効果的効率的かつ良質なサービスの提供のための収支状況のチェック、リスクマネジメントシートを活用したリスク対応を行いサービスの質向上のための助言指導を行う。</p> <p>人材確保と育成、定着</p> <p>安定したサービス供給のための人材確保、法人プロジェクトとの連携や独自の育成プログラムによる定着を図る。</p> <p>地域に役に立つ、求められる法人としての機能の強化</p> <p>地域における公益的取組みとさらなる、取組みを模索しながら積極的に活動を推進する。</p>
【上半期評価】	【最終評価】
<p>・特養、訪問介護、さつみ収支に大きな影響を及ぼした。報酬改定の影響より、稼働率減少が大きな原因。特に特養は入退所者の期間の長期化、入所条件が要介護3以上、さらにサ高住含め居住系施設増加等による要介護2以下の入所、短期入所利用者減少が大きな理由と考えられる。下半期は通話相談の最初の関わり窓口として連携機能の強化を図りたい</p> <p>・上半期における採用状況は退職13名（正職員3名）採用13名（全て職職）数字上ではプラスマイナス0であるが常勤換算数としてはマイナス、処遇改善加算等による賃金UPはパート職の就業日数に影響している。報酬改定後の福利厚生事業の検討を行っていく。</p> <p>・従来通り、各住区の夏祭りへの参加率を向上させてきた。下半期も地域の学芸会、運動会、ふれて響かき交流会への参加を予定する</p> <p>・胆振東部地震による被災地へ職員を派遣、自然災害に対する対応についてあらためて検討した。下半期は自然災害時訓練の場面を想定しながら実施したい。</p>	<p>・特養、訪問介護の収支は継続して伸び悩み。特に特養、短期入所の収入減少が大きい。上半期評価にあるような背景から、相談業務を明確にすると共に管理職職員による新規入所者に対する迎いの対応等に力を入れ、家族の好評も得られ入所、短期入所利用者も増進傾向が伺えた。下半期採用は採用7名、退職19名（金で職職）。2018年度全体で採用20名・退職26名で離職率は11%。臨時職員が24名であるが処遇改善加算による就業日数の減少が変わらず事業に影響を及ぼしている。新年度は新たな委員会の立ち上げにより新卒者に焦点を当てた人材確保にも取り組んでいく。処遇改善加算支給方法の見直しを行っている。</p> <p>・地域の学芸会、運動会、ふれて響かき交流会へ参加、市民スタンプへの協力を行うことが出来た。</p> <p>・新年度も四圍園の最初の窓口としての丁寧な対応を継続していく。</p>

2018年度 管理課全体計画

主管 管理課

目 的 (ねらい)	事業内容		実 績 評価内容
	月	評価	
<p>1. 各事業が円滑に事業活動を行えるように、事業所間、関係機関との連絡、調整を行います。</p> <p>2. 地域に役立つ法人となれるよう、積極的に地域活動に取り組みます。</p>			
計 画	4	・職員採用に向けたチラシ配布（随時）	5
	5	・屋外清掃・職員健康診断・花壇整備	5
	6	・ガラス清掃・書類整理・防火訓練・緊急連絡網訓練	4
	7	・第3住区夏祭りへの参加・第4住区夏祭りへの参加 ・里見町5.6丁目夏祭りへの参加	5
	8	・夜間想定訓練・四圍園夏祭りへの協力 ・第2住区夏祭りへの参加・第1住区夏祭りへの参加	4
	9	・ふれて響かきフェスティバル市民スタッフへの協力・各課、敬老会の支援 ・ワックスがけ	5
	10	・防火訓練・屋外清掃・ともに地域の学芸会市民スタッフへの協力	5
	11	・職員健康診断・インフルエンザ予防接種	5
	12	・加温器設置・餅つきへの支援	5
	1		
	2	・各課予算ヒヤリング・事業方針、計画の作成 ・ともに地域の運動会市民スタッフへの協力	5
	3	・ワックスがけ、加温器撤去	5
備 考			

評価基準： 5. 良くできている（期待した以上の成果が得られた） 4. できている（期待した成果が得られた） 3. 十分ではない（期待した成果が得られなかった） 2. できていない（見直しが必要） 1. 全くできていない

2018年度 管理課管理係(施設設備)事業計画

主管 管理課 施設係

重点事業項目	
1. 施設、設備機器の保守点検、法定点検整備、メンテナンスの実施	
2. 移送送迎サービス車両等の自主点検、法定点検の実施	
3. 駐車場、通路及び花壇、周辺の補修、整備の実施	
4. 駐車場廻り、通路脇、施設廻りの草刈及び除草剤散布の実施	
5. 駐車場、避難通路、スロープスペース、施設廻りの除排雪の実施	
6. デイホームさとのみ施設、施設廻り整備及び除排雪の実施	
7. 地域交流ホーム施設廻り整備及び除排雪の実施	
8. 水道光熱費、燃料費の節約	
9. 地域サポートセンターともに周辺の整備	
	<p>【上半期評価】</p> <p>春の花壇整備に始まり地域のお祭りへの参加、台風～地震と目まぐるしく過ぎ去り、更には前理事長がご逝去された等法人内部においても大きく揺れ動いた上半期であったと振り返る。</p> <p>フラックアウトという通常ではありえない状況下で約30時間停電状態に晒され不自由ながらも何とか持ちこたえたがもしも自家発電機がなかったら？季節が冬だったら？と思うとゾッとする思いである。数え上げればきりが無いが最低限お客様の生活(命)を脅かすような要素がなくなるように何がができるかを考え、備え、行動していきたい。</p> <p>【最終評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常時におけるハード面での対応を各業者を交え締付ける場を駆け大体整理出来たので具体的な改修工事の計画を建てて進んだ。 ・除雪、草刈りについては中絶除雪作業中に軽微な車両自損事故があったので今後は十分に注意したい。 ・設備修繕に関しては暖房修繕の際注意事項がうまく業者に伝わっておらず大事な注に至らなかったが立会の重要性を再確認した ・施設内照明LED化は順次進めているがネット購入のしずらさと非常照明をどうするかという課題が残る。 ・運搬業務に因っては通所の送迎業務が増加した為短期中所送迎とのすり合わせが困難だったがなんとか調整出来ている次第。 ・いくつか課題の残る1年だったが実りある新年度となるよう努めていきたい。

2018年度 管理課管理係(施設設備)年間事業計画予定表

主管 管理課 施設係

目 的 (ねらい)	事業内容	実 績	
		評価	評価内容
1. 施設設備の法定点検、保守点検整備の実施 2. 設備機器の円滑運転及び自主点検の実施 3. 設備機器の計器等の確認、記録及びメンテナンス			
	非常用予備発電装置点検	5	実施済み
	受電設備月次点検及び停電年次点検、自動ドアー保守点検	5	実施済み
	井水、上水槽清掃工事、非常用予備発電装置点検、エレベーター保守点検、温水ボイラ保守点検	5	実施済み
	受電設備月次点検、厨房換気調査	5	実施済み
	非常用予備発電装置点検、地下タンク気密漏洩検査	5	実施済み
	受電設備月次点検、温水ボイラ年次点検、消防設備総合検査、自動ドアー保守点検、エレベーター保守点検	5	実施済み
	非常用予備発電装置点検	5	実施済み
	受電設備月次点検、ランドリ一年次点検	5	実施済み
	エレベーター保守点検、非常用予備発電装置点検、森林浴脱臭装置点検(トリック交換)、温水ボイラ保守年次点検	3	実施済み
	受電設備年次B点検(無停電)、自動ドアー保守点検	5	実施済み
	非常用予備発電装置点検、簡易専用水道定期検査	5	実施済み
	温水ボイラ保守点検、受電設備月次点検、エレベーター保守点検、消防設備外観機能検査	5	実施済み
	<ul style="list-style-type: none"> ○暖房循環ポンプ更新(未実施) ○給湯、暖房配管修繕(実施済) ○プレハブ倉庫雨漏り補修、塗装(実施済) ○コンテナ庫雨漏り補修(実施済) ○屋上防水塗装(実施済) 		

評価基準: 5. 良くできている(期待した以上の成果が得られた) 4. できている(期待した成果が得られた)
3. 十分ではない(期待した成果が得られなかった) 2. できていない(見直しが必要)
1. 全くできていない

2018年度 管理課係車両管理計画

主管 管理課 施設係

目 的 (わらじ)	事業内容	績	
		実 績	評価内容
1. 車両の法定点検、自主点検整備の実施 2. 車両運行業務の安全円滑遂行 3. 毎日の始業点検、終業点検の実施 4. 安全運転標語の啓蒙と遵守 (対象車種) トヨタハイエースリアフト車両、トヨタパッツ、コマツホイロローダー (担当職員) 神原英明 林 大輔			
	4 車両タイヤ交換	5	実施済み
	5 車検 (トラック、パッツ)	5	実施済み
	6 グリスアアップ (ホイロローダー)	2	未実施
	7 オイル、エレメント交換 (サブ・ポンク)	5	実施済み
	8		
	9 特定自主検査 (ホイロローダ、スキッドローダ)	5	8月実施
	10		
	11 特定自主検査 (ボブキャット)・6ヶ月点検 (トラック) 車両タイヤ交換	4	実施済み
	12 チェーン装着 (ホイロローダー)	3	実施済み
	1 オイル、エレメント交換 (パッツ)	2	未実施
	2 車検 (サブ・ポンク) 特定自主検査 (WA-40)	4	実施済み
	3	4	実施済み
	○サイドステップ交換 (サブ・ポンク) 未実施		
備 考			

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
1. 全くできていない

2018年度 給食サービス課 事業計画

主管 給食サービス課

重点事業方針	重点事業項目
1. お客様満足へ向けて①生活食 (体の基礎・健康促進、予防)、②治療食 (回復・維持)、③行事食 (心と体の栄養・楽しみ・喜び・感謝) 三つを柱とし拠点ごとのニーズを図りお客様本位の提供に努める。 2. 安全・安心の信頼を損ねることの無いよう、衛生管理の見直し強化に努める。 3. 健康管理予防促進に努める。 4. 地域へのつながりに努める。 5. 職員のスキルアップに向けて取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・各拠点 (四恩園・かたる・ともに) の特色を活かし、治療食・行事食などに取り組む。 ・ミニ寿司屋再開に向けて取り組む。 ・衛生マニュアルの見直し作成。 ・地域の行事への参加。 ・栄養相談、食事の関心を高め体調不良軽減につながるよう努める。 ・大量調理 (基礎) 勉強会の実施。 ・特別食 (ソフト食・ムース食) の研究、実施。 ・お客様個々に適した食事の提供。
	<p>【上半期評価】</p> <p>職員が少ない中で、通常業務、行事はなんとかやりくりしてきたが、ソフト食・ムース食の研究は思っていたようにには研究が進まなかった。同様にミニ寿司屋も開催するには人手が足りず、出来ていない。行事ではお客様を観る機会が多かったため、喜んでくれる顔や声をかけてもらえることもあったので職員一同のやりがいになったのではないかとと思う。</p> <p>【最終評価】</p> <p>震災があったが、1年間特に大きな事故、怪我なども無く、職員が少ない中でみんなよくやってくれたと思う。出来なかった事も多々あるが、業務内での動きの見直しや反省など、項目には挙げていないことが色々と出来た1年だった。来年度は研究や勉強会の機会を増やし、職員のスキルアップを図りお客様にさらに満足してもらえ食事の提供を目指していきたい。</p>

2018年度 給食サービス課 全体行事予定計画

主管 給食サービス課

目 的 (ねらい)	事業内容	実績		
		評価	評価内容	
1. 行事などを通して食や四季の変化を感じてもらい、より良い生活感になるように努める。 2. 他の部署への理解協力を努め、お客様の処遇向上への十分なサポートに努める。 3. お客様への理解を高め、お客様が個々の楽しみになるように努める。 4. 地域へのつながり。	4			
	5	特・端午の節句 5/5・春の園遊会	5	
	6			
	7	第三住区福祉祭り、第四住区福祉祭り	4	
	8	四デイ夏祭り 特養夏祭り とともに夏祭り	5	
	9	ふれてフェスティバル 敬老会・特養、四デイ かたる とともに	5	
	10			
	11	ボイラー安全折願祭	5	
	12	特養・クリスマス忘年会 餅つき・特養デイ・ともに・ふれて 大晦日・(特養・ともに)	5	
	1	四恩園・新年恒例会・七草	5	
	2	節分 2/3・特養・デイ・かたる・ともに	5	
	3	桃の節句 3/3・特養・デイ・かたる・ともに	5	
	備考	評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた) 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要) 1. 全くできていない		

2018年度 給食サービス課(調理)年間設備管理表

主管 給食サービス課

目 的 (ねらい)	事業内容	実績		
		評価	評価内容	
1. 衛生管理に努める。 2. 設備・機器管理に努める。 3. 安全管理に努める。 管理担当者 (四恩園： 土池 とともに： 松田 かたる： 荒閑)	4	グリストラップ清掃点検 (四) (と)	5	
	5	グリストラップ清掃点検 (四) (と)	5	
	6	グリストラップ清掃：業者委託 (四) (と) 冷蔵庫等各種フィルター・ダクト清掃点検 (四) (と) (か)	4	業者委託の清掃を 8月に変更
	7	殺菌庫、蛍光管定期交換 (四) (と) (か) 倉庫、食品庫清掃整理 (四) (と) (か) グリストラップ清掃点検 (四) (と)	5	
	8	グリストラップ清掃点検 (四) (と)	5	グリストラップ、エア コンの清掃を業者委 託
	9	冷蔵庫等各種フィルター・ダクト清掃点検 (四) (と) (か) グリストラップ清掃点検 (四) (と) 害虫駆除シート交換 (四)	5	
	10	グリストラップ清掃点検 (四) (と)	5	
	11	殺菌庫、蛍光管定期交換 (四) (と) (か) グリストラップ清掃点検 (四)	5	
	12	冷蔵庫等各種フィルター・ダクト清掃点検 (四) (と) (か) グリストラップ清掃点検 (四)	5	
	1	グリストラップ清掃点検 (四)	5	
	2	グリストラップ清掃点検 (四)	5	
	3	殺菌庫、蛍光管定期交換 (四) (と) (か) 倉庫、食品庫清掃整理 (四) (と) (か) グリストラップ清掃点検 (四) (と) 害虫駆除シート交換 (四)	5	
	備考	○ グレーチングの清掃は週一回行う 評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた) 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要) 1. 全くできていない		

2018年度 施設サービス課事業計画

主管 施設サービス課

重点事業方針	
1. 生活を支える為の基本的なケア（食事・入浴・排泄）と接遇マナー、介護技術の質の維持・向上を目指す。	
2. 定期的なサービス評価を行い、業務改善に活かし、入所・退所の安定利用につなげる。	
3. 人と人とのつながりを通じて幸福を感じられる場所の実現を目指す。	
重点事業項目	
ア) 生活を支える為の基本的なケア（食事・入浴・排泄）と接遇マナー、介護技術の質の維持・向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・内務・外部研修を通して個々の職員のスキルアップを目指します。各委員会での業務の見直し、業務内容の標準化を図ります。 ・朝夕のミーティングを活用しケア内容について、見直しを図っていきます。
イ) 定期的なサービス評価を行い業務改善に活かし、入所・短期の安定利用につなげていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の生活の質の向上の為、各員会で月毎の目標を明確にし、その実行内容の評価を繰り返してい、質の向上に繋げていきます。 ・お客様の家族を対象としたサービス評価を上半期・下半期に各1回ずつ行い、業務改善につなげていきます。 ・定期的な待機者の状況確認、スムーズな入所調整を行っていきます。
ウ) 人と人とのつながりを通じて幸福を感じられる場所の実現を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ・入所者の方々が地域住民の一員として、地域の資源を活用しながら、地域に出ていく取り組みを実施していきます。 ・ふれて、ともに行われる事業への参加。 ・入所者であっても地域住民の一員として、地域に出て行く取り組みを検討し実施します。 ・多職種連携のケアカンファレンスを実施し、一人ひとりの個性性に配慮した生活支援を展開していきます。
【最終評価】	
課内会議では短期入所のお客様を含めカンファレンス対象者の選定を行いケア内容の検討を行ってきまし	課内会議では短期入所のお客様を含めカンファレンス対象者の選定を行いケア内容の検討を行ってきまし
た。入退所について、看取りを行ったケース、また感染症、肺炎による入院があり入所登録者が減少となった。新規入所の受入を随時行ってきたが引き続き相談業務の充実を図り入所ニーズが今後の課題となる。お客様の日常の過ごし方は特養部内だけではなく野球観戦や他事業所への行事、もちつき参加やふれで喫茶の参加、外部との交流ができてきた。1年であった。今後も施設内で過ごす以外の時間を探りお客様に喜んで頂けるよう取り組んでいく。	課内会議では短期入所のお客様を含めカンファレンス対象者の選定を行いケア内容の検討を行ってきまし
新年度に向けて、お客様の状態に合わせた身体機能低下を防ぐ仕組み、食事ケアの姿勢保持や口腔機能保持、職員の創意工夫を日常の生活に反映した新たな日課の策定など課内で取り組んでいきます。	課内会議では短期入所のお客様を含めカンファレンス対象者の選定を行いケア内容の検討を行ってきまし
【上半期評価】	
今年度より、毎月の全職員対象の課内会議で、1～2名のお客様のカンファレンスを行い、ケア内容の検討、見直しを行っている。日々職員が接する中で気づいたこと等職員全員で話し場を設けたことで、情報共有が以前よりできるようになり、ケア内容にも気づきを反映できている。また、認知症研修も会議毎に行い、職員のスキルアップを図っている。	今年度より、毎月の全職員対象の課内会議で、1～2名のお客様のカンファレンスを行い、ケア内容の検討、見直しを行っている。日々職員が接する中で気づいたこと等職員全員で話し場を設けたことで、情報共有が以前よりできるようになり、ケア内容にも気づきを反映できている。また、認知症研修も会議毎に行い、職員のスキルアップを図っている。
入退所について、今年度もほぼ毎月入退所がある状況が続いている。退所に対して、入所調整が即時行えない状態の為、下半期早い時期に行えるように準備を行っている。介護職員が不足している状況の中、お客様、職員の負担軽減等図る為、介護ロボット、福祉用具の積極的な活用を検討している。	今年度より、毎月の全職員対象の課内会議で、1～2名のお客様のカンファレンスを行い、ケア内容の検討、見直しを行っている。日々職員が接する中で気づいたこと等職員全員で話し場を設けたことで、情報共有が以前よりできるようになり、ケア内容にも気づきを反映できている。また、認知症研修も会議毎に行い、職員のスキルアップを図っている。

2018年度 給食サービス課(調理)研修計画

主管 給食サービス課

月	事業内容	実績	
		評価	評価内容
4	課内研修	1	開催出来なかった
5			
6			
7	課内研修		開催出来なかった
8	千歳保健研修・札幌石狩支部研修	4	
9			
10	秋期全道栄養士研究大会		
11	課内研修	1	開催出来なかった
12			
1			
2			
3			
備考			

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 三大ケア・褥瘡改善委員会

主管 施設サービスク

目的と目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様が健康で快適・安全な生活を送れるよう食事・排泄・入浴の環境を整え、三大ケア・褥瘡について都度問題点を検討しケア向上に努めます。 ・日々の身体・皮膚状態を観察し、異常時早めの対応でお客様が苦痛な思いをせず生活して頂けるよう努めます。 ・お客様の健康な状態を維持し、園での生活継続、行事参加等の楽しみへ繋げられるようお手伝いをしていきます。
-----------------------	--

実績	
評価	評価内容
4	《排泄・入浴・褥瘡》 皮膚トラブルを防ぐ・悪化させない
5	《排泄・入浴・褥瘡》 皮膚トラブルを防ぐ・悪化させない
6	《排泄・入浴・褥瘡》 皮膚トラブルを防ぐ・悪化させない
7	《食事》 脱水・食中毒を防ぐ
8	《食事》 脱水・食中毒を防ぐ
9	使用物品の整理整頓・見直し
10	《排泄・入浴・褥瘡》 皮膚トラブルを防ぐ・悪化させない
11	《排泄・入浴・褥瘡》 皮膚トラブルを防ぐ・悪化させない
12	《排泄・入浴・褥瘡》 皮膚トラブルを防ぐ・悪化させない
1	《食事》 感染予防
2	《食事》 感染予防
3	使用物品の整理整頓・見直し

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
1. 全くできていない

2018年度 地域とつながる生活委員会

主管 施設サービスク

目的と目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動・レクリエーションなどを通して、お客様が達成感・満足感を得られ、日常生活の中で楽しむようになる活動を考案・実施していきます。 ・地域で暮らす ・入所者であっても地域住民の一員として、地域の資源を活用し、地域に出て行く取り組みを検討し実施します。
-----------------------	--

実績	
評価	評価内容
4	ふれて、ともに、外出 (定期) 誕生日お祝い (祝時) 春のお花見会 すずらん保育園交流会
5	ふれて、ともに、外出 (定期) 誕生日お祝い (祝時) 春のお花見会 すずらん保育園交流会
6	あおぞら保育園交流会
7	第三区福祉祭り すずらん保育園交流会
8	夏祭り
9	ふれてフェスティバル 敬老会 すずらん保育園交流会
10	紅葉祭り外出
11	ともに地域の学芸会
12	もちつき クリスマス忘年会
1	新年交流会
2	
3	ひな祭り

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
1. 全くできていない

2018年度 リスクマネジメント・研修委員会

目的と目標 (ねらい)		実績	
目的と目標		評価	評価内容
<p>・お客様の幸せを実現するために、介護力向上と接遇マナーの向上を目指し、それを達成するための研修を企画、実施していきます。</p> <p>・お客様の幸せを実現するために、適切なアセスメントに基づいたケアプランを作成し、ご本人、ご家族とも情報を共有しながら支援に当たります。</p> <p>・お客様の幸せを実現するために、ヒヤリハット事故報告書の内容を分析し、再発防止に向けた対応策を検討し、その実施の徹底を図ります。</p> <p>・サービスの質向上のために、ご家族様にサービス評価アンケートを実施し、その内容結果を精査し業務に反映させます。</p>		<p>・ケア会議 兼 研修 (毎月1回)</p> <p>・ケアカンファレンス (ケア会議前)</p> <p>・主任係長会議 兼 ヒヤリハット事故事例振り返り (毎月1回以上)</p>	<p>カンファレンスは月1回1名のお客様をケア会議の中で行うことができ、それなりの結果が出ているが、事故事例に関する振り返りは出来ていない(都度対応は考えた)</p> <p>また、計画を立てていた、非難研修、脱水予防研修など行つてが出来なかった。</p>
計		3	
画		3	<p>2月にネピアのオムツアドバイザーを講師に招き非難ケアの実技研修を実施できたものの、それ以外、介護の知識・技術アップの研修はできなかった。</p> <p>ケア会議内では認知症ケアの研修は継続して行えたものの、カンファレンスは出来なかった。</p> <p>主任係長会議は月一回開催し、現場の抱える課題や事故報告事例を話し合いサービスの向上に努めることが出た。</p> <p>サービス評価アンケート、研修希望調査は未実施のため次年度以降に持ち越し。</p>
備考			

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)

3. 十分でない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)

1. 全くできていない

2018年度 デイサービスセンター-四恩園事業計画

主管 通所介護課

重点事業方針	重点事業項目
<p>○お客様やご家族、地域の希望をよくお聞きすることで、お客様と職員が体験と感動を共有できるような細やかなサービスの提供を目指します。</p> <p>○機器の導入と職員のスキルアップ、人材の有効活用や機能分化について検討することで、少ない職員で大きな成果が出せる事業所なることを目指します。</p>	<p>○ 北広島デイサービスセンター-四恩園だからできるサービスの検討・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客様アンケートや面談等により、お客様とご家族の希望をお聞きします。 ・月に1回以上、支援センターや居宅介護支援事業所を訪問し、お客様やご家族の希望や地域で不足しているサービス内容についての情報交換を行います。 ・正職会議・全体会議にてお客様・ご家族からの希望と「お客様のために」やりたいサービスのアイデアを集約し、実現に向けた検討をします。 <p>○ 事業所がもつ機能と効果について自信を持って発信するための評価・計画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種評価・計画書を提供するサービスの根拠と利用の効果を伝えるための手段とできるよう、内容や優先順位等を見直します。 <p>○ 機器の導入と職員のスキルアップ、人材の有効活用・機能分化についての検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部・外部研修により、職員個々のスキルアップを目指します。 ・少ない職員で大きな効果を出せるための機器の導入と活用について検討します。 ・職種ごとの機能分化と連携を推進することで、少ない人材を有効に活用していくことを目指します。
	<p>【最終評価】</p> <p>退職した職員の補充がない中でも日々の活動や季節行事等を滞りなく実施することができたこと、今期については冬期間に多い感染症をほぼゼロとすることができたことは、職員間の連携と啓蒙活動の成果であったと考える。</p> <p>部署内の会議・研修についても継続することができ、参加率が高くなったことから、職員間の連携とスキルアップの土台をつくることができたと感じている。</p> <p>今年度を土台に次年度以降も北広島デイサービスセンター-四恩園だからこそできるサービスの検討・実施と職員のスキルアップを図っていきたい。</p>
	<p>【上半期評価】</p> <p>職員の退職や異動があり、「目の前のお客様が安全かつ楽しく1日を過ごせる」ということに終始してしまつた上半期であった。しかし、通所介護計画書の作成や職員全体会議の実施など、わずかながら目標に向かって進むこともできている状況である。</p> <p>下半期は、「お客様が安全かつ楽しく1日を過ごせる」ことを継続しつつ、サービスの質の向上や職員個々のスキルアップが進められるよう努めていきたい。</p>

2018年度 デイサービスセンター四恩園相談援助計画

主管 通所介護課

目 的 (ねらい)	事業内容		実 績											
	月	事業内容	評価	評価内容										
おお客様・ご家族様、そして地域の真のニーズをよく聞き、それに応える事を目指した相談援助を実施します。	4	月末業務 ・当月実績表、利用表の作成 ・翌月利用予定の確認 ・月ごとのお客様モニタリングの作成と報告 ・実績管理や報告等 (市内の各事業所については、可能な限り訪問し、実績や利用状況等を報告しながら支援者間の関係構築に努めていく)	3	生活相談員1名が8月末で退職したことに伴い、管理者が相談業務を兼務する形となっている。 新規相談等については都度の対応が実施できている。 通所介護計画書の作成については、徐々に作成できるようなりつつはいるが、今後も課題としなければならぬものである。										
	5	・新規利用時の受け入れ調整 ・新規利用前カンファレンスの実施 ・新規利用契約 ・新規ケース情報および暫定計画書の作成		3	管理者による相談業務の兼務が継続中。実績報告とモニタリングをより詳しく、ケアプランに沿った形にすることでケアマネージャーとの連携強化を図ることができた。 通所介護計画書の作成については、大部分作成することができたが、継続的な作成という点では今後も課題としていかなければならぬものである。									
	6	・定期的なカンファレンスの実施 ・担当者会議への参加 ・曜日変更および利用回数変更希望時の調整 ・見守り対応 ・業務日誌作成 ・利用情報管理 ・家族支援の検討 ・職員に向けたケース検討の企画・運営・実施			3	管理者による相談業務の兼務が継続中。実績報告とモニタリングをより詳しく、ケアプランに沿った形にすることでケアマネージャーとの連携強化を図ることができた。 通所介護計画書の作成については、大部分作成することができたが、継続的な作成という点では今後も課題としていかなければならぬものである。								
	7	・定期的なカンファレンスの実施 ・担当者会議への参加 ・曜日変更および利用回数変更希望時の調整 ・見守り対応 ・業務日誌作成 ・利用情報管理 ・家族支援の検討 ・職員に向けたケース検討の企画・運営・実施				3	管理者による相談業務の兼務が継続中。実績報告とモニタリングをより詳しく、ケアプランに沿った形にすることでケアマネージャーとの連携強化を図ることができた。 通所介護計画書の作成については、大部分作成することができたが、継続的な作成という点では今後も課題としていかなければならぬものである。							
	8	・定期的なカンファレンスの実施 ・担当者会議への参加 ・曜日変更および利用回数変更希望時の調整 ・見守り対応 ・業務日誌作成 ・利用情報管理 ・家族支援の検討 ・職員に向けたケース検討の企画・運営・実施					3	管理者による相談業務の兼務が継続中。実績報告とモニタリングをより詳しく、ケアプランに沿った形にすることでケアマネージャーとの連携強化を図ることができた。 通所介護計画書の作成については、大部分作成することができたが、継続的な作成という点では今後も課題としていかなければならぬものである。						
	9	・定期的なカンファレンスの実施 ・担当者会議への参加 ・曜日変更および利用回数変更希望時の調整 ・見守り対応 ・業務日誌作成 ・利用情報管理 ・家族支援の検討 ・職員に向けたケース検討の企画・運営・実施						3	管理者による相談業務の兼務が継続中。実績報告とモニタリングをより詳しく、ケアプランに沿った形にすることでケアマネージャーとの連携強化を図ることができた。 通所介護計画書の作成については、大部分作成することができたが、継続的な作成という点では今後も課題としていかなければならぬものである。					
	10	・定期的なカンファレンスの実施 ・担当者会議への参加 ・曜日変更および利用回数変更希望時の調整 ・見守り対応 ・業務日誌作成 ・利用情報管理 ・家族支援の検討 ・職員に向けたケース検討の企画・運営・実施							3	管理者による相談業務の兼務が継続中。実績報告とモニタリングをより詳しく、ケアプランに沿った形にすることでケアマネージャーとの連携強化を図ることができた。 通所介護計画書の作成については、大部分作成することができたが、継続的な作成という点では今後も課題としていかなければならぬものである。				
	11	・定期的なカンファレンスの実施 ・担当者会議への参加 ・曜日変更および利用回数変更希望時の調整 ・見守り対応 ・業務日誌作成 ・利用情報管理 ・家族支援の検討 ・職員に向けたケース検討の企画・運営・実施								3	管理者による相談業務の兼務が継続中。実績報告とモニタリングをより詳しく、ケアプランに沿った形にすることでケアマネージャーとの連携強化を図ることができた。 通所介護計画書の作成については、大部分作成することができたが、継続的な作成という点では今後も課題としていかなければならぬものである。			
	12	・定期的なカンファレンスの実施 ・担当者会議への参加 ・曜日変更および利用回数変更希望時の調整 ・見守り対応 ・業務日誌作成 ・利用情報管理 ・家族支援の検討 ・職員に向けたケース検討の企画・運営・実施									3	管理者による相談業務の兼務が継続中。実績報告とモニタリングをより詳しく、ケアプランに沿った形にすることでケアマネージャーとの連携強化を図ることができた。 通所介護計画書の作成については、大部分作成することができたが、継続的な作成という点では今後も課題としていかなければならぬものである。		
	1	・定期的なカンファレンスの実施 ・担当者会議への参加 ・曜日変更および利用回数変更希望時の調整 ・見守り対応 ・業務日誌作成 ・利用情報管理 ・家族支援の検討 ・職員に向けたケース検討の企画・運営・実施										3	管理者による相談業務の兼務が継続中。実績報告とモニタリングをより詳しく、ケアプランに沿った形にすることでケアマネージャーとの連携強化を図ることができた。 通所介護計画書の作成については、大部分作成することができたが、継続的な作成という点では今後も課題としていかなければならぬものである。	
	2	・定期的なカンファレンスの実施 ・担当者会議への参加 ・曜日変更および利用回数変更希望時の調整 ・見守り対応 ・業務日誌作成 ・利用情報管理 ・家族支援の検討 ・職員に向けたケース検討の企画・運営・実施											3	管理者による相談業務の兼務が継続中。実績報告とモニタリングをより詳しく、ケアプランに沿った形にすることでケアマネージャーとの連携強化を図ることができた。 通所介護計画書の作成については、大部分作成することができたが、継続的な作成という点では今後も課題としていかなければならぬものである。
	3	・定期的なカンファレンスの実施 ・担当者会議への参加 ・曜日変更および利用回数変更希望時の調整 ・見守り対応 ・業務日誌作成 ・利用情報管理 ・家族支援の検討 ・職員に向けたケース検討の企画・運営・実施												3
備考	<p>評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)</p> <p>3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)</p> <p>1. 全くできていない</p>													

2018年度 デイサービスセンター四恩園全体計画

主管 通所介護課

目 的 (ねらい)	事業内容		実 績											
	月	事業内容	評価	評価内容										
根拠と目的、計画性を持ったアクティビティ・レクリエーションを推進します。アクティビティ・レクリエーションについては、お客様の意見を良く聞き、変化させていけるよう、柔軟性を持って取り組めます。	4	<行事> 誕生会・個別外出 運動レク・音楽レク・手芸	4	天候に恵まれずお花見ドライブは2日目のみの実施となり、敬老祭については実施曜日の関係で10月にずらすこととしましたが、その他については予定通り実施できた。										
	5	花見ドライブ 個別アクティビティ		4	天候に恵まれずお花見ドライブは2日目のみの実施となり、敬老祭については実施曜日の関係で10月にずらすこととしましたが、その他については予定通り実施できた。									
	6	華祭り シニアパソコン・エレクトロニクス・脳トレ (認知症予防運動)			4	天候に恵まれずお花見ドライブは2日目のみの実施となり、敬老祭については実施曜日の関係で10月にずらすこととしましたが、その他については予定通り実施できた。								
	7	行事 [納涼祭]				4	天候に恵まれずお花見ドライブは2日目のみの実施となり、敬老祭については実施曜日の関係で10月にずらすこととしましたが、その他については予定通り実施できた。							
	8	行事 [敬老祭]					4	天候に恵まれずお花見ドライブは2日目のみの実施となり、敬老祭については実施曜日の関係で10月にずらすこととしましたが、その他については予定通り実施できた。						
	9	行事 [敬老祭]						4	天候に恵まれずお花見ドライブは2日目のみの実施となり、敬老祭については実施曜日の関係で10月にずらすこととしましたが、その他については予定通り実施できた。					
	10	行事 [敬老祭]							4	天候に恵まれずお花見ドライブは2日目のみの実施となり、敬老祭については実施曜日の関係で10月にずらすこととしましたが、その他については予定通り実施できた。				
	11	紅葉狩りドライブ								4	紅葉狩りドライブについては準備が間に合わず、中止したが、敬老祭、餅つき、正月遊びについては予定通り実施することができた。			
	12	行事 [餅つき]									4	紅葉狩りドライブについては準備が間に合わず、中止したが、敬老祭、餅つき、正月遊びについては予定通り実施することができた。		
	1	行事 [正月遊び]										4	紅葉狩りドライブについては準備が間に合わず、中止したが、敬老祭、餅つき、正月遊びについては予定通り実施することができた。	
	2	行事 [正月遊び]											4	紅葉狩りドライブについては準備が間に合わず、中止したが、敬老祭、餅つき、正月遊びについては予定通り実施することができた。
	3	行事 [正月遊び]												4
備考	<p>※外出行事は集団外出・個別外出とも積極的に検討し、実施していく。</p> <p>運動レク：お客様全員が楽しみながら自然に身体を動かせるよう工夫する。</p> <p>音楽レク：童謡唱歌・カラオケを実施。ボランティア講師 黒田徹月(曜日AM)</p> <p>手芸レク：カレンダー、小物作り、ドリル等。ボランティア 小松様</p> <p>活花クラブ：偶数月の第2土曜日13:00頃より実施。ボランティア講師 高橋様</p> <p>絵手紙クラブ：毎月第2土曜日13:00頃より実施。ボランティア講師 北村様/グループ</p> <p>書道クラブ：毎月第4土曜日13:00頃より実施。ボランティア講師 平野様</p> <p>個別アクティビティ：福祉ボランティア 宮島様 (金曜日) / マッサージボランティア 橋本様 (木曜日)</p> <p>評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)</p> <p>3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)</p> <p>1. 全くできていない</p>													

2018年度 デイサービスセンター四恩園健康管理計画

主管 通所介護課

(ねらい)	目的		
	体調不良を早期に発見・対応し、他事業所・機関と連携することで、誰もが笑顔になることができる健康管理・相談・助言を実施します。 担当職員：早坂ひとみ・福岡裕子・荒居留美子・平輝子・桑原真澄江・担当介護職員		
計 画	月	事業内容	実 績
	4	健康チェック 到着時に血圧測定、一般状態の観察、睡眠・食事摂取状態等の生活状況の把握を行う 毎月1回体重測定を行う	計画通りに実施できている。気温や湿度をみながら熱中症・脱水症の注意喚起をこまめに行っている。
	5		
	6	生活(療養)相談・指導	
	7	生活や療養、疾病管理に関する相談や指導を行う	
	8	服薬管理 利用時の服薬・外用薬対応、薬歴管理を行う	
	9	健康管理についての啓蒙	
	10	季節ごとに発生しやすい感染症や体調不良に関する啓蒙(パンフレットの配布など)を行う	
	11	連携 定期受診時の援助また参考になるようにご家族、ケアマネージャーおよび各機関へ情報提供を行う 緊急時等については主治医に直接連携をとれる体制を作っていく	計画通りに実施できている。インフルエンザ等、冬期間に発生しやすい感染症に家族間感染以外で罹患したお客様がいなかったことは啓蒙活動と感染対策の成果と考えることができる。
	12		
	1		
	2		
3			
備考			

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 デイサービスセンター四恩園機能訓練計画

主管 通所介護課

(ねらい)	目的		
	お客様一人ひとりの生活機能が維持・向上するための評価と個別プログラムの策定・指導を行います。 各種評価・計画書を根拠と効果を伝えるための手段とできるように見直します。 担当職員：玉邑亜矢・機能訓練指導員・担当介護職員		
計 画	月	事業内容	実 績
	4	生活機能評価・計画立案 機能訓練指導員が中心となり、生活機能評価と個別計画の立案を行う。	
	5		
	6	生活機能訓練(個別機能訓練) 職員・ご家族等に評価結果と介助・支援のポイントを伝え統一した関わりを行うことができるようにすることでお客様一人一人が残存機能等を活用した生活を続けられることを目指す。	
	7		
	8	全職員が「デイサービス利用中のADL動作は全て生活リハビリである」という視点で介助・支援できるように、指導・連携を行っていく。	3
	9	各種体操 ラジオ体操、口腔体操、骨盤底筋運動、介護予防体操、等をそれぞれ担当職員が実施。	
	10	内容の変更・見直しは機能訓練指導員を中心とした多職種連携で行う。	
	11	他事業所との連携 機能評価後には結果の連絡や情報提供等を実施。	
	12		
	1		
	2		
3			
備考			

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 デイサービスセンター四恩園職員管理および研修計画

主管 通所介護課

目 的 (ねらい)	実 績	
	月	事業内容
お客様一人ひとりの真のニーズに応える事が出来るよう、またあらゆる症状の認知症ケースに対応可能とするために、全職員の知識・技術の向上を目指します。 担当職員 玉邑亜矢・川口晃弘	4	正職・準職会議 (報告・連絡・相談) (翌月予定検討) 四恩園全体研修 サービスネット研修 外部研修 (随時)
	5	全体会議・研修
	6	
	7	
	8	
	9	上半期評価
	10	
	11	全体会議・研修
	12	
	1	次年度計画
	2	下半期評価
	3	
備 考	正職・準職会議については一部かたると合同で実施。 冬期間(12月~2月)を除いて毎月全体会議・研修を実施することができた。法人全体研修やサービスネット研修等の参加率が低いため、次年度の課題としていきたい。	

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 デイサービスセンター四恩園車両管理計画

主管 通所介護課

目 的 (ねらい)	実 績	
	月	事業内容
・お客様一人ひとりが安心・安全にサービスをご利用頂けるよう、送迎車両の安全管理を実施すると共に、誰もが笑顔になる運転・運行を行います。 担当職員： 川口晃弘・齋藤己喜雄・米沼善信	4	タイヤ交換 オイル交換 エレメント交換
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	タイヤ交換
	11	
	12	
	1	
	2	
	3	1号車検
備 考	※各車両 5000kmごとにオイル交換、10000kmごとにエレメント交換。 (1号車・5号車は島松自動車、6号車はトヨペット、カローラはトヨタカローラ北広島店にて実施) ※先車および内部清掃は随時実施 ※管理課と連携していく	

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 デイホームさとみ事業計画

主管 通所介護課

重点事業方針	
○ お客様ひとり一人の人格の尊重と思いやり。	
○ お客様の医療にかかわる医院・医師と生活情報の交換	
○ さとみとお茶の間から住民と包括支援と結びつき	
重点事業項目	
1 生活歴を理解し、周りのお客様に配慮した適切なケア ・周囲の人を大切に思いやり、お客様も職員同士も	
2 ADL/IADLの違いを理化した食事形態、入浴方法 ・むせ込み予防体操と姿勢、食器の配置、食材の工夫	
3 一日の水分量を増やし、嗜好に合わせた飲食 ・アガターの有効活用で満足感も満たす。	
4 地域の結びつきでさとみを活用 ・お茶の庵から地域の一人暮らしの課題を包括支援と共有する	
5 訪問医師や入院院の対応 ・必要に応じて生活情報の交換	
6 介護職員初任者研修の受講 新規採用者	
【上半期評価】	【最終評価】
重点事業計画を基本に日常ケアの実施、食分量と水分量を重点に取り組む。本人の状況変化に伴い、GH転居、ロングショートのから特養入所、介護者の骨折で在宅が困難になるケースが多くなる。9月の地震からの停電により不穩行動の骨折で入院やさとみの給湯ボイラーの損傷で一部サービスに影響が出た。その後、いつもの家族の集いがホテルの修復も間に合い実施できた。家族の参加も多く交流できた。お茶の間の活動も傾調で支援センターの協力も多く地域の資源活用ができています。	スタートは利用者数も減少したが、他のお客様の体調も安定して年間利用がつかない。1~3月冬季は体調不良が複数あり利用が減少する。新任職員も初任者研修も終了し、年間を通して勤務体制がスムーズに運んだ。パート職員を中心に回っているが、情報を円滑に伝えることができたことも評価で切る。地域のつながりもお茶の間のメンバーが庭の雑草とりから畑仕事や不要の衣類を提供してくれるなど交流ができた。今後の課題として職員の高齢や施設の高齢化がみられることから戦力の更新も図らなければならぬ。お客様の受け入れも「家庭訪問で静かにおしゃべりしたい」、「少し散歩したい」など細かい「したいこと」に沿って行く。

2018年度 デイホームさとみ全体計画

主管 通所介護課

目 的	事業内容		実 績	
	月	事業内容	評価	評価内容
<p>○本人を中心に家族、各事業所と連携して生活を支える</p> <p>○計画的な運営で無理のない事業実施。</p> <p>○地域と協力しながら高齢者世帯とともに生きる</p>	4	施設内外の大清掃 (活動室清掃、植込み手入れ、) 車両整備 (タイヤ交換、破損修理) 通常デイサービス実施	4	環境整備実施 お茶の間メンバー庭整備
	5	書類整理 花壇野菜苗植込み 職員健康診断 花見外出 ぶれあかい公園 お茶の間	4	
	6	近郊散策・ドライブ 蕨庭・長沼・千歳	3	ドライブは混乱するケース多く見合わせ
	7	近郊散策・ドライブ 蕨庭・長沼・千歳 夏の行事 バーベキュー	4	大型スノーバーで夕食2回 流しそうめん・BBQ好評
	8	夏の行事 流しそうめん さとみ5/6丁目夏まつり	4	お茶の間メンバー種蒔準備 さとみ5/6丁目夏祭り参加
	9	敬老の祝い (クラッセホテル家族参加昼食会+曜日) 車両整備 推進会議	5	家族の集い 15名参加 地域によりボイラー損傷
	10	外回り清掃、冬囲い。車両整備 (タイヤ交換) 上半期評価	4	お茶の間メンバー種蒔準備 お茶の間メンバー庭本予定、冬囲い。
	11	インフルエンザ予防接種	4	実施
	12	餅つき クリスマス会	5	実施
	1	鍋屋食	4	実施
	2	節分 事業評価・次年度事業計画 地震防災訓練	4	実施 自主訓練
	3	桃の節句 祝い ご近所さんへ除雪お礼 (昼食弁当) 推進会議	4	実施 つるし職習学外出 後5/6階
備 考	お茶の間メンバーにより環境整備が滞り行われる。 推進会議→上期 10月実施 (日程調整により) 下期 3月実施予定			

評価基準: 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 デイホームさとみケアプラン計画

主管 通所介護課

目 的 (わら い)	事業内容	実績	
		評価	評価内容
	○身体機能の維持 生活行為の継続		
計 画	4 家族・ケアマネジャーとの連携、担当機関との連携 通所介護計画の更新 配布 おやつ週間 通常サービス実施 花見外出 ふれあい公園 他	4	
	5 近郊散策ドライブ おやつ週間	2	体調考慮で外出中止
	6 近郊散策 夏の行事 バーベキュー	2	
	7 近郊散策 夏の行事 流しそうめん	4	実施
	8 敬老の祝い 家族と一緒にの食事も クラッセ(案)	4	実施
	9 餅つき・Xmas	5	実施
	10 餅つき・Xmas	3	
	11 餅つき・Xmas	3	
	12 餅つき・Xmas	4	実施
	1 錦屋食 誕生祝い	4	実施
	2 節分 誕生祝い	4	実施
	3 桃の節句 誕生祝い	4	実施
備考	クラッセ家族の集いもホテルの修復も間に合い参加してほしい家族から寝ながらの話も聞くことができた。外出も同じ日の組み合わせ難くなる。今後の外出はより細かな計画が必要。施設内の行事は喜ばれるので継続し充実を図る。		

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
1. 全くできていない

2018年度 デイホームさとみ健康管理事業計画

主管 通所介護課

目 的 (わら い)	事業内容	実績	
		評価	評価内容
	○「上手に無理なく暮らすため」の細やかな観察と対応		
計 画	4 利用日ごとに健康管理 ・ 体温、血圧、全身状態(皮膚の状態、脱水)、体重測定 ・ 反応の変化 ・ 感染症予防 ノロウイルス インフルエンザ ・ 水虫の改善 ・ 家族の健康状態とストレスのみきわめ ・ 状態に応じた受診の勧め ・ 職員健康診断と必要な治療 ・ 職員のストレス・健康状態の見極めと対応 ・ 「食」へのアプローチ 体重減少の予防 (季節感のある屋食、おやつ、水分) ・ 便秘、不眠、 ・ 食前の口腔体操 食後の歯ブラシ全員 ・ 運動不足の解消 体操 ・ 合唱 ・ 里見緑地の散歩	4	大きなトラブルなし
	5	4	
	6	4	
	7	4	
	8	4	
	9	4	地域の看護士名入院 膝痛軽減 (職員)
	10	4	
	11	4	
	12	4	
	1	4	職員インフル罹患
	2	4	
	3	4	
備考			

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
1. 全くできていない

2018年度 デイホームかたる事業計画

主管 通所介護課

重点事業方針	
軽度者の方をターゲットとし、地域交流ホームふれてやボランティアと連携しながら地域の方を活用し「お客様お一人お一人の“やりたいこと”が“できる”ために」という視点で「自立支援」を目指していく。	
重点事業項目	
○転倒予防、認知症予防を軸とした魅力あるプログラムの検討・実施	
○お客様の“やりたいこと”を取り入れたプログラムの検討・実施	
○お客様同士、お客様と地域、事業所と地域が繋がりが、支え合える関係の構築	
○共生の理念やデイホームかたるの取り組みなどの啓蒙と発信	
○職員のスキルアップと業務内容の整理と改善	
【上半期評価】	【最終評価】
<ul style="list-style-type: none"> ・外出行事を月に1回実施(5月～8月)。お客様にもご好評いただいている。昨年度中止した買い物物外出も7月に行っている。 ・機能訓練ではOTによる個別リハの充実。来年度に向けて6月からバーセル評価も実施している。 ・地域とのつながりを強める取り組みとして、コンディショニング、ライフ&パワーアセスメント、レクリエーションの実施。各住区祭りのサポートと車椅子体験学習など職員が地域にできる機会も多かった。 ・全体会議に関しては時間外勤務の調整にて中止した月がなかった。下半期は予定通り実施予定。 ・業務改善に関しては、事業所内でできるものは会議で話し合い、都度変更。9月に静苑ホーム見学し、ソフト面から次年度にかけて計画的に相談し提案していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・下半期含め、予定していた行事等に関しては、中止することなく実施できた。喜ぶお客様の様子も多く見えて、軽度者が多かった特徴を活かし、外出行事の必要性を感じている。 ・機能訓練に関しては、ADL維持加算の算定条件は満たせなかった。お客様の入れ替わりもあるため、次年度以降も継続して評価は続けていく。1日5名程度OTによる機能訓練を実施。 ・業務改善内容に関しては、現場レベルで変更できるものを中心に会議で話し合い変更してきた経過があり、日常的に当たりまえに業務を行うのではなく、「考える」ことを伝え続け、少しずつ浸透してきている。次年度も計画に掲げ、お客様のためになること」と職員の働きやすさに繋げる視点を持って取り組んでいく。 ・趣向の準備が中、前年度とほぼ同額の収入となったが、支出が増えたため、マイナス決算となった。お客様の数でみると、前年よりも増え、個別ケアの必要なお客様も増え、下半期に3名の職員が退職した経過もある中、新規を増やし続けることができたのは、「職員個々の力がついてきたこと」と「業務改善による効果」だと評価できる。

2018年度 デイホームかたるお客様満足度向上計画

主管 通所介護課

目的 (ねらい)	事業内容		実績	
	月	事業内容	評価	評価内容
お客様が有する能力とやりたいことを「引き出す」「尊重する」「強化する」を目標に、お客様の在宅生活がいきいきと張りのある豊かな毎日となるよう身体面・精神面・社会参加面等の様々な側面から援助に努めます。	4	ふれてのミニ講座・手芸・カレンダー製作・作品展示・脳トレ・活性化ゲーム・レク活動、買い物外出	3	5月から8月の4ヶ月は外出行事を実施し、軽度者が多く能力の高いお客様が多かった。特色を活かし、残存機能を活かしながら楽しめる行事の多さはかたるの強みとして捉えている。7月は未定でしたが、人気が高い買い物物外出を実施している。
	5	外出行事(全体): お花見	5	
	6	外出行事(全体): 蕨狩り	5	
	7	外出行事(全体): 未定	5	
	8	外出行事(全体): あいすの家	5	
	9	敬老週間(3日間)	5	
	10	食事外出(選択)①	5	
	11	食事外出(選択)② お客様アンケート	2	お客様アンケート配布予定でしたが、実地指導時期と重なり、今年度は断念している。次年度に実施予定とする。その他、予定に関しては滞りなく実施できた。事故もなくお客様の満足度はたかかった。次年度は「豆まき」行事を追加予定。
	12	大忘年会週間(3日間)	5	
	1	外出行事(全体): 初詣	5	
2	今年度振り返り	5		
3	次年度目標設定	5		
備考	※アンケートは、お客様の声を大切に、準備が整い次第、新しいものにも挑戦する。ふれてのミニ講座もアンケートの1つと捉え参加を推奨していく(随時) ※かたるだよりを発行し、かたるの取り組みをお客様やご家族、関係機関に周知・啓蒙する。(毎月予定)			

評価基準: 5. 長くできている(期待した以上の成果が得られた) 4. できている(期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない(期待した成果が得られなかった) 2. できていない(見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 デイホームかたる地域とつながろう計画

主管 通所介護課

目的 (ねらい)	事業内容		実績	
	月	事業内容	評価	評価内容
計 画	4	・コンデイショントトレーニングやレクレーション、地域活動、日頃の関わりを通して、地域に向けた介護予防や認知症についての啓発・宣伝を行うことで、地域の方々とながかりを作り「支え、支えられる」関係性を構築していくことを目指します。 地域交流ホームふれととの連携を強化します。	4	予定通り実施できている。広報で活動を知った地域の方が7月よりレクレーションを見学、参加され、お手伝いさせてほしいと依頼あり。10月よりレクレーションのボランティアとしてかたるの事業にご協力いただいたこととなっている。
	5	屋外清掃	4	
	6	防火総合訓練	4	
	7	住区祭りへの協力	4	
	8	住区祭りへの協力	4	
	9	ふれてフェスティバル	5	
	10		5	
	11		5	
	12		5	
	1	雪かき交流祭り ともに運動会・地震訓練	5	
2		5		
3		5		
備考	※職員が、対象となる「お客様」の認識を広げ、地域の方を含め「お客様」として捉え、関わることで、地域に求められるデイサービスとしての発展を目指していく。 ※行事や介護予防のミニ講座等、ボランティアの参加を増やし、総合支援事業も見据えて組織化を目指していく。			

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 デイホームかたる相談援助計画

主管 通所介護課

目的 (ねらい)	事業内容		実績	
	月	事業内容	評価	評価内容
計 画	4	月末・月はじめ業務 ・当月実績表、利用表の作成 ・翌月利用予定表の確認 ・月ごとのお客様モニタリングの作成と報告 ・各居宅介護支援事業所等への訪問 (営業活動)	3	月によっては営業活動ができなかったが、コンスタントに新規・見学の依頼はきている状況。しかし、終了者も出ており、重度化した方が在宅から入所等で終了する流れが多かった。新規数は多いが利用率は横ばい傾向で経過している。計画書に関しては遅れているので下半期の課題とする。
	5		4	
	6		4	
	7	随時 ・新規利用時の受け入れ調整 ・新規利用前カンファレンスの実施 ・新規利用契約とリスクに関する説明 ・新規ケース情報および暫定計画書の作成 ・初回通所介護計画の作成 ・担当者会議への参加	4	
	8		4	
	9		3	
	10	曜日変更および利用回数変更希望時の調整 ・見学者対応 ・業務日誌作成 ・利用情報管理 ・関係機関への迅速な報告・連絡・相談 ・営業活動の検討・実施 (月1~2回)	4	
	11		4	
	12		5	
	1		5	
2		5		
3		5		
備考	※相談業務・地域支援関連の研修には積極的に参加し、個々のスキルアップに繋がります。 ※接遇や面接技術の向上に努め、信頼のある対応を目指します。 ※月に1度は居宅・支援センターへ出向き、サービスの周知・啓蒙活動を行います。			

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 デイホームかたる健康管理計画

主管 通所介護課

(ねらい)	月	事業内容	実績	
			評価	評価内容
お客様の体調変化や衰えつつある機能を早期に発見し、対応・助言することで、お客様の“やりたい”ことが継続できるような援助します。	4	健康チェック ・到着時に血圧・体温測定、一般状態の観察、睡眠・食事摂取・排泄等の生活状況の把握を行う。 ・1ヶ月に1回体重測定を行う。	3	予定通り感染予防の啓蒙(かたるだより)を配布している。職業が2件でしており、対応する職員間の情報伝達か課題といえる。共有できるシート作成し再発防止に努めている。帰宅前の手洗い、嗽がなかなか浸透しないことも課題といえる。
	5	生活(栄養)相談・指導 ・生活や療養、疾病管理に関する相談や指導を行う。	4	服用管理 ・利用時の服薬・外用薬対応、薬歴管理を行う。
	6	健康管理についての啓蒙 ・季節ごとに発生しやすい感染症や体調不良に関する啓蒙(パンフレットの配布など)を行う。(7月と12月2回予定)	4	感染症の予防に伴うご案内は予定通り配布することができた。単発のインフルエンザ等によるお休みは数名出たものの、感染拡大はなく、安定した運営に繋がった。
	7	連携 ・定期受診時の援助、また参考になるようご家族、ケアマネージャーおよび各機関へ情報提供を行う。	5	緊急時等については主治医に直接連携をとり、対応していく。
	8	連携 ・定期受診時の援助、また参考になるようご家族、ケアマネージャーおよび各機関へ情報提供を行う。	5	緊急時等については主治医に直接連携をとり、対応していく。
	9	連携 ・定期受診時の援助、また参考になるようご家族、ケアマネージャーおよび各機関へ情報提供を行う。	5	緊急時等については主治医に直接連携をとり、対応していく。
	10	連携 ・定期受診時の援助、また参考になるようご家族、ケアマネージャーおよび各機関へ情報提供を行う。	5	緊急時等については主治医に直接連携をとり、対応していく。
	11	連携 ・定期受診時の援助、また参考になるようご家族、ケアマネージャーおよび各機関へ情報提供を行う。	5	緊急時等については主治医に直接連携をとり、対応していく。
	12	連携 ・定期受診時の援助、また参考になるようご家族、ケアマネージャーおよび各機関へ情報提供を行う。	5	緊急時等については主治医に直接連携をとり、対応していく。
	3	連携 ・定期受診時の援助、また参考になるようご家族、ケアマネージャーおよび各機関へ情報提供を行う。	4	緊急時等については主治医に直接連携をとり、対応していく。
備考	※健康管理に関する新しい情報にはアンテナを張り、お客様にとってプラスになる情報には随時お伝えしていきます。			

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 デイホームかたる機能訓練計画

主管 通所介護課

(ねらい)	月	事業内容	実績	
			評価	評価内容
お客様の生活機能状態を把握するための評価を実施します。お客様が“やりたい”ことを継続できるための生活機能訓練を実施します。	4	生活機能評価 ・作業療法士の指導の下、また、多職種協同により、生活機能評価と個別計画の立案を行う。	5	パーセル評価を6月より実施。3ヶ月に1度の体力測定も実施。個別リハビリについても、OTを中心に1日5~7名をできる範囲で対応している。計画書も作成を進めている状況。
	5	生活機能訓練(個別機能訓練) ・お客様ご自身が残存機能等を意識して動作を行っていたり、体験中の姿勢改善、生活上での動作訓練・動作指導を中心とした訓練を実施する。	5	全職員が「デイサービス利用中のADL動作は全て生活リハビリである」という視点で介助・支援できるように、職員への指導・連携を行っていく。
	6	認知症予防 ・脳トレの実施。 ・脳活性化ゲームの実施。	5	計画書に関しては、OT中心に作成し、選り取り戻している。個別リハビリも上半期同様継続中、「かたるでもリハビリをしてくれる」とのお客様から実感としてのお声も聞かれるようになった。OTが休みの時にリハビリが実施できないという課題があり、次年度取り組むこととする。
	7	介護予防(集団)リハビリ体操 ・口腔体操、コンディショントレーニング、手指足趾エクササイズ、軽体操をそれぞれ担当職員が実施。	5	介護予防(集団)リハビリ体操 ・口腔体操、コンディショントレーニング、手指足趾エクササイズ、軽体操をそれぞれ担当職員が実施。
	8	機能評価 ・極力、開眼片足立ち・下肢筋力の評価を3ヶ月1回行う。月に1週「評価週間」を作り取り組む。	5	他事業所との連携 ・機能評価後には結果の連絡や情報提供等を実施する。
	9	他事業所との連携 ・機能評価後には結果の連絡や情報提供等を実施する。	5	他事業所との連携 ・機能評価後には結果の連絡や情報提供等を実施する。
	10	他事業所との連携 ・機能評価後には結果の連絡や情報提供等を実施する。	5	他事業所との連携 ・機能評価後には結果の連絡や情報提供等を実施する。
	11	他事業所との連携 ・機能評価後には結果の連絡や情報提供等を実施する。	5	他事業所との連携 ・機能評価後には結果の連絡や情報提供等を実施する。
	12	他事業所との連携 ・機能評価後には結果の連絡や情報提供等を実施する。	5	他事業所との連携 ・機能評価後には結果の連絡や情報提供等を実施する。
	3	他事業所との連携 ・機能評価後には結果の連絡や情報提供等を実施する。	5	他事業所との連携 ・機能評価後には結果の連絡や情報提供等を実施する。
備考	※ふれてミニ講座「ライブ&パワーアセスメント」については職員2名以上でサポートします。			

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 デイホームかたる会議および研修計画

主管 通所介護課

目 的 ね ら い	事業内容		実績	
	月	事業内容	評価	評価内容
介護技術・接遇・その他個々に必要な力の底上げを図ることで、対応力の統一化を目指します。 観察力・コミュニケーション能力・企画力の向上を図ることで、かたる全体の業務改善を目指します。	4	かたる正職/全体会議 (報告・検討事項協議) (研修内容の検討)	5	5~8月予定していた 全体会議は法人内研修 等の多さから中止。子 育て世代のパート職員 が多いため時間外勤務 はバランスをとって実 施。正職会議を中心に 連絡ノート等で伝達し た。9月より予定通り 実施している。
	5	介護基礎研修① 外部研修 職員伝達講習 (随時)	3	
	6	介護基礎研修②	3	
	7	介護基礎研修③	3	
	8	介護基礎研修④	3	
	9	敬老会打ち合わせ・上半期の反省	5	
	10	感染対策の研修	5	法人全体研修に関し ては、急な用事がない 限り基本的な全員参 加が可能となってい る。事業所における正 職会議は滞りなく毎 月実施できたが、事業 所内の全体会議にお いては、12月以降は は職員連絡ノート 等を活用し、伝達する こととしている。
	11	虐待・身体拘束 プライバイシー配慮	5	
	12	忘年会行事の打ち合わせ	4	
	1		3	
	2		3	
	3	下半期の反省	3	
	備考	※かたる職員全体会議 研修 (毎月第2木曜日。1月2月3月は未定)。 ※全体会議 研修の前には正職会議を実施し、会議 研修内容を検討する。		

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 デイホームかたる車輛管理計画

主管 通所介護課

目 的 ね ら い	事業内容		実績	
	月	事業内容	評価	評価内容
お客様が安心、安全にサービスを利用できるよう、送迎車輛の安全管理・運行を行います。 車輛事故によるリスクの周知・徹底に努めます。	4	タイヤ交換 (摩耗状態の確認) 洗車	4	車輛事故2件発 生。安全確認ミス によるもので、添 乗職員と協力した 対応をすること統 一。点検や清掃は 運転技術員を中心 に随時対応。
	5	オイル交換 エレメント交換 車両点検	4	
	6		4	
	7		4	
	8		4	
	9		4	
	10	タイヤ交換 (摩耗状態の確認) 洗車 2号車車検	4	
	11	安全運転研修会	4	
	12	洗車3回	4	大きな事故なく、 交換修理等対応は なかった。洗車に 関しては、運転技 術員中心に対応 し、冬期間はエネ オスで洗車対応し ている。
	1	洗車3回	4	
	2	洗車3回	4	
	3	洗車3回	4	
	備考	※毎朝車輛点検の実施。 ※乗車毎に安全運転標語の確認。 ※各車輛 年間2回オイル交換、年間1回エレメント交換。(トヨペットにて実施) ※洗車および内部清掃は随時実施。		

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 地域交流ホームふれて事業計画

主管 地域交流ホームふれて

重点事業方針

「人と人をつながり（ふれてかたる）から生きることの喜びを知らう！！」

人が生きることの究極の目的は、一人ひとりの人格が尊重され尊厳が保持されること
あります。ふれては、子供・高齢者・障がい児者など、地域住民一人ひとりがつながるこ
とによって、お互いを尊重し尊厳をもって安心して生活のできる豊かな地域社会となるよ
うその実現を目指します。

重点事業項目

- 共生の理念のもと、地域の方が数多く集い、積極的に交流できる場になります。
(平成30年度目標：毎月の来場者数平均800人を継続します。)
- ふれて市民スタッフを増やし組織化します。
(平成30年度目標：市民スタッフ数を70人にします。)
- 地域住民・社会資源・関係機関と連携し、地域力を高め、地域を考える場になります。
(平成30年度目標：認知症の方やその家族の方も安心してくつろげる場所を提供します。)
- 情報の発信と相談対応により、不安を解決できる場になります。
- 北広島団地区の資源・象徴として、建物管理や環境整備を行います。

【上半期評価】

▶ 共生の理念による交流
9月末での来場者数が5,190名(ひと月の平均来場者数が865名)となっています。目標の月平均800名の継続ができ目標達成となりました。
喫茶コーナー、キッズコーナー、イベントやミニ講座を通して、世代を超えた交流が実現しており、今後も、ふれてを活用して下さる地域の方一人ひとりが顔の見えるつながりをつくることができるよう、そしてそのつながりがお互いを支え合えるよう市民スタッフを中心に取り組んでいきます。
▶ 市民スタッフの組織化
スタッフが増えました。また、市民スタッフとしての登録はしていないものの、ふれての取り組みに協力している地域の方々も多くいます。
コンディショニングトレーニングの継続により、参加者同士のグループが連なっています。住民参加者と職員とお来会開催や、日頃の交流から顔の見えるつながりが少しずつ出来上がっており、馴染みの参加者がトレーニングの準備・片付けを自主別に行っています。また、2階アイサビスの外出行事ボランティアにも参加しています。

【最終評価】

▶ 共生の理念による交流
3月末での年間来場者数が9,742名(ひと月の平均来場者数が812名)となっています。目標の800名を上回りました。
喫茶コーナーの継続運営やミニ講座の開催、イベントの検討・実施など、市民スタッフの積極的・主体的活動と、アイホームがたるのコンディショニング、レクレーション、ライフ&ウェルアセスメントなどにより、ふれての機能がさらに地域に周知されてきています。
▶ 中でものづくり、情報発信系のミニ講座は25回開催で311名の来場がありました。
▶ 今後もふれてを拠点としたこれらの取り組みを継続し、住民の積極的参加による、地域の人と人とのつながりづくりを進めさせていただきます。
▶ 市民スタッフの組織化
下半期新たなスタッフの加入がありました。現在のスタッフ数は65名。70名の目標数には届いていませんが、イベント、ミニ講座、ワークショップなどのふれての取り組みに協力していただいた地域の方々、道都大学生を含めると100名を超えています。今後もふれて通信を活用した市民スタッフ募集を継続して行きます。
▶ 地域力の向上
喫茶コーナーやキッズコーナーの運営、イベントや講座の

2018年度 デイホームかたる建物・備品管理計画

主管 通所介護課

目 (わらい)	事業内容	実績	
		評価	評価内容
	担当職員：吉田匡貴		
	建物も8年目を迎え老朽化が懸念される中、お客様が安心・安全にサービスを利用できるよう、建物・備品の安全管理を行います。		
計 画	4 車椅子点検 (毎月実施)	3	震災によるダメージ箇所の確認。必要性の高い場所から相談し修繕していく予定。消耗品に関しては8年目ということもあり破損が増えてきているが、随時相談し購入していく。
	5	3	
	6 書類関係整理	3	
	7	3	
	8 拠点合同会議	4	
	9 倉庫整理	3	
	10	4	12月に震災によるダメージ箇所の修繕はすべて完了している。壁のクロスのひび割れが増えてきており、ハウスキーピング等で確認し、修繕時期等は調整中。
	11	4	
	12	4	
	1	4	
備 考	2 拠点合同会議	4	地震訓練時に、ふれて備蓄品の確認を行い、建物に何が保管されているのか確認している。
	3 倉庫整理	4	
	※月1回ハウスキーピングを実施。 ※修繕に関して計画を立てて相談の上で対応していく。 ※修繕に時間がかかる場合は、その間のリスク対策について考える。 ※今年度中に洗濯機2台交換予定。故障時に対応する。 ※地域交流ホームふれて・みなみ高齢者支援センターとの連携。		

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
1. 全くできていない

2018年度 地域交流ホームふれて全体計画

～共生の理念のもと、地域の方が数多く集い、積極的に交流できる場になります～

目的		主管 地域交流ホームふれて	
ねらい	事業内容	実績	評価
<p>地域の課題を解決するワークショップの継続により、道都大学生・白樺2丁目自治会との連携で、市民スタッフを中心に、地域の課題解決に向けた『雪かき交流まつり』を継続開催することができました。</p> <p>今後はワークショップの場を活用し、市民スタッフ、住民、道都大学、その他の団体と協力・連携しながら、ふれて取組みの活動参加とその財源を活用することにより、一人で達成できなかった地域の課題解決に向かつて取り組んでいきます。地域の課題解決という目標に向かって、具体的な仕組みをつくることから出来るようコーディネートしていきます。</p> <p>▶情報発信と相談対応 市民スタッフ、かたる職員、支援センター職員とのつながりにより、地域交流ホームふれて全体が、一人暮らしの方や介護者など、地域の方々にとっても安心して暮らせる場、相談できる場になっています。今後も、話したい時に話せる、人に会いたい時に会える憩いの場や、気軽に相談しやすい場を市民スタッフ・みなみ高齢者支援センター・デイホームかたると連携してつくっていきます。</p> <p>毎月1日発行しているふれて通信とブログを活用し、イベントや講座開催の情報を中心に発信しました。</p> <p>▶建物管理と環境整備 ふれて及び、サブセンターの環境整備については、ふれて市民スタッフ、白樺2丁目自治会、四恩園の各事業所の協力・連携により、計画通り実施できました。修繕箇所の発見や環境整備への意識が上がっています。</p>	<p>ふれて市民スタッフの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 喫茶コーナーの運営 地域のお茶の間の協力 ふれて市民スタッフミーティング ふれて監査 ガラス清掃 ワークショップへの参加 ガーデニングの実施 雑入形、五月人形飾り付け イベント『吉川よしのちろちろコンサート』開催 ふれてフェスティバル2018の企画・開催 イベント『トリムコースの鳥と花を楽しむ』『チェロコンサート』『ドラマコンサート』『歌声喫茶』の企画・開催 ランチ会の開催 葛刈りへの協力 防火訓練への参加 まーぶるひろば 子どもフェスタ こども将棋教室 こども食堂 プレママカフェ 心結カフェ ミニ講座『カーネーション』『世界遺産』『カード入れ』『高血圧』『お口のケアの大切さ』『手作り味噌』 喫茶コーナーの運営 地域のお茶の間の協力 ふれて市民スタッフミーティング イベント『ふれてそばの日』 ワークショップへの参加 クリスマスツリー飾り付け ふれて忘年会 イベント『ふれてクリスマス』『ふれて餅つき大会』『ふれて桜かたる大会』『雪かき交流まつり2019』 ふれて大掃除 ミニ講座『感染症対策』『中神作り』『雪かきの正しい方法』『在宅介護サービス』『世界遺産』 ランチ会の開催 まーぶるひろば こどもフェスタ こども将棋教室 こども食堂 プレママカフェ 心結カフェ 地域指定訓練への参加 	<p>9月末での来場者数が5,190名。ひと月の平均来場者数が865名で、目標の月800名を上回りました。</p> <p>子育て世代を中心に、新たなメンバーも加わって交流が活発化しており、乳幼児を介した世代の異なるつながりができています。また、子育て世代の発案による妊婦中の母親との交流を目的としたプレママカフェも継続しています。</p> <p>ワークショップを開催し、地域の生活課題を解決するために、市民スタッフ・住民・企業・福祉事業者・大学生と意見交換をすることができました。自分たちで出来ることから始めよう。をスローガンに、ベンチ設置、ふれてフェスティバル2018企画、居たの出店など活動しました。</p> <p>子ども食堂も継続しています。市民スタッフのつながりからこどもだけでなく多世代の利用がありました。</p>	<p>5</p> <p>《上半期》 3月末での年間来場者数が9,742名。ひと月の平均来場者数が812名で、目標の月800名を上回りました。喫茶コーナーの継続運営や、イベントの検討・実施など、市民スタッフの積極的・主体的活動と、デイホームかたるのコンディショントレーニングの継続、レクレーション、ライブ&パフォーマンスメントなど、四恩園各事業所が実施しているミニ講座により、ふれての機能が少しずつ地域に周知されてきていると考えます。</p> <p>《下半期》 3月末での年間来場者数が9,742名。ひと月の平均来場者数が812名で、目標の月800名を上回りました。喫茶コーナーの継続運営や、イベントの検討・実施など、市民スタッフの積極的・主体的活動と、デイホームかたるのコンディショントレーニングの継続、レクレーション、ライブ&パフォーマンスメントなど、四恩園各事業所が実施しているミニ講座により、ふれての機能が少しずつ地域に周知されてきていると考えます。</p> <p>地域の課題を解決するワークショップの継続により、道都大学生・白樺2丁目自治会との連携で、市民スタッフを中心に、地域の課題解決に向けた活動『雪かき交流まつり』を継続開催することができました。</p> <p>みなみ高齢者支援センター主催の心結の会とメンバーとともに、心結カフェも継続して認知症の方・その家族、地域の方との交流の機会を提供していきます。</p> <p>今後もふれてを拠点としたこれらの取組みを継続し、住民の積極的参加による、地域の人々とのつながりがつくりを進めていきます。</p>

<p>地域のお茶の週 ・テアノサックス ・ポップスバンド ・サックス&ピアノ ・歌声喫茶</p> <p>《上半期》 地域のお茶の間と連携して実施しています。毎回、音楽を中心としたイベントを開催しており、50名～100名程度の来場者があります。四恩園お茶さまの遊子サービス、デイホームかたらのイベント参加の機会にもなっており、地域住民との交流が実現しています。また、この機会に初めてふれてに登場する方も多く、ふれてを知ってもらおうきっかけにもなっています。</p> <p>《下半期》 上半期同様、地域のお茶の間実行委員会と連携して実施しています。1年間で630名の参加がありました。今後も参加者間の交流が積極的なものになるよう考えて行きたいと思えます。</p>	<p>5</p> <p>パンド演義・JICAの国際交流 セラピー大 マジックショー ウクレレ ボードゲーム パトリオンとアコギディオン</p>
<p>《上半期》 デイホームかたらの毎週5日コンデンショントレニングを継続実施しています。9月末で1,047名の地域住民が参加しています。住民参加者とお客さま、職員との日頃の交流から顔の見えるつながりが少しずつ出来ており、馴染みの参加者がトレーニングの準備・片付けを自主的に行っています。職員による福祉のミニ講座を開催することができました。</p> <p>《下半期》 デイホームかたらの毎週5日コンデンショントレニングを継続実施しています。9月末で1,047名の地域住民が参加しています。住民参加者とお客さま、職員との日頃の交流から顔の見えるつながりが少しずつ出来ており、馴染みの参加者がトレーニングの準備・片付けを自主的に行っています。職員による福祉のミニ講座を開催することができました。</p>	<p>4</p> <p>ニニ講座 ・コンデンショントレニング (1,047名) ・いまいき百歳体操 (584名) ・カーネーションづくり ・世界遺産 (5回) ・カード入れづくり ・高血圧について ・手作り味噌 ・お口のケアの大切さ ・地域の生活課題を考えるワークショップ (ちーむとる) ・レクレーション ・ライフ&パワーアセスメント</p> <p>・コンデンショントレニング (1,018名) ・いまいき百歳体操 (547名) ・感染症対策 ・味噌作り ・雪かきの正しい方法 ・在宅介護サービス ・世界遺産 ・地域の生活課題を考えるワークショップ ・レクレーション ・ライフ&パワーアセスメント</p>
<p>《上半期》 毎月1回開催しています。このつながりによりイベントの無い平日にも連絡を取り合い積極的な交流が実現しています。</p> <p>《下半期》 1年間で88名の親子が参加しました。昨年度から比べるに参加者の数が増えています。イベントの無い平日に連絡を取り合い、積極的な交流が実現しています。</p>	<p>4</p> <p>ふれてまーぶるひろば (子育て支援センターあいあいとの連携)</p>
<p>《上半期》 毎月1回、第1住区～第4住区地区の道新・毎日新聞約4,200世帯に折り込んでいます。今後もふれて通信を活用し、ふれての取り組み、ふれての共生の理念を啓蒙していきます。</p> <p>《下半期》 ふれての取組み、住民の主体的活動を中心に情報発信しました。今後も四恩園の取組みを地域に伝え</p>	<p>5</p> <p>ふれて通信発行</p>

<p>て行く役割も行っていきます。</p> <p>《上半期》 ふれて通信、開館日情報など、色々な情報を定期的に載せることが出来ています。少しずつふれての取組みが周知されてきていると感じています。</p> <p>《下半期》 ふれて通信、開館日情報など、色々な情報を定期的に載せることが出来ています。また、職員募集などの情報も発信しています。</p>	<p>5</p> <p>ふれてホームページ (ブログ)</p>
<p>《上半期》 四恩園事業所の取組み ・コンデンショントレニング (1,047名) ・ふれてダンスプロジェクトFDP ・地域の生活課題を考えるワークショップ ・白樺2丁目祭り参加 ・ふれてフェスティバル2018</p> <p>《下半期》 ・コンデンショントレニング (1,018名) ・ふれてミニ講座 ・雪かき交流まつりへの参加・協力 ・地域の生活課題を考えるワークショップ ・心結カフェ ・ふれて忘年会への参加 ・レクレーション ・ライフ&パワーアセスメント</p>	<p>5</p> <p>白樺2丁目自治会との連携 ・ゴミ拾い参加 ・花壇づくり参加 ・白樺2丁目祭り参加 ・ふれてフェスティバル2018への協力 ・白樺2丁目女性部講座 ・白樺2丁目自治会役員会開催 ・地域の生活課題を考えるワークショップへの参加 (ちーむとる)</p> <p>・ふれて忘年会への参加 ・白樺2丁目自治会総会・交流会の開催 ・雪かき交流まつりへの参加・協力 ・地域の生活課題を考えるワークショップへの参加</p>
<p>《上半期》 ふれては白樺2丁目自治会に加入しており、地域行事や各部会の取り組みに積極的に参加・協力しました。その他にも日頃より、喫茶コーナー、キッズコーナー、コンデンショントレニングなどの利用を通してつながりが出来てきています。そのため、ふれてフェスティバル2018スタッフとして、自治会の方々が協力していただけました。また、ワークショップを通して、地域の生活課題の解決に向けて一緒に考え、活動することができました。</p> <p>《下半期》 ワークショップをはじめ、イベントの参加・協力の継続により、つながりが強くなっていきます。自治会役員の交代後も、旧役員との交流も続いていきます。又、雪かき交流まつりで除雪活動を一緒に行うなど、地域の課題にも協力して取り組むことができました。地域に求められ資源として、今後も連携を密にした活動を継続していきます。</p>	<p>5</p> <p>《上半期》 その他取組み ・防災訓練 ・地域想定訓練</p>
<p>《上半期》 その他取組みを通して、ふれての理念を啓蒙するともに、ふれての場を活用した積極的な交流とつながりづくりを進めます。</p> <p>《下半期》 上半期のふれて防災訓練は、かたらのお客さま、市民スタッフ、地域の方、職員で実施することができました。</p> <p>《下半期》 地域想定訓練も、かたらのお客さま、市民スタッフ、地域の方、職員と一緒に実施することができました。</p>	<p>5</p>

2018年度 ふれて市民スタッフ組織化計画

～ふれて市民スタッフを増やし組織化します～

主 管 地域交流ホームふれて

ふれての理念を理解したふれて市民スタッフがお互いにつながっていく、そして仲間を誘い増えていくことが、安心して生活のできる豊かな北広島団地をつくることにつながることを意識します。

そのためにも、喫茶コーナーやキッズコーナー、ふれて通信、イベントなどの企画・運営の際には、ただ単に楽しく盛り上がるだけでなく、①ふれての取り組みを説明し、ボランティアを募ります。②子供、子育て世代、高齢者、障がい児者等の参加と交流を養育の視点で考えていきます。

(ねらい)		
-------	--	--

事業内容	実 績	評価
<p>ふれて市民スタッフの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喫茶コーナーの運営 ・地域のお茶の贈り物の協力 ・ふれて市民スタッフミーティング ・ふれて監査 ・ガラス清掃 ・ワークショップへの参加 ・ガーデニングの実施 ・難入形、五月人形の飾り付け ・イベント『吉川はしひろちェロコンコンサート』 ・ふれてフェスティバル2018の企画・開催 ・イベント『トリムコースの鳥と花を楽しもう』 ・ランチ会の開催 ・草刈りへの協力 ・防火訓練への参加 ・まーぶるひろば ・子どもフェスタ ・子ども習字教室 ・子ども食堂 ・プレママカフェ ・心結カフェ ・ミニ講座『カーネーション』『世界遺産』『カード入れ』『高血圧』『お口のケアの大切さ』『手作り味噌』 ・喫茶コーナーの運営 ・地域のお茶の贈り物の協力 ・ふれて市民スタッフミーティング ・イベント『ふれてそばの日』 ・ワークショップへの参加 ・クリスマスツリー飾り付け ・ふれて忘年会 ・イベント『ふれてクリスマス』『ふれて餅つき大会』『ふれて板かるた大会』『雪かき交流まつり 2018』『ドラムコンサート』 ・ふれて大掃除 ・ミニ講座『感染症対策』『味噌作り』『雪かきの正しい方法』『在宅介護サービス』『世界遺産』 ・ランチ会の開催 ・まーぶるひろば ・子どもフェスタ ・子ども習字教室 ・子ども食堂 ・プレママカフェ ・心結カフェ ・地域認定訓練への参加 	<p>《上半期》</p> <p>スタッフ数は現在64名です。市民スタッフとしての登録はしていないものの、ふれての取り組みに協力していただいている地域の方々も多くいます。</p> <p>ワークショップの開催で、日常生活の困りごとなどの地域の課題解決に向け、市民スタッフ・住民・福祉事業者・道都大と考えることができました。</p> <p>今後もワークショップ・イベント・ミニ講座を通じて、各世代のスタッフ募集を継続することともに、地域の課題に目を向けた具体的活動内容・方向性について検討していきます。そして、ふれて市民スタッフの役割・機能を少しずつ構築していきます。</p> <p>子ども食堂もスタートから2年が経ちました。孤食を克服なくさされていることから高齢者までを迎え入れています。新聞の地域版にも掲載され、企業や個人から食料や食料品の協賛が継続されています。</p> <p>《下半期》</p> <p>下半期に新たなスタッフの加入がありました。現在のスタッフ数は65名、70名の目標数には届いていませんが、イベント、ミニ講座、ワークショップなどのふれての取り組みに協力していただいた地域の方々、道都大学生を含めると100名を超えています。</p> <p>今後もふれて通信を活用した市民スタッフ募集を継続して行きます。</p> <p>今後はワークショップの場を活用し、市民スタッフ、住民、道都大、その他の団体と協力・連携しながら、ふれて取組みへの活動参加とその財源を活用することにより、個人、一団体のみでは達成できなかった地域の課題解決に向かって取り組んでいきます。地域の課題解決という目標に向かって、組織の壁を超えた、上下関係のない、新たなチームをつくっていくことができよう、ワークショップ検討委員会と連携しながらコーディネートしていきます。</p>	5

- 評価基準:
5. 長くできている (期待した以上の成果が得られた)
 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった)
 2. できていない (期待した成果が得られなかった)
 1. 全くできていない

備 考

<p>地域の若者の声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テナーサックス ・ボップス/バンド ・サックス&ピアノ ・歌唱喫茶 ・バンド演奏・JICAの国際交流 ・セラピー犬 ・マジックショー ・ウクレレ ・ボードゲーム ・パトリトピアオーディオン 	<p>5</p>	<p>《上半期》 地域の若者の声の期間開催の際は、市民スタッフも積極的に協力して行うことができました。今後も継続していきます。</p> <p>.....</p> <p>《下半期》 地域のお茶の時間開催の際は、市民スタッフも積極的に協力して行うことができました。今後も継続していきます。</p>
<p>三三講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンディショントレーニング (1, 047名) ・いきいき百歳体操 (584名) ・カーネーションづくり ・世界遺産 (5回) ・カード入れづくり ・高血圧について ・手作り味噌 ・お口のケアの大切さ ・地域の生活課題を考えるワークショップ (ち〜むととる) ・レクレーション ・ライフ&バワーセッション ・コンディショントレーニング (1, 018名) ・いきいき百歳体操 (527名) ・感染症対策 ・味噌作り ・雪かきの正しい方法 ・在宅介護サービス ・世界遺産 ・地域の生活課題を考えるワークショップ ・レクレーション ・ライフ&バワーセッション 	<p>4</p>	<p>《上半期》 コンディショントレーニングの継続により、参加者同士のグループ化が進んでいいます。住民参加者と職員とお茶会開催や、日頃の交流から顔の見えるつながりが少しずつ出来上がっており、馴染みのある参加者がトレーニングの準備・片付けを自主的に実行しています。また、2階ダイナーの外出行事に参加・協力いただいています。</p> <p>ワークショップを通じて、道都大学生との協力を削がれずつづいて来ています。</p> <p>.....</p> <p>《下半期》 デイホームかたるによるコンディショントレーニングは、1年間で2,065名の参加がありました。参加者同士のつながりも出来ており、トレーニング前の準備・片付けや、暖茶の淹れ物も手伝ってくれています。</p> <p>ワークショップを通じて、道都大学生との協力を削がれずつづいて来ています。市民スタッフの企画で道都大学生の参加継続を促す目的で、雪中焼肉を行うなど、市民スタッフに地域の社会資源を育む活動が促ってきています。</p>
<p>ふれてまーぶるひろば (子育て支援センター・かいあいとの連携)</p>	<p>5</p>	<p>《上半期》 定期的開催を継続しており、子育て世代のつながりが出来ています。</p> <p>.....</p> <p>《下半期》 定期的開催を継続しており、子育て世代のつながりが強くなってきています。ミニ講座、イベントの提案・実施など積極的な活動につながっています。</p>
<p>ふれてまーぶるひろば (子育て支援センターの活動の様子・募集)</p>	<p>5</p>	<p>《上半期》 市民スタッフの楽しそうな活動の様子を掲載し、募集も行っています。今後も継続します。</p> <p>.....</p> <p>《下半期》 市民スタッフの楽しそうな活動の様子を掲載し、募集も行っています。今後も継続します。</p>
<p>ふれてまーぶるひろば (ブログ)</p>	<p>5</p>	<p>《上半期》 市民スタッフの楽しそうな活動の様子を掲載し、募集も行っています。今後も継続します。</p> <p>.....</p> <p>《下半期》 市民スタッフの楽しそうな活動の様子を掲載し、募集も行っています。今後も継続します。</p>

<p>備考</p>	<p>その他取り組み ・防火訓練 ・地震想定訓練</p>	<p>5</p>	<p>募集も行っています。今後も継続します。 《下半期》 市民スタッフの楽しそうな活動の様子を掲載し、募集も行っています。今後も継続します。</p>
-----------	--------------------------------------	----------	--

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
1. 全くできていない

2018年度 地域力向上計画

～地域住民・社会資源・関係機関と連携し、地域力を高め、地域を考える場になります～

主 管 地域交流ホームふれで

目 的 (ねらい)	事業内容	実 績 評価	評価内容
<p>イベント、ミニ講座やふれでの取り組みの企画・運営などを通して、ふれで市民スタッフ・地域の方々・白樺2丁目自治会・地域の企業・道都大学生・四恩園職員・その他関係機関が連携し、共に学び、共に考え、地域力を高めることができる場になります。また、この連携を生かし地域の生活課題の解決にむけて共に考える機会をつくります。</p>	<p>ふれで市民スタッフの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 喫茶コーナーの運営 地域のお茶の間の協力 ふれで市民スタッフミーティング ふれで監査 ガラス清掃 ワークショップへの参加 ガーデニングの実施 難入形、五月人形の飾り付け イベント『吉川よしひろチエロコンサート』 ふれでフェスティバル2018の企画・開催 イベント『トリムコースの鳥と花を楽しもう』 ランチ会の開催 草刈りへの協力 防火訓練への参加 まーぶるひろば こどもフェスタ こども将棋教室 こども食堂 プレマカフェ 心結カフェ 	<p>《上半期》</p> <p>ふれでフェスティバル2018の企画・実施において、白樺2丁目自治会・サブセンターを中心とした企業、ふれで市民スタッフ・四恩園職員が連携して、地域の方々の主体的参加とつながりを目的に共に考え、活動することができました。</p> <p>継続している地域の生活課題を解決するワークショップの中で、白樺高等学校と連携により市民スタッフ・住民・白樺2丁目自治会・福祉事業者・道都大学生とベンチを地域に設置しました。今後も日常生活の困りごとなどの地域の課題解決に向け、ワークショップでのつながりを生かして、向かっているのかが考えていきます。</p> <p>夏休みに合わせて子ども夏フェスを開催しました。地域の方が自分の得意分野で講師になり新しいつながりができました。</p> <p>認知症の方やそのご家族さんがくろろろげる場所として、喫茶コーナーでの交流が見られることもありましたが、市民スタッフだけでなく心結の会(家族会)と協力しながらより具体的な方法を考えていきます。</p>	<p>《下半期》</p> <p>ワークショップの継続により、市民スタッフ、白樺2丁目を中心とした住民、道都大学生、福祉事業者間のつながりも強くなっており、地域の課題解決に向けた活動『雪かき交流まつり2019』を継続開催することができました。今後もワークショップを通して、地域の課題に目を向けた取り組みを行っていきます。</p> <p>ふれでもった方の来場、イベント等への参加が少なかったため、今後は参加を促す工夫をして行きます。そして少しでも練習を持った方に対する理解を深め、共に地域の課題に目を向けた取り組みを行っていきます。</p> <p>地域の問題解決という目標に向かって、具体的な仕組みをつくることのできるようコーディネートしていきます。</p> <p>喫茶コーナーでは、かたにこに誘われていた認知症のお客様を市民スタッフが戸惑いなく対応して行きます。これは「認知症サポーター養成講座」を受講し認知症の知識を正しく習得した結果です。今度も、認知症の方をはじめ来生の理念でより良いお客様でも受け入れられる体制を整えます。</p>

計 画

<p>《上半期》</p> <p>地域のお茶の間の際は、市民スタッフも協力して行うことができました。今後は継続していきます。また、これをきっかけに初めてふれでに来る方も多く、新たなつながりがづくりの窓口になっています。</p> <p>《下半期》</p> <p>地域のお茶の間の際は、市民スタッフも協力して行うことができました。今後は継続していきます。</p> <p>イベント型の取組みにより、新たな来場や、ふれでの周知につながっています。今後は参加者同士の交流も活発化するように取り組みも協力して考えていきます。</p>	<p>5</p> <p>地域のお茶の間</p> <ul style="list-style-type: none"> テナーサックス ポップスバンド サックス&ピアノ 歌謡喫茶 <p>.....</p> <ul style="list-style-type: none"> バンド演奏・JICAの国際交流 セラピー犬 マジックショー ウクレレ ボードゲーム パリトんとアコディオン 	<p>《上半期》</p> <p>デイホームかたるの毎週5日コンディショントレーニングを継続実施しています。9月末で1,047名の地域住民が参加しています。住民参加者と職員とのお茶会開催や、日頃の交流から顔の見えるつながりが少しずつ生まれつつあり、馴染みの参加者がトレーニングの準備・片付けを自主的に行っています。</p> <p>.....</p> <p>《下半期》</p> <p>デイホームかたるによるコンディショントレーニングは、1年間で2,065名参加がありました。参加者同士のつながりも生まれつつあり、トレーニング前の準備・片付けや、暖かい物も手当てしてくれています。</p> <p>四恩園職員の持つ知識・技術は、高齢者世代や障がい者だけでなく、広く地域の方々にも求められる資源であり、今後も色々な世代の方に役立つミニ講座を検討していきます。</p>	<p>4</p> <p>ミニ講座</p> <ul style="list-style-type: none"> コンディショントレーニング (1,047名) いきいき百歳体操 (584名) カーネーションづくり 世界遺産 (5回) カード入れづくり 高血圧について 手作り味噌 お口のケアの大切さ 地域の生活課題を考えるワークショップ (ちむむととる) レクレーション ライフ&パワーアセスメント <p>.....</p> <ul style="list-style-type: none"> コンディショントレーニング (756名) いきいき百歳体操 (527名) 感動作体験 味噌作り 雪かきの正しい方法 在宅介護サービス 世界遺産 地域の生活課題を考えるワークショップ レクレーション ライフ&パワーアセスメント 	<p>5</p> <p>《上半期》</p> <p>子育て支援センターあいあいと連携し、子供・子育て世代だけのイベントではなく、高齢者などの多世代との交流の機会を実現することができました。継続実施により、子育て世代の交流が活発化しています。</p> <p>《下半期》</p> <p>子育て支援センターあいあいと連携し、子供・子育て世代のイベントを継続しています。</p>	<p>5</p> <p>《上半期》</p> <p>かたるコンディショントレーニングに毎回参加する方も多く、参加者自身が効果を感じており、地域の介護予防につながっています。</p> <p>《下半期》</p> <p>ふれでフェスティバルでは、子育て世代、四恩園のお客様、地域の方、職員が一緒に開催いただいたイベントを披露することが出来ました。今後は世代間交流や高齢者の予防体操にも活用できるよう考え</p>
---	--	--	--	--	---

2018年度 ふれて情報発信計画

～情報の発信と相談対応により、不安を解決できる場になります～

主 管 地域交流ホムふれ

目 的	事 業 内 容	実 績
<p>ふれて通信・ミニ講座の実施や、ふれて市民スタッフ・地域住民・道都大学生・みなみ高齢者支援センターとの連携により、地域の方が地域の中で暮らし続けたいために、必要な情報の発信や相談に対応できる、「ふれて」に行けば何でも解決できる。」と書かれるような不安を解決できる場になります。</p>	<p>ふれて市民スタッフの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喫茶コーナーの運営 ・地域のお茶の間への協力 ・ふれて市民スタッフミーティング ・ふれて監査 ・ガラス清掃 ・ワークショップへの参加 ・ガーデニングの実施 ・難入形、五月人形の飾り付け ・イベント『吉川よしひろちェロコンサート』 ・ふれてフェスティバル2018の企画・開催 ・イベント『トリムコムコースの鳥と花を奏しよう』 ・ランチ会の開催 ・草刈りへの協力 ・防火訓練への参加 ・まーぶるひろば ・こどもフェスタ ・こども将棋教室 ・こども食堂 ・プレママカフェ ・心結カフェ ・ミニ講座『カーネーション』『世界遺産』『カード入れ』 ・『高血圧』『お口のケアの大切さ』『手作り味噌』 	<p>評価</p> <p>5</p>
<p>計 画</p>	<p>ふれて市民スタッフの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喫茶コーナーの運営 ・地域のお茶の間への協力 ・ふれて市民スタッフミーティング ・イベント『ふれてそばの日』 ・ワークショップへの参加 ・クリスマスツリー飾り付け ・ふれて忘年会 ・イベント『ふれてクリスマス』『ふれて餅つき大会』 ・『ふれて板かるた大会』『雪かき交流まつり2019』『ドラムコンサート』 ・ふれて大掃除 ・ミニ講座『感染症対策』『味噌作り』『雪かきの正しい方法』『在宅介護サービス』『世界遺産』 ・ランチ会の開催 ・まーぶるひろば ・こどもフェスタ ・こども将棋教室 ・こども食堂 ・プレママカフェ ・心結カフェ ・地産地消訓練への参加 	<p>評価内容</p> <p>《上半期》</p> <p>地域の方がより家族や友人の介護相談を受けることや、デイホームかたへの紹介・利用に少しずつなっています。今後もみなみ高齢者支援センター、デイホームかたとの連携しながら対応していきます。かたる・みなみ支援センター職員が市民スタッフを含めた地域の方々とつながってきていく成果だと考えます。</p> <p>喫茶コーナーの運営、イベント、ミニ講座、市民講座の継続実施により、各分野において知識、技術をもった人とつながることが出来ました。今後その人の縁を活用して、地域の方のちよつとした日常生活の困りごとに対応していきます。</p> <p>夏休み期間に開催したこども夏フェスでは、チアダンスを近隣の小学校の全児童へ配布していただきました。それによって、初めてお話をいただいた方や、知っていただけなかった方が多かった方も来ていただくことができました。</p> <p>新しいアプローチの別室に感謝を頂きました。</p> <p>《下半期》</p> <p>常連の方の紹介や、イベント、ミニ講座でふれてを知っていただくことも多く、新しい方の来場を多く感じました。『前から名前を知っていたんだけど…』『いつもふれて通信は見ただけだけど…』との声を聞き、まだ直接は来場はつながっていませんが、地域への認知度が上がって来ていることを実感しました。</p> <p>今後もより魅力的な講座を開催できるように地域人材とのつながりづくり、生活の困りごとなどのワークショップの開催で、日常生活の困りごとなどの地域の課題解決に向け、市民スタッフ・住民・企業・福祉事業者・道都大学と考えることができそうです。今後もワークショップ(ちよつとどる)を通して、地域の課題に目を向けた取り組みを行い、地域の方々の不安を解決していきます。</p>

<p>コンディショントレーニング(855名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪かき交流まつりへの参加・協力 ・地域の生活課題を考えるワークショップ ・ふれて忘年会への参加 ・レクレッシュ ・ライブ&パワーアセスメント 	<p>白樺2丁目自治会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ拾い参加 ・花壇づくり参加 ・白樺2丁目祭り参加 ・ふれてフェスティバル2018への協力 ・白樺2丁目女性部講座 ・白樺2丁目自治会役員会開催 ・地域の生活課題を考えるワークショップへの参加 	<p>5</p>
<p>《上半期》</p> <p>ふれては白樺2丁目自治会に加入しており、地域行事や各部会の取り組みに積極的に参加・協力しました。その他にも日頃より、喫茶コーナー・キッズコーナー・コンディショントレーニングなどの利用を通してつながりが出来てきています。そのため、ふれてフェスティバルにスタッフとして、自治会役員の方々が継続協力していただいています。また、ワークショップを通して、地域の生活課題の解決に向けて一緒に考えることができました。</p> <p>《下半期》</p> <p>ふれてと白樺2丁目自治会が、互いの取り組みへの参加・協力を継続してきたことにより、つながりがより一層強いものになってきていて、感じています。今後もイベントやワークショップの取組を活用しながら、共に学び、共に活動し、地域のつながりと、具体的な支え合いの仕組みを共に考えていきます。</p>	<p>5</p>	<p>防火訓練・地産地消訓練も、かたるお客様、市民スタッフ、地域の方、職員と連携して実施することができました。</p>

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)

3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)

1. 全くできていない

2018年度 ふれて建物管理・環境整備計画

～北広島団地地域の資源・象徴として、建物管理や環境整備を行います～

主 管 地域交流ホームふれて

ふれて市民スタッフ・白樺町2丁目自治会・地域の方々・近隣の社会資源と連携しながら、サブセンターも含めた環境整備を行います。

月	事業内容	評価	実績
4	ハウスキーピング 除雪道具等片付け ガーデニング準備 スキッドローダー片付け エレベーター点検 タイヤ交換 ハウスキーピング ガーデニング (市民スタッフ) ・ ・ ふれて周辺 屋外清掃 消防設備定期点検 白樺2丁目自治会・ゴミ拾い参加 ハウスキーピング		<p>《上半期》 ふれて内の環境整備については、市民スタッフ・四恩園職員の協力・連携により、計画通り実施できました。 昨年度に引き続き花コンクールで受賞しました。サブセンターの環境整備については、白樺2丁目自治会と連携し、計画通り実施しました。 月1回のハウスキーピングにより、環境整備向上や破損等の把握・対処が迅速に行えるようになりました。</p> <p>《下半期》 ふれて内の環境整備については、市民スタッフ・四恩園職員の協力・連携により、計画通り実施できました。 月1回のハウスキーピングにより、環境整備向上や破損等の把握・対処が迅速に行えるようになりました。</p>
5	ハウスキーピング		
6	ハウスキーピング		
7	ハウスキーピング		
8	ハウスキーピング		
9	ハウスキーピング		
10	ハウスキーピング 白樺2丁目ゴミ拾い参加 プランター片付け エレベーター点検 ワックス掛け タイヤ交換		
11	ハウスキーピング 消防設備定期点検 ハウスキーピング		
12	除雪道具・スキッドローダー準備 大掃除 ハウスキーピング		
1	消防設備定期点検 ハウスキーピング		
2	ハウスキーピング		
3	ハウスキーピング		

備 考

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
1. 全くできていない

<p>ニ 講 義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンディショントレーニング (1, 047名) ・いきいき百歳体操 (584名) ・カーネーションづくり ・世界遺産 (5回) ・カード入れづくり ・高血圧について ・手作り味噌 ・お口のケアの大切さ ・地域の生活課題を考えるワークショップ (らーむでとる) ・レクレーション ・ライフ&パワーアセスメント ・コンディショントレーニング (855名) ・いきいき百歳体操 (527名) ・感染症対策 ・味噌作り ・雪かきの正しい方法 ・在宅介護サービス ・世界遺産・地域の生活課題を考えるワークショップ ・レクレーション ・ライフ&パワーアセスメント 	4	<p>《上半期》 デイホームかたると連携し、毎週5日コンディショントレーニング (練を使った予防体操) を継続実施しています。9月まで1,047名の地域住民が参加しています。参加者は効果も実感しており、地域の介護予防に役立っています。 市民スタッフのつながりから講師を紹介してもらい開催することも多くあります。講座の中でも新しいつながりができ後日にお茶をしている姿も見られました。</p> <p>《下半期》 デイホームかたるとによるコンディショントレーニングは、1年間で2,065名参加がありました。参加者は効果も実感しており、地域の介護予防に役立っています。</p>
<p>ふれてまーぶるひろば (子育て支援センターあひのいの連携)</p>	5	<p>子育て支援センターあひのいの連携し、子供・子育て世代だけのイベントではなく、高齢者などの多世代との交流の機会を実現することができました。</p>
<p>ふれて通信発行</p>	5	<p>《上半期》 毎月1回のふれて通信を楽しみにしている方も多く、少しずつ地域に定着してきているように感じます。</p> <p>《下半期》 毎月1回のふれて通信を楽しみにしている方も多く、少しずつ地域に定着してきているように感じます。</p> <p>《上半期》 ふれて通信、開館日情報など、色々な情報を定期的に載せることが出来ています。</p> <p>《下半期》 今後も多くの方々に情報発信できる仕組みについて検討していきます。</p>

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
1. 全くできていない

2018年度 北広島市みなみ高齢者支援センター事業報告

主管 高齢者支援課

重点事業方針

・平成30年度は、地域包括ケアシステム構築を目指していくために、自助・互助・共助・公助を組み合わせた新たな共生の理念の基、介護保険サームサービス事業所や医療機関、社会福祉協議会などの関係機関との連携、自治会や民生児童委員、地区社会福祉委員などの関係者との連携、地域住民をも含めたネットワークをより強化し、地域の課題を地域で解決できる体制作りを行ったとき、「全ての高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域全体で共に支え合いまちづくりの実現」を目指していきます。

重点事業項目

- (総合相談支援事業)
- (権利擁護①) 高齢者虐待対応、徘徊高齢者対応、安否確認不明者対応(事業)
- (権利擁護②) 財産権利侵害対応、その他
- (包括的継続的ケアマネジメント事業① ネットワークの構築・ケアマネ支援)
- (包括的継続的ケアマネジメント事業②) 相談機能強化、多職種連携強化)
- (介護予防ケアマネジメント事業)
- (家族支援事業)
- (介護予防事業)
- (生活支援コーディネーター・第2層協議体①) 自助・互助活性化)
- (生活支援コーディネーター・第2層協議体②) 地域との関係作り)
- (職員資質向上①) 研修)
- (職員資質向上②) 部署内連携)

【上半期評価】

昨年度と比較し、新規相談件数が倍近くにまで増えている影響もあり、総合相談によるケース対応が全体業務の占める割合が高まっています。この状況は市内4ヶ所ある高齢者支援センターの中でも突出して多く、地域格差が如実に現われています。このような地域で住民の方々が安心して生活を送ることが出来るよう、地域包括支援センターとして、個別の相談対応(個を地域で支える支援)と地域包括ケアシステム構築に向けた地域(個を支える地域)と地域包括ケアセンターの相談窓口(個を支える支援)と地域包括ケアセンターを向軸で実施している。全体的な上半期評価としては、ジェネラリストソーシャルワーカーとしての機能やスキルが求められる。職員一丸となってチームアプローチで各事業に取り組み、役割を遂行出来ていると評価する。

今後の課題としては、職員の人数・スキル・業務の処理能力にも限りがあり、メンタルヘルス上多くの負荷がかかる業務も多い。①他機関との連携(高齢者支援課含む)の促進と役割分担②地域の実情に応じた職員体制整備③地域住民との協働とマンパワーの活用④所属法人との協力体制構築などさらにより良い体制となるよう働きかけていきたい。

【最終評価】

H30年度の総括としては、下半期に入り胆振東部地震があった以降、地域住民の心理的不安が高まった影響から、備える機運も高まり、ますます総合相談の新規相談件数が増加。市内4ヶ所ある高齢者支援センターでも突出して新規相談件数も多く、想定外の業務量に職員は総合相談対応に追われた。当初計画していた三職種5名の職員で対応する体制では処理できないキャパシティを超えた為、プランナー職員も含めて全8名体制で対応。市内居宅介護支援事業所等にも協力を要請し乗り切った。相談件数の多さは北広島団地地区の高齢化率の高さ等を考慮すると、当面は同程度の相談が寄せられると予測されるので、支援センター内部、外部で役割分担を図りながら対応していく必要がある。地域包括支援センターの業務は明確な線を引き役割を分けることが難しい他、法改正等を行なったに担うべき業務の割合は増大し、どこからどこまで担えばよいか指示も示されていない。全ての業務・事業は繋がっており、連動性がある。業務の効率化や役割分担を考えた時、地域包括支援センター単体で対応できる業務にも限界点はあるので、今年一度業務範囲・優先順位等協議した他機関と協働の役割分担を検討していきたい。

2018年度 北広島市みなみ高齢者支援センター

「総合相談支援事業」報告

主管 高齢者支援課

<p>目的</p> <p>□北広島市みなみ高齢者支援センターは北広島市が設置する総合相談窓口です。高齢者ご本人、ご家族、民生委員、関係機関等から、高齢者の生活上の困りごとに関する様々な相談が寄せられるため、支援センターの存在をより多くの方に知っていただき、相談窓口として地域で活用されるよう、窓口周知を行います。</p> <p>□多様化したニーズに応えるため、地域の社会資源を把握し、その人が持つ地域のつながりや関係機関との連携によって個別のニーズに応えていくよう努めます。</p> <p>□個別相談の中から、高齢者の方の生活上の困難を把握し、地域住民や関係機関のつながりにおいて、課題解決へ向けた取り組みを具体化していきます。</p> <p>□高齢者虐待防止ネットワーク、地域ケア会議や第2層協議体、介護予防事業など他の事業の中から高齢者の方の生活上の困難を把握し、そこで得たつながりを個別の相談に生かしながら、高齢者が地域とのつながりの中で暮らしている北広島団地を目指します。</p>	<p>内容</p> <p>1. 総合相談</p> <p>2. 地域におけるネットワーク構築</p>	<p>計画内容</p> <p>総合相談</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域で実施している介護予防の活動、地域のお祭りに参加して窓口周知を行い、地域住民や関係機関との連携において支援を要するケース、孤立しているケースを実態把握、早期発見でできるよう努めます。 地域包括支援センターにおける全体業務の中で、かなり大きなウェイトを占める総合相談対応。寄せられる相談は、地域の実情を如実に反映しており、1世帯当たりの人員減少・支援を要する介護高齢者と発達障害・精神疾患等を有する家族が同居する複数の課題を抱えた世帯の増加・金銭管理が出来ない・借金整理など法的な専門職の支援が必要なケースなどが増加。対応する職員にも社会保障、医療、法的知識が必要だったり、精神疾患等にも対応可能な面接技術が必要など、高いスキルが求められるので、職員間の役割分担や職員のスキルアップを図りながら対応できるよう努めます。 地域におけるネットワーク構築 ご本人やご家族が精神疾患、精神障害、パーソナリティ障害のケースに関して、高齢者支援課、福祉課、警察、精神科のPSW等と連携しながら支援します。 金銭管理や法律問題等の相談については、社会福祉協議会や司法書士、弁護士等、他の専門職との連携によって支援します。
<p>通年</p>	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ●窓口周知は、周知活動単体で取り組むのではなく、他の事業(包括的・継続的ケアマネジメント、介護予防事業、生活支援コーディネーター等)などを有機的に連動させて実施。 ●総合相談支援事業は、年間通じて新規相談件数が増加(新規相談：昨年度年間157件、今年度年間293件)又、全体の相談件数も増加(昨年度合計5,447件、今年度合計6,005件)新規相談は初期対応に時間を要する状況。三職種5名の体制で対応したが、処理できるキャパシティを超えた為、プランナー職員の応援(包括的ケアセンター)や居宅CMの応援(早期対応依頼)を要請し乗り切った。その他継続的な相談支援を要するケース(困難事例⇒認知症・DV・虐待・精神疾患等)にも対応が必要で、様々な機関(医療機関、厚別警察署、北広島消防署等)と連携を図り対応している。 	<p>最終評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ●窓口周知活動は、今後も他機関との連携しながら周知活動を継続する。特に生活支援コーディネーターや第2層協議体活動は地域にも多く、関わる団体数も多いので、今まで以上にさまざまな分野へ広がっていくものと思われる。 ●総合相談支援事業は、今後も同様の相談件数で推移していくかは未定。しかし、北広島団地地区の高齢化率は上昇の一途を辿っている状況(団地高齢化率：昨年度44.8%、今年度45.7%、後期高齢化率：昨年度21.7%、今年度23.1%)要介護状態のリスクが高まる後期高齢者数の伸び率が高いので、相談件数が減少するとは考えにくく、どのように対処していくかが課題である。地域包括支援センターの相談機能にも限界点があり、万能ではない為、積極的に他分野(障がい、医療、法律、行政、法律、民間等)と連携し、ネットワークを活用する。

2018年度 北広島市みなみ高齢者支援センター

「権利擁護①高齢市虐待対応・徘徊高齢者対応・安否確認不明者対応」報告

主管 高齢者支援課

目的	<p>□高齢化が進み、今後益々認知症高齢者の増加が見込まれる北広島市において、自分自身の力だけでは身体や生命を守りきれない立場におかれている方も実在します。権利擁護①では虐待・徘徊・安否確認不明者など「命」を守る取り組みとして、市役所・社会福祉協議会・介護保険サービス事業所・民生委員・地域住民等と連携を図りながら、権利を擁護できることを目指し支援を実施します。</p>
内容	<p>① 北広島市高齢者虐待対応マニュアルを活用し、緊急時の虐待のケースを把握した場合は市役所・他の専門職と連携、ネットワークを活用しながら、速やかに被害者・養護者の状況を確認し支援します。</p> <p>② 北広島市認知症高齢者等SOSネットワーク事業を中心に、その他活用可能な認知症施策を駆使し、徘徊の予防・徘徊高齢者の早期発見、市役所・民生委員・地域住民等と連携を図ります。</p> <p>③ 北広島市高齢者等地域見守り事業を中心に、民生委員や近隣住民等とのネットワークを構築し、異変の察知・連絡体制の構築・初動対応などの実践から地域住民の生命を守るよう努めます。</p>
計画内容	<p>・北広島市高齢者虐待対応マニュアルを活用し虐待ケースに対応していきます。</p> <p>・虐待の早期発見、徘徊高齢者の早期発見、安否確認不明者の早期発見が出来るよう、さまざまなネットワーク(北広島市の事業、きたひろろサービスネットワーク、民間企業等)の構築に努めます。</p> <p>・介護保険サービス事業所、特に居宅介護支援事業所との信頼関係構築の為に、サービスネット居宅部会への参加や事業所内に向けた顔の見えの関係構築を構築できるように努めます。</p> <p>・家族支援事業「心結カフェ」の運動から、虐待防止・介護者のストレス軽減等を目指します。</p> <p>・介護予防事業なども活用し、周知・啓蒙を行います。</p> <p>・虐待ケース支援には、主任ケアマネジャーと多面的に支援していきます。</p> <p>・「不適切なケア(グレハンゾーン)」に似ている介護者に対し、上記同様に主任ケアマネジャーと支援します。</p> <p>・高齢者や老夫婦世帯高齢者の支援に当たっては、緊急連絡先の確認やご家族への連絡・連携に努めます。</p>
通年	<p>1. 虐待支援～2019年3月末時点まで虐待認定ケースは9件(年度内新規1件、継続8件)虐待者の内訳は、同居の息子が4件、夫が4件と、同居男性による虐待比率が高い状況。通報者は、居宅介護支援事業所のCMから5件と最多。今年度新規認定に至ったケースは、認知症の母親と息子、娘が同居しており、息子が母親に虐待を行っていたケース。関係機関で会議を設けて世帯員それぞれに相談支援機関が担当として付き、各種サービスに結びつけた事で接点を減らす事が出来、虐待リスク軽減に成功している。心結カフェ(家族支援事業)にも親子で毎回参加してくれ、それぞれをモニタリングできる場となり、虐待の抑止にもなっている。</p> <p>2. 安否確認～安否確認の事例は、年間通じて要請を受けている。連絡機関としては、市役所(水道局等)、コープ(トック担当)が多い。かならず単独で対応するのではなく、高齢者支援課、警察や消防署等と連携を図り対応を実施している。</p> <p>3. 徘徊対応～現在徘徊探索に関しては、対応の中心を北広島市役所高齢者支援課が実施、捜索隊を編成し、エリアが重ならないよう調整しながら捜索している。北広島市地区のみならず、市内全域で徘徊による行方不明案件はあり、他の高齢者支援センターとも協力し合いながら対応を行っている。</p>
実績	<p>1. 虐待支援～通報件数が減少したのだが、認知症高齢者の増加に伴い、介護に悩む家族が減る事はなく、現状のサービス体制で虐待のリスクが減少するとは考えにくい。地域包括支援センターとしては、虐待ケースの通報機関、初動介入対応機関として、虐待に繋がる可能性の高いさまざまな要因(本人、家族、環境、経済、疾患等)を分析したリソースを行い、ハイリスクケースに早期アプローチを行う事で、未然に虐待予防が図れるよう努めていきたい。虐待ケースを0にする事は難しく、災害と同様いつ起こるか予測がつかない為、避難訓練ならぬ模擬虐待対応訓練なども今後行っていきます。</p> <p>2. 安否確認～地域包括支援センターだけで、担当圏内の見守り体制を構築する事はできない。近隣住民との関係の希薄化、自治会機能の低下・個人情報保護法の過度な反応等から見守り体制構築する事自体難しい風潮があるものの、地域活動に出席し、個人情報等との関係構築し、心配りを入念に見守り、予防的介入が行えるよう関係作りを努めると共に、水道・郵便局・新聞店・コープトック等とも連携を図り、早期発見ができるような体制構築に努める。</p> <p>3. 徘徊対応～認知症になっても安心して生活を継続できるまらづくづくり活動の一環として、今後も北広島市役所高齢者支援課を中心にSOSネットワークの更なる充実に努めて協力していきたく共に、認知症サポーター養成講座等の実施等から認知症にやさしいまちづくりに貢献できるように努める。</p>

2018年度 北広島市みなみ高齢者支援センター

「権利擁護②財産権侵害対応・その他」報告

主管 高齢者支援課

目的	<p>□高齢化が進み、今後益々認知症高齢者の増加が見込まれる北広島市において、自分自身の力だけでは大切な財産を守りきれない立場におかれている方も実在します。権利擁護②では、金銭管理困難者への対応・遺産相続への対応など「お金」を守る取り組みとして、市役所・社会福祉協議会・法律関係協議会・ご家族等と連携を図りながら、財産の権利侵害を防止することを旨として支援を実施します。</p>
内容	<p>① 日常生活自立支援事業や成年後見制度などの権利擁護を目的とするサービスや制度の活用に向けて、市役所・成年後見センター・各専門職団体等と協力しながら促進、調整を図ります。</p> <p>② 相談を通じ、弁護士、行政書士等、地域における各機関や人の連絡構築を図ります。</p> <p>③ 消費者被害の防止の為、その都度タイムリーな情報についてサービスネット通信等を活用しての発信や地域住民・民生委員等への周知を行います。</p>
計画内容	<p>・財産管理に関する相談があった際は、必要な関係機関へ相談し支援の手立てを考えていきます。</p> <p>・消費者被害については、その都度タイムリーな情報を都度発行し、老人クラブやサロン、民生委員等、地域における各機関に配布し注意喚起を行います。</p> <p>・消費者被害の発生時は、きたひろろサービスネット通信、市役所、他支援センターにも注意喚起を行います。</p> <p>・成年後見制度の周知啓蒙を行います。</p> <p>・「困った時」に迅速に対応出来るように、活用した社会資源に関しては道直情報共有を図ります。</p> <p>・みなみ高齢者支援センター内において、特徴的な事例について再点検しながら、課題整理を行います。</p> <p>・みなみ高齢者支援センターで行っている家族支援事業「心結カフェ」に協働していきます。</p> <p>・「成年後見センター」職員との情報交換・共有を行っていきます。</p> <p>・市内高齢者支援センターの社会福祉士と情報交換・協働を図っていきます。</p>
通年	<p>① 財産管理支援～認知症高齢者の増加に伴い、世帯内で金銭を管理できる人が一人もおらず、担当しているCMが困ってしまうという事例は少なくない。当事者の権利保護という視点、CM支援という視点、CMによる搾取(経済的虐待)予防という視点で対応する必要がある。今年度新規対応した事例は、夫(重度失語症・高次脳機能障害)と妻(重度認知症)の老夫婦世帯。道内に親類はいないものの間取りに拒否的で非協力的な為、担当CMが困ってしまい包括的に相談が寄せられた。残高不足から公共料金の支払いが滞る他、使途不明金が多量に見受けられる。健康食品の送り付け簡法が見受けられる等であった為、早期支援が必要で市内行政書士による事務委任契約を活用し解決を図っている。今後は成年後見制度に移すべく支援を継続する。</p> <p>② 悪質商法・特殊詐欺～今年度直接的に被害を受けた報告事例は1件。ただし、未遂で終わっている案件は多数存在している。最も多い例は「還付金詐欺」。今までは見られる事のない詐欺としては、スマートフォンやタブレットPCを使った詐欺。SNSを使って友達申請を受け、「国際ロマンス詐欺」「古い詐欺」等に発展。高齢者支援センター以外にも消費生活センターや福祉課(生活保護担当)と連携し支援にあたったが、最終的に自己破産手続きまで行ってしまう、弁護士介入となっている。</p> <p>③ 財産管理支援～1世帯当たりの人数減少は顕著であり、独居世帯・老夫婦世帯が今後減る事は考えにくい。又、後高齢者数の増加から認知症高齢者の数も増加の一途を辿ることになる。近年8050問題などでよくみられる養護者による虐待や精神疾患があるケースも多数見受けられる。金銭を管理できないうい事は、在宅生活の継続が危うくなる大きな分岐点と言える。経済的虐待や公共料金・税金の未払いによる債務不履行等の問題を解決すべく、日常生活自立支援事業や成年後見制度の活用を図る他、法テラスやリーガルサポートなどの法律専門機関、弁護士等専門職との連携を組み合わせて支援にあたる。</p> <p>④ 悪質商法・特殊詐欺～財産の権利侵害を予防すべく、民生委員、老人クラブ、サービネット等関係団体への注意喚起や手口の情報共有を今後も引き続き実施する。ケース対応に当たっては、警察署、消費生活センター、銀行等関連団体との連携を図り被害を最小限に抑えられるよう努める。</p>
最終評価	<p>・「困った時」に迅速に対応出来るように、活用した社会資源に関しては道直情報共有を図ります。</p> <p>・みなみ高齢者支援センター内において、特徴的な事例について再点検しながら、課題整理を行います。</p> <p>・みなみ高齢者支援センターで行っている家族支援事業「心結カフェ」に協働していきます。</p> <p>・「成年後見センター」職員との情報交換・共有を行っていきます。</p> <p>・市内高齢者支援センターの社会福祉士と情報交換・協働を図っていきます。</p>

2018年度 北広島市みなみ高齢者支援センター

「包括的・継続的ケアマネジメント①ネットワークの構築・ケアマネ支援」報告

主管 高齢者支援課

<p>（ねらい）</p>	<p>地域で実際に生活されている住民は、法律や制度に合わせられて暮らしているわけではなく、多様な形で生活を営まれています。中には、制度と制度の狭間に立ち、不利益を被っている方も実在します。高齢者自身をはじめ、地域で高齢者の福祉に寄与している方々、医療機関、福祉サービス、社会福祉協議会、行政、高齢者支援センター等がお互いを活用し合い協働することで、制度や既存の社会資源では解決できず、狭間となってしまうことに対する包括的ケアマネジメントの体制を作り、高齢者とその家族を支えることを目指します。</p> <p>□高齢者を支える地域ネットワークの構築</p> <p>□ケアマネジャーの支援によるケアマネジメントの向上</p>
<p>内容</p>	<p><ネットワーク構築></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度や高齢者施策ばかりに着目するのではなく、社会保険制度全般に意識を振り巡らし、医療保険や年金保険などの社会保険制度、障害者総合支援法などの障害者施策、各種手当や給付金など社会福祉、生活保護などの公的扶助を組み合わせ、支援を実施します。 ・地域の中にあるインフォアネットワーク(自治会・民生委員・地区福祉委員・自主組織等)との結びつきを強めることが出来るよう、積極的に地域活動に出向き、協力・地域貢献を図ることでお互いが、さまの関係を構築できるような生活支援コーディネーターなど連携しながら活動を実施します。 ・北広島市全体のネットワークを構築できるよう、市役所を中心に医療連携や警察署や消防署等との関係作りを努めます。又、介護保険事業所との連携を一層強化できるよう、北広島市サービス連絡協議会との連携、活動協力・積極的な参加等実施します。 <p><ケアマネジャー支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別のケース支援においてケアマネジャーを支援します。(特に虐待事例や解決困難事例など社会福祉士と有機的に連携を図りながら支援を実施) ・北広島市全体のケアマネジメント向上・ケアマネジャーのスキルアップが図れるよう、研修会や勉強会、意見交換会等サービスネットワーク本部会と連動しながら取り組みを実施します。 ・市内4カ所ある地域包括支援センターの主任介護支援専門員で主任介護支援専門員連絡会を実施し、「地域や事業所におけるスーパーバイザー等を通じて人材育成」(地域包括ケアシステムの構築に向けた地域づくりの実現)を目指します。
<p>通年</p>	<p>計画内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連絡会議参加・生活支援コーディネーターと共に地域活動へ参加 ・きたひろサービスマネジメント居宅部会参加 ・各支援センター主任介護支援専門員介護の実施
<p>実績</p>	<p>●ネットワークの構築は、フォアマン、インフォアマンが集まり積極的に出向き、関係作りを努めている。(在宅医療介護連携推進協議会、北広島市介護サービス連絡協議会本部会、団地民泊協定例会、自治会や老人クラブのイベント、各市区で実施されている夏祭り等) ネットワーク作りは他の事業で報告している通り、単一で取り組むものではなく、さまざまな支援の実践から各事業と連動させて作るものなので、今後も有機的に連動し取り組みを継続する。</p> <p>●ケアマネ支援は、支援困難事例の相談の相談を担当ケアマネより年間通じて受けている。傾向として、キープマン不在、金銭管理や貴重品管理が困難、地域住民からの排除論、BPSDへの対応、精神疾患(痴狂)高齢者等の相談が多い。ケアマネジメント力の向上を目的に、サービスネット居宅部会と合同で事例検討会を2回実施。その他、スーパービジョン研修会を開催している。</p>
<p>最終評価</p>	<p>●ネットワークの構築は引き続き、他の事業と有機的に連動しながら取り組みを継続する。地域包括支援センターの業務に隣接する関係機関は数多く、分野も幅が広い。ただ、待っているも良好な関係を構築する事はできないので、積極的にアウトリーチし、お互い様の関係、WINWINの関係が構築できるよう努める。</p> <p>●ケアマネ支援は、引き続きケアマネジャーより持ち込まれる個別の相談対応を今後も継続すると共に、ケアマネジメント力のスキルアップが図れるよう事例検討会、スーパービジョン勉強会を実施していく。スーパービジョン勉強会は、有志が集まり1回グループスーパービジョンの形で実施する予定。</p>

2018年度 北広島市みなみ高齢者支援センター

「包括的・継続的ケアマネジメント②相談機能強化・多職種連携強化」報告

主管 高齢者支援課

<p>（ねらい）</p>	<p>地域の中で課題を抱えているにもかかわらず、支援に結びついていない高齢者への相談機能強化・支援に結びついていないが、資源の不足・つながりの不足・知識の不足等により課題解決への道筋が見えない高齢者への相談機能強化が図られ、住み慣れた地域で在宅生活を続けることが出来るよう、市役所高齢者支援課との連携を一層強化し、多職種連携の仕組みを構築する。</p> <p>□認知症初期集中支援チームの運用</p> <p>□地域ケア会議個別会議への参画</p>
<p>内容</p>	<p><認知症初期集中支援チーム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・北広島市認知症初期集中支援推進事業マニュアルに沿って、①認知症発症後のステージとして早期の段階②認知症の人への関わりの中期段階(ファーストタッチ)にチーム員として介入します。 ・在宅で生活を送られている認知症の方、又は認知症が疑われる方で①認知症診断を受けていない②継続的に通院できていない③適切な介護保険等サービスに結びついていない④介護サービスを中断している⑤認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している方へ、6か月を目安に医療・介護サービスに結びつけることが出来るよう働きかけます。 ・活動を通じて、北広島市役所・医療機関などとの連携強化を図り、通常時における支援も生かします。 <p><地域ケア会議個別会議></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別事例の課題検討を多職種協働で行い、多角的な視野から自立支援・介護予防に資するプラン作成を実施します。 ・事例の検討を通じて、居宅介護支援事業所における介護支援専門員のケアマネジメント力向上が図れるよう努めます。 ・事例検討の積み重ねから、事例の共通項などを整理し、地域課題の抽出・資源開発、政策提言などに結びつけます。
<p>通年</p>	<p>計画内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症初期集中支援チームの運用 ・地域ケア会議個別会議への参画
<p>実績</p>	<p>●認知症初期集中支援チームとして支援を行った事例は年間で1事例のみ、その他チーム員会議へ提出した事例が2事例あったが、認知症初期集中支援チームとして支援するのではなく、総合相談支援として対応行っている。H30年度より運用を開始しているが、メリット・デメリットが見え始めているので、ケースの置かれている状況に応じて仕組みを使い分け、有効活用を図る。</p> <p>●地域ケア会議個別会議は、北広島市役所主催の会議1事例とみなみ高齢者支援センター主催の会議も1事例実施。地域ケア会議には①困難事例化したケース検討②自立支援型のケア会議の2種類がある。第2層協議体でも地域課題の聞き取りやツルギーワークによる意見交換は行われているが、その場には自ら足が運ばない参加者の方々には見えない個別の課題、生活の困難さは確実に存在している。(重度者寄りの地域課題)現在の会議の形は、ケース検討が終わってしまっている点も今後の課題と言える。</p>
<p>最終評価</p>	<p>●認知症初期集中支援チームは、急を要するケースには向かかない(会議日程の調整に時間がかかると)ので、危機介入的支援を要する場合は、総合相談で対応する必要がある。メリットとしては、チーム員内の医師がかかりつけ医と手紙で情報交換等行っているが、水面下で意図した方向へ支援を動かす事が可能。医療やサービスに拒否的になかなか介入をさせてもらえないケースなどは、時間をかけてゆっくりに対応できる。今後、チームを有効に活用できると考える。今後も社会資源の一つとして支援に活用する。</p> <p>●地域ケア会議個別会議においては、困難事例型・自立支援型双方の事例を今後とも蓄積していく必要がある。事例の積み重ねから、地域課題を抽出し、新たな資源開発までアクションを起こさせるよう努める。資源開発は困難事例、自立支援双方の充実が求められる。フォアマン、インフォアマンを組み合わせて地域包括ケアシステムの構築に役立てられるよう取り組む。</p>

2018年度 北広島市みなみ高齢者支援センター

「介護予防ケアマネジメント事業」報告

主管 高齢者支援課

目 的 ね ら い	<p>□ 要支援者・総合事業対象者の方々が目標を持ち、生きがいを感じることができている支援を考えます。</p> <p>□ ケアプラン数は年々増加傾向にあり、認定を受けているサービス未利用者等へのモニタリングが困難な状況ですが、民生委員等地域の方々との連携を図りながら、見守りを行っていきます。</p> <p>・介護保険制度の報酬改定、総合事業による通所A事業所の追加等、制度全体が移り変わりつつあるので、予防給付対象者と総合事業対象者に対して、適切なケアマネジメントを実施できるよう、支援を継続します。</p> <p>・地域での運動サークルなど、地域資源を積極的に活用していきます。</p> <p>・予防プラン(要支援者)の内容の充実(インフォーマル資源)と定期的モニタリング及び評価。</p> <p>・ケアマネジャー、サービス事業所への介護予防の考え方の周知啓蒙。</p> <p>・再委託ケアマネジャーの提出書類の徹底及び支援や社会資源についての相談対応。</p> <p>・4包括看護職会議にて効率的な業務遂行について検討。</p>	
	内 容	<p>・介護保険制度の報酬改定、総合事業による通所A事業所の追加等、制度全体が移り変わりつつあるので、予防給付対象者と総合事業対象者に対して、適切なケアマネジメントを実施できるよう、支援を継続します。</p> <p>・地域での運動サークルなど、地域資源を積極的に活用していきます。</p> <p>・予防プラン(要支援者)の内容の充実(インフォーマル資源)と定期的モニタリング及び評価。</p> <p>・ケアマネジャー、サービス事業所への介護予防の考え方の周知啓蒙。</p> <p>・再委託ケアマネジャーの提出書類の徹底及び支援や社会資源についての相談対応。</p> <p>・4包括看護職会議にて効率的な業務遂行について検討。</p>
計 画	月	<p>事業内容</p> <p>評価</p> <p>実績</p>
	月	<p>4 予防プラン・総合事業プラン作成・モニタリング(3ヶ月毎)・ 評価・担当者会議給付管理、再委託ケアマネの提出書類の確認 みなみ: 195件(専任: 112件) 再委託: 77件</p> <p>5 予防プラン・総合事業プラン作成・モニタリング(3ヶ月毎)・ 評価・担当者会議給付管理、再委託ケアマネの提出書類の確認 みなみ: 198件(専任: 113件) 再委託: 76件</p> <p>6 予防プラン・総合事業プラン作成・モニタリング(3ヶ月毎)・ 評価・担当者会議給付管理、再委託ケアマネの提出書類の確認 みなみ: 198件(専任: 113件) 再委託: 78件</p> <p>7 予防プラン・総合事業プラン作成・モニタリング(3ヶ月毎)・ 評価・担当者会議給付管理、再委託ケアマネの提出書類の確認 みなみ: 202件(専任: 118件) 再委託: 79件</p> <p>8 予防プラン・総合事業プラン作成・モニタリング(3ヶ月毎)・ 評価・担当者会議給付管理、再委託ケアマネの提出書類の確認 みなみ: 204件(専任: 120件) 再委託: 79件</p> <p>9 予防プラン・総合事業プラン作成・モニタリング(3ヶ月毎)・ 評価・担当者会議給付管理、再委託ケアマネの提出書類の確認 みなみ: 204件(専任: 125件) 再委託: 75件</p> <p>10 予防プラン・総合事業プラン作成・モニタリング(3ヶ月毎)・ 評価・担当者会議給付管理、再委託ケアマネの提出書類の確認 みなみ: 209件(専任: 124件) 再委託: 77件</p> <p>11 予防プラン・総合事業プラン作成・モニタリング(3ヶ月毎)・ 評価・担当者会議給付管理、再委託ケアマネの提出書類の確認 みなみ: 209件(専任: 127件) 再委託: 81件</p> <p>12 予防プラン・総合事業プラン作成・モニタリング(3ヶ月毎)・ 評価・担当者会議給付管理、再委託ケアマネの提出書類の確認 みなみ: 208件(専任: 127件) 再委託: 82件</p> <p>1 予防プラン・総合事業プラン作成・モニタリング(3ヶ月毎)・ 評価・担当者会議給付管理、再委託ケアマネの提出書類の確認 みなみ: 204件(専任: 129件) 再委託: 84件</p> <p>2 予防プラン・総合事業プラン作成・モニタリング(3ヶ月毎)・ 評価・担当者会議給付管理、再委託ケアマネの提出書類の確認 みなみ: 203件(専任: 120件) 再委託: 85件</p> <p>3 予防プラン・総合事業プラン作成・モニタリング(3ヶ月毎)・ 評価・担当者会議給付管理、再委託ケアマネの提出書類の確認 みなみ: 201件(専任: 117件) 再委託: 79件</p>
備 考	<p>今年度プランナー0.5人を増員し、三職種4名、プランナー3名で介護予防ケアマネジメント業務を実施。三職種は他の事業も同時進行的に中心的役割を担う為、1職員当たりの担当件数を控えた。(年間1,080件上限に対して実績990件)プランナーもマネジメント業務の習得に時間がかかり、予定件数まで到達していない。(プランナー1ヵ月平均40.1件)再委託は、各種事業の業務量や忙しさ等を考慮しながら依頼している。今年度市役所より入った実地指導にて法令を遵守出来ないマネジメント業務は確認され、不備を改善し「改善状況報告書」を提出している。来年度は一層コンプライアンスの強化を図ると共に、職員の役割分担には柔軟性を持たせ、給付管理件数月平均220件以上を達成できるよう努める。</p>	

評価基準: 5. 良くできている(期待した以上の成果が得られた) 4. できている(期待した成果が得られた)

3. 十分ではない(期待した成果が得られなかった) 2. できていない(見直しが必要)

1. 全くできていない

2018年度 北広島市みなみ高齢者支援センター

「家族支援事業」報告

主管 在宅サービス課

目 的 ね ら い	<p>□ 介護者が本人の前を離れて介護について悩みや不安を話し合い、介護者同士の交流を図ることによって日々の介護負担の軽減を図ります。また、介護終了者の参加も促進することで、定期的な参加による孤独からの脱却や、現役介護者への有用なアドバイスの提供による介護意欲の増進等の相乗効果を狙います。それによって結果的に家庭内の虐待のリスクを軽減し、ご本人と介護者の生活を支えていくことも、独居高齢者の見守り機能も発揮していきます。</p> <p>□ さらに、認知症介護等を体験した事のある当事者団体としての強みを生かし、ケアカウンセラー機能を有する認知症カフェを実施し、虐待等の発生予防・認知症介護の初期対応に寄与します。</p> <p>・現役で介護を実施している家族にはもちろんのこと、介護を卒業した家族などにもふれあい・交流の場を提供します。</p> <p>・介護を卒業した家族には、介護経験を活かし、新たな役割として今介護問題に悩んでいる方々への相談に応じたいだけによる認知症カフェのポポリアー参加も促進し、参加を促すよう働きかけます。</p> <p>・心結カフェへ参加いただいた方の中で、必要な場合は病院受診や介護保険申請など支援を実施します。</p> <p>・カフェ以外にも楽しめる工夫を検討します。</p> <p>・ランチ会やミニ講座等への参加等と連携していきます。</p>	
	内 容	<p>・現役で介護を実施している家族にはもちろんのこと、介護を卒業した家族などにもふれあい・交流の場を提供します。</p> <p>・介護を卒業した家族には、介護経験を活かし、新たな役割として今介護問題に悩んでいる方々への相談に応じたいだけによる認知症カフェのポポリアー参加も促進し、参加を促すよう働きかけます。</p> <p>・心結カフェへ参加いただいた方の中で、必要な場合は病院受診や介護保険申請など支援を実施します。</p> <p>・カフェ以外にも楽しめる工夫を検討します。</p> <p>・ランチ会やミニ講座等への参加等と連携していきます。</p>
計 画	月	<p>事業内容</p> <p>評価</p> <p>実績</p>
	月	<p>4 心結カフェ 参加者3名、メンバー8名、ふれて 市民スタッフ2名</p> <p>5 心結カフェ 参加者2名、メンバー6名、ふれて 市民スタッフ2名</p> <p>6 心結カフェ 参加者6名、メンバー6名、ふれて 市民スタッフ2名、支え合 いセンター職員1名</p> <p>7 ふれてランチ会+心結カフェ 参加者3名、メンバー8名、ふれて 市民スタッフ8名、市職員1名</p> <p>8 心結カフェ 参加者2名、メンバー8名、ふれて 市民スタッフ3名、市職員1名</p> <p>9 心結カフェ 参加者2名、メンバー10名、ふれて 市民スタッフ3名、市職員1名</p> <p>10 ふえてランチ会+心結カフェ 参加者4名、メンバー7名、ふれて 市民スタッフ2名、事務局2名等</p> <p>11 心結カフェ+マジックショー 参加者4名、メンバー7名、ふれて 市民スタッフ2名、CMJ1名</p> <p>12 心結カフェ 参加者7名、メンバー9名、ふれて 市民スタッフ2名、支え合 いセンター職員1名</p> <p>1 心結カフェ 参加者6名、メンバー8名、ふれて 市民スタッフ6名、CMJ2名</p> <p>2 心結カフェ 参加者6名、メンバー7名、ふれて 市民スタッフ6名、市職員4名</p> <p>3 心結カフェ</p>
備 考	<p>・年度末での登録者数は12名、1ヵ月平均の参加者数は15.8名。新規で相談に来所された方も2名以上お入り、介護相談の場として活用されている。参加者のうち、現役介護者は6名。H30年2月より認知症カフェ方式を導入。当初は長年のスタイルからの変更により戸惑いや疑問を感じる方も複数いたが、半年後には定着。ランチ会やマジックショーを導入する事で気分転換の場となつている。</p> <p>・虐待ケースの虐待者も複数参加している場であるが、気分転換以外にも知識を得て支援に結びつく等が見られており抑止効果も生んでいる。</p> <p>・心結カフェの周知は積極的に専門職へ参加を呼びかけ、見てもらう事で新規紹介に結びついている。今後も専門職の参加を呼び掛ける。</p>	

評価基準: 5. 良くできている(期待した以上の成果が得られた) 4. できている(期待した成果が得られた)

3. 十分ではない(期待した成果が得られなかった) 2. できていない(見直しが必要)

1. 全くできていない

2018年度 北広島市みなみ高齢者支援センター

「介護予防事業(介護予防講座、その他)報告」

主管 高齢者支援課

目 的 (ねらい)	<p>□自立、事業対象者、要支援者の方々が、生活の質を向上(その人らしく精神的な充実感があり、社会との繋がりが感じられる生活の実現)している事を目指します。□北広島市圏域に在住の住民の多くは、介護予防に向けた取組の組みへの関心が高いことあり、介護予防に関する様々な知識を普及し、高齢者が要介護状態にならないように支援すると共に、地域包括支援センターが実施している他の事業(総合相談、生活支援コーディネーター・権利擁護等)とも有機的に連携しながら職員一人丸となって取り組めます。</p> <p>□更に高齢者だけでなく介護者世代や若い世代に対し、活動を通して、認知症や生活習慣病予防の意識が高まる事を旨とします。</p> <p>□団地地区を担当している相談窓口として知って頂ける機がかりを周知に努めます。</p>	
	内容	<p>1.対象者:老人クラブの参加者(ときわ会、鶴寿会、ロイヤルクラブ)、住民、民生委員、福祉委員、自治会(含婦人部)等</p> <p>2.参加員:1回20~100名</p> <p>3.参加料:無料</p> <p>4.会場:各団地に合わせて検討</p> <p>5.内容:認知症の啓蒙や予防(脳トレ・ミニゲーム)、転倒予防の体操、血圧・体脂肪、握力・血圧年齢測定等</p>
計 画	月	<p>4 第1住区おしやべりサロン出前講座 第4住区お茶の間出前講座 ニュー北広島店出前講座</p> <p>5 9/15 第1住区おしやべりサロン 6 6/21 ふれてフェスティバル</p> <p>7 7/01 第3住区福祉祭り 第4住区地域ふれあい夏祭り 第1住区おしやべりサロン出前講座 第4住区お茶の間出前講座</p> <p>8 第2住区夏祭り 第1住区ふれあい夏祭り 老人クラブ「鶴寿会」「ときわ会」出前講座</p> <p>9 ふれてフェスティバル</p> <p>10 第1住区おしやべりサロン出前講座 第4住区お茶の間出前講座</p> <p>11 11/11 第1住区おしやべりサロン</p> <p>12 1/18 生誕ふれあいサロン 1/24 東光ストア介護予防教室 2/6 老人クラブ「鶴寿会」 2/25 老人クラブ「ときわ会」 3/19 第1住区おしやべりサロン 3/23 山手町5-6丁目自治会</p>
	事業内容	<p>422 里見5・6丁目お茶の間 427 第3住区地区福祉委員 講師会主催介護予防教室</p> <p>5/15 第1住区おしやべりサロン</p> <p>6/21 ふれてフェスティバル</p> <p>7/01 第3住区福祉祭り 7/14 第4住区夏祭り 7/17 第1住区おしやべりサロン 7/27 いまじい100歳体操</p> <p>8/01 老人クラブ「鶴寿会」 8/12 第2住区ふれあい夏祭り 8/18 第1住区夏祭り 8/28 老人クラブ「ときわ会」 9/01 ふれてフェスティバル 9/09 里見5・6丁目お茶の間 9/13 ふれてフェスティバル</p> <p>9/28 第2住区お茶の間 10/17 第4住区お茶の間 10/17 ふれあい夏祭り 11/20 第1住区おしやべりサロン</p> <p>1/18 生誕ふれあいサロン 1/24 東光ストア介護予防教室 2/6 老人クラブ「鶴寿会」 2/25 老人クラブ「ときわ会」 3/19 第1住区おしやべりサロン 3/23 山手町5-6丁目自治会</p>
備 考	月	<p>4 422 里見5・6丁目お茶の間 427 第3住区地区福祉委員 講師会主催介護予防教室</p> <p>5 9/15 第1住区おしやべりサロン</p> <p>6 6/21 ふれてフェスティバル</p> <p>7 7/01 第3住区福祉祭り 7/14 第4住区夏祭り 7/17 第1住区おしやべりサロン 7/27 いまじい100歳体操</p> <p>8 8/01 老人クラブ「鶴寿会」 8/12 第2住区ふれあい夏祭り 8/18 第1住区夏祭り 老人クラブ「鶴寿会」「ときわ会」出前講座</p> <p>9 ふれてフェスティバル</p> <p>10 第1住区おしやべりサロン出前講座 第4住区お茶の間出前講座</p> <p>11 11/11 第1住区おしやべりサロン</p> <p>12 1/18 生誕ふれあいサロン 1/24 東光ストア介護予防教室 2/6 老人クラブ「鶴寿会」 2/25 老人クラブ「ときわ会」 3/19 第1住区おしやべりサロン 3/23 山手町5-6丁目自治会</p>
	評価	<p>4 422 里見5・6丁目お茶の間 427 第3住区地区福祉委員 講師会主催介護予防教室</p> <p>5 9/15 第1住区おしやべりサロン</p> <p>6 6/21 ふれてフェスティバル</p> <p>7 7/01 第3住区福祉祭り 7/14 第4住区夏祭り 7/17 第1住区おしやべりサロン 7/27 いまじい100歳体操</p> <p>8 8/01 老人クラブ「鶴寿会」 8/12 第2住区ふれあい夏祭り 8/18 第1住区夏祭り 老人クラブ「鶴寿会」「ときわ会」出前講座</p> <p>9 ふれてフェスティバル</p> <p>10 第1住区おしやべりサロン出前講座 第4住区お茶の間出前講座</p> <p>11 11/11 第1住区おしやべりサロン</p> <p>12 1/18 生誕ふれあいサロン 1/24 東光ストア介護予防教室 2/6 老人クラブ「鶴寿会」 2/25 老人クラブ「ときわ会」 3/19 第1住区おしやべりサロン 3/23 山手町5-6丁目自治会</p>

2018年度 北広島市みなみ高齢者支援センター

「生活支援コーディネーター・第2層協議体①自助・互助活性化」報告

主管 高齢者支援課

目 的 (ねらい)	<p>□北広島市の人口減少と少子高齢化の進展は、生産年齢人口の減少と同時に①後期高齢者の増加②独居高齢者の増加③認知症高齢者の増加などが押し寄せ、孤独死や高齢者虐待、消費被害等様々な課題が山積している状況です。これら課題に対しては、地域が一丸となり総合的・一体的にましまなければ乗り越える事は難しい時代となっております。自助・互助・共助・公助それぞれその機能を高め、誰もが安心して住み続けること出来る北広島団地地区を目指します。</p> <p>1.生活支援コーディネーター業務として、①担当圏域内の地域資源の把握②インフォーマルな団体や民間企業など制度の枠を超えたネットワークの構築③新しい介護予防団体の創設やサービス提供を担える団体・事業の創出を働きかけます。</p> <p>2.第2層協議体を設置し、北広島団地地区の課題を把握し、課題解決に向けた具体的アクションを実施します。</p> <p>3.包括的・継続的ケアマネジメント、介護予防事業などと連動しながら取り組みを実施します。</p>	
	内容	<p>・介護予防団体の創設</p> <p>・ボランティアの育成</p> <p>・団体のネットワークをコーディネート</p> <p>・自助や互助の地域資源把握</p> <p>・第1住区～第4住区それぞれに地域課題を話し合える場の創出など</p>
計 画	月	<p>4 4/06.21 第2層協議体創設 4/14 みみかみ・体ナ、協議体会議</p> <p>5 5/01 ちーむとらぎWS委員会 5/12 第2層協議体WS開催 5/16 ベンチ設置作業実施</p> <p>6 6/20 第2層協議体創設 6/28 みみかみ・体ナ、協議体会議</p> <p>7 7/04 第2層協議体創設 7/24 みみかみ・体ナ、協議体会議</p> <p>8 8/07.22 第2層協議体創設 8/22 みみかみ・体ナ、協議体会議</p> <p>9 9/01 ふれてフェスティバル 9/28 みみかみ・体ナ、協議体会議</p> <p>10 10/31 北広島市議会議員選挙 10/22 第2層協議体創設 10/23 コープ店打ち合わせ</p> <p>11 11/2 ベンチ撤収</p> <p>12 12/28 新年会 1/22 新年会 1/28 新年会</p> <p>1 1/10 ちーむとらぎWS 1/28 新年会 1/29 新年会</p> <p>2 2/16 第2層協議体WS開催 2/21 第1層協議体開催(市)</p> <p>3 3/1 SCフォーラム研修 3/27 石狩管内SC意見交換会</p>
	事業内容	<p>ワークショップ委員会 ベンチ設置作業実施</p> <p>ワークショップ</p> <p>ふれてフェスティバル</p> <p>ワークショップ</p> <p>ベンチ回収</p> <p>ワークショップ</p> <p>雪かき交流祭り</p>
備 考	月	<p>4 4/06.21 第2層協議体創設 4/14 みみかみ・体ナ、協議体会議</p> <p>5 5/01 ちーむとらぎWS委員会 5/12 第2層協議体WS開催 5/16 ベンチ設置作業実施</p> <p>6 6/20 第2層協議体創設 6/28 みみかみ・体ナ、協議体会議</p> <p>7 7/04 第2層協議体創設 7/24 みみかみ・体ナ、協議体会議</p> <p>8 8/07.22 第2層協議体創設 8/22 みみかみ・体ナ、協議体会議</p> <p>9 9/01 ふれてフェスティバル 9/28 みみかみ・体ナ、協議体会議</p> <p>10 10/31 北広島市議会議員選挙 10/22 第2層協議体創設 10/23 コープ店打ち合わせ</p> <p>11 11/2 ベンチ撤収</p> <p>12 12/28 新年会 1/22 新年会 1/28 新年会</p> <p>1 1/10 ちーむとらぎWS 1/28 新年会 1/29 新年会</p> <p>2 2/16 第2層協議体WS開催 2/21 第1層協議体開催(市)</p> <p>3 3/1 SCフォーラム研修 3/27 石狩管内SC意見交換会</p>
	評価	<p>4 4/06.21 第2層協議体創設 4/14 みみかみ・体ナ、協議体会議</p> <p>5 5/01 ちーむとらぎWS委員会 5/12 第2層協議体WS開催 5/16 ベンチ設置作業実施</p> <p>6 6/20 第2層協議体創設 6/28 みみかみ・体ナ、協議体会議</p> <p>7 7/04 第2層協議体創設 7/24 みみかみ・体ナ、協議体会議</p> <p>8 8/07.22 第2層協議体創設 8/22 みみかみ・体ナ、協議体会議</p> <p>9 9/01 ふれてフェスティバル 9/28 みみかみ・体ナ、協議体会議</p> <p>10 10/31 北広島市議会議員選挙 10/22 第2層協議体創設 10/23 コープ店打ち合わせ</p> <p>11 11/2 ベンチ撤収</p> <p>12 12/28 新年会 1/22 新年会 1/28 新年会</p> <p>1 1/10 ちーむとらぎWS 1/28 新年会 1/29 新年会</p> <p>2 2/16 第2層協議体WS開催 2/21 第1層協議体開催(市)</p> <p>3 3/1 SCフォーラム研修 3/27 石狩管内SC意見交換会</p>

今年度は高齢者の買い物や外出利便性向上を目的にベンチ設置活動を実施(圏域内45台)冬季は、除雪問題と冬の閉じこもり予防を目的とした雪かき交流祭りを開催(除雪22件、交流会83名参加)ワークショップでは高齢者の買い物課題解決をテーマにグループワークを実施。今後は地域住民、民間企業、専門職の参加者数を増やせる取り組み、交通など高齢者の“足”に着目した取り組みを模索する。SC及び第2層協議体は“福祉のまちづくり”に関する活動内容で、とても広いテーマを扱う為、地域包括支援センターとしてどこまで実施すべきか線引きが難しいという課題もある。

評価基準: 5. 良くできている(期待した以上の成果が得られた) 4. できている(期待した成果が得られた)
3. 十分ではない(期待した成果が得られなかった) 2. できていない(見直しが必要)
1. 全くできていない

2018年度 北広島市みなみ高齢者支援センター

「生活支援コーディネーター・第2層協議体②地域との関係作り」報告

主管 高齢者支援課

Table with 5 columns: ねらい (Objectives), 内容 (Content), 事業内容 (Business Content), 実績 (Achievements), 評価 (Evaluation). Includes a detailed list of activities and their outcomes.

評価基準: 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた) 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要) 1. 全くできていない

2018年度 北広島市みなみ高齢者支援センター

「職員資質向上①研修」報告

主管 高齢者支援課

Table with 5 columns: ねらい (Objectives), 内容 (Content), 事業内容 (Business Content), 実績 (Achievements), 評価 (Evaluation). Includes a list of training activities and their outcomes.

評価基準: 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた) 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要) 1. 全くできていない

2018年度 北広島市みなみ高齢者支援センター

「職員資質向上②部署内連携」報告

主管 高齢者支援課

(ねらい)	月	事業内容	実績	
			評価	評価内容
計 画	4	あいさつ回り 定例会議、三職種会議・ケース会議等内部会議 職員個人面談	4	予定通り実施
	5	定例会議、三職種会議・ケース会議等内部会議 四恩園職員検診対応、	4	予定通り実施
	6	定例会議、三職種会議・ケース会議等内部会議 職員個人面談	4	予定通り実施
	7	定例会議、三職種会議・ケース会議等内部会議	4	予定通り実施
	8	定例会議、三職種会議・ケース会議等内部会議 職員個人面談	4	予定通り実施
	9	定例会議、三職種会議・ケース会議等内部会議 上半期評価反省と報告書作成	4	予定通り実施
	10	定例会議、三職種会議・ケース会議等内部会議 職員個人面談	4	予定通り実施
	11	定例会議、三職種会議・ケース会議等内部会議	4	予定通り実施
	12	定例会議、三職種会議・ケース会議等内部会議 職員個人面談	4	予定通り実施
	1	定例会議、三職種会議・ケース会議等内部会議	4	予定通り実施
	2	定例会議、三職種会議・ケース会議等内部会議 今年度評価反省と次年度に向けて計画・報告書作成 職員個人面談	4	予定通り実施
	3	定例会議、三職種会議・ケース会議等内部会議 総合評価 次年度事業計画案提出	4	予定通り実施
備 考	みなみ高齢者支援センター内部における話し合い、会議を定期的に実施している。担当しているケースの情報共有や事例検討を行う事で、シレンマ等抱えた状態から早期に脱し、バーンアウトの予防などにも役立っていると評価する。総合相談など各種事業も時期によってはとても過密スケジュールで実施しなければならず、1職員にかかる負担が大きくなる事もあるので、会議等から役割分担をその都度見直し、バックアップできる体制作りに努めている。			

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
1. 全くできていない

2018年度 北広島市みなみ高齢者支援センター

「職員資質向上②部署内連携」報告

主管 高齢者支援課

(ねらい)	月	事業内容	実績	
			評価	評価内容
計 画	4	あいさつ回り 定例会議、三職種会議・ケース会議等内部会議 職員個人面談	4	予定通り実施
	5	定例会議、三職種会議・ケース会議等内部会議 四恩園職員検診対応、	4	予定通り実施
	6	定例会議、三職種会議・ケース会議等内部会議 職員個人面談	4	予定通り実施
	7	定例会議、三職種会議・ケース会議等内部会議	4	予定通り実施
	8	定例会議、三職種会議・ケース会議等内部会議 職員個人面談	4	予定通り実施
	9	定例会議、三職種会議・ケース会議等内部会議 上半期評価反省と報告書作成	4	予定通り実施
	10	定例会議、三職種会議・ケース会議等内部会議 職員個人面談	4	予定通り実施
	11	定例会議、三職種会議・ケース会議等内部会議	4	予定通り実施
	12	定例会議、三職種会議・ケース会議等内部会議 職員個人面談	4	予定通り実施
	1	定例会議、三職種会議・ケース会議等内部会議	4	予定通り実施
	2	定例会議、三職種会議・ケース会議等内部会議 今年度評価反省と次年度に向けて計画・報告書作成 職員個人面談	4	予定通り実施
	3	定例会議、三職種会議・ケース会議等内部会議 総合評価 次年度事業計画案提出	4	予定通り実施
備 考	みなみ高齢者支援センター内部における話し合い、会議を定期的に実施している。担当しているケースの情報共有や事例検討を行う事で、シレンマ等抱えた状態から早期に脱し、バーンアウトの予防などにも役立っていると評価する。総合相談など各種事業も時期によってはとても過密スケジュールで実施しなければならず、1職員にかかる負担が大きくなる事もあるので、会議等から役割分担をその都度見直し、バックアップできる体制作りに努めている。			

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
1. 全くできていない

2018年 北広島グループホーム四恩園事業計画

主管 グループホーム課

重点事業方針	
「認知症基礎研修」「認知症介護標準化実践行動指針」を基本とし、BPSD（行動・心理症状）にも対応できるよう知識、技術力を高め臨機応変な対応を実践していく。一人ひとりの生活背景や認知症の症状、身体状況により要因分析する視点を探め、コミュニケーションを図ることで随時対応できるようチームとして関わりを広げていく。ご家族の集いを実施し情報共有やイベントの充実、個別の対応に努める。地域との関わりを少しずつでも拡大していきけるよう職員が個々に視野を広げていく。	
重点事業項目	
1. 個人の身体状況、認知症の症状（BPSD）などの事例を通して具体的に関わっていくことへの分析力を高めるため研修を実施する。	
2. 看取りについて、バイタルサインの把握など基本的な関わりから、個別の関わりについて学びを深め、安楽な環境について追及する。	
3. 緊急時の対応、リスクマネジメントについて <ul style="list-style-type: none"> 急変時の対応、救急搬送の手順、連携について再確認する。 ヒヤリハット、気づきシートを活用し、環境要因など気づける視点の拡大。 身体拘束等の適正化について、指針の確認、研修の実施。 	
4. 認知症ケア専門職として、質の向上に努める。 <ul style="list-style-type: none"> 「口腔ケアの基本」「生活機能の向上」などについて、専門職から毎月又は個別に指導を受け学びを実践する。 職員それぞれが目標を持ち、研修参加等自己研鑽する。 	
5. 地域で暮らして続けることを大切に、地域の行事、イベントの参加、ご家族との交流も「家族の集い」を定期的に開催し、意見交換、情報共有し運営推進会議に反映していく。 <ul style="list-style-type: none"> イベント内容の検討 運営推進会議をおおむね2か月に1回の実施 「家族の集い」年2回の実施 自己評価、外部評価（アンケート）の実施 	
【上半期評価】	【下半期評価】
1. グループホーム会議にて認知症、BPSD、看取りについて、研修を実施してきた。グループワークも取り入れ意見交流で情報共有がおこなっている。分析力については、もう少し深くほりさげている。今後の視点で必要で上半期で方法を検討し取り組みなってきた。	1. 研修を継続し、グループワーク等を通して分析力を高める目的で実施してきたが、全体の底上げがなかなか難しく継続的に個人ワークを含め実践していきたい。
2. 専門職による研修に参加するなど日々の関わりの中で活かしている。今後基礎的な知識を学び、個別の取り組みにつなげていく。	2. 看取りについて研修を行なっていたが、基本的知識を踏まえ、個別の対応が必要になってくる。具体的に段階を踏んだ状態について文書化し共有していく。
3. 身体拘束の適正化について研修を行なった。具体的に説明することでケアの質を上げて行く事が重要であることを共通認識としていく。今後研修にて学ぶ機会を多くしていきたい。	3. リスクマネジメントシートを活用し、今後に活かせるように要因分析を状態に応じて見直し行ないたい。
4. 訪問診療の医師、歯科衛生士より毎月アドバイス頂いている。今後も継続し学んでいく。	4. 専門職としても基本を法人研修への参加や、歯科医や衛生士からの毎月のアドバイスを受け実践することができてきている。
5. 新しく入居されたご家族も家族の集いや行事参加を重ねていくことでご家族同士の関わりも深くなってきている。地域の方の協力もあって、入居されている方の生活を支えて頂いていることに感謝している。今後も、地域の関わりを継続しご家族と一緒にイベント内容の検討も行なっていきたい。	5. 定期的な家族の集いを実施していく中で、ご家族同士の連携や、行事への参加も準備段階から取り組んで頂いている。地域との関わりも継続されており、行事について御家族の関係が確立されており、一緒に楽しめる様子が見られる。運営推進会議についてもおおむね2か月に1回実施。自己評価、外部評価についてもご意見を頂き、今後もよりよいサービスへの向上に努めていきたい。

2018年 北広島グループホーム四恩園認知症ケア研修計画

主管 グループホーム課

目的と目標 (ねらい)	実績			
	評価	評価内容		
1. 職員全体で要因分析の視点やコミュニケーション力の向上を図る。 2. 職員が専門職からの指導やアドバイスをうけ実践していく。 3. 学ぶことを通じて仕事へのやりがい、誇りを自覚する。 4. 自らが地域の資源であることを再認識し活動する。 5. 感染症対策について具体的な行動が実施できる	3	毎月予定していた内容の研修に取り組んできたが状況にみて、必要な内容に変更する事もあった。グループワークも取り入れそれぞれが発言し、学ぶことでケアの質の向上に取り組んでいきたい。		
	4	倫理綱領について 口腔衛生機能研修 生活機能の個別指導	3	
	5	記録の書き方	3	
	6	虐待・身体拘束適正化の指針について①	4	
	7	看取りについて	3	
	8	認知症ケアの演習1	4	
	9	2018年度前期振り返り 実践評価	3	
	10	感染症の研修(インフルエンザ)	3	職員が担当し計画していたが勤務変更等含まれなかった。また、感染症については毎年研修を行なっていたが、実際に体調不良で個室対応となった場合に対応が統一されていない現状があった。今後も継続的に具体的対応についてチェックシート等を活用し実施していきたい。
	11	感染症の研修(ノロウイルス)	3	
	12	虐待・身体拘束の適正化チェックについて②	2	
	1	事例発表	2	
	2	2018年度後期振り返り 実践評価	3	
3	2019年度事業方針について	3		
計画				
備考	毎月第3水曜日グループホーム四恩園の会議にて定例研修を実施。研修テーマに沿って担当者が資料作成、当日の進行を行う。当日の夜勤者、運営以外全員参加。口腔ケアの基本や生活機能の充実にも専門職からの指導を受け知識深め実践する。			

評価基準： 5. 良くできている（期待した以上の成果が得られた） 4. できている（期待した成果が得られた）
 3. 十分ではない（期待した成果が得られなかった） 2. できていない（見直しが必要）
 1. 全くできていない

2018年 北広島グループホーム四恩園行事計画

主管 グループホーム課

目的と目標 (ねらい)	実績	
	月	評価 評価内容
1、地域の行事参加に参加しご家族の協力を得て活気のある生活をサポートしていく。 2、季節を感じて頂き、外出することで生活への楽しみや活動力を継続して頂く。 3、地域の方とのつながりを拡大していけるよう努める。	4	レクリエーション大会 参加が難しくなってきた
	5	お花見 誕生会
	6	ドライブ 2
	7	第4住区地域ふれあい夏祭り 4
	8	夏祭り 3
	9	ふれてフェスティバル 敬老会 4
	10	紅葉見学 3
	11	外食行事(西町、東町) 4
	12	クリスマス会 餅つき大会 4
	1	お正月 3
	2	節分(2/3) 4
	3	ひな祭り(3/3) (第3木曜日) 4
備考	・外出することの楽しみを持ち、天候にも配慮する。行事担当とし段取り等を受け持つ。 ・身体的な事も考慮し車の座席、駐車場スペースも確認しておく。 ・月1回お茶の間、週1回ともに喫茶に参加し地域の方々と交流する機会を設ける。 ・お誕生会を毎月第3木曜日固定とする。	

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年 北広島グループホーム四恩園展開計画

主管 グループホーム課

目的と目標 (ねらい)	実績	
	月	評価 評価内容
1. ご家族の集いを定期的に開催し情報共有、意見交換の実施。運営推進会議にて反映。 2. 訪問看護、協力病院との連携を密にして健康管理に努める。 3. 専門職との関わりについての報告を行い評価。 4. 地域とのつながりを深め、よりよいサービスの向上を目指す。	4	定期健診 (ケアプランモニタリングの実施(ご家族のご意見伺い) 家族の集い 訪問診療・訪問看護 4
	5	運営推進会議 4
	6	4
	7	運営推進会議 4
	8	4
	9	運営推進会議 (ケアプランモニタリングの実施(ご家族のご意見伺い) 家族の集い 4
	10	定期健診 4
	11	運営推進会議 自己評価・外部評価 インフルエンザの予防接種 3
	12	肺炎球菌ワクチン 4
	1	運営推進会議 4
	2	4
	3	(ケアプランモニタリングの実施(ご家族のご意見伺い) 家族の集い 運営推進会議 3
備考	・お客様の情報を共有するため、朝・夕の引き継ぎを実施し連絡帳を活用していく。 ・毎月の会議で運営推進会議やボランティアさんからのご意見を報告し職員へフィードバックする。 ・家族の集いを定期的に開催し情報共有、意見交換し運営推進会議に反映していく。 ・面会時などご家族との会話の機会を大切に日頃の状態報告、ご希望を伺う。 ・毎月のお茶の間、ともに喫茶などに参加し地域との関係性を大切にする。	

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年 北広島グループホーム四恩園感染症対策・環境整備計画

主管 グループホーム課

目的と目標 (ねらい)	実績	
	評価	評価内容
1. お客様の体調管理に配慮し、環境を整えるよう努める。 2. 予防に配慮し、早期発見対応で感染症蔓延防止。 3. 環境を整える事で過ごしやすい生活を提供する。 4. チェック表を作成し実施済みの箇所を確認していく。		
計 画	4	毎週口腔ケア用品消毒 とうがい、手洗いの実施 環境整備することや予防 に取り組む事で感染もな く経過している今後も継 続していきたい。
	5	加湿器清掃後回収 窓ふき
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	加湿の清掃が計画通り 出来ない状況であった。 次年度は、計画的に予定 をたて、フィルターの交 換を含め準備していき たい。
	11	加湿器設置
	12	加湿対策(湿度・温度調整・換気) 大掃除
	1	加湿器清掃
	2	加湿器清掃
	3	加湿器清掃

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
1. 全くできていない

2018年度 ホームヘルプサービス事業計画

主管 訪問介護課

重点事業方針	重点事業項目
<p>介護を必要とする高齢者・障がい者が可能な限り、住み慣れた地域や自宅での生活を継続できるように、ヘルパーはより一層専門職として「お客様役に立てるように」「お客様に喜んでもらえるように」サービスの質を上げて支援していきたい。「地域包括ケアシステム」の展開がすすんでいる現在、昨年度から開始した「自費サービス ゆたかさプラス」、そして24時間安心して暮らすためのサービス「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の実現にむけた取り組みを積極的に行っていききたい。人材確保については、ヘルパーの仕事について知ってもらうためのPRを行いながら、今後のヘルパーステーションをになう人材を確保していく。</p>	<p>1) 「何のために、何を目的として。」ヘルパーは訪問支援しているのかを意識する。 ① 支援内容だけに目をむけるのではなく、生活全般を見ていく視点を忘れない。 ② 本人様、家族様、関係事業所間の情報共有に努め、連携を密にする。 ③ 目標達成にむけて、ヘルパーがチームとして稼働しているかを評価する。 ④ 必要な会議を開催。(担当者会議、ケース会議、サービス調整会議)</p> <p>2) ヘルパーの質の向上に努める。 ① ヘルプ研修を実施する。(全体研修、個人研修、研修委員担当研修) ② 事例検討を通して問題を解決する。(気づきの視点を得る。) ③ 課題等があった時にはタイミングをはずさない対応を心がけ、経過報告まで行う。 ④ 自費サービスにおける安定したサービスの提供をめざす。 ⑤ 終末期に対応し看取りケアができる。 ⑥ 業務の簡素化、システムの利用を有効にする。</p> <p>3) 人材の確保・育成に努める。 ① ヘルパー自らが人材確保の声かけの意識を持ち、実行する。 ② イベントやミニ講座を通じてヘルパーの仕事を理解してもらおう機会を作る。 ③ 次期リーダー・サービス提供責任者を育成する。</p>
	<p>【上半期評価】</p> <p>ヘルパーとサ責間の情報交換やケース検討等ができている。サ責間の報連相を密にするため、調整会議の他にミーティングを月2回程度実施し、こまめに新強ケースの予定や派遣ヘルパーの調整が可能となった。事故報告では「不要な派遣」が目立ち、派遣調整についての業務改善を実施。各ヘルパーが次のヘルパーへ伝達しなければいけないこと、利用者様ごとで次に予測されること考えた業務が行えるように指導助言が必要であった。ヘルパー研修では、実技形式のリハビリ研修や看取り研修を実施。自己の振り返りができた。訪問件数は昨年と比較し減少傾向であった。障害の利用者数や件数は増加したが、介護では介護3以上のケースは在宅継続が困難となり終了が増加。新規ケースは底介護者が多く生活支援が目立って増えている。他事業所が困難な早期毎日訪問や、不定期夜間訪問は受けている。自費サービスは多岐にわたって依頼が増えている。</p>
	<p>【最終評価】</p> <p>長年行ってきただけ介護方法が現状のお客様にとってあっているのかをヒヤリハット報告を通して検討することができた。漫然とした方法をとることにより不適切なケアにつながらないのかを振り返りをヘルパー間で検討できた。サ責業務の効率化を図るため、担当ケースを再編成。新たな視点を持つことができた。サ責のスキルアップを目的に計画作成勉強会を実施し、アセスメントの視点や開示するための表現などを学ぶことができた。研修では、下半期は新しい操作、感度研修を実施。実技型の研修は技術習得には良かった。昨年度から利用者、訪問件数の減少が進み収益減少が大きいかった。常勤者の訪問パターンの見直しを行った。固定ヘルパーの概念を外し、1利用者に複数ヘルパー担当制を作る土台を作っているが継続して取り組みをする。新人ヘルパーは3名中1名が継続できている。</p>

2018年度 ホームヘルプサービス全体計画

主管 訪問介護課

(ねらい)	月	事業内容	実績	
			評価	評価内容
<p>1. アセスメント、訪問介護計画書作成、実施、定期的なモニタリングを確実に行う。</p> <p>2. ケアマネやサービス提供者との連携を密に取り、お客様の情報を共有する。</p> <p>3. 次期サービス提供責任者を育成と新人ヘルパーの獲得育成。</p> <p>4. ヘルパー全体会議や研修を実施して質の向上に努める。</p> <p>5. ほのぼのシステムを活用しケアースの情報共有を円滑にし業務の簡素化を図る。</p> <p>6. 人材を確保するため、ヘルパーの仕事をする多くの人に知ってもらう。</p>	4	<p><会議の開催、参加></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サービス調整会議 ・ ヘルパー全体会議 ・ ケース会議 ・ 担当者会議 ・ 夜勤者会議 ・ ドライブミーティング ・ サービスネットワーク訪問部会 	4	<p>サ責の役割について外部研修に参加し、伝達練習を実施。役割や業務の整理を見直し、ファイルの整理等を行っているようになっている。同行訪問はまだ十分に実施できていないため、計画的に行うことが必要。</p>
	5	<p><サービスマネジメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サービス提供責任者の作成 ・ 状況報告書の作成 ・ モニタリングの実施 ・ 同行訪問の実施 ・ ヘルパー研修の実施 ・ スーパービジョンの実施 	4	<p>サ責の報連相がミーティングを定期的に実施することによって改善されている。介護計画立案時にチェック機能がなかったため、新規や困難ケースをとりあげて勉強会を実施できた。新人ヘルパーの育成は面談を定期的に行うことで成果をあげている。</p>
	6	<p><ヘルパー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事例検討の実施 ・ ケース会議の実施 ・ 研修の実施 		
	7	<p><ヘルパー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同行訪問の実施 ・ 個人研修の実施 		
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
備考				

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 ホームヘルパー研修計画

主管 訪問介護課

(ねらい)	月	事業内容	実績		
			評価	評価実績	
<p>1. ヘルパーの質の向上の為、年間を通してチームごとに事例検討を行う。</p> <p>2. 研修については、①全体研修②研修委員担当研修③個人研修の3本立てで行う。</p> <p>3. 研修委員はヘルパーからの要望を鑑み、研修を企画・実行する。</p>	4	<p><事例検討></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気づき 		6月は身体介護実践研修、7月はリスクマネージメント、8月は看取り研修を実施。自己の振り返りができた。	
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症① 			
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 脱水 			
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気づき 		5	事例検討では、慢性の脱水や身体介護の「一線」についてケースのアセスメントの重要性を学んだ。
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 虐待 			
	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修委員担当 	<p>終末期ケア</p>		
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接遇 			
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族の思い 			
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修委員担当 	<p>身体介護実践研修</p>	4	10月に震災を振り返る、11月虐待研修、1月重たい研修を実施。研修を通して、今まで気づけなかった部分に気づくことができた職員が多かった。
	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携 			
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間を振り返る 			
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気づき 			
備考	*				

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 ホームヘルパー委員会事業計画

主管 訪問介護課

目 的 (ねらい)	事業内容		実績		
	月	内容	評価	評価内容	
<p>1. お客様が作った作品を展示し、他の人に見ていただくことで作る励み・喜びを感じていただく。新規のお客様にも参加して頂けるよう、工夫をしていく。</p> <p>2. お客様にお誕生日カードをプレゼントし一緒に祝う。</p> <p>3. ヘルパー間の連携を深める為、行事を通して連携を図る。</p>	4	<作品展> → <誕生日> → <親睦会>	4	毎月のお誕生カードはとも喜ばれています。親睦会は多数の参加で交流を深めることができている。	
	5				
	6				
	7				
	8		・食事会		
	9				
	10				
	11	ふれて・ともに ・ダイサーピス			
	12		・忘年会	4	10月作品展では、作品を市民に提供するかもおり、地域の方からも好評だった。親睦会の忘年会はほぼ全員出席し好評だった。
	1				
	2				
	3				
備考	<p>評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)</p> <p>3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)</p> <p>1. 全くできていない</p>				

2018年度 ホームヘルパー車両管理計画

主管 訪問介護課

目 的 (ねらい)	事業内容		実績	
	月	内容	評価	評価内容
<p>1. 運行前点検・定期点検を適切に実施し、安全に努める。</p> <p>2. 交通ルールに従い、責任ある運転に努める。</p> <p>3. 定期的に会議・研修を行ない、安全運転への意識を高める。</p>	4	タイヤ交換 ボルテ・カロローラ・キャブ点検		車両事故はなかった。 乗用車内の清掃が不十分であり、下半期は改善したい。
	5	運行前点検・定期点検・洗車		
	6	運行前点検・定期点検・洗車	3	
	7	運行前点検・定期点検・洗車		
	8	運行前点検・定期点検・洗車		
	9	運行前点検・定期点検・洗車		
	10	タイヤ交換 ボルテ・カロローラ・キャブ点検		
	11	運行前点検・定期点検・洗車		
	12	運行前点検・定期点検	3	車両の貸し出しで破損した。日常点検を実践していたため事故翌日には発見できた。他部署へ車両点検を依頼した。
	1	運行前点検・定期点検		
	2	運行前点検・定期点検		
	3	運行前点検・定期点検		
備考	<p>*車両については他部署も使用する事があるので、運転前後の点検も含め、さらなる安全運転に努めていきたい。</p> <p>評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)</p> <p>3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)</p> <p>1. 全くできていない</p>			

2018年度 北広島複合型サービス四恩園事業計画

主管 複合型サービス課

重点事業方針

1. その人らしい「生き方」「暮らし方」の実現のため地域に開かれた家庭的な事業所を目指します。生活の主人公はお客様です。「～したいの実現」「持っている力の活用」「生活の継続性」を大切に、「通い」「泊り」「訪問」「訪問看護」のサービスを組み合わせさせていただきます。いづれのサービスもなじみの介護・看護職員が対応し24時間・365日、切れ目のない支援を安心とともに届けます。
2. 介護と医療の連携のもと地域で暮らしている事ができるように、認知症の方や医療ニーズのある方の方の在宅生活継続を支援します。ご希望があり医療体制が取れば、看取りの支援も行います。
3. なじみの場所、なじみの関係のなか、環境の変化から受ける不安や病状悪化のリスクを減らします。
4. 生活の主体者としての尊厳が保たれるよう、お客様本位のサービスを提供します。
5. 「高齢になっても、体が不自由になっても、認知症などの病気になるっても、住み慣れたこのまちで暮らし続けたい」そうしたお客様やご家族の思いを支え、一人ひとりが生きがいを持ち、心豊かな安定した生活を送れるよう、誰もが住みやすいまちづくりを目指します。

重点事業項目

1. 個々のお客様の生活の意向を踏まえ、その人固有の価値観に基づいた生活を継続できるよう、自立支援介護に努め生活リハビリ・看護サービスを提供する。
 - ① 役割活動、脳トレ、音楽活動や季節行事、外出など感情に働きかけ認知症の悪化予防に努める。
 - ② 棒体操や口腔体操、生活機能リハビリを行い、体力・筋力を強化し病状管理に努める。
2. 主治医との連携を取るため、訪問診療の立ち合いや受診同行、主治医とのメール等の情報共有により、お客様が適切な医療サービスが利用できるよう支援する。
3. お客様・ご家族にいつでもつながる安心を提供するため、随時の相談援助や介護相談、臨機応変なサービス提供体制を維持し他機関とも連携していく。
4. 運営推進会議、ボランティアや市民スタッフ、家族との繋がりを活用し、多様な交流と地域行事や外出機会の提供など楽しみある生活を提供する。
5. 医療との連携のもと、看取りの希望に対応していく。

【上半期評価】

複合型サービスの特長であるなじみの環境を活かし、お客様の個別性に配慮したサービス提供をし、様々な活動・交流の機会を提供できている。申し送りや全体会議、連絡ノートなど活用しているが、報道相、接遇、介護技術において課題を残している。引き続きチーム力を上げていく必要がある。①ご利用されるお客様に合わせたプログラムの提供に努めている。②自身の力を活かす介護に努めている。体操への参加が難しくなった方へのプログラムに検討を有する。看護職員が減っており、現状では個別のリハビリは実施できなくなっているが、歩行機会の確保やアクティビティでの運動量確保などに取り組んでいる。2.実施している。3.個々の事情により柔軟なサービス提供をおこなっている。4.ボランティアの着任により、お客様の交流が豊かになり、ボランティアの喜びもつなげられている。運営推進会議メンバー、市民スタッフ、地域住民の方からは様々なサポートを頂き感謝している。5.段階に応じて話題にあげ、予測される事象にご家族とどう対応するか検討し、現状では希望に無条件で応じられる状況にはない。

【下半期評価】

上半期と同様になじみの関係の中で個別性の高い介護の提供に努めている。お客様、ご家族からも高かき満足と評価を得ている。報道相、接遇、介護技術、人材確保と育成においては依然、課題を残している。日本全体が人手不足に苦しむなか複合型サービスも例外ではないが、ムリ・ムラ・ムダを省きチーム力を上げて乗り切っていくことが重要である。ただお客様へより良いサービスを提供するため努力は失わず、長く満足してサービスを利用し頂けるよう努めていきたい。今年度は4名の方が在宅あるいは複合型サービスからの入院先の病院で短期間で亡くなられた。そのうち3名は前年度に利用を開始した方であり、ざりぎりまでその方らしく楽しんで暮らした生活を支えられたことに誇りを感じる。今後も地域の皆様を頂きながらより地域に求められる資源として役に立っていききたい。

2018年度 北広島複合型サービス四恩園全体計画

主管 複合型サービス課

ねらい	事業内容				実績	
	モニタリング訪問	全体会議 チーム会議	居宅部会・ 研修	評価	評価	評価内容
1. お客様・ご家族との連携を大切に複合型サービスでの過ごし方や、サービス提供の在り方を相談していく。 2. ともにふれて、いろいろな地域資源を活用し、お客様の地域での生活を支える。 3. 介護職・看護職・ケアマネの連携を密にし、お客様理解を深めサービスに生かしていく。 4. 主治医との連携を図り、適切な医療を受けられるよう支援する。	4			4	4	情報共有、担当制、カンファレンス実施、更新していく情報を共有していく事には課題あり。主治医、特に在宅訪問診療医との連携を、リスケアマネジメントシートでの活用で課題解決の意識づくり。
	5			4	4	運営推進会議
	6			4	4	運営推進会議
	7			4	4	運営推進会議
	8			4	4	従業員等自己評価については、今年度は取組んでいない。
	9			4	4	従業員支援にも力を入れ柔軟にサービスを提供
	10					12月より全体会議が組めなくなり、少数でのカンファレンスや打ち合わせに終始している。身体介護技術について、個別のケース支援を通じて写真入りマニュアルを作る等OJTでの技術向上とサービスの質の向上に努めている。運営推進会議は順調に開催し高評価を得ている。
	11					運営推進会議
	12					運営推進会議
1					運営推進会議	
2						
3					運営推進会議	
計画						
備考						<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝ミーティング、連絡ノート・フェイスシートにて情報共有。 ・ 適時、多職種によるカンファレンス・プラン見直しをおこなう。担当制の実施。 ・ 月1回の全体会議にて、情報交換・新規や困難事例のカンファレンス、研修や各種会議や委員会の報告などを行なう。 ・ お客様に合わせた勤務の在り方が必要時に相談・検討。 ・ 適時、主治医、協力医療機関、行政、各支援センター、関係機関に相談する。 ・ 法人内での報告・連絡・相談。 ・ 事業所のサービス情報や老人保健施設、支援センターなどに発信していく。 ・ 従業員等自己評価の取り組み

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
1. 全くできていない

2018年度 北広島複合型サービス四周年会議および研修計画

主管 複合型サービス課

目 的 (ねらい)	事業内容		実績	
	月	内容	評価	評価内容
計 画	4	複合型サービス全体会議 (各担当からの報告・検討・研修)	4	4月 緊急時対応に ついて
	5	カンファレンス ボジショニング 職員伝達講習 (6月)	4	5月 接遇マナー伝達 研修 6月 ボジショニ ング 8月 清拭につい て、チームワークつ くり 9月 上半期反省 と複合型サービス、 身体介護技術
	6	カンファレンス 言葉遣いの適正化	4	
	7	カンファレンス ノウハウメンソッド	4	
	8	カンファレンス 接遇の向上	4	
	9	カンファレンス 上半期反省と複合型サービスの理解	4	
	10	カンファレンス 感染症のひととのよいコミュニケーション	4	10月 看取りについ て ムリ・ムダの見直し 11月 個別支援から学 ぶ介護の視点・ケア の見直し
	11	カンファレンス 安全な介助方法・ボジショニング・腰痛予 防	4	12月 より全体会議が組 めなくなり、少人数で のカンファレンスや打 ち合わせとなった。個 別のケース支援を通じ て写真入りマニュアル を作る等OJT実施。 法人研修への参加。
	12	カンファレンス 移乗・移動介助の基本と生活リハ・新感覚 介護(玉邑O.T講師)	4	
	1	カンファレンス	3	
	2	下半期の反省・次年度の計画	3	
	3	次年度打合せ	3	今後OJTの充実 が必要。
	備 考	※複合型サービス職員全体会議・研修 (毎月第2火曜日) 各職員の役割分担を明確化する。 複合型サービスに必要な基礎疾患に応じた対応が、ケアワーカーも理解できるように、医療的研修 を充実させる。 介護技術の向上に資する研修の実施 ※ 月ごとの研修内容は昨年実施内容を参考資料として記載		

評価基準: 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 複合型サービス看護業務計画

主管 複合型サービス課

目 的 (ねらい)	事業内容		実績	
	月	内容	評価	評価内容
計 画	4	到着時に体温、脈拍、血圧測定、月1回体重測定 食事や排泄、睡眠状態の把握、皮膚状態の観察、 利用時の服薬・外用薬対応 フェイスマスクの作成 状態に応じた受診推奨や受診時参考になるようにご家族 への情報提供 御家族の体調や介護負担の把握 お客様の病状理解への取り組み (会議・ミーティング、フ ェイスマスク等にて)	4	訪問診療への同席や主治 医へのメールや電話など 医療職との連携に努めて いる。訪問リハビリ利用者 についてはPTとの連携 と専門知識の活用にも努 めている。
	5	職員健康健診対応	4	
	6		4	
	7		4	
	8		4	
	9		4	
	10		4	訪問診療への同席や主治 医へのメールや電話など 医療職との連携に努めて いる。訪問リハビリ利用者 についてはPTとの連携 と専門知識の活用にも努 めている。まがりまで複合 型サービスで医療的サポ ートを行いながら在宅及 び病院で4名の方がご遊 去され、お客様のQOLの 維持、ご家族のあんしんや 満足を得られたと思う。
	11	職員検診対応、 インフルエンザ予防接種	4	
	12		4	
	1		4	
	2		4	
	3		4	
	備 考	・訪問診療前には状況報告し必要時は同席します。 ・新たな診療科受診時は看護サマリーを作成し情報提供を行います。 ・栄養スクリーニング加算の算定〜体重測定や食事状況の把握により、低栄養状態にあれば総 合的な対応方法など検討実施して行く		

評価基準: 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 北広島複合型サービス四恩園行事計画

主管 複合型サービス課

目 的	実 績				
	月	評価	評価内容	実 績	
1. お客様が、家族・地域とのつながりを大切に、自宅での暮らしを楽しむよう支援する。 2. 一人ひとりのお客様の個々の価値観や趣味を理解し、季節を味わう行事や、なじみの場所へ出かけるなどの活動を通じて体力の強化や意欲の向上を図る。 3. お客様の意欲を引き出す継続的な活動と成果の発表。 4. 地域行事に参加し、地域の方がお茶のみや相談に立ち寄りてくれるような、地域に開かれた施設を目指す。	4	3	誕生会 個別外出 (通時)	喫茶やイベント企画段階から参加の場面まで、さまざまな配慮を頂いている。市民スタッフから日常的に温かな支援を頂き感謝している。	
	5	1	花見ドライブ いちご狩り	地域イベントでは多様な世代の地域住民との交流や市民スタッフの方々の継続的な交流ができて	
	6	4	第4住区地域ふれあい夏祭り、恵庭道の駅、雪印パル園、	介護ボランティアやお話ボランティア、習字講師など継続して活動頂く事ができ、地域住民の社会貢献の機会として蓄積されている。	
	7	4	ともに夏祭り ふれてフェスティバル 敬老会、市役所見学、緑楊中学音楽行事	地域の小学校での車椅子学習への職員派遣など行う事ができた。	
	8	4	ともに夏祭り ふれてフェスティバル		
	9	4	お正月あそび お楽しみ忘年会		
	10	1	カラオケ大会・餅つき お楽しみ忘年会		
	11	3	お正月あそび 節分		
	12	2	ひな祭り		
	備 考	※お客様のご生活や好み、体力に配慮して、個別に対応できる誕生会や外出、季節行事を企画する。 ※お客様がしたいこと、できることを理解し、お客様自身のお力発揮を促すこと、季節行事を企画すること。			

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 複合型サービス四恩園地域展開計画

主管 複合型サービス課

目 的	実 績				
	月	事業内容	評価	評価内容	
1. お客様の生活の場である地域の課題や思いを理解し、一人ひとりのお客様が地域でのつながりながら、新たな地域との繋がりを作りたい。 2. ともに内での日常的な交流を深め、イベントや地域のお祭りなどに参加を促していきたい。 3. 運営推進会議を通じて、複合型サービスを知ってもらい、地域に求められる複合型サービスについて考える一助としたい。	4	地域のお茶の間やふれてコンサート、など、四恩園他事業所の行事への参加 (開通時)	4	喫茶やイベント企画段階から参加の場面まで、さまざまな配慮を頂いている。市民スタッフから日常的に温かな支援を頂き感謝している。	
	5	第3住区福祉まつり	4	地域イベントでは多様な世代の地域住民との交流や市民スタッフの方々の継続的な交流ができて	
	6	第4住区ふれあい夏まつり 7/25	4	介護ボランティアやお話ボランティア、習字講師など継続して活動頂く事ができ、地域住民の社会貢献の機会として蓄積されている。	
	7	ともに夏祭り	4	地域の小学校での車椅子学習への職員派遣など行う事ができた。	
	8	ふれてフェスティバル	4		
	9	地域の学芸会	4		
	10	ともにもちつき お茶の間カラオケ大会	4		
	11	地域の運動会	5		
	12	地域の運動会	4		
	備 考	地域交流ホームに併設されている利点を活用し、日常的な地域住民との交流に努め、地域行事に参加してもらう事でお客様が地域の一員として生活されることを支援する。 介護支援ボランティアさんの受け入れと活躍の場の提供・サポート			

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 北広島複合型サービス四恩園車両管理計画

主管 複合型サービス課

(ねらい)	事業内容	実績	
		評価	評価内容
1. お客様が安心・安全にサービスを利用できるよう、送迎車両の安全管理・運行を行います。 2. 車両事故によるリスクの周知・徹底、事故防止に努めます。 3. 看板を背負ったの運転を常に意識し、大切に車両を使います。	タイヤ交換(摩耗状態の確認)	3	運転手と協力の点検や車両の点検を行っている。
	オイル交換	4	元、オイル交換の点検や車両の点検を行っている。
	エレメント交換	4	行車の際のドライブなどでも問題なく使用出来ている
	換車点検	4	
		4	
		4	
		4	
		3	
		3	
		3	
		3	
		3	
計画	後期は車両の事故が何件かあり、幸い大きな事故には至っていないが、気を引き締めて運転をするように伝えている。		
備考	※毎朝のミーティングで車両運行上の注意点を確認(事故によるリスクを理解) ※乗車毎に安全運転標語の確認(常に安全運転を心がける) ※各車両 5000kmごとにオイル交換、10000kmごとにエレメント交換。(トヨペットにて実施) ※洗車および内部清掃、ワックスがけは随時実施 ※駐車時の後方の安全確認		

評価基準: 5. 良くできている(期待した以上の成果が得られた) 4. できている(期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない(期待した成果が得られなかった) 2. できていない(見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 訪問看護ステーション事業計画

主管 訪問看護課

重点事業方針	重点事業項目
・今後の社会情勢を踏まえ、在宅生活を送る療養が必要な方々やそのご家族が、住み慣れた地域でできるだけ長くその人らしい生活が送れるように、医療・福祉・保健の連携・ネットワークを構築する一助となるよう関わる。また、予防的な視点を持ち、医療面のみならず総合的な知識や技術を習得できるように各々が努力し、ステーション全体の質向上を図る。 ・訪問看護が療養生活を支える上で重要な役割を果たすこと、最期の過ごし方や看取りなどについてより多くの住民や医療・福祉従事者に知ってもらうための啓蒙活動を実施し、地域とのつながりを深める。地域包括ケアの担い手としての役割を認識し、次世代の育成も視野に活動を展開する。	1、 アセスメント力を高め、個別性を尊重した看護計画作成と看護実践を行います。 2、 モニタリングを実施し、お客様やご家族の意向をサービスに反映させます。 3、 お客様の療養生活における目標設定をサポートし、社会活動・社会参加を積極的に支援します。 4、 医療従事者・介護従事者への啓蒙活動を実施し、連携を強化します。 5、 改善活動を推進し目的をもった研修を実施し、当ステーションの質向上を目指します。 6、 地域とのつながりを深め啓蒙活動を実施し、訪問看護の普及に努めます。 7、 月の登録利用者数55名、訪問件数常時240件の役割を認識し、地域活動を継続して実施します。 8、 地域包括ケアシステムの重要な担い手としての役割を認識し、地域活動を継続して実施します。 9、 同法人看護職間の情報交換と連携を図ります。 10、 市内訪問看護ステーション間の情報交換と連携を図ります。 11、 グループホーム入居者の健康管理や看取り支援の充実を図ります。 12、 次世代育成への取り組みを実施し、事業継続への担保を図ります。
【上半期評価】 訪問ケースの疾患障害年齢も幅広くなり(精神・知的・認知症・看取り他、年代10～100歳代)、対応できる知識やコミュニケーションスキルが不可欠になっている。今年度市外長沼のケースが2名あった。啓蒙活動としては6月にカラオケサークルメンバーに講話をしたり、歯科衛生士学生への講話を通して訪問看護の役割をアピールした。7月には市内高校生4名に訪問看護の体験をしてもらい次世代育成にも目を向けた。法人内では乗の話を通して看護と介護の連携についての意識づけを試みた。地域のお祭りへの参加は地域活動として恒例となっている。	【最終評価】 下半期には入院する利用者が多く、新規ケースも例年より少なく訪問件数が減少した。看取りは某クリニックと市外訪問看護事業所に移行し、今後市内ステーションの連携と共に、事業差別化がなお一層求められる。訪問看護部会では9月の胆振東部地震を受け11月に「防災の勉強会」を実施。さらに「在宅患者の栄養ケアマネジメント」の講演を開催した。 10月には外出行事として「高齢者のカウンター独占会」を実施。参加者に好評を博した。 年明けより「北広島訪問看護ステーション四恩園通信」を毎月～隔月で作成し関係機関に配布するようになった。業務以外の事務処理にかかっている時間も多くなり、専門研修の実施が難しいが、訪問看護部の研修も取り入れ活用しつつ業務の効率化を図る必要がある。事業所継続のために次世代育成が喫緊の課題である。モニタリングアンケート調査未実施。

2018年度訪問看護ステーション全体計画

主管 訪問看護課

ねらい	目的	事業内容	実績	
			評価	評価内容
		1. アセスメント力を高め、個別性を尊重した看護・リハビリの計画作成と看護実践を行える。 2. お客様の療養生活における目標設定をサポートし、支援できる。 3. 地域住民・一般住民や医療・福祉従事者への啓発活動を実施し、訪問看護の普及に努める。 4. グループホーム入居者の健康管理・看取り支援とご家族・スタッフ支援の充実に努める。 5. 将来的な事業継続に向けた取り組みを図る。		
		4 きたひろろサービスネット総会 訪問看護計画見直し検討	3	
		5 職員健康健康補助 ナース会議	4	13日GH家族の集いにて看取りの講話
		6 吉田学園講師	4	14日吉田学園講義 22日カラオケの会講話 8日薬の話(法人内)
		7 第3住区福祉祭り参加 介護職員初任者研修 訪問看護部会定例会議	4	1日初任者研修 10日30日薬の話(法人内) 1日第3住区祭り 12日3ST合同会議
		8 第2・4住区祭り参加	4	11日第2住区祭り
		9 事業計画上半期評価 訪問看護部会総編会	4	20日5ST合同会議 21日5ST総編会 100歳撮影・作品展
		10 外出行事(寿司)	4	27日餅ツア一
		11 インフルエンザ予防接種 作品展 訪問看護部会事例検討会	4	16日5ST作品展 30日5ST講演会
		12 大掃除	4	
		1 書類整備 広報作成	4	広報たみみのうえ発行
		2 アンケート実施	3	
		3 29年度事業計画評価および30年度立案 訪問看護部会定例会議	4	
		備考		民生委員や自治会、ほか団体に交渉し講演講習などを実施する。(出前講座) 各課への研修実施(看取り他) 個人面談実施

評価基準: 5. 良くできている(期待した以上の成果が得られた) 4. できている(期待した成果が得られた)
3. 十分ではない(期待した成果が得られなかった) 2. できていない(見直しが必要)
1. 全くできていない

2018年度訪問看護ステーション研修計画

主管 訪問看護課

ねらい	目的	事業内容	実績	
			評価	評価内容
		・個々の目標に合わせた個別的な研修を計画的に進めるとともに、ステーション全体で強化すべき点、特に「精神科訪問看護」の研修を強化し全体の質向上を図ることとで当ステーションの特色を出す。市内ステーション間で事例を共有しレベルアップを図る。 ・改善活動を推進し、当ステーションの質向上を目指すことができる。 ・次世代育成を目的に「ふれあい看護体験」の受け入れを実施。		
		4 スーパービジョン・同行訪問 随時	3	
		5 「北海道訪問看護ステーション連絡協議会」主催研修	4	
		6 「ふれあい看護体験」高校生受け入れ 吉田学園講師	4	14日吉田学園講義 22日カラオケの会講話 8日薬の話(法人内) 1日初任者研修 12日合同会議
		7	4	10日30日薬の話(法人内) 高校生ふれあい看護体験
		8 内部研修	4	
		9 「ふれあい看護体験」高校生受け入れ	4	20日5ST合同会議 8日 考観者研修 26日 集団研修 30日 感染研修
		10	4	
		11 訪問看護部会事例検討会	4	15日21日 全体研修 15日 精神疾患研修 16日 防災勉強会
		12	4	11月30日 栄養セミナー 研修
		1 北海道看護協会主催「訪問看護実践発表会」	4	19日 幹部研修
		2	4	2日 リーダーシップ研修 6日22日 定期巡回研修 19日 随時看後研修 22日 5ST合同会議 23日 栄養管理学会
		3 内部研修	4	
		備考		個人の研修計画に沿った研修を随時 感染対策委員会・防火対策委員会・研修委員会主催研修参加 またひろろサービスネットの部会研修 グループホーム職員・他部署への研修実施 居宅部会への参加(訪問看護部会紹介) 看護協会事業への参画

評価基準: 5. 良くできている(期待した以上の成果が得られた) 4. できている(期待した成果が得られた)
3. 十分ではない(期待した成果が得られなかった) 2. できていない(見直しが必要)
1. 全くできていない

2018年度 サービス付き高齢者向け住宅しおん事業計画

主 管 サービス付き高齢者向け住宅しおん

重点事業方針	
「大切なあなたと、幸せを共感できる我が家を目指して!!」 サービス付き高齢者向け住宅しおんは、どのような人であっても、どのような状態であっても、お客様は自分らしい生き方ができる、楽しく幸せな我が家となることを目指します。	
重点事業項目	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 日々の暮らしの中で、安心・安全・安定を実感できる住宅にします。 ○ 人と人とのつながりの中から、楽しみや幸せを共感できる拠点にします。 ○ 自立支援を促し、健康寿命を延ばします。 ○ 職員の質の向上を図ります。 ○ 快適な住環境を目指して、建物管理や環境整備を行います。 	
【上半期評価】	【最終評価】
<p>胆振東部地域は今までの暮らしを考えさせられるきっかけになった。自家発電により灯り確保され、各部屋にも自家発電用電源があるので、必要に応じて灯りを取ることでできた。お客様から「自宅ではなく良かった」と、住宅の安心はもちろんであるが、声掛けや情報提供を適時に伝える行動を共にしたこと、一人でない安心感に繋がったと思われた。また職員とお客様だけでなく、お客様同士の絆も深くなったように思えた。</p> <p>開股当初イベントに出席しなかったお客様が、徐々に参加するようになり、また友達と一緒に出かけるといった活動の場が広がっている。イベントで顔見知りの人に声をかけられていたお客様姿を見ると、今まで知りえなかった関係や以前の生活を垣間見るなど新しい発見がある。お客様の生活の幅を広げることに役立っているように思う。</p> <p>自己管理ができるお客様の体調は安定しているが、認知症のお客様の場合は訴えがなく、高血圧の変化が見られる場合が多い。普段から十分な観察が必要であるが、職員が限られているため、お客様に問われる時間が減らされていく。</p>	<p>早朝や18時以降は職員が一人になるため効率よく仕事をしなければならぬ。変則勤務のため職員間で顔を合わせる機会が少なく、輪廻は常に意識して仕事をしている。</p> <p>職員の動きを見てお客様から頑張りの声かけをいただくのは嬉しいが、本来であれば「忙ししい」ことを察知されない、動きをしなければならぬ。今後も一人一人に関わる時間を増やしていくことは予想され、職員を増やすことを考えていかねばならぬ。</p> <p>年に数回だったが、小物作りグループが集まって楽しい時間を過ごすことができた。数人ではあったが個別的な体験も行った。例年行っている花見や紅葉見学の実施は「今年が最後かもしれない」と言うお客様が重みを感じ、喜んでいただくことを考えた。参加人数が増えていたため、職員の対応が難しくなっている。実施方法を検討する必要がある。</p> <p>徐々に地域のイベントに参加するお客様も増えてきており、お客様自身がともに全体の行事に慣れてきてくれる。一方、ともにも利用する地域の方が増えることでにぎやかさが増し、それを嫌うお客様もいるので対応に苦慮した。</p>

2018年度 サービス付き高齢者向け住宅しおん全体計画

主 管 サービス付き高齢者向け住宅しおん

目 的	事業内容	実 績	
		評価	評価内容
①日々の安否確認と相談対応、24時間365日の緊急対応などの基本サービスを中心に、②食事・買物などの生活サポート、③併設介護事業所や協力医療機関による介護・医療サポート、④情報提供、⑤権利擁護による、お客様の生活（安心・安全・安定）を支えます。	<ul style="list-style-type: none"> ○安否確認 ○体調確認 ○体調の変化による対応 ○医療機関との連絡調整 ○相談対応 ○夜間の緊急対応 ○アセスメントの実施 ○食事の提供 ○嗜好のチェックおよびアンケート調査 ○居室への配膳 ○健康体操の実施 ○買い物物送迎 ○ネットサービスの対応 ○移動販売の対応、声かけ ○茶話会の実施 ○イベントの実施 ○夏祭り、敬老会、もちつきの実施 ○往診の対応 ○薬局の対応 ○服薬管理 ○介護サービスの調整、相談 ○ケアマネへの連絡、情報提供 ○他事業所への連絡、情報提供 ○ご家族への連絡、情報提供 ○ケース会議の参加 ○ケース会議の参加 ○担当者会議の参加 ○職員研修、会議の参加 ○サービスネット研修参加 ○環境整備 ○お茶会の開催、声かけ ○地域のイベントの参加、対応 ○市民スタッフとの交流、対応 ○地域の人の交流、参加 ○業者との連絡調整 ○防火訓練、地域訓練の参加 	4	胆振東部地域の駅は、お客様に安心して生活を送っていただけるよう職員一丸となって取り組む、お客様から評価をいただいた。上半期の行事は予定通り行ったが、例年行った方が良いものも変化が必要なものに区別され、今後の検討課題となった。
計 画		4	起床介助や排泄介助、移動介助や見守りなど、手伝いを必要とされるお客様が増えたため、効率の良い動きが求められた。少ない職員間で一人一人のお客様に合わせた対応を検討し、同じ対応ができるように工夫を行った。職員同士のコミュニケーションは意識し、些細なことでも話し合うようにしている。また連絡ノートは必ず目を通し、情報共有に努めている。
備 考			

評価基準： 5. 良くできている（期待した以上の成果が得られた） 4. できている（期待した成果が得られた） 3. 十分ではない（期待した成果が得られなかった） 2. できていない（見直しが必要） 1. 全くできていない

2018年度 サービス付き高齢者向け住宅しおんQOL計画

～人と人とのつながりの中から、楽しみや幸せを共感できる拠点にします～

主 管 サービス付き高齢者向け住宅しおん

目 的	月	事業内容	実 績	
			評価	評価内容
計 画	4	・食事の提供・健康体操・買い物送迎・ネットスーパースタッフの対応 ・地域のイベント参加・花見・茶話会・カラオケ等	3	「しおん」で生活する良さを最大限生かして生活しているお客様がいる一方、一日を安全に過ごすことが最優先の生活を送っているお客様もあり、一人一人に目が届き届いていないのが実態である。 定例の行事やイベントはお客様の希望を取り入れ行っているが、一人一人のアセスメントが出来ていない。時間の工夫と、職員が関わ
	5	・食事の提供・健康体操・買い物送迎・ネットスーパースタッフの対応 ・地域のイベント参加・茶話会・カラオケ等		
	6	・食事の提供・健康体操・買い物送迎・ネットスーパースタッフの対応 ・地域のイベント参加・茶話会・カラオケ等		
	7	・食事の提供・健康体操・買い物送迎・ネットスーパースタッフの対応 ・第4住区まつり参加・地域のイベントの参加・茶話会・カラオケ等		
	8	・食事の提供・健康体操・買い物送迎・ネットスーパースタッフの対応 ・夏祭りの実施・地域のイベントの参加・茶話会・カラオケ等		
	9	・食事の提供・健康体操・買い物送迎・ネットスーパースタッフの対応 ・敬老会の実施・地域のイベント参加・茶話会・カラオケ等		
	10	・食事の提供・健康体操・買い物送迎・ネットスーパースタッフの対応 ・地域のイベント参加・茶話会・カラオケ等		
	11	・食事の提供・健康体操・買い物送迎・ネットスーパースタッフの対応 ・地域のイベント参加・茶話会・カラオケ等		
	12	・食事の提供・健康体操・買い物送迎・ネットスーパースタッフの対応 ・もろつきの実施・地域のイベント参加・茶話会・カラオケ等		
	1	・食事の提供・健康体操・買い物送迎・ネットスーパースタッフの対応 ・地域のイベント参加・茶話会・カラオケ等		
2	・食事の提供・健康体操・買い物送迎・ネットスーパースタッフの対応 ・地域のイベント参加・茶話会・カラオケ等			
3	・食事の提供・健康体操・買い物送迎・ネットスーパースタッフの対応 ・地域のイベント参加・茶話会・カラオケ等			
備 考				

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
1. 全くできていない

2018年度 サービス付き高齢者向け住宅しおん介護予防計画

～自立支援を促し、健康寿命を延ばします～

主 管 サービス付き高齢者向け住宅しおん

目 的	月	事業内容	実 績	
			評価	評価内容
計 画	4	・食事の提供及び嗜好調査	4	個人の病状に合わせて、食事の塩分やご飯の量を本人と相談して調整している。 1～2回の体重測定を行い、身体の状態を担当医と相談している。また個別の体調にも、必要と思われる方に声をかけ実施し、大変喜ばれている。
	5	・食事のアンケート		
	6	・健康体操(週2回) ・個別体調(状況に応じて)		
	7	・体調確認及び体調変化の対応		
	8	・健康相談		
	9	・お薬情報の整理、管理 ・服薬の管理		
	10	・服薬の確認 ・ケアマネへ情報提供及び連絡、相談		
	11	・他事業所への情報提供及び連絡、相談		
	12	・ご家族へ情報提供及び連絡、相談		
	1	・買い物送迎の実施 ・移動販売の対応、声かけ		
2	・茶話会、カラオケの実施			
3	・イベントの実施 ・地域交流の参加、			
備 考				

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
1. 全くできていない

2018年度 サービス付き高齢者向け住宅しおん研修計画

～職員の質の向上を図ります～

主管 サービス付き高齢者向け住宅しおん

目 的 ね ら い	月	事業内容	実績	
			評価	評価内容
お客様がサービスに満足していただけるよう研修を重ね、質の向上に努めます。	4	・しおん会議・ともに会議 ・研修の参加・ケース会議の参加・担当者会議の参加	4	職員が少なく勤務体制が変則であるため独自で研修時間を持つことが難しい、法人で行う研修やサービスネットの研修に参加している。担当者と研修等には参加しているが、全体的にお客様ではない、他部署との情報交換がスムーズでない、一面も見られ、事業期間の連続に温度差を感じている。話し合いの必要性を感じている。
	5	・しおん会議・ともに会議 ・研修の参加・ケース会議の参加・担当者会議の参加		
	6	・しおん会議・ともに会議 ・研修の参加・ケース会議の参加・担当者会議の参加		
	7	・しおん会議・ともに会議 ・研修の参加・ケース会議の参加・担当者会議の参加		
	8	・しおん会議・ともに会議 ・研修の参加・ケース会議の参加・担当者会議の参加		
	9	・しおん会議・ともに会議 ・研修の参加・ケース会議の参加・担当者会議の参加		
	10	・しおん会議・ともに会議 ・研修の参加・ケース会議の参加・担当者会議の参加		
	11	・しおん会議・ともに会議 ・研修の参加・ケース会議の参加・担当者会議の参加		
	12	・しおん会議・ともに会議 ・研修の参加・ケース会議の参加・担当者会議の参加		
	1	・しおん会議・ともに会議 ・研修の参加・ケース会議の参加・担当者会議の参加		
	2	・しおん会議・ともに会議 ・研修の参加・ケース会議の参加・担当者会議の参加		
	3	・しおん会議・ともに会議 ・研修の参加・ケース会議の参加・担当者会議の参加		
	備考			

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 サービス付き高齢者向け住宅しおん環境整備計画

～快適な住環境を目指して、建物管理や環境整備を行います～

主管 サービス付き高齢者向け住宅しおん

目 的 ね ら い	月	事業内容	実績	
			評価	評価内容
お客様が快適に過ごせるよう、住環境の整備に努めます。	4	・定期点検・居室内見廻り・温度調整・業者へ連絡調整 ・メーター検針・確認・屋外の点検	5	昨年お客様から廊下や食堂が寒い時があると話が出ていたため、温度調整には気を配り、早めの対応を行った。 毎年悩まされている蟻の侵入については、天候を見ながら早めに粉剤を散布した。9月末に各部屋のストロープの点検を計画に入れた。 台風の影響で部屋の網戸が動いたり落ちたりしたが、その都度対応した。
	5	・定期点検・居室内見廻り・温度調整・業者へ連絡調整 ・メーター検針・確認・屋外の点検		
	6	・定期点検・居室内見廻り・温度調整・業者へ連絡調整 ・メーター検針・確認・屋外の点検		
	7	・定期点検・居室内見廻り・温度調整・業者へ連絡調整 ・メーター検針・確認・屋外の点検		
	8	・定期点検・居室内見廻り・温度調整・業者へ連絡調整 ・メーター検針・確認・屋外の点検		
	9	・定期点検・居室内見廻り・温度調整・業者へ連絡調整 ・メーター検針・確認・屋外の点検		
	10	・定期点検・居室内見廻り・温度調整・業者へ連絡調整 ・メーター検針・確認・屋外の点検		
	11	・定期点検・居室内見廻り・温度調整・業者へ連絡調整 ・メーター検針・確認・屋外の点検		
	12	・定期点検・居室内見廻り・温度調整・業者へ連絡調整 ・メーター検針・確認・屋外の点検		
	1	・定期点検・居室内見廻り・温度調整・業者へ連絡調整 ・メーター検針・確認・屋外の点検		
	2	・定期点検・居室内見廻り・温度調整・業者へ連絡調整 ・メーター検針・確認・屋外の点検		
	3	・定期点検・居室内見廻り・温度調整・業者へ連絡調整 ・メーター検針・確認・屋外の点検		
	備考			

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 居宅介護支援事業所事業計画

主管 居宅介護支援課

重点事業方針	
1. お客様を地域で支えるケアマネジメントの実践	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で「様々なニーズへの対応」「お客様主体の支援」「関係機関との連携と協働」「支援困難事例への対応」「権利擁護の視点」「ソーシャルアクション」の機能を果たす。
2. 安定経営へ向けたケアプラン数確保	<ul style="list-style-type: none"> ・北広島市全体の高齢化率・後期高齢化率・要介護認定者数の推移を理解した体制づくり。
3. ともに支えあう地域の基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で互いに支えあう地域をつくる取り組みの実践。 ・地域へ向けた情報発信。
4. 地域を支える相談援助職の人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助職を育成するスーパービジョン体制構築。 ・価値・知識・技術向上へ向けた研修。
重点事業項目	
1. お客様を地域で支えるケアマネジメントの実践	<ul style="list-style-type: none"> 1) お客様の生き方や価値観を肯定する相談援助の実践 2) 円滑な医療連携の推進（情報提供の方法・書式の検討、選考時カンファレンス参加徹底等）
2. 安定経営へ向けたケアプラン数確保	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネジャー8名のケアプラン受入れ体制（ケアプラン数280件/月を目標）
3. ともに支えあう地域の基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> 1) あれて、ともにでの活動（情報発信）、自治会、地区社会福祉委員会のお祭り等への参加 2) ケアマネジャーの相談援助と地域の基盤づくりの関係性の理解を深める
4. 地域を支える相談援助職の人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 1) 主任ケアマネジャーによるスーパービジョン、ミーティング（グループスーパービジョン）を活用した相談援助の向上とストレスマネジメント 2) 事例検討の実施、きたひろろスーパービジョン等への参加
【上半期評価】	
<評価>	<ul style="list-style-type: none"> ・改正に伴い、選考時の連携に関して書式を検討し運用を開始した。 ・アセスメントツールが変わったが活用状況に差がある。 ・支援困難事例について、ミーティング等による職員間の相談が機能している。 ・ミーティング機能効率化のため、「相談」と「報告」を別項目とした。 ・研修でケアマネジャーの地域の基盤づくりの目的は「地域の基盤が充実しそこに住む一人一人の生活がよくなる」であると確認した。 ・お祭り参加等の地域への発信の継続で、顔が見え関係性ができつつある。
【下半期評価】	
<評価>	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース支援の課題の背景や支援の方向性を定めるツールを活用した個人で使用するほか、サービス担当者会議やカンファレンスで議論の整理に活用。事前に会議参加者へ配布して課題や議論の整理に活用し、カンファレンスの時間を有効に活用できた。 ・「居宅サービス計画」の保存年限が2年⇒5年へ変更紙で保存する必要のある書類とそうでない書類を分類、書類整理に係る時間が大幅に短縮された。 ・予定を超えるお客様となり、前倒してケアマネジャーを増員。 ・ミニ講座の開催について準備した。次年度実施したい。

2018年度 居宅介護支援事業所全体計画

主管 居宅介護支援課

目 的 (ねらい)	事業内容		実績	
	月	事業内容	評価	評価内容
1. お客様を地域で支えるケアマネジメントの実践 2. 安定経営へ向けたケアプラン数確保 3. ともに支えあう地域の基盤づくり 4. 地域を支える相談援助職の人材育成	4	きたひろろ サービスネット居宅部会 サービスネット居宅部会 サービスネット居宅部会	4	4/20 サービスネット総会
	5	きたひろろ サービスネット居宅部会 サービスネット居宅部会	4	
	6	きたひろろ サービスネット居宅部会	4	書類整理
	7	きたひろろ サービスネット居宅部会	4	7/5内部研修7/1第3任区福祉祭り7/14第4任区ふれあい祭り（たいこんまつり）7/17居宅部会事例検討
	8	きたひろろ サービスネット居宅部会	4	8/11 第2任区ふれあい祭り8/21 北広島市在宅医療介護連携推進8/24 事例検討
	9	きたひろろ サービスネット居宅部会	4	ケアマネチェックリスト 上半期評価・下半期計画修正
計 画	10	きたひろろ サービスネット居宅部会	4	
	11	きたひろろ サービスネット居宅部会	4	書類整理
	12	きたひろろ サービスネット居宅部会	5	北広島市実地研修
備 考	1	きたひろろ サービスネット居宅部会	4	
	2	きたひろろ サービスネット居宅部会	4	ケアマネチェックリスト 個別面談研修計画作成
	3	きたひろろ サービスネット居宅部会	4	2018年度評価 2019年度事業計画立案
<ul style="list-style-type: none"> ・きたひろろサービスネット公開講座等に参加する ・事例検討会：年6回実施 				
<p>《各係》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定更新調査数集計：中谷 ・車両運行日誌、勤務表：秋田 ・住宅改修：中谷 ・物品請求：泉 ・特定事業所集中決算確認、実績報告、特定事業所加算基礎記録：伊東 ・予防請求：松沢 ・日誌：早川 ・きたひろろサービスネット居宅部会：秋田、新沼 				
<p>評価基準： 5. 良くできている（期待した以上の成果が得られた） 4. できている（期待した成果が得られた） 3. 十分ではない（期待した成果が得られなかった） 2. できていない（見直しが必要） 1. 全くできていない</p>				

2018年度 居宅介護支援事業所研修計画

主管 居宅介護支援課

目的	<ul style="list-style-type: none"> 相談援助技術の向上を図る 個別のケアマネジメントから一人ひとりのお客様の地域での暮らしを理解し、ふれて、ともに活動などから地域の現状、活動、つながりを理解する 		実績
	研修内容	評価	
計画	<p>4 四園全体研修 きたひろさービスネット研修 外部研修</p> <p>5 内部研修 (個別のケース支援と地域の基礎づくりの関連性を学び居宅介護支援課の地域展期を考える)</p> <p>6 事例検討会</p> <p>7 事例検討会</p> <p>8 事例検討会</p> <p>9 事例検討会</p> <p>10 事例検討会</p> <p>11 事例検討会</p> <p>12 事例検討会</p> <p>1 事例検討会</p> <p>2 事例検討会</p> <p>3 事例検討会</p>	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>2</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>2</p> <p>4</p> <p>2</p>	
備考	<ul style="list-style-type: none"> 朝(月～金)の会議の中で、情報交換、ケース支援について相談する。 緊急の事例に関しては随時検討する。相談・報告の徹底。 各自の専門性を高めることを目指し、自らの学びを職場に広げることをおこなう。 課内の事例検討会を開催して相談援助職としての学びを深める。 外部研修は復命を徹底する。 		

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
1. 全くできていない

2018年度 居宅介護支援事業所ケアマネジメント業務計画

主管 居宅介護支援課

目的	<ul style="list-style-type: none"> お客様主体のケアマネジメント実践 アセスメント、プランニング、担当者会議、モニタリング等ケアマネジメントのプロセスの円滑な運用 お客様への適正な情報提供による様々な社会資源の活用とケアプランへの反映 公正中立なケアマネジメント 		実績
	事業内容	評価	
計画	<p>4 支援経過 記録提出</p> <p>5 モニタリング表 提出</p> <p>6 支援経過 記録提出</p> <p>7 支援経過 記録提出</p> <p>8</p> <p>9</p> <p>10 支援経過 記録提出</p> <p>11</p> <p>12 支援経過 記録提出</p> <p>1 支援経過 記録提出</p> <p>2</p> <p>3</p>	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>4</p>	
備考	<ul style="list-style-type: none"> 朝ミーティング(月～金)にて、各種会議や委員会の報告、情報交換、新規や困難事例の相談、苦情の報告、社会資源の周知などを行なう。 お客様支援にエコマップを活用する。 適時行政、各支援センター、関係機関に相談する。 アセスメントツールの活用方法の検討。 		

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
1. 全くできていない

2018年度 居宅介護支援事業所地域展開計画

主管 居宅介護支援課

目 的 (ねらい)	実 績	
	評価	評価内容
<p>・「お客様を地域で支える」支援の実践</p> <p>・「お客様を支える地域をつくる」地域の基盤づくり</p>		
<p>・ふれて、ともにでの活動（ミニ講座、だいきんマンボ、イベントへの参加等）への参加</p> <p>・自治会、地区社会福祉委員会のお祭り等、行事への参加</p> <p>・個別のケアマネジメントを通じてお客様地域の声を北広島市のサービスマンに反映できるよう提言する</p>		
	4	ともに、ふれてミニ講座、ふれてだいきんマンボ 【開催時同時参加】
	5	
	6	内部研修 (個別のケース支援と地域の基盤づくりの関連性を学び居宅介護支援事業所の地域展開を考える)
	7	第3住区福祉まつり(社会福祉委員会主催) 第4住区ふれあい夏まつり(社会福祉委員会主催)
	8	第2住区ふれあい夏祭り(自治会主催)
	9	ふれてフェスティバル
	10	ともに地域の学芸会
	11	
	12	
	1	
	2	ともに地域の運動会
	3	
		2/16 ふれて雪かき交遊祭り 2/23 ともに地域の運動会
計 画		
	4	内部研修 (個別のケース支援と地域の基盤づくりの関連性を学び居宅介護支援事業所の地域展開を考える)
	5	1/1 第3住区福祉祭り 7/14 第4住区ふれあい祭り(だいきんマンボ)
	6	8/11 第2住区ふれあい祭り
	7	9/1 ふれてフェスティバル
	8	10/21 ともに地域の学芸会
	9	
	10	
	11	
	12	
	1	
	2	
	3	
備 考		

評価基準： 5. 良くできている（期待した以上の成果が得られた） 4. できている（期待した成果が得られた）
3. 十分ではない（期待した成果が得られなかった） 2. できていない（見直しが必要）
1. 全くできていない

2018年度サービスマン検討委員会事業計画

目 的 (ねらい)	事業内容		実 績	
	月	事業内容	評価	評価内容
<p>当施設が、施設内外を問わず地域へのサービスマン提供における過程や結果において発生した事故やよせられた苦情、要望等について背景要因や今後の対応を報告し、保険者（北広島市）、北広島市社協、苦情解決第三者委員、市民オンブズマンより助言や指導をいただきながらサービスマンの質の向上を図る機会となることを目的とする。主な内容は以下の通りである。</p> <p>1. 虐待や不適切ケアに関すること 2. 身体拘束防止に関すること</p> <p>3. 入居優先順位判定に関すること 4. 地域ケアに関すること</p> <p>委員長：神前健史 副委員長：向山 篤 町田丸美、平野佐緒利、玉邑亜矢、皆木有子、新沼右文、吉永美香 林 晃市、田中祐子、菊地新子 K ネット市民オンブズマン、苦情解決第三者委員、北広島市高齢者支援課長、北広島市社会福祉協議会事務局長、法人顧問弁護士</p>				
	4	・第71回サービスマン検討委員会 4月26日	5	第三者委員に島谷氏、藤野氏を新たに招聘した。資料を事前配布することとした。
	5			
	6			
	7	・第72回サービスマン検討委員会 7月26日	5	資料を理事専任資料とリンクできるように変更した
	8			
	9			
	10	・第73回サービスマン検討委員会 10月25日	5	予定どおり実施
	11			
	12			
	1	・第74回サービスマン検討委員会 1月24日	5	予定通り実施
	2			
	3			
備 考				

評価基準： 5. 良くできている（期待した以上の成果が得られた） 4. できている（期待した成果が得られた）
3. 十分ではない（期待した成果が得られなかった） 2. できていない（見直しが必要）
1. 全くできていない

2018年度感染対策委員会事業計画

目的 (ねらい)	感染症の種類、発症時期、感染力、感染経路等は多種多様となっており、その対応については職員の間で迅速な判断と迅速な行動が求められる。日頃から徹底した感染予防のための取り組み（リスクに対する自覚）と繰り返し実践的な研修を行うことで感染症発症の防止に努め、安全で安心な生活（職場）環境整備に取り組んでいきたい。 (目標) 職員全員が「効果的な手洗い」の習慣をつけることができる。		
	担当職員	委員長 吉永美香・山崎里恵 副委員長 對馬伸泰 神部健史 委員 (四恩園) 布施優子 飯田真菜枝 川口晃弘 池田千佳 荒閑哲平 小倉美佐保 (ともに) 鈴木直美 吉田ひとみ 恩田不美代 野尻真美子	
計画	月	事業内容	実績
	4	定例委員会 感染月間報告 感染消耗品管理	5 4/24 定例委員会実施
	5		4 月間報告は遅れ気味 6/5 定例委員会実施 6/26 食中毒予防、手洗い研修実施 (130名)
	6	定例委員会・施設内研修①・ 感染研修会	5
	7	感染マニュアル印刷 (2018年度版)	4 月間報告は遅れ気味
	8	定例会議	5 8/22 定例委員会実施 マニュアル整備に向けて冊子準備中。
	9	感染対策マニュアル差し替え配布	4 月間報告は遅れ気味 外部研修参加 (吉永)
	10	定例委員会/施設内研修②	5 10/18 定例委員会実施 感染マニュアル冊子の配布 10/30 ノロウイルス対策研修 97名参加
	11	手洗い巡回	4 月間報告は遅れ気味
	12	定例委員会	4 12/7 定例委員会実施 手洗い巡回
	1		4 手洗い巡回 インフルエンザ罹患患者出て いるが感染拡大なし
	2	定例委員会	4 2/15 定例委員会実施
3		3 月間報告は遅れ気味	
備考	毎月始めに各部署の感染事や動向の報告、とりぐみについて委員会へ報告書を出す		

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 給食委員会事業計画

目的 (ねらい)	1. お客様の食事に関するニーズを把握し、喜んでもらえる給食を目的とした調査・調整を重点に取り組む。 2. 食事環境に気を遣い楽しく美味しく給食を目指し、関係部署との連携・調整を図る。 3. お客様が快適 (配膳・器具・体調) な食生活が送れるように努め、健康管理を行う。 4. 特別食など個々に合わせた食事の意見、情報交換、実施に取り組む。		
	担当職員	委員長：土池 康介 副委員長：長谷川 倫子 委員：玉邑 亜矢・山崎 里恵・岡崎 よし枝・畑中 悠・小山 彩花・小鷹 亜希	
計画	月	事業内容	実績
	4		評価 評価内容
	5	給食委員会	1 開催出来なかった
	6		
	7		
	8	給食委員会	3 9月に変更
	9		
	10		
	11	給食委員会	3 1月に変更
	12		
	1		
	2	給食委員会	5 大変良かった
3			
備考	・給食委員会は3カ月に1回実施 ・事業所の分散化やお客様の個別差があり、各事業所の問題や工夫、感じたことなど掲示し情報の共有化に努める。		

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

2018年度 研修委員会事業計画

目的 (ねらい)	1. 法人全体研修と連携し今年度の計画を実施していく。 2. 内部研修により、現場に即した学びの機会を作りサービスの質の向上を図る。			
	委員長：皆木有子 副委員長：奥山智直 委員：平野佐緒利 町田丸美 玉邑亜矢 田中祐子 泉正人 川原規仁			
担当職員	事業内容	実績		
		評価		
計画	4	1. 人事考課システムの研修も含め法人今後は、法人全体研修としてサービス向上推進プロジェクト研修委員会との連携を図りながら検討していく。 ・人材育成を目的とした長期的な研修計画をたてる。(感染症対策研修、交通安全研修など)	3	サービス向上推進プロジェクト研修委員会との連携を図りながら実施している。今後は、各委員会の委員長とも連携し年間計画への取り組みも必要である。
	5		3	
	6		3	
	7		3	
	8	2. 内部研修により、現場の課題に即した学びの機会を作りサービスの質の向上を図る ・段階別研修内容を計画し実施する。 ・職員1人ひとりがケアについて考える力、気づきを深めることで理念に基づくサービス提供を目指す。	3	
	9		3	
	10			サービス向上推進プロジェクト研修委員会との連携を図りながら専門職としての学びを實施してきた。 次年度にむけて各委員会の委員長とも連携し年間計画をおこなっていきたい。
	11			
	12			
	1		2	
2				
3				
備考	・サービスネットの研修など周知し活用してもらう。 ・各課内部研修には、講師としての協力など行っていく。			
評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた) 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要) 1. 全くできていない				

2018年度 虐待防止委員会事業計画

目的 (ねらい)	・法人全体研修での学びや気づきを1年かけて一つひとつ取り組み、結果、お客様も職員もお互いが幸せであることを目指します。 ・各課のチームにはコミュニケーションを基に現場職員との信頼関係が築かれ、悩みやストレスが解消できる役割を中心的に担ってもらえるようチーム会議等で働きかけます。 ・各事業所よりヒヤリハット事故報告書を持ち寄り、内容を分析しその対応策、防止策をフィードバックします。 ・ヒヤリハット事故報告書が再発防止や業務改善に繋がるよう、改めて書式の見直しや活用法の再検証を行います。			
	委員長：長谷川智彦 副委員長：清水幸修 委員：平野佐緒利・玉邑亜矢・皆木有子・秋田梢			
計画	実績	評価		
	4		1	委員会開催できず。神部施設より事故報告書の書式を見直してはどうかと提案あり、改訂に向けた委員会での検討に入る。
	5	・法人全体研修 (6/26) ・法人全体研修 (6/12)	1	
	6	①定例委員会 (法人全体研修を振り回り、学びや気づきの活用について話し合う) →不適切ケアや虐待防止のための実践方法を各課へ提案する。	3	11回目委員会開催シートの見直し検討 シート使用開始
	7		3	
	8	・上半期ヒヤリハット事故報告書整理 (~9月)	1	
	9	②定例委員会 (各課の取り組み状況の確認と報告事例の検討)	1	
	10	→不適切ケアや虐待防止のための実践方法を各課へ提案する。		2回目委員会開催し、新シート導入後評価を実施 シート活用法について は各課により異なるが、 課内会議で取り上げ、事 例検討に活用している ところも出てきた。他にも 効果的な活用法を検討し たかったが、その後の委 員会活動が出来なかつ た。
	11	・ヒヤリハット事故報告書の書式、活用法の見直し ・身体拘束禁止に関する法人全体研修	2	
	12	③定例委員会 (各課の取り組み状況の確認と報告事例の検討)	2	
1	→不適切ケアや虐待防止のための実践方法を各課へ提案する。			
2	・下半期ヒヤリハット事故報告書整理 (~3月)			
3	④定例委員会 (各課の取り組み状況の確認と報告事例の検討)			
	・30年度評価と31年度計画策定			
備考	評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた) 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要) 1. 全くできていない			

2018年度ボランティア委員会事業計画

目的 (ねらい)	【長期目標】 施設や地域で暮らす高齢者が、加齢や障がい・病氣により、それまでの人との繋がりや活動を失ってしまふことなく、住み慣れた場所ですまふても安心して暮らして行ける為に住民同士が繋がり、支え合ひ、生き甲斐を感じられるボランティア組織の構築と運営を目指します。			
	【今年度目標】 ① 四恩園で実施する公開講座を活用しボランティアに対しての研修の機会を提供します。 ② 友愛セーラール上金を活用し、ボランティアに活動の場を提供します。 ③ 北広島市の介護支援ボランティア事業を活用しボランティア募集を継続します。 ④ 四恩園全体としてのボランティア名簿を作成します			
担当職員	委員長：新沼 右文 副委員長：吉田 匡貴 委員：佐藤 吉朗 中田 由美 横内 あゆみ 加藤 道子 山口 由美子			
計 画	月	事業内容	実 績 評価 評価内容	
	4			
	5	友愛セーラール商品集め呼びかけ 花壇準備・花壇整備	4	
	6	友愛セーラール出店	4	6/9 友愛セーラール
	7			
	8	ボランティア研修 ボランティア活動パネル作成・展示	3	8月ボランティアパネル作成
	9			
	10			
	11			
	12			
	1			
	2	今年度の事業評価及び次年度事業計画の作成		
3				
備考				

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
1. 全くできていない

2018年度 広報委員会事業計画

目的 (ねらい)	1. 広報活動により四恩園の取り組みや情報を積極的に発信していくことにより、お客様や地域の方々への利益と信用信頼につながるよう努めます。		
	2. Web サイトの運用方法を幅広く検討し、「四恩園の顔」としてお客様との信頼と安心感を与えるとともに、四恩園のPRの場として活用します。		
担当職員	委員長：向山 篤 副委員長：大日向伸也 委員：林 晃市 早川彩子 富岡啓範 鈴木優子 上小倉苑美 斉藤 龍		
計 画	月	事業内容	実 績 評価 評価内容
	4	事業内容について周知	5 Web ページからのサービス依頼有り
	5	各事業所の Web ページの準備、声掛け	5 随時更新している
	6	機関紙通刊 50 記念号準備	
	7	機関紙通刊 50 記念号最終校正	
	8	機関紙通刊 50 記念号発行、発送	3 準備・校正の段階に入っているも、発行に至っていない。
	9		
	10	上半期事業の振り返り	
	11	各事業所の Web ページ作成	1 各事業所に働きかけるも作成できていない。
	12		
	1		
	2		
3	当年度事業の振り返り 次年度事業計画案作成		
備考	・各事業所の Web ページを作成するために、写真や活動内容などのデータを管理していく。		

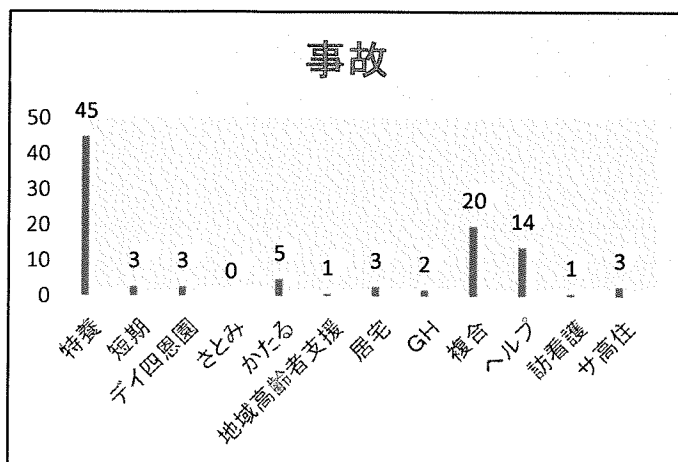
評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
1. 全くできていない

2018年度 防火対策委員会事業計画

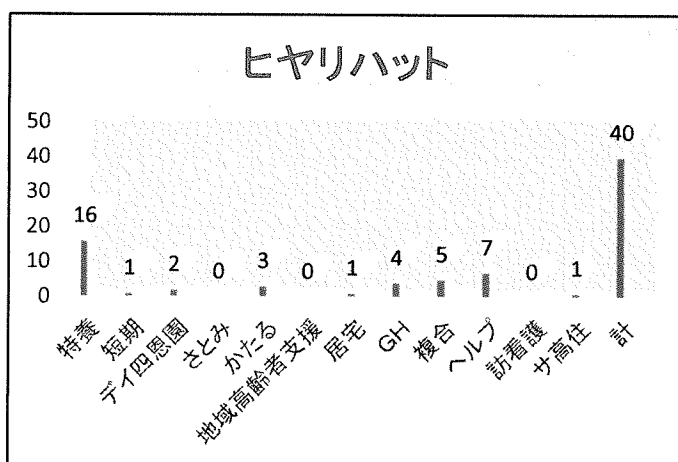
目 的	1. 職員の災害対策意識の高揚と緊急時における対処方法 2. 職員の各種防災機器の取扱方法の理解と徹底 3. 消防署並びに本館との連携、協力体制の確認 4. 災害対策についての情報収集		
	担当職員	委員長 大日向伸也 副委員長 向山 篤 委員 新沼 右文 吉田 匡貴 佐藤 吉朗 神原 英明 笹森 省子 岡崎 哲也 毛利 秀景 吉田 誠 梅村 紹子	
計 画	月	事業内容	実 績
	4		評価
	5		
	6	第1回防火対策委員会 (6/27)	5
	7	夏季防火総合訓練 さとみ (7/3)、ふれて (7/4)、四恩園 (7/5)、ともに (7/6)	5
	8		
	9	第2回防火対策委員会 夜間想定訓練・緊急連絡網訓練	1
	10		
	11		
	12		
	1		
	2	第3回防火対策委員会 (2/15) 冬季地震総合訓練 ともに・さとみ (2/27)、四恩園・ふれて (2/28)	5
	3		

評価基準：
 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

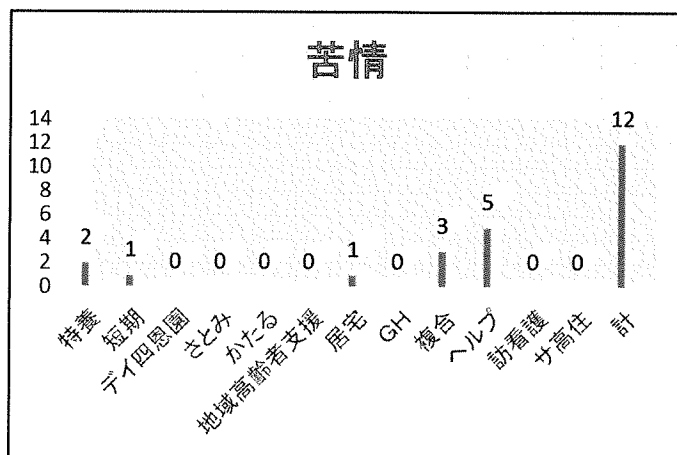
2018年度高齢者施設リスクマネジメント結果(2018. 4~2019. 3)



事故		
特養	45	45%
短期	3	3
デイ四恩園	3	3
さとみ	0	0
かたる	5	5
地域高齢者支援	1	1
居宅	3	3
GH	2	2
複合	20	20
ヘルプ	14	14
訪看護	1	1
サ高住	3	3
計	100	100

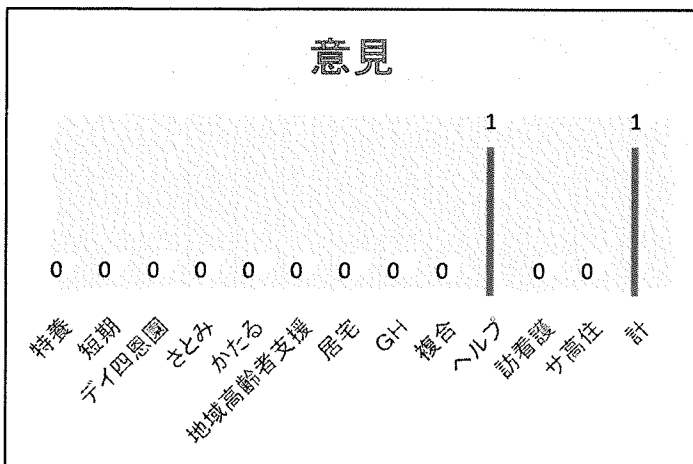


ヒヤリハット		
特養	16	40%
短期	1	2.5
デイ四恩園	2	5
さとみ	0	0
かたる	3	7.5
地域高齢者支援	0	0
居宅	1	2.5
GH	4	10
複合	5	12.5
ヘルプ	7	17.5
訪看護	0	0
サ高住	1	2.5
計	40	100%

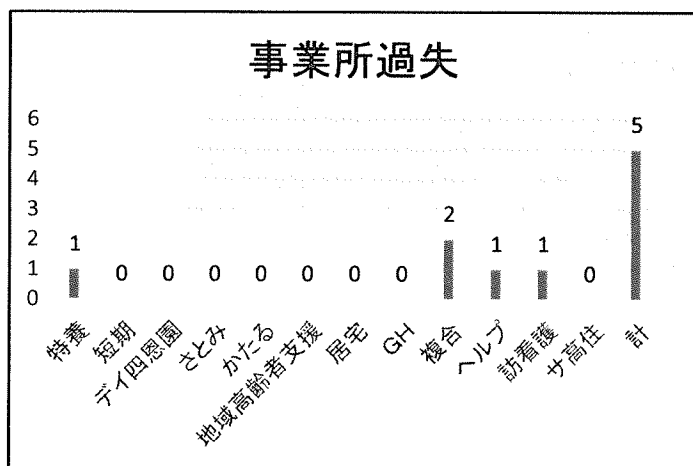


苦情		
特養	2	16.70%
短期	1	8.3
デイ四恩園	0	0
さとみ	0	0
かたる	0	0
地域高齢者支援	0	0
居宅	1	8.3
GH	0	0
複合	3	25
ヘルプ	5	41.7
訪看護	0	0
サ高住	0	0
計	12	100%

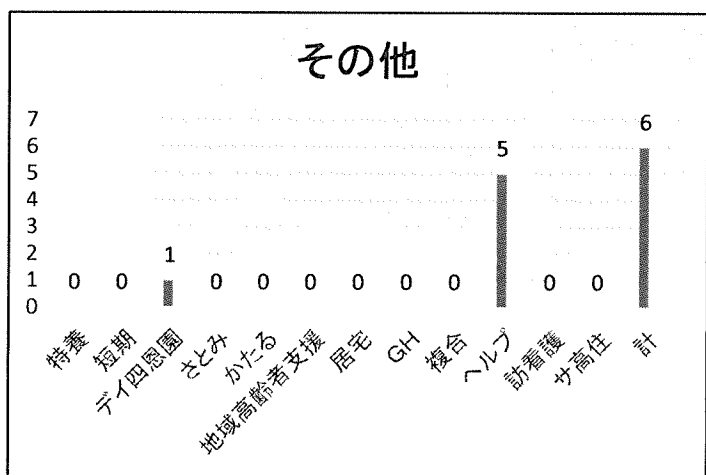
高齢者施設においては従来までのリスクマネジメントシートにおいて事故等の定義があいまいであったことから、虐待防止委員会を中心に事故等を再定義した。2019年度においても継続してより良いサービス提供に向けた生きた材料となるよう様式等についても検討していきたい。新リスクマネジメントシート、事故等の定義は別添資料を参照してください。



意見		
特養	0	0
短期	0	0
デイ四恩園	0	0
さとみ	0	0
かたる	0	0
地域高齢者支援	0	0
居宅	0	0
GH	0	0
複合	0	0
ヘルプ	1	100%
訪看護	0	0
サ高住	0	0
計	1	100%



事業所過失		
特養	1	20%
短期	0	0
デイ四恩園	0	0
さとみ	0	0
かたる	0	0
地域高齢者支援	0	0
居宅	0	0
GH	0	0
複合	2	40
ヘルプ	1	20
訪看護	1	20
サ高住	0	0
計	5	100%



その他		
特養	0	0
短期	0	0
デイ四恩園	1	16.70%
さとみ	0	0
かたる	0	0
地域高齢者支援	0	0
居宅	0	0
GH	0	0
複合	0	0
ヘルプ	5	83.3
訪看護	0	0
サ高住	0	0
計	6	100%

施設長	管理課長	担当課長	係長	主任	担当

リスクマネジメントシート

報告日 2018年 月 日()

発生日 2018年 月 日()		時間 時 分頃 (24時間単位)	
報告者			第一発見者
被害者	氏名 様 要支援1 2 要介護1 2 3 4 5 年齢 才 性別 男・女 障害自立度 認知症自立度	リスク内容	<input type="checkbox"/> 事故 <input type="checkbox"/> ヒヤリハット <input type="checkbox"/> 苦情 <input type="checkbox"/> 提言 <input type="checkbox"/> 意見 <input type="checkbox"/> 要望 <input type="checkbox"/> 事業者過失・法令違反 (交通事故など) <input type="checkbox"/> その他 ()
<タイトル>			
<アクシデントの状況、苦情等の内容>			
リスク要因			
環境要因 <small>(建物、設備、備品・用具、労働条件、勤務時間等)</small>	介護(者)要因 <small>(ケアプラン不徹底、知識・技術の不足等)</small>	お客様要因 <small>(お客様の身体状況、お客様自身の行動等)</small>	
リスク対策			
再発防止策とこの事例から何を学んだか			

登録番号	— —	報告月日(シート提出日)	月 日
------	-----	--------------	-----

特(特養)給(給食)管(管理)短(短期)通四(デイ)通さ(さとみ)通か(かたる)訪看(訪看)へ(訪介)複(複合)グ(GH)サ高(サ高住)

記入者職名	職名	氏名
リスク内容	<input type="checkbox"/> 1. 事故 <input type="checkbox"/> 2. ヒヤリハット <input type="checkbox"/> 3. 苦情 <input type="checkbox"/> 4. 提言 <input type="checkbox"/> 5. 意見 <input type="checkbox"/> 6. 要望 <input type="checkbox"/> 7. 事業者過失・法令違反 <input type="checkbox"/> 8. その他()	
リスク発生事業所	<input type="checkbox"/> 1. 特養 <input type="checkbox"/> 2. ショートステイ <input type="checkbox"/> 3. 四恩園デイ <input type="checkbox"/> 4. さとみ <input type="checkbox"/> 5. かたる <input type="checkbox"/> 6. 高齢者支援センター <input type="checkbox"/> 11. ふれて <input type="checkbox"/> 5. 居宅介護支援事業所 <input type="checkbox"/> 9. グループホーム <input type="checkbox"/> 8. 複合型サービス <input type="checkbox"/> 7. 訪問看護 <input type="checkbox"/> 4. ホームヘルプサービス <input type="checkbox"/> 10. サ高住しおん <input type="checkbox"/> 12. ともに< <input type="checkbox"/> ①屋内 <input type="checkbox"/> ②屋外>	
リスク発生日時	西暦 年 月 日(曜日) 時 分(24時間単位)	
勤務時間帯	<input type="checkbox"/> 1. 日勤 <input type="checkbox"/> 2. 早出 <input type="checkbox"/> 3. 遅出 <input type="checkbox"/> 4. 夜勤 <input type="checkbox"/> 5. 時間外 <input type="checkbox"/> 6. その他	
サービス利用者	氏名	様 性別 <input type="checkbox"/> 1. 男 <input type="checkbox"/> 2. 女 年齢 歳
	状態	<input type="checkbox"/> 1. 独歩 <input type="checkbox"/> 2. 杖歩行 <input type="checkbox"/> 3. 手引き歩行 <input type="checkbox"/> 4. 車イス <input type="checkbox"/> 5. 歩行器
	身体状況	<input type="checkbox"/> 1. 要支援1 <input type="checkbox"/> 2. 要支援2 <input type="checkbox"/> 3. 要介護1 <input type="checkbox"/> 4. 要介護2 <input type="checkbox"/> 5. 要介護3 <input type="checkbox"/> 6. 要介護4 <input type="checkbox"/> 7. 要介護5
	障害による日常生活自立度	<input type="checkbox"/> 1. J <input type="checkbox"/> 2. A <input type="checkbox"/> 3. B <input type="checkbox"/> 4. C
	認知症による日常生活自立度	<input type="checkbox"/> 1. 自立 <input type="checkbox"/> 2. I <input type="checkbox"/> 3. II <input type="checkbox"/> 4. III <input type="checkbox"/> 5. IV <input type="checkbox"/> 6. M
リスク発生場所	<input type="checkbox"/> 1. 個室 <input type="checkbox"/> 2. 二人部屋 <input type="checkbox"/> 3. 四人部屋 <input type="checkbox"/> 4. 静養室 <input type="checkbox"/> 5. 食堂 <input type="checkbox"/> 6. トイレ <input type="checkbox"/> 7. 浴室洗場 <input type="checkbox"/> 8. 浴槽 <input type="checkbox"/> 9. 脱衣所 <input type="checkbox"/> 10. 廊下 <input type="checkbox"/> 11. 車中 <input type="checkbox"/> 12. デイフロア <input type="checkbox"/> 13. 事務室 <input type="checkbox"/> 14. 玄関 <input type="checkbox"/> 15. 庭 <input type="checkbox"/> 16. 駐車場 <input type="checkbox"/> 17. 台所 <input type="checkbox"/> 18. 自宅(サ高住含) <input type="checkbox"/> 19. 活動室 <input type="checkbox"/> 20. グラウンド <input type="checkbox"/> 21. 体育館 <input type="checkbox"/> 22. その他[]	
リスク発生場面	<input type="checkbox"/> 1. 食事 <input type="checkbox"/> 2. 入浴 <input type="checkbox"/> 3. 排泄 <input type="checkbox"/> 4. 着替え <input type="checkbox"/> 5. 移動 <input type="checkbox"/> 6. 移乗 <input type="checkbox"/> 7. 服薬 <input type="checkbox"/> 8. 水分補給 <input type="checkbox"/> 9. 受診 <input type="checkbox"/> 10. 外出 <input type="checkbox"/> 11. 家事援助 <input type="checkbox"/> 12. 買い物 <input type="checkbox"/> 13. アクティビティ(行事) <input type="checkbox"/> 14. クラブ活動 <input type="checkbox"/> 15. 洗濯 <input type="checkbox"/> 16. 掃除 <input type="checkbox"/> 17. 送迎 <input type="checkbox"/> 18. 請求事務 <input type="checkbox"/> 19. その他[]	
ダメージ内容	ケア場面	<input type="checkbox"/> 1. 転倒 <input type="checkbox"/> 2. 転落 <input type="checkbox"/> 3. 介助ミス <input type="checkbox"/> 4. 褥創 <input type="checkbox"/> 5. 誤嚥 <input type="checkbox"/> 6. 服薬ミス <input type="checkbox"/> 7. 行方不明(外出) <input type="checkbox"/> 8. 破損 <input type="checkbox"/> 9. 暴力行為 <input type="checkbox"/> 10. 不適切な対応[] <input type="checkbox"/> 11. 身体拘束・虐待 <input type="checkbox"/> 12. その他[]
	事業者過失	<input type="checkbox"/> 1. 物損事故 <input type="checkbox"/> 2. 人身事故 <input type="checkbox"/> 3. 車両内事故 <input type="checkbox"/> 4. 危険運転 <input type="checkbox"/> 5. その他[]
	その他	<input type="checkbox"/> 1. 施設設備不備 <input type="checkbox"/> 2. 契約違反 <input type="checkbox"/> 3. その他[]
	身体的被害	<input type="checkbox"/> 1. 骨折 <input type="checkbox"/> 2. 打撲・捻挫・脱臼 <input type="checkbox"/> 3. 裂傷・擦過傷 <input type="checkbox"/> 4. 溺水 <input type="checkbox"/> 5. 熱傷 <input type="checkbox"/> 6. 凍傷 <input type="checkbox"/> 7. 中毒症状 <input type="checkbox"/> 8. 窒息 <input type="checkbox"/> 9. 心停止 <input type="checkbox"/> 10. その他[]
ダメージへの対応 年月日	<input type="checkbox"/> 1. 家族への連絡・説明・謝罪 <input type="checkbox"/> 2. 上司への報告 <input type="checkbox"/> 3. 当事者への謝罪 <input type="checkbox"/> 4. 救急車要請 <input type="checkbox"/> 5. 保険適応 <input type="checkbox"/> 6. 医療機関受診(受診先:) <input type="checkbox"/> 7. 施設の費用負担 <input type="checkbox"/> 8. 道・市役所への報告 <input type="checkbox"/> 9. 物品購入 <input type="checkbox"/> 10. サービス利用者全員への謝罪 <input type="checkbox"/> 11. その他[]	
リスク発生要因	環境面	<input type="checkbox"/> 1. 照明 <input type="checkbox"/> 2. 騒音 <input type="checkbox"/> 3. 空調(室温・湿度) <input type="checkbox"/> 4. 労働条件 <input type="checkbox"/> 5. 勤務時間 <input type="checkbox"/> 6. お客様の人数 <input type="checkbox"/> 7. 業務の範囲 <input type="checkbox"/> 8. 業務の困難さ <input type="checkbox"/> 9. 職場の雰囲気 <input type="checkbox"/> 10. 衛生面 <input type="checkbox"/> 11. その他[]
	職員	<input type="checkbox"/> 1. 報告連絡相談の不徹底 <input type="checkbox"/> 2. お客様理解の欠如 <input type="checkbox"/> 3. 技術 <input type="checkbox"/> 4. 知識 <input type="checkbox"/> 5. 倫理 <input type="checkbox"/> 6. 見守りを怠る <input type="checkbox"/> 7. その他[]
	お客様	<input type="checkbox"/> 1. お客様の身体状況 <input type="checkbox"/> 2. お客様自身による行動 <input type="checkbox"/> 3. その他[]
リスク対策 年月日	<input type="checkbox"/> 1. 当事者への周知 <input type="checkbox"/> 2. 課内会議(申し送り)で検討周知 <input type="checkbox"/> 3. 緊急チーフ会議で検討周知 <input type="checkbox"/> 4. 幹部会で検討周知 <input type="checkbox"/> 5. ケアプランの見直し <input type="checkbox"/> 6. マニュアルの作成 <input type="checkbox"/> 7. マニュアルの見直し <input type="checkbox"/> 8. 規程の見直し <input type="checkbox"/> 9. 研修 <input type="checkbox"/> 10. ハード面の見直し[] <input type="checkbox"/> 11. 業務の見直し <input type="checkbox"/> 12. 衛生管理の徹底 <input type="checkbox"/> 13. 施設環境(照明・騒音・空調)の見直し <input type="checkbox"/> 14. その他[]	
関連諸規程	<input type="checkbox"/> 1. 管理規程 <input type="checkbox"/> 2. 就業規則 <input type="checkbox"/> 3. 防火管理規程 <input type="checkbox"/> 4. 安全運転管理規程 <input type="checkbox"/> 5. 宿日直・勤務規程 <input type="checkbox"/> 6. 緊急時対応マニュアル <input type="checkbox"/> 7. その他マニュアル <input type="checkbox"/> 8. その他[]	

新リスクマネジメントシート導入に当たって～目的・定義の確認

《新シート導入の目的》

- ①定義を明確にし、提出しやすく、分析しやすく、使いやすいシートにする。
- ②一つの事例から職員の学び取る力を養い、サービスの質の向上や現場の業務改善に繋げる。
- ③事故（起きた出来事）だけでなく、ヒヤリハット事例を多く提出してもらい、職員の気付く目を養い、事故を未然に防ぐことに繋げる。

《事故等の定義》

事故☛転倒・転落・喉詰まり・誤薬・行方不明・送迎漏れ・訪問忘れ・破損など、介護サービス提供の全過程で起きた身体的・心理的・物理的被害全ては事故に含まれる。

ヒヤリハット☛事故に至る前、職員が日常業務においてヒヤッとしたりハッとした出来事（職員の気付き）がこれに当たる。

《苦情等の定義》

苦情☛サービスの実施、未実施に伴う不都合や職員対応への不満がもとで是正や補償、謝罪を求めるもの。

例1：（訪問先にて）大切にしていた花瓶を割られてしまった。弁償してほしい。

例2：自宅でなかった青あざが出来ている。事実関係と今後の対応についてきちんと説明してほしい。

提案☛未実施のサービスやその人にとって不十分なサービスに対して、具体的な方法をもって実施して欲しいと改善を求めるもの。

例1：誰がスタッフか分からないので、名札を付けて分かりやすくしてほしい。

例2：ご飯ばかりじゃ飽きるから、せめて週に1回くらいはパンか麺類の日を作ってほしい。

意見☛提供したサービスに対する感想など事業所や職員に向けられる感謝や称賛、お叱りの声。

例1：いつも立ち止まってる挨拶、気持ちが良いですね。

例2：あのスタッフは愛想がない。ここの教育はどうなっているんだ！

要望☛サービス全般に対して、行っていないことや不十分なことについて改善を求めるもの。ただし、改善方法までは言及しておらず、抽象的なもの。

例1：全体的にもっと味付けを濃くしてほしい。

例2：どっか買い物に連れて行ってほしい。

例3：たまに映画館とか行ってみたい。